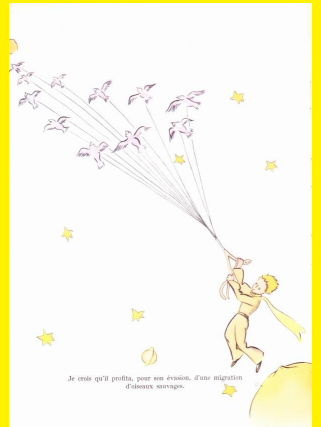


# EL PRINCIPITO

スペイン語 星の王子様

Antoine de Saint-Exupéry



フランス語版より



スペイン語版より

2015/12/18

～2017/02/01

三浦 高志

参考文献等

参考文献等

- El Principito 1953 年 スペイン語版初版 翻訳者 Bonifacio del Carril  
発行所 サラマンドラ出版 ISBN: 978-84-9838-149-8 Depósito legal: B-8.767-2015  
原文 Le Petit Prince 1946 年 著者 Antoine de Saint-Exupéry ガリマール出版 パリ
- フランス語原版 Le Petit Prince 1969 年 8 月 25 日 ガリマール社 出版番号 : 14453
- 対訳 フランス語で読もう「星の王子様」  
2007 年 6 月 12 日 2 版発行著者 サンテグジュペリ、小島 俊明、(有)第三書房

翻訳期間 2015/12/18～2017/02/01

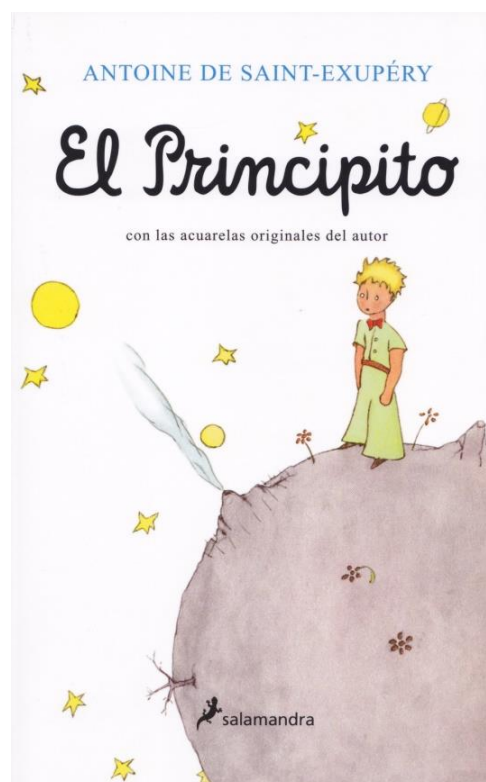
翻訳文中の挿絵はフランス・ガリマール社 出版番号 :  
14453 の版より抜粋した。



三浦 高志 Takashi Miura



フランス・ガリマール社の版



スペイン語版の表紙

## 文の構成要素と構文解析の書式

## 文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、  
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、  
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、  
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、  
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、

「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

## 文の構成要素と構文解析の書式

## 名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関係する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

## 文の構成要素と構文解析の書式

## 「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

## 形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

## 文の構成要素と構文解析の書式

**不定冠詞**

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

**定冠詞**

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

**副詞**

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

**比較**

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

## 文の構成要素と構文解析の書式

## 補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～と感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

## 動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

## 助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。



## 文の構成要素と構文解析の書式

## 疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

## 接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使用される。

## 関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適切な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

## 前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。



## 文の構成要素と構文解析の書式

## 構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

## 「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.fのように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

## 文の構成要素と構文解析の書式

## 構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

Tengo dolor de garganta por el resfriado durante dos semanas.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tengo テンゴ 1 単現 &lt; tener v.t 持つ、ある

「動詞」

dolor de garganta トロオル・デ・ガルガンタ n.m 喉の痛み

「目的語」

por el resfriado ポル・エル・レスフリアド adv. 風邪のために

durante dos semanas トゥランテ・ドス・セマナス adv. 2 週間

→ por el resfriado durante dos semanas

「副詞句：Tengo」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Hoy he comprado 2.(dos) libros de consulta para llevar un diario en italiano e en español.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Hoy オイ adv. 今日

「副詞：he comprado」

he comprado エ・コンプラト 1 単現・完了形 購入した

「動詞句」

2 libros de consulta トス・リブ・ロス・デ・コンスルタ n.m pl. 2 冊の参考書

「目的語」

para llevar un diario パラ・ジエバル・ウン・デアリオ adv. 日記をつけるために

en italiano e en español エン・イタリアーノ・エ・エン・エスパニョール adv. イタリア語とスペイン語で

→ para llevar un diario en italiano e en español

「副詞句：he comprado」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

He recogido 430 (cuatrocientos treinta) gramos de castaña salvaje y coseché 2.(dos) berenjenas.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

He recogido エ・レコヒト 1 単現・完了形 拾い集めた

「動詞句」

430 gramos de castaña salvaje クワトロシエンロス・トレインタ・グラモス・デ・カスタニャ・サルバヘ

n.f 山栗を 430g

「目的語」

coseché コセチェ 1 単点 &lt; cosechar v.t 収穫する

「動詞」

2 berenjenas トス・ベレンヘナス n. 茄子を 2 本

「目的語」

## 文の構成要素と構文解析の書式—終わり

## 目次

## 目次

参考文献等.....	1
文の構成要素と構文解析の書式.....	2
名詞・性と数 .....	3
「直接目的語」と「間接目的語」 .....	4
形容詞 .....	4
不定冠詞 .....	5
定冠詞.....	5
副詞 .....	5
比較 .....	5
補語 .....	6
動詞 .....	6
助動詞 .....	6
疑問詞 .....	7
接続詞 .....	7
関係詞 .....	7
前置詞 .....	7
構文解析の書式.....	8
構文解析の例 .....	9
文の構成要素と構文解析の書式－終わり .....	9
目次.....	10
A LEÓN WERTH .....	13
I .....	17
フランス語原文では、 .....	24
II .....	27
III.....	44
IV.....	55
V .....	73
フランス語原文では、 .....	80
VI.....	91
フランス語原版でも 43 回だが、 .....	95
フランス語原版でも 43 回だが、 .....	96
VII .....	96
フランス語原文では、 .....	106
VIII.....	114

## 目次

IX.....	131
X.....	142
説明： .....	152
フランス語原版でも 43 回だが、 .....	155
XI.....	169
XII .....	177
単語のアクセントのルール： .....	179
XIII.....	181
フランス語原版でも「何が五億なの？」だが、 .....	185
XIV .....	201
XV.....	217
XVI .....	236
XVII.....	241
フランス語原版と「フランス語で読もう 星の王子様」では.....	248
XVIII .....	255
XIX .....	258
XX.....	263
XXI .....	269
習わし： .....	287
XXII.....	301
転轍手（てんてつしゅ）、転轍機（てんてつき） .....	301
XXIII .....	306
XXIV.....	309
直前過去完了： .....	314
XXV .....	325
風見鶏（かざみどり）： .....	328
XXVI.....	343
フランス語原版では、 .....	375
XXVII .....	379
未来完了： .....	382
haber de+不定詞： .....	389
終わり .....	391

目次

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

A LEÓN WERTH

## A LEÓN WERTH

Pido perdón a los niños por haber dedicado este libro a una persona grande. Tengo una seria excusa: esta persona grande es el mejor amigo que tengo en el mundo. Tengo otra excusa: esta persona grande puede comprender todo; hasta los libros para niños. Tengo una tercera excusa: esta persona grande vive en Francia, donde tiene hambre y frío. Tiene verdadera necesidad de consuelo. Si todas estas excusas no fueran suficientes, quiero dedicar este libro al niño que esta persona grande fue en otro tiempo. Todas las personas grandes han sido niños antes. (Pero pocas lo recuerdan.) Corrijo, pues, mi dedicatoria:

A LEÓN WERTH  
CUANDO ERA NIÑO

レオン・ヴェルトに

この本をある大人の人に捧げたことについて、子供たちに許してもらいたい。まじめな言い訳がある。この大人の人是我がこの世で持っている最良の友だ。別の言い訳がある。この大人の人は子供用の本まですべての事を理解することが出来る。3番目の言い訳がある。この大人の人はフランスに住んでおり、飢えと寒さに苦しんでいる。彼はとても慰めを必要としている。もしもこれらの言い訳でも十分でなかったならば、この本を、この大人の人が以前に子供だった頃のその子供に捧げたい。大人はみんな、以前は子供だったのだから。(しかしそのことを覚えている人はほとんどいない。)だから、私の献辞を訂正する。

子供だった時のレオン・ベルトに

## ALEÓN WERTH

レオン・ヴェルトに

ALEÓN WERTH

「副詞句」

ALEÓN WERTH ア・レオン・ヴェルト adv. レオン・ヴェルトに (この本を捧げる) 「副詞句」

この本をある大人の人に捧げたことについて、子供たちに許してもらいたい。

Pido perdón a los niños por haber dedicado este libro a una persona grande.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Pido ピド 1 単現(pedir)v.t (a+人 に) 頼む、求める

「動詞」

perdón ペルドン n.m 許し

「目的語」

a los niños ア・ロス・ニョス adv. 子供たちに

「副詞句」

por +不定詞 ポル adv. (原因・理由) ~することで

「副詞句」

haber dedicado アベール・デディカド 不定詞・完了形(dedicar)v.t 捧げた

「動詞句」

este libro エステ・リブロ n.m この本を

「直接目的語」

a una persona grande. ア・ウナ・ペルソナ・グランデ

adv. ある大人の人に

「間接目的語」

まじめな言い訳がある。この大人の人是我がこの世で持っている最良の友だ。

Tengo una seria excusa: esta persona grande es el mejor amigo que tengo en el mundo.

「動詞」「目的語」:「主語」「動詞」「補語」

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.r ある

「動詞」

una seria excusa: ウナ・セリア・エスクサ n.f まじめな言い訳が

「目的語」

esta persona grande エスタ・ペルソナ・グランデ n.f この大人の人は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

el mejor amigo エル・メホル・アミゴ n.m 最良の友

「補語」

que ケ pron ~する

「形容詞節」

tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t 持っている

「動詞」

en el mundo. エ・ネル・ムント adv. この世で

「副詞句」

別の言い訳がある。この大人の人は子供用の本ですべての事を理解することが出来る。

Tengo otra excusa: esta persona grande puede comprender todo; hasta los libros para niños.

「動詞」「目的語」:「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.r ある

「動詞」

otra excusa: オトラ・エスクサ n.f 別の言い訳が

「目的語」

esta persona grande エスタ・ペルソナ・グランデ n.f この大人の人は

「主語」

puede comprender プエデ・コンプレンデール 3 単現・可能(poder+不定詞)

v.t 理解することが出来る

「動詞句」



## ALEÓN WERTH

todo; トト pron すべての事を 「目的語」  
 hasta los libros アスタ・ロス・リブ ロス adv. 本まで 「副詞句」  
 para niños. パラ・ニョス adj. 子供用の 「形容詞句」

3 番目の言い訳がある。この大人の人はフランスに住んでおり、飢えと寒さに苦しんでいる。

Tengo una tercera excusa: esta persona grande vive en Francia, donde tiene hambre y frío. 「動詞」「目的語」: 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞」「動詞」「目的語」

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.r ある 「動詞」  
 una tercera excusa: ウナ・テルセラ・エスクーサ n.f 3 番目の言い訳が 「目的語」  
 esta persona grande エスタ・ペルソナ・グランデ n.f この大人の人は 「主語」  
 vive ビベ 3 単現(vivir)v.i 暮らしている、住んでいる 「動詞」  
 en Francia, エン・フランシア adv. フランスに 「副詞句」  
 donde ドンデ adv. そこで～する 「副詞」  
 tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t (状態) ～である 「動詞」  
 hambre y frío. アンブレ・イ・フリオ n.f 飢えと寒さ 「目的語」

彼はとても慰めを必要としている。

Tiene verdadera necesidad de consuelo. 「動詞」「目的語」  
 Tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t ある 「動詞」  
 verdadera necesidad ベルダデラ・ネセシダド n.f 本当の必要性 「目的語」  
 de consuelo. デ・コンスエロ adj. 慰めの 「形容詞句」

もしもこれらの言い訳でも十分でなかったならば、この本を、この大人の人が以前に子供だった頃のその子供に捧げたい。

Si todas estas excusas no fueran suficientes, quiero dedicar este libro al niño que esta persona grande fue en otro tiempo.

「副詞節」, 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「形容詞節」  
 Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 todas estas excusas トダス・エスタス・エクスサス pl.n.f これらの言い訳が 「主語」  
 no fueran ノ・フエラン 接・3 複過・否定(ir)v.i (状態) ～でなかった 「動詞句」  
 仮定法過去「もし～でなかったら、... する」  
 suficientes, スフィシエンテス adj. 十分な 「補語」  
 quiero dedicar キエロ・デデ・イカル 1 単現・願望(querer+不定詞)v.t 捧げたい 「動詞句」  
 este libro エステ・リブ ロ n.m この本を 「直接目的語」  
 al niño アル・ニョ adv. 子供に 「間接目的語」  
 que ケ pron ～する 「形容詞節」

## ALEÓN WERTH

esta persona grande エスタ・ペルソナ・グランデ n.f この大人の人が 「主語」  
 fue フエ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」  
 en otro tiempo. エン・オトロ・ティエンポ adv. かつて、以前 「副詞句」

大人はみんな、以前は子供だったのだから。

Todas las personas grandes han sido niños antes. 「主語」「動詞句」「補語」「副詞」  
 Todas las personas grandes トダス・ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 全ての大人の人は 「主語」  
 han sido アン・シド 3 複現・完了形(ser)v.i 〜だった 「動詞句」  
 niños ニョス pl.n.m 子供 「補語」  
 antes. アンテス adv. 以前は 「副詞」

(しかしそのことを覚えている人はほとんどいない。) だから、私の献辞を訂正する。

(Pero pocas lo recuerdan.) Corrijo, pues, mi dedicatoria:

(Pero 「主語」「目的語」「動詞」) 「動詞」「副詞」「目的語」

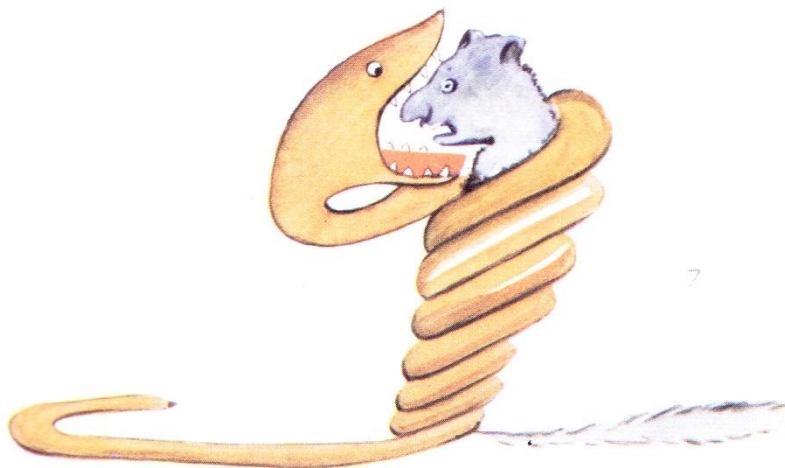
(Pero ペロ conj. しかし  
 pocas ホカス pron. わずかな人が、ほとんどの人が〜ない 「主語」  
 lo lo pron そのことを 「目的語」  
 recuerdan.) レクエルダソ 3 複現(recordar)v.t 覚えている 「動詞」  
 Corrijo, コリホ 1 単現(corregir)v.t 訂正する 「動詞」  
 pues, フエス adv. だから 「副詞」  
 mi dedicatoria: ミ・デディカトリア n.f 私の献辞を 「目的語」

子供だった時のレオン・ベルトに

ALEÓN WERTH CUANDO ERA NIÑO. 「副詞句」  
 ALEÓN WERTH ア・レオン・ベルト adv. レオン・ベルトに 「副詞句」  
 CUANDO クワント conj. 〜する時の 「形容詞節」  
 ERA エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」  
 NIÑO ニョ n.m 子供 「補語」

## I

## I



僕は、6 歳だった頃、「本当にあった話」という原始林に関する本の中で、素晴らしい挿絵を一度見たことがある。

Quando yo tenía seis años vi una vez una lámina magnífica en un libro sobre el Bosque Virgen que se llamaba «Historias Vividas».

「副詞節」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 「形容詞節」

Quando クワント conj. ～する時

「副詞節」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t (年が) ～歳だった

「動詞」

seis años セイス・アニョス pl.n.m 6 歳

「目的語」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見た

「動詞」

una vez ウナ・ベス adv. 一度 「副詞句」

una lámina magnífica ウナ・ラミナ・マグニフィカ n.f 素晴らしい挿絵を

「目的語」

lámina ラミナ n.f 図版、版画 magnífica マグニフィカ adj.f 素晴らしい、見事な

en un libro エ・スン・リブ्रो adv. 本の中で

「副詞句」

sobre el Bosque Virgen ソブレ・エル・ボスケ・ビルヘン adj. 原始林に関する 「形容詞句」

sobre ～に関する Bosque ボスケ n.m 森 Virgen ビルヘン adj. 未開拓の → 原始林

que ケ pron ～する

「形容詞節」

se llamaba セ・ジャマバ 3 単線(llamarse)

v.pr ～という名前であった、ある

「動詞句」

Historias Vividas». イストリアス・ビビダス pl.n.f 「本当にあった話」

「補語」

Historia イストリア n.f 話、物語 Vivida ビビダ adj.f 体験された、実際にあった

## I

それは猛獣を飲み込もうとしているボア大蛇を表していた。

Representaba una serpiente boa que se tragaba a una fiera.

「動詞」「目的語」「形容詞節」

Representaba レプレンタバ 3 単線(representar)v.t 表していた

「動詞」

una serpiente boa ウナ・セルピエンテ・ボア n.f ボア大蛇を

「目的語」

serpiente セルピエンテ n.f へび boa ボア n.f (動物) ボア → ボア大蛇

que ケ pron ～する

「形容詞節」

se tragaba セ・トラガバ 3 単線(tragarse)v.pr 飲み込んでいた

「動詞句」

a una fiera. ア・ウナ・フィエラ adv. 猛獣を

「間接目的語」

ここにその絵の写しがある。

He aquí la copia del dibujo.

「動詞」「副詞」「目的語」

He エ 1 単現(haber)v.t ある、持っている

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

la copia ラ・コピア n.f 写し

「目的語」

del dibujo. デル・デイブホ adj. デッサンの、絵の

「形容詞句」

その本にはこう書いてあった：「ボア大蛇というものは、獲物をまるごと噛まずに飲み込む、  
するともう動けなくなって、獲物を消化するために 6 ヶ月眠り続ける。」El libro decía: «Las serpientes boas tragan sus presas enteras, sin masticarlas. Luego no pueden moverse y duermen durante los seis meses de la digestión.»

「主語」「動詞」:

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」》

El libro エル・リブロ n.m その本は

「主語」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた、こう書いてあった

「動詞」

Las serpientes boas ラス・セルピエンテス・ボアス pl.n.f ボア大蛇というものは

「主語」

tragan トラガン 3 複現(tragar)v.t 飲み込む

「動詞」

sus presas スス・プレサス pl.n.f 獲物を

「目的語」

enteras, エンテラス adj.pl.f まるまる、全部の

「形容詞」

sin masticarlas. シン・マスティカル・ラス adv. かみ砕かずに

「副詞句」

sin+不定詞 「～せずに、～しないで」 masticar マスティカル v.t かみ砕く、かむ

Luego ルエゴ adv. その後、それから

「副詞」

no pueden moverse ノ・プエデン・モベルセ 3 複現・可能・否定(poder+不定詞)

v.pr 動けなくなる

「動詞句」

y イ conj. そして

duermen トゥエルメン 3 複現(dormir)v.i 眠る

「動詞」

## I

durante ドゥランテ prep. の間 「副詞句」

los seis meses ロス・セイス・メス pl.n.m 6 ヶ月 「目的語」

de la digestión. デ・ラ・ディヘスチオン adj. (目的) 消化のための 「形容詞句」

そこで僕はしばらく密林の冒険についてよく考えた。そして自分で色鉛筆を使って、僕の初めてのデッサンを描くことに成功した。僕のデッサン第1号、それはこんなものだ。

Reflexioné mucho entonces sobre las aventuras de la selva y, a mi vez, logré trazar con un lápiz de color mi primer dibujo. Mi dibujo número 1. Era así:

「動詞」「副詞句」「間接目的語」 y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」

「主語」, 「動詞」「補語」

Reflexioné レフレクシヨネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した、よく考えた 「動詞」

mucho ムチョ adv. しばらく、長い間 「副詞」

entonces エントネス adv. それで、そこで 「副詞」

sobre las aventuras ソブレ・ラス・アベンツラス adv. 冒険について 「間接目的語」

de la selva デ・ラ・セルバ adj. ジャングルの、密林の 「形容詞句」

y, イ conj. そして

a mi vez, ア・ミ・ベス adv. ぼくはぼくで、自分で 「副詞句」

logré trazar ログレ・トラザール 1 単点・成就(lograr+不定詞)

v.t 絵を描くことに成功した、うまく絵が描けた 「動詞句」

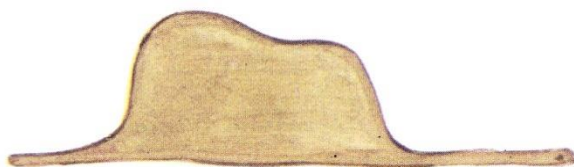
con un lápiz de color コン・ウン・ラピス・デ・コロール adv. 色鉛筆で 「副詞句」

mi primer dibujo. ミ・プリメル・ディブホ n.m 僕の初めてのデッサンを 「目的語」

Mi dibujo número 1. ミ・ディブホ・ヌメロ・ウノ n.m 僕のデッサン第1号 「主語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ーだった 「動詞」

así: アシ adv. このような 「補語」



僕は大人の人たちに僕の傑作を見せて、僕のデッサンが彼らを怖がらせるかを尋ねた。

Mostré mi obra maestra a las personas grandes y les pregunté si mi dibujo les asustaba.

「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Mostré モストレ 1 単点(mostrar)v.t 見せた 「動詞」

mi obra maestra ミ・オブラ・マエストラ n.f 僕の傑作を 「直接目的語」

obra オブラ n.f 作品 maestra マエストラ adj.f(maestro) 優れた

## I

a las personas grandes ア・ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人たちに 「間接目的語」  
 y イ conj. そして  
 les レス pron 彼らに 「間接目的語」  
 pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 si シ conj. ～するかどうかということ 「直接目的語」  
 mi dibujo ミ・ディブホ n.m 僕のデッサンが 「主語」  
 les レス pron 彼らを 「目的語」  
 asustaba. アススタバ 3 単線(asustar)v.t 怖がらせた (時制の一致) 「動詞」

大人たちは僕に答えた：「どうして帽子が人を怖がらせるというの？」

Me contestaron: «¿Por qué habrá de asustar un sombrero?»

「間接目的語」「動詞」：《「副詞句」「動詞句」「主語」》

Me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 contestaron: コンテストロン 3 複点(contestar)v.t 答えた 「動詞」  
 ¿Por qué ホル・ケ adv. なぜ 「副詞句」  
 habrá de +不定詞 アブラ・デ 3 単未・義務(haber de+不定詞)  
 v. ～しなければならない 「動詞句」  
 「どうして～しなければならない？」(反語的)  
 asustar アスタル 不定詞 v.t 怖がらせる 「動詞」  
 un sombrero? ウン・ソンプレロ n.m 帽子が 「主語」

僕のデッサンは帽子を表したのではない。象を消化しているボア大蛇を表していたのだ。

Mi dibujo no representaba un sombrero. Representaba una serpiente boa digería un elefante.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」「形容詞節」

Mi dibujo ミ・ディブホ n.m 僕のデッサンは 「主語」  
 no representaba ノ・レプレセントaba 3 単線・否定(representar)v.t 表していなかった 「動詞句」  
 un sombrero. ウン・ソンプレロ n.m 帽子を 「目的語」  
 Representaba レプレセントaba 3 単線(representar)v.t 表していた 「動詞」  
 una serpiente boa ウナ・セルピエンテ・ボア n.f ボア大蛇を 「目的語」  
 digería デイジェリア 3 単線(digerir)v.t 消化している 「形容詞句」  
 un elefante. ウン・エレファンテ n.m 象を 「目的語」

そこで僕は、大人の人が理解できるように、ボア大蛇の内部を描いた。

Dibujé entonces el interior de la serpiente boa a fin de que las personas grandes pudiesen comprender.

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞節」

Dibujé ディブジェ 1 単点(dibujar)v.t 描いた、スケッチした 「動詞」

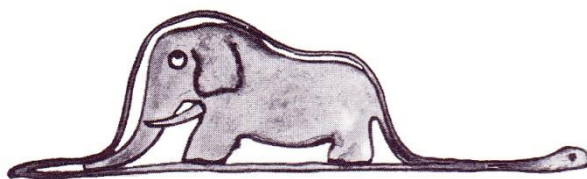
## I

entonces エントネス	adv. そこで	「副詞」
el interior de la serpiente boa	エル・インテリオール・デ・ラ・セルピエンテ・ボア	
n.m	ボア大蛇の内部を	「目的語」
a fin de que+接続法	ア・フィン・デ・ケ adv. (目的) ～するために	「副詞節」
las personas grandes	ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人が	「主語」
podiesen comprender.	プデイエセン・コンプレンデール 接・3 複過・可能・願望(poder+不定詞)	
v.t	理解できたらと	「動詞句」

彼らはいつも説明を必要とする。僕のデッサン第2号はこんな風だった。

Siempre necesitan explicaciones. Mi dibujo número 2 era así:

Siempre シエンプレ	adv. いつも	「副詞」
necesitan ネシタン	3 複現(necesitar)v.t 必要とする	「動詞」
explicaciones. エクスプリカシオネス	pl.n.f 説明を	「目的語」
Mi dibujo número 2	ミ・ディブホ・ヌメロ・ドス n.m 僕のデッサン第2号は	「主語」
era エラ	3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
así: アシ	adv. このよう	「補語」



大人の人は、中が見えるものだろうと見えないものだろうとボア大蛇の絵を脇において、もう少し、地理学や歴史や数学や文法に興味を持ちなさいと、僕に助言した。

Las personas grandes me aconsejaron que dejara a un lado los dibujos de serpientes boas abiertas o cerradas y que me interesara un poco más en la geografía, la historia, el cálculo y la gramática.

Las personas grandes	ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人は	「主語」
me	メ pron 僕に	「間接目的語」
aconsejaron	アコンセハロン 3 複点(aconsejar)v.t (que+接続法) 助言した	「動詞」
que	ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
dejara	デハラ 接・1 単過(dejar)v.t 置いておく	「動詞」
a un lado	ア・ウン・ラト adv. 脇に	「副詞句」
los dibujos	ロス・ディブホス pl.n.m 絵を	「目的語」
de serpientes boas	デ・セルピエンテス・ボアス adj. ボア大蛇の	「形容詞句」
abiertas o cerradas	アビエルトス・オ・セラダス	



## I

adj. 中が見えるものだろうと見えないものだろうと 「形容詞句」  
 y イ conj. そして  
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」  
 me interesara メ・インテレサ 接・1 単過(interesar)v.pr 興味を示す 「動詞句」  
 un poco más ウン・ポ・コマス adv. もう少し 「副詞句」  
 en la geografía, エン・ラ・ヘオグラーフィア adv. 地理学に 「間接目的語」  
 la historia, ラ・イストリア n.f 歴史学に 「目的語」  
 el cálculo エル・カルクロ n.m 数学に 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 la gramática, ラ・グラマティカ n.f 文法に 「目的語」

このようにして 6 歳の時に、僕は画家という素晴らしい職業を諦めた。

Así fue como, a la edad de seis años, abandoné una magnífica carrera de pintor.

「副詞句」「動詞」「目的語」  
 Así fue como, アシ・フエ・コモ adv. このようにして 「副詞句」  
 a la edad de seis años, ア・ラ・エダド・デ・セイス・アニョス adv. 6 歳の時に 「副詞句」  
 abandoné アバントネ 1 単点(abandonar)v.t 断念した、諦めた 「動詞」  
 una magnífica carrera ウナ・マグニフィカ・カラ n.f 素晴らしい職業を 「目的語」  
 de pintor. デ・ピントール adj. (同格) 画家という 「形容詞句」

僕のデッサン第 1 号と第 2 号の失敗によって、僕は落胆させられたのだった。

Estaba desalentado por el fracaso de mi dibujo número 1 y de mi dibujo número 2.

「動詞句」「副詞句」  
 Estaba desalentado エスタバ・デサレンタド 1 単線・受動(desalentar)  
 v.t 落胆させられた 「動詞句」  
 por el fracaso ホル・エルフラカソ adv. (原因) 失敗によって 「副詞句」  
 de mi dibujo número 1 y de mi dibujo número 2.  
 デ・ミ・ディブ・ホ・ヌメロ・ウーノ・イ・デ・ミ・ディブ・ホ・ヌメロ・ドス  
 adv. 僕のデッサン第 1 号と第 2 号の 「形容詞句」

大人の人は、たった一人では決して何も分らない、そしていつもいつも彼らに説明しなければならないのは、子供たちにとってうんざりである。

Las personas grandes nunca comprenden nada por sí solas, y es agotador para los niños tener que darles siempre y siempre explicaciones.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「補語」「副詞句」「主語」  
 Las personas grandes ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人は 「主語」

## I

nunca ヌンカ	adv. 決して～ない	「副詞」
comprenden コンプレンデェン	3 複現(comprender)v.t 分かる	「動詞」
nada ナダ	pron 何も～ない	「目的語」
por sí solas, ポル・シ・ソラス	adv. たった一人では	「副詞句」
y イ	conj. そして	
es エス	3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
agotador アゴタドル	adj. 疲れさせる、うんざりする	「補語」
para los niños パラ・ロス・ニョス	adv. 子供たちにとっては	「副詞句」
tener que テネル・ケ	不定詞 ～しなければならないことは	「主語」
darles ダル・レス	不定詞(dar+les)v.t 彼らに与える	「動詞句」
siempre y siempre シエンプレ・イ・シエンプレ	adv. いつもいつも	「副詞句」
explicaciones. エクスプリカシオネス	pl.n.f 説明を	「目的語」

それで別の職業を選ばなければならなかったので、飛行機の操縦の仕方を習った。そしてほとんど世界中を飛び回った。

Debí, pues, elegir otro oficio y aprendí a pilotar aviones. Volé un poco por todo el mundo.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」

Debí, pues, elegir デビ・プエス・エレヒール 1 単点・義務(deber+不定詞+pues)

v.t それで～を選ばなければならなかった 「動詞句」

otro oficio オトロ・オフィシオ n.m 別の職業を 「目的語」

y イ conj. それで

aprendí a +不定詞 アプレンディ・ア 1 単点・学習(aprender a+不定詞)

v. ～の仕方を習った 「動詞句」

pilotar ピロタル 不定詞 v.t 操縦する 「動詞」

aviones. アビョネス pl.n.m 飛行機を 「目的語」

Volé ボレ 1 単点(volar)v.i 飛び回った 「動詞」

un poco por todo el mundo. ウン・ポコ・ホル・トド・エル・ムント

adv. ほとんどいたるところを、ほぼ世界中を 「副詞句」

確かに、地理学は大いに私の役に立った。

Es cierto que la geografía me sirvió de mucho.

「動詞」「補語」「主語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

cierto シエルト adj. 確かな 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

la geografía ラ・ヘグラフィア n.f 地理学は 「主語」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

## I

sirvió シルビョ 3 単点(servir)v.i 役に立った

「動詞」

de mucho. テ・ムチョ adv. 大いに

「副詞句」

「～は確かだ。」→「確かに～だ。」

地理学を勉強していたおかげで、一目で中国とアリゾナ州を見分けることが出来た。

Al primer golpe de vista estaba en condiciones de distinguir China de Arizona.

「副詞句」, 「動詞」 「補語」

Al primer golpe de vista アル・プリメル・ゴルペ・デ・ビスタ adv. 一目で

「副詞句」

primero プリメロ adj. 最初の golpe ゴルペ n.m 一撃 vista ビスタ n.f 視線

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

en condiciones エン・コンディシオネス adv. 良い状態の → 準備が出来た

「補語」

de distinguir テ・ディストングァイール adv. 見分けるために

「副詞句」

「見分ける準備が出来ていた」→「見分けることができた」

China de Arizona. チナ・デ・アリゾナ n.f 中国とアリゾナ州を

「目的語」

フランス語原文では、

Je savais reconnaître と簡素な表現である。スペイン語では単純に、podía distinguir とせず含みを持たせているところがスペイン人の感性なのかもしれない

夜間、道に迷ってしまったら、地理学は大変役に立つ。

Es muy útil si uno llega a extraviarse durante la noche.

「動詞」 「補語」 「副詞節」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

muy útil ムイ・ウティル adj. 大変役に立つ

「補語」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

uno ウーノ pron 誰かが

「主語」

llega a extraviarse ジェガ・ア・エクストラビアルセ 3 単現・結果(llegar a+不定詞)

v.pr 道に迷うことになる

「動詞句」

durante la noche. ドゥランテ・ラ・ナチェ adv. 夜の間に、夜間に

「副詞句」

このようにして僕の人生の流れにおいて、沢山の真面目な人たちと沢山の交際をした。

Tuve así, en el curso de mi vida, muchísimas relaciones con muchísima gente seria.

「動詞」 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」

Tuve トゥヘ 1 単点(tener)v.t を持った

「動詞」

así, アシ adv. このようにして

「副詞」

en el curso de mi vida, エ・ネル・クル・デ・ミ・ビダ adv. 僕の人生の流れにおいて

「副詞句」

muchísimas relaciones ムキシマス・レラシオネス pl.n.f 沢山の交際を

「目的語」

mucho + -ísimo → muchísimo → muchísimas adj.f (絶対最上級) たくさんの

フランス語原文では、

## I

con muchísima gente seria. コン・キシマ・ヘンテ・セリア adv. 沢山のまじめな人たちと 「副詞句」

長い間大人の人たちと一緒に暮らして、とても近くから彼らを見てきた。この経験を通して、僕は大人に対する見解をあまり改善することはなかった。

Viví mucho con personas grandes. Las he visto muy de cerca. No he mejorado excesivamente mi opinión.

「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「目的語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」「副詞」「目的語」

Viví ビビ 1 単点(vivir)v.i 暮らした 「動詞」

mucho ムチョ adv. たくさん、長い間 「副詞」

con personas grandes. コン・ペルナス・グランデス adv. 大人の人たちと 「副詞句」

Las ラス pron.pl. 彼らを 「目的語」

he visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t 見てきた 「動詞句」

muy de cerca. マイ・デ・セカ adv. とても近くから 「副詞」

No he mejorado ノ・エ・メホラド 1 単現・完了形・否定(mejorar)v.t 改善しなかった 「動詞句」

excesivamente エクセシバメンテ adv. 過度に、(否定文で) あまり 「副詞」

mi opinión. ミ・ピニオン n.f 僕の見解を 「目的語」

少し聡明そうな大人の人に会った時は、いつも持ち歩いていた僕のデッサン第 1 号を使って試験をした。

Cuando encontré alguna que me pareció un poco lúcida, hice la experiencia de mi dibujo número 1, que siempre he conservado. 「副詞節」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

Cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t 出会った 「動詞」

alguna アルグナ pron (alguna persona grande の略) 大人の人の誰かに 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように見えた 「動詞」

un poco lúcida, ウン・ポコ・ルダ adj.f 少し聡明な 「補語」

hice イェ 1 単点(hacer)v.t ～をした 「動詞」

la experiencia ラ・エクスぺリエンシア n.f 試験を 「目的語」

de mi dibujo número 1, デ・ミ・ディブ・ヌメロ・ウー adv. 僕のデッサン第 1 号で 「副詞句」

que ケ pron ～する 「形容詞節」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

he conservado. エ・コンセルバド 1 単現・完了形(conservar)

v.t 保管していた、持っていた 「動詞句」

## I

僕は、その人が本当に物わかりが良い人かどうかを知りたかったのだ。でも、大人の人はいつも僕に答えた。「それは帽子だよ。」その時は、その人には、ボア大蛇についても、原始林についても、星についても話さなかった。

Quería saber si era verdaderamente comprensiva. Pero siempre me respondía: «Es un sombrero.» Entonces no le hablaba ni de serpientes boas, ni de bosques vírgenes, ni de estrellas. 「動詞句」「目的語」 | Pero 「副詞」「間接目的語」「動詞」:《「動詞」「補語」》  
「副詞」「動詞句」「目的語」

Quería saber クリア・サベル 1 単線・願望(querer+不定詞)v.t 知りたかった 「動詞句」  
si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」  
era エラ 3 単線(ser)v.i (時制の一致) (その人が) ～である 「動詞」  
verdaderamente ベルダデラメンテ adv. 本当に 「副詞」  
comprensiva. コンプレンシバ adj. 物わかりの良い 「補語」  
Pero ペロ conj. しかし  
siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」  
me メ pron 僕に 「間接目的語」  
respondía: レスポンティア 3 単線(responder)v.t 答えた 「動詞」  
Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
un sombrero. ウン・ソンブレロ n.m 帽子 「補語」  
Entonces エントンセス adv. それで、その時は 「副詞」  
no le hablaba ノ・レ・アブラハ 1 単線・否定(hablar+le)v.i その人に話さなかった 「動詞句」  
ni serpientes boas, ニ・セルピエンテス・ボアス pl.n.f ボア大蛇についても 「目的語」  
ni de bosques vírgenes, ニ・デ・ボスケス・ビルヘネス pl.n.m 原始林についても 「目的語」  
ni de estrellas. ニ・デ・エストレジャス pl.n.f 星についても 「目的語」  
ni は並列否定に用いられる「～も～もない」  
(名詞の並列否定) No tengo ni padre ni madre. 私には父も母もない。(No が必要)  
(動詞の並列否定) Ni fuma ni bebe. 彼は煙草も吸わないし、酒も飲まない。(No は不要)

ぼくはその人の好みに合わせて、ブリッジやゴルフや政治やネクタイのことを話した。

Me ponía a su altura. Le hablaba de bridge, de golf, de política y de corbatas.  
「動詞句」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」  
Me ponía メ・ポニア 1 単線(ponerse)v.pr 自分の身を置いた 「動詞句」  
a su altura. ア・ス・アルトゥラ adv. その人の高さ 「副詞句」  
→ その人のレベルや好みに合わせた  
Le レ pron その人には 「間接目的語」  
hablaba アブラハ 1 単線(hablar)v.i (de について) 話した 「動詞」  
de bridge, デ・ブリッジ adv. ブリッジのこと 「間接目的語」

## II

de golf, テ・ゴルフ adv. ゴルフのこと 「間接目的語」

de política テ・ポリチカ adv. 政治のこと 「間接目的語」

y イ conj. そして

de corbatas, テ・コルバタス adv. ネクタイのこと 「間接目的語」

そうすると、その大人は、僕がこれほど分別があると知ってとても満足するのだった。

Y la persona grande se quedaba muy satisfecha de haber conocido a un hombre tan razonable. Y 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

Y イ conj. そうすると

la persona grande ラ・ペルソナ・グランデ n.f その大人の人は 「主語」

se quedaba セ・クタバ 3 単線(quedarse)v.pr すっかり～の状態になった 「動詞句」

muy satisfecha ムイ・サティスフェチャ adj.f とても満足した 「補語」

de +不定詞・完了形 テ adv. (原因) ～したことで 「副詞句」

haber conocido アベル・コノシト 不定詞・完了形(conocer)v.t 知った 「動詞句」

a un hombre ア・ウン・オンブレ n.m 男が 「目的語」

tan razonable. タン・ラソナブレ adj. かくも分別のあと 「補語」

## II

6 年前サハラ砂漠での故障が起こるまで、このように (大人の話題に合わせて)、本心でおしゃべりする相手が誰もいないまま、一人で暮らしていた。

Viví así, solo, sin nadie con quien hablar verdaderamente, hasta que tuve una avería en el desierto del Sahara, hace seis años. 「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Viví ビビ 1 単点(vivir)v.i 暮らした 「動詞」

así, solo, アシ・ソロ adv. このように一人で 「副詞句」

sin nadie シン・ナディエ adv. 誰もいないままで 「副詞句」

con quien hablar コン・キエン・アブラール adj. 一緒におしゃべりする 「形容詞句」

verdaderamente, ベルダデラメンテ adv. 本当に、本心で 「副詞」

hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t 持つ 「動詞」

una avería ウナ・アベリア n.f 故障 「目的語」

en el desierto del Sahara, エ・ネル・デ・シエルト・デル・サハラ adv. サハラ砂漠で 「副詞句」

hace seis años. アセ・セイス・アニョス adv. 6 年前 「副詞句」

## II

何かが僕のエンジンの中で壊れたのだ。そして僕と一緒に整備士も乗客もいなかったの、僕はたった一人で困難な修理をやり遂げようとした。

Algo se había roto en mi motor. Y como no tenía conmigo ni mecánico ni pasajeros, me dispuse a realizar, solo, una reparación difícil.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | Y 「副詞節」, 「動詞句」「副詞」「目的語」  
 Algo アルゴ pron 何かが 「主語」  
 se había roto セ・アビ・ア・ロト 3 単線・完了形(romperse)v.pr 壊れた 「動詞句」  
 en mi motor. エン・ミ・モトル adv. 僕のエンジンの中で 「副詞句」  
 Y イ conj. そして  
 como コモ conj. ～なので 「副詞節」  
 no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t いなかった 「動詞句」  
 conmigo コンミゴ adv. 一緒に 「副詞」  
 ni mecánico ni pasajeros, ニ・メカニコ・ニ・パ・サハロス  
 pl.n.m 整備士も乗客も～ない 「目的語」  
 me dispuse a +不定詞 メ・ディプセ・ア 1 単点・準備(disponerse a+不定詞)  
 v.t ～する準備をした、～しようとした 「動詞句」  
 realizar, レアリサル 不定詞 v.t 実行する、実現する 「動詞」  
 solo, ソロ adv. 一人で 「副詞」  
 una reparación difícil. ウナ・レパ・ラシオン・ディフィシル n.f 困難な修理を 「目的語」

僕にとっては、生きるか死ぬかの問題だった。せいぜい一週間分の水があった。

Era, para mí, cuestión de vida o muerte. Tenía agua apenas para ocho días.

「動詞」「副詞句」「補語」 | 「動詞」「目的語」「形容詞句」  
 Era, エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」  
 para mí, パラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」  
 cuestión クエスチオン n.f 問題 「補語」  
 de vida o muerte. デ・ビダ・オ・ムエルテ adj. 生きるか死ぬかの 「形容詞句」  
 Tenía テニア 1 単線(tener)v.t あった 「動詞」  
 agua アグア n.f 水 「目的語」  
 apenas アペナス adv. やっと、どうにか、せいぜい 「副詞」  
 para ocho días. パラ・オチョ・ディアス adj. 一週間分の 「形容詞句」  
 今日の曜日から一週間後の同じ曜日までの 8 日間



## II

最初の夜、人が住んでいる全ての土地から千マイルも離れた砂の上で寝た。

La primera noche dormí sobre la arena a mil millas de toda tierra habitada.

「副詞句」「動詞」「副詞句」

La primera noche ラ・プリメラ・ノチェ n.f 最初の夜

「副詞句」

dormí ドルミ 1 単点(dormir)v.i 寝た

「動詞」

sobre la arena ソブレ・ラ・アレナ adv. 砂の上に (で)

「副詞句」

a mil millas ア・ミル・ミジャス adv. 千マイルの所に

「副詞句」

de toda tierra デ・トダ・ティエラ adv. 全ての土地から

「副詞句」

habitada. アビタダ adj.f (tierra に性・数一致) 人が住んでいる「形容詞」

大海の真ん中で難破してゴムボートに乗っている人より、もっと孤立していた。

Estaba más aislado que un naufrago sobre una balsa en medio del océano.

「動詞」「補語」「副詞句」

Estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i 〜だった

「動詞」

más aislado マス・アイスラト adj. ずっと孤立した

「補語」

que ケ conj. 〜よりも

「副詞句」

un naufrago ウン・ナフラゴ n.m 難破した人

「目的語」

sobre una balsa ソブレ・ウナ・バルサ adv. ゴムボートで

「副詞句」

en medio del océano. エン・メディオ・デル・オセアノ adv. 大海の真ん中で「副詞句」

だから夜明けに、奇妙な可愛らしい声が、僕を起こした時の驚きを想像できるだろう？

Imaginaos, pues, mi sorpresa cuando, al romper el día, me despertó una extraña vocecita que decía:

「動詞句」「副詞」「目的語」「形容詞節」

Imaginaos, イマヒャオス 命・2 複現(Imaginados の d が消失する)(imaginarse)

v.t 想像してごらん、想像できるだろう？

「動詞句」

pues, プエス adv. だから

「副詞」

mi sorpresa ミ・ソルプレサ n.f 僕の驚きを

「目的語」

cuando, クワント conj. 〜する時の

「形容詞節」

al +不定詞 アル adv. 〜する時に

「副詞句」

romper ロンペール 不定詞 v.i 始まる

「動詞」

el día, エル・デイア n.m 1 日が

「主語」

→ 夜明けに

me メ pron 僕を

「目的語」

despertó デスペルト 3 単点(despertar)v.t 呼び起こした

「動詞」

una extraña vocecita ウナ・エクストラニャ・ボセタ n.f 奇妙な可愛らしい声が

「主語」

extraña エクストラニャ adj.f 奇妙な vocecita ボセタ n.f 小声、可愛らしい声

## II

que ケ pron ～する

「形容詞節」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

「お願いだから、僕に子羊を描いてちょうだい！」

--- Por favor ..., ¡dibújame un cordero!

《「呼びかけ」「動詞句」「目的語」》

Por favor ..., ホル・ファボール adv. お願いだから

「呼びかけ」

¡dibújame デイブ・ハ・メ 命・2 単現(dibujar+me)v.t 僕に描いてちょうだい

「動詞句」

me は「間接目的語」「僕のために」

un cordero! ウン・コルデロ n.m 子羊を

「目的語」

「え？」

--- ¿Eh?

《「間投」》

¿Eh? エ int. なに?、え?

「間投」

「僕に子羊を描いてちょうだい！」

--- Dibújame un cordero...

《「動詞句」「目的語」》

dibújame デイブ・ハ・メ 命・2 単現(dibujar+me)v.t 僕に描いてちょうだい

「動詞句」

un cordero ウン・コルデロ n.m 子羊を

「目的語」

僕は、雷に打たれたかのように跳び起きた。目をこすった。あたりをよく見た。

Me puse en pie de un salto, como golpeado por un rayo. Me froté los ojos. Miré bien.

「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「副詞」

Me puse メ・プセ 1 単点(ponerse)v.pr (姿勢を) とった

「動詞句」

en pie エン・ピエ adv. 足の上に

「副詞句」

de un salto, デ・ウン・サルト adv. 一飛びで

「副詞句」

→ 跳び起きた

como コモ adv. ～のように

「副詞句」

golpeado ゴルペアド 過去分詞・受動(golpear)v.t 打たれた

「動詞」

por un rayo. ホル・ウン・ラジョ adv. 雷に

「副詞句」

Me froté メ・フロテ 1 単点(frotarse)v.pr こすった

「動詞句」

los ojos. ロス・オス pl.n.m 目を

「目的語」

Miré シレ 1 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

bien. ビヤン adv. よく

「副詞」

## II

すると、全く不思議な男の子が、僕を真剣に眺めているのが見えた。

Y vi un hombrecito enteramente extraordinario que me examinaba gravemente.

Y 「動詞」「目的語」「形容詞節」

Y イ conj. そして

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

un hombrecito ウン・オンブレシト n.m 男の子を

「目的語」

hombrecito : hombre+-cito 「小さい」

enteramente extraordinario エンテラメント・エクストラオルテ・イナリオ

adj. 全く不思議な

「形容詞句」

que ケ pron ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕を

「目的語」

examinaba エキサナバ 3 単線(examinar)v.t 調査していた、眺めていた

「動詞」

gravemente. グラヘメント adv. 真剣に

「副詞」

ここに、後になって描くことが出来た最良の肖像画がある。

He aquí el mejor retrato que, más tarde, logré hacer de él.

「動詞」「副詞」「目的語」「形容詞節」

He エ 3 単現(haber)v.t ある

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

el mejor retrato エル・メホル・レtrato n.m 最良の肖像画

「目的語」

que, ケ pron ～する

「形容詞節」

más tarde, マス・タルテ adv. 後になって

「副詞句」

logré hacer ログレ・アセル 1 単点・達成(lograr+不定詞)

v.t 描くことが出来た

「動詞句」

de él. デ・エル adj. 彼の (肖像画)

「形容詞句」

しかし、たしかに僕の絵は、実物に比べるとかなり魅力に欠けている。

Pero seguramente mi dibujo es mucho menos encantador que el modelo.

Pero 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

seguramente セグラメント adv. たしかに

「副詞」

mi dibujo ミ・ディブホ n.m 僕の絵は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

mucho menos encantador ムチョ・メノス・エンカントール adj. かなり魅力に欠けている

「補語」

que el modelo. ケ・エル・モデロ adv. 実物よりも

「副詞句」

## II

それは僕の責任ではない。僕が 6 歳の時に、大人達が絵描きの職業に進むことをあきらめさせたので、中が見えないボアと中に見えるボアしか描き方を学ばなかったのだ。

No es por mi culpa. Las personas grandes me desalentaron de mi carrera de pintor cuando tenía seis años y sólo había aprendido a dibujar las boas cerradas y las boas abiertas.

「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「副詞節」  
y 「動詞句」「目的語」

No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」  
por mi culpa. ポル・ミ・クルパ adv. 僕の責任による 「補語」  
Las personas grandes ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人たちが 「主語」  
me メ pron 僕に 「間接目的語」  
desalentaron デサレンタロン 3 複数(desalentar)v.t 気落ちさせた 「動詞」  
de mi carrera de pintor デ・ミ・カララ・デ・ピントール adv. 絵描きの職業から 「副詞句」  
cuando クワンド conj. ~する時 「副詞節」  
tenía テニア 1 単線(tener)v.t (年齢が) ~歳であった 「動詞」  
seis años セイス・アニョス pl.n.m 6 歳 「目的語」  
y イ conj. それで  
sólo había aprendido a +不定詞 ソロ・アビ・ア・アプレンディト・ア 1 単現・完了形  
(aprender a+不定詞)v.t ~のやりかたしか学ばなかった 「動詞句」  
dibujar デイブ・ハール 不定詞 v.t 描く 「動詞」  
las boas cerradas y las boas abiertas. ラス・ボアス・セラダス・イ・ラス・ボアス・アビエルタス  
pl.n.f 中が見えないボアと中に見えるボア 「目的語」

それで僕は、驚きのために見開いた眼でその出現者を見つめた。忘れないでほしい、この時僕は、人の住むあらゆる地域から千マイルも離れた所にいたのだ。

Miré, pues, la aparición con los ojos absortos por el asombro. No olvidéis que me encontraba a mil millas de toda región habitada.

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

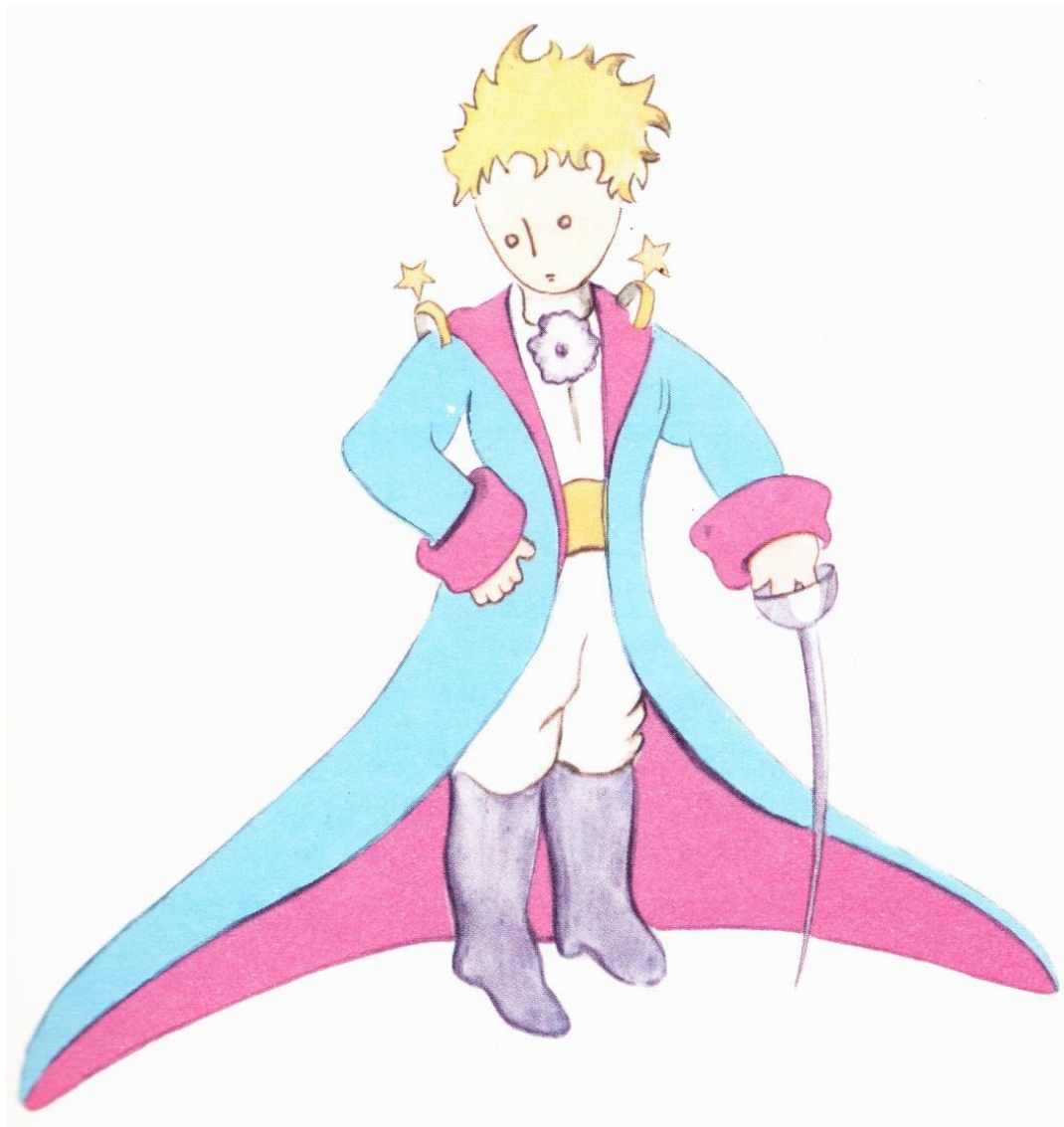
Miré, ミレ 1 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」  
pues, フ・エス adv. それで 「副詞」  
la aparición ラ・アパリシオン n.f その出現者を 「目的語」  
con los ojos absortos コン・ロス・オス・アブソルトス adv. 見開いた眼で 「副詞句」  
absorto アブソルト adj. 没頭した、驚いた、呆然とした、目を見張る  
por el asombro. ポル・エル・アソンブロ adv. 驚きのために 「副詞句」  
No olvidéis ノ・オルビデイス 命・2 複数・否定(olvidar)v.t 忘れないでほしい 「動詞句」  
que ケ conj. ~ということ 「目的語」  
me encontraba メ・エンコントラバ 1 単線(encontrarse)v.pr (場所に) いた 「動詞句」

## II

a mil millas ア・ミル・ミジャス adv. 千マイルの所に 「副詞句」

de toda región デ・トダ・レヒオン adv. 全ての地域から 「副詞句」

habitada. アビタダ adj.f (región に性・数一致) 人が住んでいる 「形容詞」



その上この男の子は、僕からすると、道に迷った風にも、疲労で死にそうにも、空腹で死にそうにも、喉が渴いて死にそうにも、恐怖で死にそうにも見えなかった。

Además, el hombrecito no me parecía ni extraviado, ni muerto de fatiga, ni muerto de hambre, ni muerto de sed, ni muerto de miedo.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「補語」

Además, アデマス adv. その上 「副詞」

el hombrecito エル・オブブレイト n.m この男の子は 「主語」

## II

no ...parecía ノ...パレシア 3 単線・否定(parecer)v.i. ーのように見えなかった 「動詞句」  
 me メ pron 僕には 「間接目的語」  
 ni extraviado, ニ・エクストラビアド adj. (ni は否定の併記) 道に迷ったーでない 「補語」  
 ni muerto de fatiga, ニ・ムエルト・デ・ファティガ adj. 疲労で死にそうなーでない 「補語」  
 muerto ムエルト adj. 死にそうな de デ prep ーのために fatiga ファティガ n.f 疲労  
 ni muerto de hambre, ニ・ムエルト・デ・アンブレ adj. 空腹で死にそうなーでない 「補語」  
 ni muerto de sed, ニ・ムエルト・デ・セト adj. 喉が渴いて死にそうなーでない 「補語」  
 ni muerto de miedo. ニ・ムエルト・デ・ミエト adj. 恐怖で死にそうなーでない 「補語」  
 hambre アンブレ n.f 空腹 sed セト n.f 喉の渴き miedo ミエト n.m 恐怖

人が住むあらゆる地域から千マイルも離れた砂漠の真ん中で、途方に暮れた子供といった  
 様子が全くなかった。僕はやっと口がきけるようになって、彼に言った。

No tenía en absoluto la apariencia de un niño perdido en medio del desierto, a mil millas de toda región habitada. Cuando al fin logré hablar, le dije:

「動詞句」「目的語」「形容詞節」 | 「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」

No tenía en absoluto ノ・テニア・エン・アブソルト 3 単線・否定(tener)v.t 全くなかった 「動詞句」  
 en absoluto エン・アブソルト adv. (否定文で) まったく (ーでない)  
 la apariencia ラ・アパリエンシア n.f 様子、外観、見かけ 「目的語」  
 de un niño perdido デ・ウン・ニョ・ペルテイト adj. 途方に暮れた子供の 「形容詞句」  
 perdido ペルテイト adj. 途方に暮れた、道に迷った  
 en medio del desierto, エン・メディオ・デル・デシエルト adv. 砂漠の真ん中で 「副詞句」  
 a mil millas de toda región habitada. ア・ミル・ミジャス・デ・トダ・レヒオン・アビタダ  
 adv. 人が住むあらゆる地域から千マイルの所で 「副詞句」  
 Cuando クワント conj. ーする時 「副詞節」  
 al fin アル・フィン adv. ついに、やっと 「副詞句」  
 logré hablar, ログレ・アブラール 1 単点・達成(lograr+不定詞)  
 v.i 話せるようになった 「動詞句」  
 le レ pron 彼に 「間接目的語」  
 dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「でも... こんなところで何をしているの？」

--- Pero ... ¿qué haces aquí? 《Pero 「目的語」「動詞」「副詞」》  
 Pero ... ペロ conj. でも  
 ¿qué ケ pron 何を 「目的語」  
 haces アセス 2 単現(hacer)v.t している 「動詞」  
 aquí? アキ adv. ここで 「副詞」

## II

すると、彼はとても重大な事のようにとても静かに繰り返した。

Repitió entonces, muy suavemente, como si fuese una cosa muy seria:

「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Repitió レピティó 3 単点(repetir)v.t 繰り返した

「動詞」

entonces, エントンセス adv. すると

「副詞」

muy suavemente, ムイ・スワベメンテ adv. とても静かに

「副詞句」

suavemente スワベメンテ adv. そつと、静かに

como コモ conj. ~のように

「副詞節」

si シ conj. もし~なら、もしかして~

「強調」

fuese フエセ 接・3 単過(ser)v.i ~である

「動詞」

una cosa muy seria: ウナ・コサ・ムイ・セリア n.f とても重大な事

「補語」

「お願いだから、僕に子羊を描いてちょうだい！」

--- Por favor ..., dibújame un cordero...

《「呼びかけ」「動詞句」「目的語」》

Por favor ..., ホル・ファボール adv. お願いだから

「呼びかけ」

i dibújame デイブハ・メ 命・2 単現(dibujar+me)v.t 僕に描いてちょうだい

「動詞句」

me は「間接目的語」「僕のために」

un cordero! ウン・コルデロ n.m 子羊を

「目的語」

神秘があまりにも感動的な時には、それに従わずにはいられないものだ。

Cuando el misterio es demasiado impresionante no es posible desobedecer.

「副詞節」, 「動詞句」「補語」「主語」

Cuando クワント conj. ~する時

「副詞節」

el misterio エル・ミステリオ n.m 神秘が、謎が

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

demasiado impresionante デマシアト・インプレシヨナnte adj. あまりにも感動的な「補語」

demasiado デマシアト adv. あまりにも impresionante インプレシヨナnte adj. 感動的な

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない

「動詞句」

posible ポシブレ adj. 可能な

「補語」

desobedecer. デソベデセール 不定詞 v.t 従わない事は

「主語」



## II

人が住んでいる全ての場所から千マイルも離れたところで、しかも死の危険にさらされながら、羊の絵を描くなんてことは、馬鹿げた事と思われたが、僕はポケットから 1 枚の紙と万年筆を取り出した。

Por absurdo que me pareciese, a mil millas de todo lugar habitado y en peligro de muerte, saqué del bolsillo una hoja de papel y una estilográfica.

「補語」「間接目的語」「動詞」, 「副詞句」

「動詞」「副詞句」「目的語」

Por absurdo ホル・アブ・シュルト adv. 馬鹿げた事と 「補語」  
 que ケ conj. (主語と動詞の間に挿入して逆接) ～ではあるが  
 me メ pron 自分に 「間接目的語」  
 pareciese, パレシエ 接・1 単過(parecer)v.i. ～のように見えた 「動詞」  
 a mil millas ア・ミル・ミジャス adv. 千マイルの所に 「副詞句」  
 de todo lugar デ・トド・ルガール adv. 全ての場所から 「副詞句」  
 habitado. アビタド adj.f (lugar に性・数一致) 人が住んでいる 「形容詞」  
 y イ conj. そして  
 en peligro de muerte, エン・ペリグロ・デ・ムエルテ adv. 死の危険の中で 「副詞句」  
 peligro ペリグロ n.m 危険 muerte ムエルテ n.f 死  
 saqué サケ 1 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」  
 del bolsillo デル・ボルスジョ adv. ポケットから 「副詞句」  
 una hoja de papel ウナ・オハ・デ・パペル n.f 紙を 1 枚 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 una estilográfica. ウナ・エスティログラフィカ n.f 万年筆 「目的語」

その時、僕は主に地理学、歴史学、計算そして文法を勉強したことを思い出して、その坊やに (少し不機嫌な様子で) 「絵は描けない」と言った。すると彼は答えた。

Recordé entonces que había estudiado principalmente geografía, historia, cálculo y gramática, y dije al hombrecito (con un poco de mal humor) que no sabía dibujar. Me contestó: 「動詞」「副詞」「目的語」 y 「動詞」「間接目的語」(「副詞句」)「直接目的語」  
 「間接目的語」「動詞」

Recordé レコルデ 1 単点(recordar)v.t 思い出した 「動詞」  
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」  
 que ケ conj. ～といういことを 「目的語」  
 había estudiado アビア・エスタディアド 1 単線・完了形(estudiar)v.t 勉強した 「動詞句」  
 principalmente プリンシパルメンテ adv. 主に 「副詞」  
 geografía, historia, cálculo y gramática, ヘオグラフィーア・イストリア・カルクロ・グラマティカ  
 pl.n. 地理学、歴史学、計算そして文法を 「目的語」

## II

y イ conj. そして

dije ディエ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al hombrecito アル・オンブレイト adv. その坊やに

「間接目的語」

(con un poco de mal humor) コン・ウン・ポコ・デ・マル・ウモール

adv. 少し機嫌の悪い様子で

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

no sabía dibujar. ノ・サビ・ア・ディブ・ハル 1 単線・可能・否定(saber+不定詞)

v.t 描けない

「動詞句」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

「構わないよ！僕に子羊を描いてちょうだい！」

--- No importa. Dibújame un cordero.

《「動詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

No importa. ノ・インポルタ 3 単現・否定(importar)v.i 重要ではない、構わない

「動詞句」

dibújame ディブ・ハ・メ 命・2 単現(dibujar+me)v.t 僕に描いてちょうだい

「動詞句」

un cordero. ウン・コルデロ n.m 子羊を

「目的語」

僕は羊の絵を描いたことが一度もなかったもので、描くことが出来た 2 つの絵のうちの 1 つを描いた。

Como jamás había dibujado un cordero, rehíce uno de los dos únicos dibujos que era capaz de hacer.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」「形容詞句」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

jamás ハマス adv. 一度も～ない

「副詞」

había dibujado アビ・ア・ディブ・ハト 1 単線・完了形(dibujar)v.t 絵を描いた

「動詞句」

un cordero, ウン・コウデロ n.m 羊を

「目的語」

rehíce レヘ 1 単点(rehacer)v.t また描いた

「動詞」

uno ウノ pron 一つの絵を

「目的語」

de los dos únicos dibujos デ・ロス・トス・ウニコス・ディブ・ホス adj. 2 つの絵の内の「形容詞句」

que ケ pron ～する

「形容詞節」

era エラ 1 単線(ser)v.i ～であった

「動詞」

capaz de hacer. カ・パ・ス・デ・アセル adj. 描くことが出来る

「補語」



中に見えないボア大蛇の絵である。そしてその坊やが僕に答えたことを聞いて、僕はびっくり仰天した。

El de la boa cerrada. Quedé estupefacto cuando oí al hombrecito que me respondía:

「主語」 | 「動詞」「補語」「副詞節」

## II

El エル pron (dibujo の代用) 絵である	「主語」
de la boa cerrada. テ・ラ・ボア・セラダ adj. 中の見えないボア大蛇の	「形容詞句」
Quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i (+補語) 〜になった	「動詞」
estupefacto エストゥェ・ファクト adj. びっくり仰天した	「補語」
cuando クワント conj. 〜する時、〜して	「副詞節」
oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞いた	「動詞」
al hombrecito アル・オンブレイト adv. その坊やの	「間接目的語」
que ケ conj. 〜ということ	「直接目的語」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
respondía: レスポンデ・イア 3 単線(responder)v.t 答えた	「動詞」

「違う、違う！僕はボア大蛇に飲み込まれた象なんて欲しくないよ。ボア大蛇はとても危険だし、象はとても場所ふさぎなんだから。」

--- ¡No! ¡No! No quiero un elefante dentro de una boa. Una boa es muy peligrosa y un elefante muy voluminoso.

《「応答」   「動詞句」「目的語」   「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「補語」》	
¡No! ¡No! ノ・ノ adv. 違う、違う	「応答」
No quiero ノ・キエロ 1 単現・否定(querer)v.t 欲しくない	「動詞句」
un elefante ウン・エレファンテ n.m 象なんて	「目的語」
dentro de una boa. デントロ・デ・ウナ・ボア adj. ボア大蛇に飲み込まれた	「形容詞句」
Una boa ウナ・ボア n.f ボア大蛇は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
muy peligrososa ムイ・ペリグロサ adj.f とても危険な	「補語」
y イ conj. そして	
un elefante ウン・エレファンテ n.m 象は	「主語」
muy voluminoso. ムイ・ボルミノソ adj. とてもかさばる、場所ふさぎな	「補語」

「僕の所は、本当に小さいんだ。だから子羊が必要なんだ。僕に子羊を描いて。」

En mi casa todo es pequeño. Necesito un cordero. Dibújame un cordero.

《「副詞句」「動詞」「補語」   「動詞」「目的語」   「動詞句」「目的語」》	
En mi casa todo エン・ミ・カサ adv. 僕のところは	「副詞句」
todo は強調	
es エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
pequeño. ペケニョ adj. 小さい	「補語」
Necesito ネシト 1 単現(necesitar)v.t 〜が必要である	「動詞」
un cordero. ウン・コルデロ n.m 子羊	「目的語」

## II

Dibújame デイブハメ 命・2 単現(dibujar+me)v.t 僕に描いてちょうだい 「動詞句」  
 un cordero. ウン・コルデロ n.m 子羊を 「目的語」

それで僕は描いた。その坊やは注意深く眺めてから、言った。

Entonces dibujé. El hombrecito miró atentamente. Luego dijo:

「副詞」「動詞」 | 「主語」「動詞」「副詞」 | 「副詞」「動詞」

Entonces エントンス adv. それで 「副詞」  
 dibujé. デイブハ 1 単点(dibujar)v.t 描いた 「動詞」  
 El hombrecito エル・オンブレイト n.m その坊やは 「主語」  
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た、眺めた 「動詞」  
 atentamente. アテンタメンテ adv. 注意深く 「副詞」  
 Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」  
 dijo: デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「いや違うよ！この子羊はひどい病気にかかっている。別のを描いてよ！僕は別のを描いた。僕の友人は寛大な態度で優しく微笑んだ。」

--- ¡No! Este cordero está muy enfermo. Haz otro. Yo dibujaba. Mi amigo sonrió amablemente, con indulgencia: 《「応答」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」  
 「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

¡No! ノ adv. いや違うよ！ 「応答」  
 Este cordero エステ・コルデロ n.m この子羊は 「主語」  
 está エスタ 3 単現 (ser) v.i ~である 「動詞」  
 muy enfermo. ムイ・エンフェルモ adj. ひどい病気の 「補語」  
 Haz アス 命・2 単現(hacer)v.t 描いてちょうだい 「動詞」  
 otro. オトロ pron 他の羊を 「目的語」  
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 dibujaba. デイブハハ 1 単線(dibujar)v.t 描いた 「動詞」  
 Mi amigo ミ・アミゴ n.m 僕の友人は 「主語」  
 sonrió ソリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ 「動詞」  
 amablemente, アマブラメンテ adv. 優しく 「副詞」  
 con indulgencia: コン・イントルンシア adv. 寛大な態度で 「副詞句」

「よく見てよ！これはおとなしい子羊じゃあなくて、気の荒い雄羊だよ。だって角があるもの。」

---¿Ves?... No es un cordero; es un carnero. Tiene cuernos...

《「動詞」 | 「動詞句」「補語」；「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》



## II

¿Ves?... ベス 2 単現・命令(ver)v.t よく見てよ	「動詞」
No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない	「動詞句」
un cordero; ウン・コルデロ n.m おとなしい子羊	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
un carnero. ウン・カルネロ n.m 気の荒い雄羊	「補語」
Tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t ある	「動詞」
cuernos... クエルノス pl.n.m 角	「目的語」

それで、もう一度僕の絵を描きなおした。しかし彼はそれを前作と同様に拒否した。

Rehíce, pues, otra vez mi dibujo. Pero lo rechazó como los anteriores:

「動詞」「副詞句」「目的語」 | Pero 「目的語」「動詞」「副詞句」

Rehíce, レイセ 1 単点(rehacer)v.t 描きなおした	「動詞」
pues, プ・エス adv. それで	「副詞」
otra vez オトラ・ベス adv. もう一度	「副詞句」
mi dibujo. ミ・ディブホ n.m 僕の絵を	「目的語」
Pero ペロ conj. しかし	
lo ロ pron それを	「目的語」
rechazó レチャソ 3 単点(rechazar)v.t 拒絶した、却下した	「動詞」
como los anteriores: コモ・ロス・アンテリオス adv. 前作と同様に	「副詞句」
anterior アンテリオール adj. 前の lo anterior ロ・アンテリオール n.m 前作	



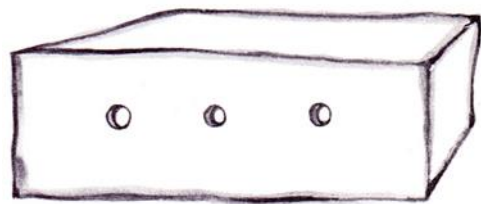
「これは年をとりすぎているよ。僕は長生きしそうな羊が欲しいんだよ。」

--- Éste es demasiado viejo. Quiero un cordero que viva mucho tiempo.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

Éste エステ pron これは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
demasiado viejo. デマシアト・ビエホ adj. 年をとりすぎた	「補語」
demasiado デマシアト adv. あまりに viejo ビエホ adj. 年をとった	
Quiero キエロ 1 単現(querer)v.t 欲しい	「動詞」
un cordero ウン・コルデロ n.m 羊を	「目的語」
que ケ pron ~する	「形容詞節」
viva ビバ 接・3 単現(vivir)v.i 生きるだろう	「動詞」
mucho tiempo. ムチョ・ティエンホ n.m 長い間	「副詞句」

## II



それから、僕は急いでエンジンの分解をしたかったので、我慢しきれずに、こんな絵をなぐり描きして、彼に言った。

Entonces, impaciente, como tenía prisa por comenzar a desmontar mi motor, garabateé este dibujo. Y le largué: 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 | Y 「間接目的語」 「動詞」  
 Entonces, エントネス adv. それから 「副詞」  
 impaciente, インパシエンテ adj. 忍耐力のない (状態になって) 「副詞」  
 como コモ conj. ~なので 「副詞節」  
 tenía テニア 1 単線(tener)v.t あった 「動詞」  
 prisa プリサ n.f 緊急性 「目的語」  
 por +不定詞 ホル adj. ~するための 「形容詞句」  
 comenzar a desmontar コモンサル・ア・デスモンタル 不定詞・開始  
 v.t 分解を始める 「動詞句」  
 mi motor, ミ・モトル n.m エンジンを 「目的語」  
 garabateé ガラバテエ 1 単点(garabatear)v.t なぐり描きした 「動詞」  
 este dibujo. エステ・デブイホ n.m こんな絵を 「目的語」  
 Y イ conj. そして  
 le レ pron 彼に 「間接目的語」  
 largué: ラルゲ 1 単点(largar)v.t 言った 「動詞」

「これは箱だよ。君が欲しがっている羊は中にいるよ。」

--- Ésta es la caja. El cordero que quieres está dentro.

《「主語」 「動詞」 「補語」 | 「主語」 「動詞」 「副詞」》

Ésta エスタ pron これは 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 la caja. ラ・カハ n.f 箱 「補語」  
 El cordero エル・コルテロ n.m 羊は 「主語」  
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」  
 quieres キエレス 2 単現(querer)v.t 欲しがっている 「動詞」  
 está エスタ 3 単現(estar)v.i (存在) いる 「動詞」  
 dentro. デントロ adv. 中に 「副詞」

僕の幼い審判員の顔がパット輝いたのを見て、僕は本当に驚いた。

Quedé verdaderamente sorprendido al ver iluminarse el rostro de mi joven juez:

「動詞」 「補語」 「副詞句」

Quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i (～の状態に) なった

「動詞」

## II

verdaderamente sorprendido ベルダデラメンテ・ソルプレンデイト adj. 本当に驚いた 「補語」  
 al +不定詞 アル adv. ～して 「副詞句」  
 ver ベール 不定詞 v.t 見る 「動詞」  
 iluminarse イルミナルセ 不定詞 v.pr (顔が) 輝く 「補語」  
 el rostro エル・ロストロ n.m 顔が 「目的語」  
 de mi joven juez デ・ミ・ホベン・フエス adj. 僕の若い審判員の 「形容詞句」

「僕が欲しかったのは、まったくこんなのだったのさ！この羊は草を沢山食べると思う？」

--- ¡Es exactamente como lo quería! ¿Crees que necesitará mucha hierba este cordero?  
 《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》  
 ¡Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 exactamente エクサクタメンテ adv. まったく 「副詞」  
 como コモ conj. ～のような 「副詞句」  
 lo ロ pron それ 「目的語」  
 quería! クリア 1 単点(querer)v.t 欲しかった 「形容詞節」  
 副詞句全体が「補語」になっている  
 ¿Crees クレス 2 単現(creer)v.t (疑問文で) ～と思うかい？ 「動詞」  
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」  
 necesitará ネシタラ 3 単末(necesitar)v.t 必要とするだろう 「動詞」  
 mucha hierba ムチャ・イエルバ n.f 沢山の草を 「目的語」  
 este cordero? エステ・コルテロ n.m この羊は 「主語」

「どうして？」

---¿Por qué? 《「副詞句」》  
 ¿Por qué? ポル・ケ adv. なぜ？ どうして？ 「副詞句」

「なぜって、僕の所は本当に小さいから...」

--- Porque en mi casa todo es pequeño... 《Porque 「副詞句」「動詞」「補語」》  
 Porque ポルケ conj. なぜなら  
 en mi casa todo エン・ミ・カーサ・トド adv. 僕の所は 「副詞句」  
 todo は強調  
 es エス 3 単末(ser)v.i ～である 「動詞」  
 pequeño... ペケンニョ adj. 小さい 「補語」

## II

「きっと君の所に入ると思うよ。だってとても小さい羊をあげたんだから。」

--- Cabrá seguramente. Te he regalado un cordero bien pequeño.

《「動詞」「副詞」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Cabrá カブラ 3 単未・推量(caber)v.i (君の所に) 入るだろう 「動詞」

seguramente. セグラメンテ adv. おそらく、きっと 「副詞」

Te テ pron 君に 「間接目的語」

he regalado エ・レガラト 1 単現・完了形(regalar)v.t 贈った、あげた 「動詞句」

un cordero ウン・コルデロ n.m 羊を 「直接目的語」

bien pequeño. ビヤン・ペケニョ adj. とても小さい 「形容詞句」

彼は絵の方に頭を傾けて覗き込んだ。

Inclinó la cabeza hacia el dibujo :

「動詞」「目的語」「副詞句」

Inclinó インクリノ 3 単点(inclinar)v.t 傾けた 「動詞」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

hacia el dibujo : アシア・エル・ディブホ adv. 絵の方に 「副詞句」

「それほど小さくないな！おや！眠ってしまったよ。」

--- No tan pequeño ... ¡Mira! Se ha dormido ... 《「応答」 | 「間投」 | 「動詞句」》

No tan pequeño ... ノ・タン・ペケニョ adj. それほど小さくないな！ 「応答」

tan タン adv. (否定文で) それほど〜でない

¡Mira! ミラ adv. (驚き・奇異) おや！ 「間投」

Se ha dormido ... セ・ア・ドルミト 3 単遠・完了形(dormirse)v.pr 眠ってしまった 「動詞句」

このようにして僕はその王子様と知り合いになった。

Y fue así como conocí al principito.

Y 「動詞」「副詞」「主語」

Y イ conj. そして

fue フェ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」

así アシ adv. このように 「副詞」

como コモ conj. どのように〜するかということは、〜する様子は 「主語」

conocí コシ 1 単点(conocer)v.t 知り合いになった 「動詞」

al principito. アル・プリンスピト n.m その王子様と 「目的語」

ser/estar ... 関係詞節 「〜するのは…」という強調構文



## III

## III

僕が王子様がどこから来たのかを理解するには長い時間が必要だった。王子様は、僕を質問攻めにするけれど、僕の質問は全く聞いていないように見えた。

Necesité mucho tiempo para comprender de dónde venía. El principito, que me acosaba a preguntas, nunca parecía oír las mías.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「形容詞節」「副詞」「動詞句」「目的語」  
 Necesité ネシテ 1 単点(necesitar)v.t ~が必要だった 「動詞」  
 mucho tiempo ムチョ・ティエンポ n.m 長い時間が 「目的語」  
 para +不定詞 パラ adv. ~するためには 「副詞句」  
 comprender コンプレンデール 不定詞 v.t 理解する 「動詞」  
 de dónde デ・ドンデ n. どこから~したかということ 「目的語」  
 venía. ベニア 3 単線(venir)v.i 来た 「動詞」  
 El principito, エル・プリンシポ n.m 王子様は 「主語」  
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 acosaba アコサバ 3 単線(acosar)v.t 追いまわす 「動詞」  
 a preguntas, ア・プレグンタス adv. 質問で 「副詞句」  
 → 質問攻めにする  
 nunca ヌンカ adv. 決して~ない 「副詞」  
 parecía oír パレシア・オイル 3 単線(parecer+不定詞)v.i 聞いているように見える 「動詞句」  
 las mías. ラス・ミャス pl.n.f (las は preguntas の代用) 僕の質問を 「目的語」

そして、たまたま発せられた言葉だけを頼りにして、少しずつ全容を知ることが出来た。

Y sólo por palabras pronunciadas al azar pude, poco a poco, enterame de todo.

Y イ conj. そして  
 sólo por palabras ソロ・ポル・パラブラス adv. 言葉によってだけ 「副詞句」  
 pronunciadas プロンスシアダス 過去分詞・受動(pronunciar)adj.pl 発せられた 「形容詞」  
 al azar アル・アサル adv. たまたま、思いがけなく 「副詞句」  
 pude, プデ 1 単点(poder+不定詞)v. ~することができた 「動詞句」  
 poco a poco, ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ 「副詞句」  
 enterame エンテラル・メ 不定詞 v.pr(de+名詞) ~を知る 「動詞句」  
 de todo. デ・トト pron 全容を 「目的語」

## III



彼が初めて僕の飛行機を見たとき、(僕は飛行機は描かない、僕には複雑すぎる絵だ)、彼は僕に尋ねた。

Quando vio mi avión por primera vez (no dibujaré mi avión porque es un dibujo demasiado complicado para mí), me preguntó :

Quando クワント conj. ～する時、～すると	「副詞節」
vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た	「動詞」
mi avión ミ・アビオン n.m 僕の飛行機を	「目的語」
por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて	「副詞句」
(no dibujaré ノ・ディブアレ 1 単未・意思・否定(dibujar)v.t 描かない	「動詞句」
mi avión ミ・アビオン n.m 僕の飛行機を	「目的語」
porque ホル conj. なぜなら、～なので	「副詞節」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
un dibujo ウン・ディブホ n.m 絵	「補語」
demasiado complicado デマシアド・コンプリカド adj. 複雑すぎる	「形容詞句」
para mí), パラ・ミ adv. 僕にとっては	「副詞句」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
preguntó : プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた	「動詞」

## III

「この物は何なの？」

--- ¿Qué es esta cosa?

《「動詞」「補語」「主語」》

¿Qué ケ pron 何

「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

esta cosa? エスタ・コーサ n.f この物は

「主語」

「これは物ではないよ。これは飛ぶんだよ。飛行機だよ。僕の飛行機だよ。」

--- No es una cosa. Vuela. Es un avión. Es mi avión.

《「動詞句」「補語」 | 「動詞」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない

「動詞句」

una cosa. ウン・ア・コーサ n.f 物

「補語」

Vuela. ブエラ 3 単現(volar)v.i 飛ぶ

「動詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

un avión. ウン・アビオン n.f 飛行機

「補語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

mi avión. ミ・アビオン n.f 僕の飛行機

「補語」

そしてこれが飛ぶんだということを彼に分からせることが出来て、僕は誇らしくなった。

その時、彼は大声を上げた。

Y me sentí orgulloso haciéndole saber que volaba. Entonces exclamó :

Y 「動詞句」「補語」「副詞句」 | 「副詞」「動詞」

Y イ conj. そして

me sentí メ・センチ 1 単点(sentirse)v.pr 自分が~だと感じた

「動詞句」

orgulloso オルクグジョソ adj. 誇り高い、誇らしい

「補語」

haciéndole saber アシエント・レ・サバール 現在分詞・使役(hacer+人+不定詞)

v.t 彼に分からせることができて

「副詞句」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

volaba. 3 単線(volar)v.i 飛ぶ

「動詞」

Entonces エントンス adv. その時

「副詞」

exclamó : エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ、大声を上げた

「動詞」

「なんだって？君は空から落ちてきたのかい？」

--- ¿Cómo? ¿Has caído del cielo?

《「感嘆」 | 「動詞句」「副詞句」》

¿Cómo? コモ int. 何だって！

「感嘆」

¿Has caído アス・カイト 2 単現・完了形(caer)v.i 落ちてきた

「動詞句」

del cielo? デル・シエロ adv. 空から

「副詞句」

## III

「そうだよ。僕は謙虚に言った」

--- Sí --- dije modestamente.

《「応答」 | 「動詞」「副詞」》

Sí --- シ adv. そうだよ

「応答」

dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

modestamente. モデスタメンテ adv. 謙虚に

「副詞」

「ああ、それはおかしいな！」

--- ¡Ah! ¡Qué gracioso!...

《「間投」》

¡Ah! アー int. ああ

「間投」

¡Qué gracioso!... ケ・グラシオ int. 何とおかしな！

「間投」

そう言って王子様は大声で笑って、僕をすごく苛立たせた。人々には僕の災難をまじめに受け取って欲しいんだ。

Y el principito soltó una magnífica carcajada que me irritó mucho. Quiero que se tomen en serio mis desgracias.

Y イ conj. そして

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

soltó ソルト 3 単点(soltar)v.t 発した

「動詞」

una magnífica carcajada ウナ・マグニフィカ・カルカハダ n.f すごく大きな笑い声を

「目的語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

me メ pron 僕を

「目的語」

irritó mucho. イルト・ムチョ 3 単点(irritar)v.t すごく苛立たせた

「動詞句」

Quiero キエロ 1 単現(querer)v.t 望む

「動詞」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

se セ pron 人々は

「主語」

tomen トメン 接・3 複現(tomar)v.t 受け止める

「動詞」

en serio エン・セリオ adv. adv. 真剣に、真面目に

「副詞句」

mis desgracias. ミス・デスグラシアス pl.n.f 僕の災難を

「目的語」

それから、彼は付け加えた。

Después agregó:

「副詞」「動詞」

Después デスプエス adv. それから

「副詞」

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

## III

「それじゃあ、君も空から来たんだね！どの惑星から来たの？」

--- Entonces ¡tú también vienes del cielo! ¿De qué planeta eres?

《「副詞」、「主語」「動詞」「副詞句」 | 「補語」「動詞」》

Entonces エントンセス adv. (接続詞的) それじゃあ 「副詞」  
 ¡tú también トゥ・タンビエン pron 君も 「主語」  
 vienes ビエネス 2 単現(venir)v.i 来た 「動詞」  
 del cielo! テル・シエロ adv. 空から 「副詞句」  
 ¿De qué planeta テ・ケ・プラネタ adv. どの惑星から 「補語」  
 eres? エレス 2 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 → 「どの惑星の出身なの？」 → 「どの惑星から来たの？」

瞬間的に、僕は、彼がこんなところに居るという謎の中に一筋の光が垣間見えたので、ぶつきらぼうに尋ねた。

Entreví rápidamente una luz en el misterio de su presencia y pregunté bruscamente :

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞」

Entreví エントレビ° 1 単点(entrever)v.t 垣間見た 「動詞」  
 rápidamente ラピダメンテ adv. すばやく 「副詞」  
 una luz ウナ・ルス n.f 一条の光を 「目的語」  
 en el misterio エン・エル・ミステリオ adv. 謎の中に 「副詞句」  
 de su presencia テ・ス・プレシヤ adj. 彼の存在という 「形容詞句」  
 y イ conj. そして  
 pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 bruscamente : ブリュスカメンテ adv. ぶつきらぼうに 「副詞」

「それじゃあ、君は他の惑星から来たの？」

--- ¿Vienes, pues, de otro planeta?

《「動詞」「副詞句」》

¿Vienes, ビエネス 2 単現(venir)v.i 来た 「動詞」  
 pues, プエス adv. それじゃあ 「副詞」  
 de otro planeta? テ・オトロ・プラネタ adv. 他の惑星から 「副詞句」

しかし彼は僕に返事をしなかった。飛行機を見ながら、頭をそっと振っていた。

Pero no me contestó. Meneaba la cabeza suavemente mientras miraba el avión.

Pero 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「目的語」「副詞」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし  
 no ...contestó. ノ...コンテスト 3 単点・否定(contestar)v.t 返事をしなかった 「動詞句」  
 me メ pron 僕に 「間接目的語」

## III

Meneaba	メネハ	3 単線(menear)v.t	振っていた	「動詞」
la cabeza	ラ・カバサ	n.f	頭を	「目的語」
suavemente	スワベメンテ	adv.	そっと、優しく	「副詞」
mientras	ミエンラス	conj.	～しながら	「副詞節」
miraba	ミラハ	3 単線(mirar)v.t	見ていた	「動詞」
el avión.	エル・アビオン	n.m	飛行機を	「目的語」

「本当に、これを使ったのなら、それほど遠くから来ることはできなかったはずだ。」

--- Verdad es que, en esto, no puedes haber venido de muy lejos ...

《「補語」「動詞」「主語」》

Verdad	ベルダド	adj.	本当、真実	「補語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
que,	ケ	conj.	～ということは	「主語」
en esto,	エン・エスト	adv.	(仮定の条件文として) これを使ったのなら	「副詞句」
no puedes	+不定詞・完了形 ノ・プ エス	2 単現・可能性・否定		
	v.i	～することが出来なかったはずだ (かもしれない)		「動詞句」
haber venido	アバール・ベニト	不定詞・完了形(venir)v.i	来た	「動詞句」
de muy lejos ...	デ・マイ・レホス	adv.	(否定文で) そんなに遠くから	「副詞句」
<b>la verdad es que+直説法</b> 「本当は～だ」 que 節が仮定法の条件文+帰結文になっている → 「本当の所、この飛行機を使ったのなら、そんなに遠くから来られたはずがないな。」				

そして彼は夢に沈み込み、それは長く続いた。

Y se hundió en un ensueño que duró largo tiempo. Y 「動詞」「副詞句」, 「形容詞節」

Y イ conj. そして

se hundió	セ・ウンディオ	3 単点(hundirse)v.pr	沈んでいった	「動詞句」
en un ensueño	エン・ヌン・エンセンニョ	adv.	夢の中に	「副詞句」
que	ケ	pron (主語)	それは～する	「形容詞節」
duró	ドゥロ	3 単点(durar)v.i	続いた	「動詞」
largo tiempo.	ラルゴ・ティエンポ	n.m	長い時間	「副詞句」

それからポケットから僕が描いた羊を取り出して、彼の宝物の鑑賞にふけた。

Después sacó el cordero del bolsillo y se abismó en la contemplación de su tesoro.

「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Después	デスプエス	adv.	それから	「副詞」
sacó	サコ	3 単点(sacar)v.t	取り出した	「動詞」
el cordero	エル・コルデロ	n.m	羊を	「目的語」

## III

del bolsillo デル・ボルジヨ adv. ポケットから	「副詞句」
y イ conj. そして	
se abismó セ・アビスモ 3 単点(abismarse)v.pr (en に) ふけた	「動詞句」
en la contemplación エン・ラ・コンテンプラシオン adv. 熟視、瞑想、鑑賞に	「副詞句」
de su tesoro. デ・ス・テソロ adj. 彼の宝物の	「形容詞句」

他の惑星に関する彼の半ば打ち明け話が、どれほど僕の好奇心をそそったかを、君たちは想像がつかだろう。だから、僕はもっと何かを知ろうと努めた。

Imaginaos cuánto pudo haberme intrigado esa semi confidencia sobre los 《otros planetas》. Me esforcé por saber algo más : 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」

Imaginaos イマヒナ・オス 命・2 複現・推量(imaginarse)

v.pr 想像してごらん、想像できるだろう 「動詞句」

cuánto クワント conj. どれほど～であるかということ 「目的語」

pudo +不定詞・完了形 プト 3 単点・可能性(poder+haber+過去分詞)

v. ～したかもしれない 「動詞句」

haberme intrigado アベル・メ・イントリガト 不定詞・完了形(intrigar+me)

v.t 僕の好奇心をそそった 「動詞句」

esa semi confidencia エサ・セミ・コンフィデンシア n.f この半ば打ち明け話が 「主語」

semi- は「半分」を表す「接頭辞」

sobre los 《otros planetas》. ソブレ・ロス・オトロス・プラネタス

adj. 他の惑星に関する 「形容詞句」

Me esforcé メ・エスフォルセ 1 単点(esforzarse)v.pr (por に) 努めた、努力した 「動詞句」

por saber algo más : ホル・サベル・アルゴ・マス adv. もっと何かを知ること 「副詞句」

「坊や、どこから来たの？君の所って、どこにあるの？僕の羊をどこに連れて行きたいの？」

--- ¿De dónde vienes, hombrecito? ¿Dónde queda 《tu casa》? ¿Adónde quieres llevar mi cordero?

《「副詞句」「動詞」「呼びかけ」 | 「副詞」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」》

¿De dónde デ・ドンデ adv. どこから 「副詞句」

vienes, ビエネス 2 単現(venir)v.i 来た 「動詞」

hombrecito? オンブレスイト n.m 坊や 「呼びかけ」

¿Dónde トンデ adv. 何処? 「副詞」

queda クダ 3 単現(quedar)v.i (おおよその位置が) ～にある 「動詞」

《tu casa》? トゥ・カサ n.f 君の所は 「主語」

¿Adónde アドンデ adv. 何処に 「副詞」

quieres llevar キエレス・ジェバル 2 単現・願望(querer+不定詞)

## III

v.t 連れて行きたい 「動詞句」  
 mi cordero? ミ・コルデロ n.m 僕の羊を 「目的語」

彼は、静かに瞑想してから、答えた。

Después de meditar en silencio, respondió: 「副詞句」, 「動詞」  
 Después de +不定詞 デスプエス・デ adv. ～した後で 「副詞句」  
 meditar メディタール 不定詞 v.i 瞑想する 「動詞」  
 en silencio, エン・シレンシオ adv. 静かに、黙って 「副詞句」  
 respondió: レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

「僕は、君がくれた箱が気に入っているよ。夜には、僕の羊の家として役に立つからね。」

--- Me gusta la caja que me has regalado, porque de noche le servirá de casa.  
 《「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞節」》

Me メ pron 僕には 「間接目的語」  
 gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る 「動詞」  
 la caja ラ・カ n.f その箱が 「主語」  
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」  
 me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 has regalado, アス・レガラト 2 単現・完了形(regalar)v.t くれた 「動詞句」  
 porque ボルケ conj. ～なので 「副詞節」  
 de noche デ・ノチェ adv. 夜には 「副詞句」  
 le レ pron 羊に 「間接目的語」  
 servirá セルビラ 3 単未(servir)v.i (de として) 役立つだろう 「動詞」  
 de casa. デ・カサ adv. 家として 「副詞句」

「その通りだよ。それにもし君がいい子なら、昼の間に羊をつなぐためにロープもあげるよ。それに棒杭も。」

--- Seguramente. Y si eres amable te daré tambien una cuerda para atarlo durante el día. Y una estaca.

《「副詞」 | Y「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | Y「目的語」》  
 Seguramente. セグラメンテ adv. たしかに、その通りだよ 「副詞」  
 Y イ conj. それに  
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 eres エス 2 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 amable アマブレ adj. 優しい、おとなしい、(子供が) いい子 「補語」  
 te テ pron 君に 「間接目的語」



## III

daré ダレ 1 単未・意思(dar)v.t あげるよ	「動詞」
tambien una cuerda タンビエン・ウナ・クエルダ n.f ロープも	「目的語」
para +不定詞 パラ adv. (目的) ～するために	「副詞句」
atarlo アタル・ロ 不定詞 v.t 羊をつなぐ	「動詞句」
durante el día. ドゥランテ・エル・デ・イア adv. 昼の間	「副詞句」
Y イ conj. そして	
una estaca. ウナ・エスタカ n.f 棒杭も	「目的語」

この提案は王子様の気に入らなかったように見えた。

<u>La proposición</u> pareció disgustar al principito :	「主語」「動詞句」「目的語」
La proposición ラ・プロポシシオン n.f この提案は	「主語」
pareció +不定詞 パレシオ 3 単点(parecer+不定詞)v.i ～するように見えた	「動詞句」
disgustar ディスグスター 不定詞 v.t ～の気に入らない、不快にする	「動詞」
al principito : アル・プリンシピト n.m 王子様を	「目的語」

「羊をつないでおくだって？とても奇妙な考えだね！」

--- ¿Atarlo? ¡Qué idea tan rara!	《「感嘆」》
¿Atarlo? アタル・ロ 不定詞(atar+lo)v.t 羊をつないでおくだって？	「感嘆」
¡Qué ケ int. なんて	「感嘆」
idea tan rara! イデア・タン・ラ n.f とても奇妙な考え	「感嘆」

「だけど、羊をつないでおかないと、どこへでも行ってしまつて、迷子になってしまうよ。」

--- Pero si no lo atas se irá a cualquier parte y se perderá...	《Pero「副詞節」,「動詞句」「副詞句」y「動詞句」》
Pero ペロ conj. だけど	
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
no ...atas ノ...アタス 2 単現・否定(atar)v.t つながない	「動詞句」
lo ロ pron 羊を	「目的語」
se irá セ・イラ 3 単未(irse)v.pr 行ってしまうだろう	「動詞句」
a cualquier parte ア・クルギエ・パルテ adv. どんな場所にも	「副詞句」
cualquiera の語尾切断	
y イ conj. そして	
se perderá... セ・ペルデラ 3 単未(perderse)v.pr 迷子になるだろう	「動詞句」

III



Le petit prince sur l'astéroïde B 612.

## III

僕の友人はまたけらけらと笑った。

Mi amigo tuvo un nuevo estallido de risa : 「主語」「動詞」「目的語」  
 Mi amigo ミ・アミゴ n.m 僕の友人は 「主語」  
 tuvo トゥボ 3 単点(tener)v.t (+動作名詞を) した 「動詞」  
 un nuevo ウン・ヌエボ adj. また～を 「目的語」  
 estallido de risa : エスタジド・デ・リサ n.m 笑いの破裂を 「目的語」

「でも、羊にどこへ行って欲しいというの（行く所なんてないよ）？」

--- Pero ¿adónde quieres que vaya? 《Pero 「副詞」「動詞」「目的語」》  
 Pero ペロ conj. でも  
 ¿adónde アドンデ adv. どこへ 「副詞 : vaya」  
 quieres キエス 2 単現・願望(querer)v.t 望んでいる 「動詞」  
 que ケ conj. ～することを 「目的語」  
 vaya? バヤ 接・3 単現(ir)v.i 行く 「動詞」  
 → 羊がどこへ行けばよいと（君は思うのか？）  
 → (反語的) 王子様のところは狭いので、迷子になるほど、遠くへ行くところはない

「どこへでも！まっすぐ前に！」

--- A cualquier parte. Derecho, siempre adelante ... 《「副詞句」 | 「副詞句」》  
 A cualquier parte. ア・クワルキエ・パルテ adv. どこへでも 「副詞句」  
 Derecho, デレチョ adv. まっすぐに 「副詞」  
 siempre adelante ... シエンプレ・アデランテ adv. 前に前にと 「副詞句」  
 siempre は強調

その時、王子様が真面目な顔で指摘した。

Entonces el principito observó gravemente : 「副詞」「主語」「動詞」「副詞」  
 Entonces エントンス adv. その時 「副詞」  
 el principito エル・プリンシピト n.m 王子様が 「主語」  
 observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した 「動詞」  
 gravemente : グラベ・メンテ adv. 重々しく、真面目な顔で 「副詞」

「問題ないよ！僕んとはすごく狭いから！」

--- ¡No importa! ¡Mi casa es tan pequeña!... 《「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》  
 ¡No importa! ノ・インポルタ 3 単現・否定(importar)v.i 重要ではない、問題ない 「動詞句」  
 ¡Mi casa ミ・カーサ n.f 僕の所は 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

## IV

tan pequeña!... タン・ペ・ケニャ adj. とても小さい

「補語」

そして、たぶん少し憂鬱な様子で付け足した。

Y con un poco de melancolía, quizá, agregó :

Y 「副詞句」, 「動詞」

Y イ conj. そして

con コン prep. ~の状態、~の様子で

「副詞句」

un poco de melancolía, ウン・ポ・ッコ・デ・メランコリア n.m. 少し憂鬱

「目的語」

quizá, キサ adv. たぶん

「副詞」

agregó: アグレコ 3 単点(agregar)v.t. 付け足した、付加した

「動詞」

「自分の前へ、ずっと真っすぐに行けと言ったって、そんなに遠くへ行く事はできないよ！」

--- Derecho, siempre adelante de uno, no se puede ir muy lejos ...

《「副詞句」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

Derecho, デレチョ adv. (譲歩) まっすぐといっても

「副詞句」

siempre adelante シエンプレ・アデランテ adv. ずっと前に

「副詞句」

de uno, デ・ウノ adj. 自分の

「形容詞句」

no ...puede ir ノ...プデ・イル 3 単現・可能・否定(poder+不定詞)

v.i. 行く事は出来ない

「動詞句」

se セ pron. 人は

「主語」

muy lejos ... マイ・レホス adv. (否定文で) そんなに遠くへ

「副詞句」

## IV

このようにして、僕は2番目のとても重要な事を知った。彼の出身の惑星は、1件の家よりもほんの少し大きいくらいだということだ！

Supe así una segunda cosa muy importante. ¡Su planeta de origen era apenas más grande que una casa!

「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Supe スペ 1 単点(saber)v.t. 知った

「動詞」

así アシ adv. このようにして

「副詞」

una segunda cosa ウナ・セグンダ・コサ n.f. 2 番目の事を

「目的語」

muy importante. マイ・インポルタンテ adj. とても重要な

「形容詞句」

¡Su planeta ス・プラネタ n.m. 彼の惑星は

「主語」

de origen デ・オリヘン adj. 出身の

「形容詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i. ~だった

「動詞」

apenas más grande アペナス・マス・グランテ adj. ほんの少し大きな

「補語」

que una casa! ケ・ウナ・カサ adv. 1 件の家よりも

「副詞句」

## IV

そのことはあまり僕を驚かさなかった。地球、木星、火星それに金星のように名前がある大きな惑星の他に、何百もの名前が無い惑星があつて、時には、あまりにも小さくて望遠鏡を使つてもほとんど見る事が出来ないということをよく知っていたから。

No podía sorprenderme mucho. Sabía bien que fuera de los grandes planetas como la Tierra, Júpiter, Marte y Venus, que tienen nombre, hay centenares de planetas, a veces tan pequeños que apenas se los puede ver con el telescopio.

「動詞句」「副詞」「動詞」「副詞」「目的語」

No podía sorprenderme ノ・ポ・デア・ソルプレント・メ 3 単線・可能・否定(poder+不定詞+me)

v.t 僕を驚かすことはできなかった 「動詞句」

mucho. ムチョ adv. (否定文で) あまり 「副詞」

Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 知っていた 「動詞」

bien ビエン adv. よく 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

fuera de フェア・デ adv. ～の他に 「副詞句」

los grandes planetas ロス・グランデス・プラネタス pl.n.m 大きな惑星 「目的語」

como コモ adj. ～のような 「形容詞句」

la Tierra, Júpiter, Marte y Venus, ラ・ティエラ・フビ・テル・マルテ・イ・ベヌス

pl.n. 地球、木星、火星、それに金星 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

tienen テイエネン 3 複現(tener)v.t ある 「動詞」

nombre, ノンブレ n.m 名前が 「目的語」

hay アイ 3 単現(haber)v.t ある 「動詞」

centenares de planetas, センテナレス・デ・プラネタス

pl.n.m 何百もの星が 「目的語」

a veces ア・ベセス adv. 時には 「副詞句」

tan pequeños タン・ペケニョス adj. あまりにも小さい 「補語」

que ケ conj. (tan...que) それで～できないほど 「形容詞節」

apenas アペナス adv. ほとんど～ない 「副詞」

se セ pron 人は 「主語」

los ロス pron それらの惑星を 「目的語」

puede ver プエデ・ベール 3 単現・可能(poder+不定詞)

v.t (否定文で) 見る事が出来ない 「動詞句」

con el telescopio. コン・エル・テレスコープ adv. 望遠鏡で 「副詞句」

## IV



天文学者が名前のない惑星を発見すると、それに名前の代わりに番号を付ける。例えば、それを「小惑星 3251」と呼ぶ。

Cuando un astrónomo descubre alguno le da un número por nombre. Lo llama por ejemplo: 《el asteroide 3251》.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」  
「目的語」 「動詞」 「副詞句」 「補語」

Cuando クワント conj. ～すると	「副詞節」
un astrónomo ウン・アストロノモ n.m 天文学者が	「主語」
descubre デスクブレ 3 単現(descubrir)v.t 発見する	「動詞」
alguno アルグノ pron 名前のない惑星を	「目的語」
le レ pron それに	「間接目的語」
da ダ 3 単現(dar)v.t (名前) をつける	「動詞」
un número ウン・ヌメロ n.m 番号を	「直接目的語」
por nombre. ポル・ナンブレ adv. 名前として、名前の代わりに	「副詞句」
Lo ロ pron それを	「目的語」
llama ジャマ 3 単現(llamar)v.t 呼ぶ	「動詞」
por ejemplo: ホル・エンプロ adv. 例えば	「副詞句」
《el asteroide 3251》. エル・アステロイデ・トレス・ミル・トス・シエンツ・シンクエンティウノ	
n.m 小惑星 3251	「補語」

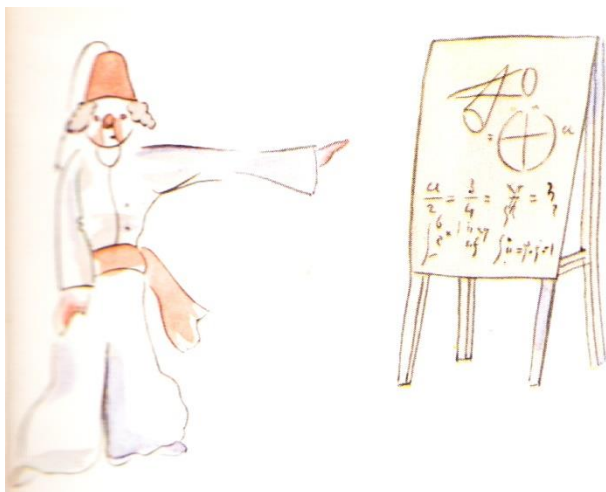
僕には、王子様の出身の惑星が「小惑星 B612」とであると信ずる真面目な理由がある。

Tengo serias razones para creer que el planeta de donde venía el principito es el asteroide B612.

「動詞」 「目的語」 「副詞句」

## IV

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある	「動詞」
serias razones セリアス・ラソネス pl.n.f 真面目な理由が	「目的語」
para +不定詞 パラ ～するために	「副詞句」
creer クレエル 不定詞 v.t 信じる	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
el planeta エル・プラネタ n.m その惑星は	「主語」
de donde デ・ドンデ conj. そこから～する	「形容詞節」
venía ベニア 3 単線(venir)v.i 来た	「動詞」
el principito エル・プリンシピト n.m 王子様が	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
el asteroide B612. エル・アステロイデ・ベ・セイスエントス・トセ n.m 「小惑星 B612」	「補語」



この小惑星は、1909 年にトルコの天文学者によって望遠鏡を使って一度しか発見されたことがなかった。

Este asteroide sólo ha sido visto una vez con el telescopio, en 1909, por un astrónomo turco.

Este asteroide エステ・アステロイデ n.m この小惑星は	「主語」
sólo ソロ adv. ～だけ	「副詞」
ha sido visto ア・シト・ビスト 3 単現・完了形・受動(ver)v.t 見出された	「動詞句」
una vez ウナ・ベス adv. 一度	「副詞」
con el telescopio, コン・エル・テレスコープ adv. 望遠鏡を使って	「副詞句」
en 1909, エン・ミル・ノベシエントス・ヌエベ adv. 1909 年に	「副詞句」
por un astrónomo turco. ポル・ウン・アストロノモ・トルコ adv. トルコの天文学者によって	「副詞句」

## IV

その天文学者は、当時、国際天文学会で彼の発見についての立派な発表を行いました。

El astrónomo hizo, entonces, una gran demostración de su descubrimiento en un Congreso Internacional de Astronomía. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

El astrónomo エル・アストロノモ n.m その天文学者は 「主語」

hizo, イ 3 単点(hacer)v.t 行った 「動詞」

entonces, エントンセス adv. 当時、その時 「副詞」

una gran demostración ウナ・グラン・デモストラシオン n.f 立派な発表を 「目的語」

de su descubrimiento デ・ス・デスカブリミエント adj. 彼の発見についての 「形容詞句」

en un Congreso Internacional de Astronomía. エン・ウン・コングレソ・インテルナシヨナル・デ・アストロノミア

adv. 国際天文学会で 「副詞句」

ところが、彼の着ている服が場違いだったので、誰も彼を信用しませんでした。大人というのはそのようなものです。

Pero nadie le creyó por culpa de su vestido. Las personas grandes son así.

Pero 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

nadie ナディエ pron 誰も～ない 「主語」

le レ pron 彼を 「目的語」

creyó クレイジョ 3 単点(creer)v.t (否定文で) 信じなかった 「動詞」

por culpa de su vestido. ホル・クルパ・デ・ス・ベストロ

adv. 彼の衣服の間違いのために、服が場違いだったので 「副詞句」

Las personas grandes ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人というのは 「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」

así. アシ adv. そのような 「補語」

小惑星 B612 の評判にとって幸運だったのは、トルコの独裁者が、違反すれば死刑という条件で、国民がヨーロッパ風の服を着るように義務付けたことだ。

Felizmente para la reputación del asteroide B612, un dictador turco obligó a su pueblo, bajo pena de muerte, a vestirse a la europea.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」「補語」

Felizmente フェリスメンテ adv. 幸運なことに 「副詞」

para la reputación パラ・ラ・レピュタシオン adv. 評判にとって 「副詞句」

del asteroide B612, デル・アステロイデ・ベ・セイス・シエントス・トセ

adj. 小惑星 B612 の 「形容詞句」

un dictador turco ウン・ディクタドール・トルコ n.m トルコの独裁者が 「主語」

obligó オブリゴ 3 単点(obligar)v.t (a+不定詞) ～することを義務付けた 「動詞」



## IV

a su pueblo, ア・ス・プエブロ	adv. 国民に	「目的語」
bajo pena de ... バホ・ペナ・デ	adv. (違反すれば) ~の罰を受ける条件で	「副詞句」
pena ペナ	n.d 罰 bajo pena de ... ~という罰のもとで	
muerte, ムエルテ	n.f 死	「目的語」
a vestirse ア・ベスティーセ	不定詞 v.pr (国民が) 服を着る	「補語」
a la europea, ア・ラ・エウロパ	adv. ヨーロッパ風に	「副詞句」

その天文学者は、1920 年に大変上品な服を着て、学会での発表をやり直した。すると今回は、皆が彼の意見に同意した。

El astrónomo repitió su demostración en 1920 con un traje muy elegante. Y esta vez todo el mundo compartió su opinión.

	「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」   Y 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」	
El astrónomo エル・アストロノモ	n.m その天文学者は	「主語」
repitió レピティó	3 単点(repetir)v.t もう一度行った	「動詞」
su demostración ス・デモストラシオン	n.f 発表を	「目的語」
en 1920, エン・ミル・ノベシントス・ベインテ	adv. 1920 年に	「副詞句」
con un traje muy elegante. コン・ウン・トラヘ・マイ・エレガンテ	adv. 大変上品な服を着て	「副詞句」
Y イ conj. そして		
esta vez エスタ・ベス	n.f 今回は	「副詞句」
todo el mundo トト・エル・ムント	pron 皆が	「主語」
compartió コンパルティó	3 単点(compartir)v.t 共有した、同意した	「動詞」
su opinión. ス・オピニオン	n.m 彼の意見に	「目的語」

君たちに小惑星 B612 に関するこのような細かなことを語ったり、その番号を打ち明けたりしたが、それは大人の人たちのためなのだ。

Si os he referido estos detalles acerca del asteroide B612 y si os he confiado su número es por las personas grandes.

Si シ conj. (事実の提示・対立) ~ではあるが	「副詞節」	
os オス pron 君たちに		「間接目的語」
he referido エレフェリト	1 単現・完了形(referir)v.t 語った	「動詞句」
estos detalles エストス・デタジエス	pl.n.m このような細かなことを	「目的語」
acerca del asteroide B612 アセルカ・デル・アステロイデ・ベ・セイス・シントストセ		
adj. 小惑星 B612 に関する		「形容詞句」
y イ conj. そして		
si シ conj. (事実の提示・対立) ~ではあるが		「副詞節」
os オス pron 君たちに		「間接目的語」

## IV

he confiado	エ・コンフィアド	1 単現・完了形(confiar)v.t	打ち明けた	「動詞句」
su número	ス・ヌメロ	n.m	その番号を	「目的語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
por las personas grandes.	ポ・ル・ラス・ペ・ルソナス・グランデス	adv.	大人のため	「補語」
por	は間接的な原因を表す de は直接的な原因を表す			

大人の人たちは数字が好きだ。君たちが彼らに新しい友達のことを話しても、彼らは肝心なことは絶対に訊かない。

Las personas grandes aman las cifras. Cuando les habláis de un nuevo amigo, no os interrogan jamás sobre lo esencial.

「主語」「動詞」「目的語」   「副詞節」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」「間接目的語」				
Las personas grandes	ラス・ペ・ルソナス・グランデス	pl.n.f	大人の人たちは	「主語」
aman	アマン	3 複現(amar)v.t	好きだ	「動詞」
las cifras.	ラス・シフラス	pl.n.f	数字が	「目的語」
Cuando	クワント	conj.	～する時に、～すると	「副詞節」
les	レス	pron	彼らに	「間接目的語」
habláis	アブライス	2 複現(hablar)v.i	(de について) 話す	「動詞」
de un nuevo amigo,	デ・ウン・ヌエボ・アミゴ	adv.	新しい友達について	「間接目的語」
no ...interrogan jamás	ノ...インテロガン・ハマス	3 複現・否定(interrogar+ jamás)		
v.t	(彼らは) 絶対に訊かない			「動詞句」
os	オス	pron	君たちに	「目的語」
sobre lo esencial.	ソブレ・ロ・エセンシアル	adv.	肝心なことについて	「間接目的語」

君たちにこんな風には絶対に言わない。「その友達はどうな声をしているの？好きな遊びは何なの？蝶の収集をしているの？」

Jamás os dicen : «¿Cómo es el timbre de su voz? ¿Cuáles son los juegos que prefiere? ¿Colecciona mariposas?»

「動詞句」「目的語」「動詞句」:				
《「副詞」「動詞」「主語」   「補語」「動詞」「主語」   「動詞」「目的語」》				
Jamás ...dicen :	ハマス...ディセン	3 複現・否定(decir)v.t	絶対に言わない	「動詞句」
os	オス	pron	君たちに	「間接目的語」
«¿Cómo	コモ	adv.	どのような	「副詞」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
el timbre	エル・ティンブレ	n.m	響きは	「主語」
de su voz?	デ・ス・ボス	adj.	友達の声の	「形容詞句」
¿Cuáles	クワレス	pron.pl	何	「補語」

## IV

son ツ 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
los juegos ロス・フエゴス	pl.n.m 遊びは	「主語」
que ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
prefiere? プレフィエ	3 単現(preferir)v.t	その人が好きである 「動詞」
¿Colecciona コレクシヨナ	3 単現(coleccionar)v.t	収集している 「動詞」
mariposas?》 マリボサス	pl.n.f 昆虫を	「目的語」

代わりに、こう訊く。「その子は何歳？兄弟は何人？体重はどれだけ？お父さんの収入は？」

En cambio, os preguntan : 《¿Qué edad tiene? ¿Cuántos hermanos tiene? ¿Cuánto pesa? ¿Cuánto gana su padre?》

「副詞句」「間接目的語」「動詞」:

《「目的語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」 | 「副詞」「動詞」 | 「副詞」「動詞」「主語」》

En cambio, エン・カンビオ	adv. その代わり	「副詞句」
os オス pron	君たちに	「間接目的語」
preguntan :	プレグンタン 3 複現(preguntar)v.t	尋ねる 「動詞」
¿Qué edad ケ・エダ	n.f 何歳	「目的語」
tiene? テイエネ	3 単現(tener)v.t (年齢が～歳) である	「動詞」
¿Cuántos hermanos クワントス・エルマノス	pl.n.m 何人の兄弟が	「目的語」
tiene? テイエネ	3 単現(tener)v.t	いる 「動詞」
¿Cuánto クワント	adv. どれだけ	「副詞」
pesa? ペサ	3 単現(pesar)v.i (体重の) 重さがある	「動詞」
¿Cuánto クワント	adv. どれだけ	「副詞」
gana ガナ	3 単現(ganar)v.t (金) を稼いでいる、収入がある	「動詞」
su padre?》 ス・パドレ	n.m その子のお父さんは	「主語」

そうしてやっと、友達のことが分かったと思う。もし君たちが大人の人にこう言ったとしたら...

Sólo entonces creen conocerle. Si decís a las personas grandes :

「副詞句」「動詞句」 | 「副詞節」

Sólo entonces ソロ・エントンセス	adv. そうしてやっと	「副詞句」
creen conocerle.	クレエン・コネル・ロ 3 複現・判断(creer+不定詞+lo)	
v.t	友達のことが分かったと思う	「動詞句」
Si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
decís デシス	2 複現(decir)v.t	言う 「動詞」
a las personas grandes :	ア・ラス・ペルソナス・グランデス	adv. 大人の人に 「間接目的語」

## IV



「窓にはジェラニウムがあつて屋根には鳩が  
いる、赤レンガの綺麗な家を見たよ。」これで  
は、大人たちはその家をうまく想像すること  
が出来ない。

《He visto una hermosa casa de ladrillos rojos con geranios en las ventanas y palomas en el techo...》, no acertarán a imaginarse la casa.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「目的語」  
He visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t ~を見た 「動詞句」  
una hermosa casa ウナ・エルモサ・カサ n.f 綺麗な家を 「目的語」  
de ladrillos rojos デ・ラト・リジョ・ロホス adj. 赤レンガの 「形容詞句」  
con コン prep ~のある 「副詞句」  
geranios ヘラニオス pl.n.m ジェラニウム 「目的語」  
en las ventanas エン・ラス・ベンタナス adv. 窓に 「副詞句」  
y イ conj. そして  
palomas パ・ロマス pl.n.f 鳩 「目的語」  
en el techo...》, エン・エル・テチョ adv. 屋根には 「副詞句」  
no acertarán a imaginarse ノ・アセルタラン・ア・イマヒナルセ 3 複末・否定(acertar a+不定詞)  
v.pr うまく想像することが出来ない 「動詞句」  
la casa. ラ・カサ n.f その家を 「目的語」

彼らには、こう言う必要がある。「10 万フランの家を見たよ。」

Es necesario decirles : 《He visto una casa de cien mil francos.》

「動詞」「補語」「主語」: 《「動詞句」「目的語」》  
Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
necesario ネセサリオ adj. 必要な 「補語」  
decirles : デ・シール・レス 不定詞(decir+les)v.t 彼らにこう言うことが 「主語」  
He visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t 見た 「動詞句」  
una casa ウナ・カサ n.f 家を 「目的語」  
de cien mil francos.》 デ・シエン・ミル・フランコス adj. 10 万フランの 「形容詞句」

## IV

そうすると彼らは叫ぶ。「なんて素晴らしい家だろう！」

Entonces exclaman : 《i Qué hermosa es!》 「副詞」「動詞」: 《「補語」「動詞」》

Entonces エントンス adv. そうすると 「副詞」

exclaman : エスクラマン 3 複現(exclamar)v.i 彼らは叫ぶ 「動詞」

i Qué hermosa ケ・エルモサ adj. なんと素晴らしい 「補語」

es!》 エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

もし大人達に、「王子様が存在していたという証拠は、彼は素敵だった、彼が笑った、彼が羊を欲しがったという事だ。そして羊を欲しがることは、その人が存在する証拠である。」などと言うならば、大人たちは肩をすくませて君たちを子ども扱いするだろう。

Si les decís : - 《La prueba de que el principito existió es que era encantador, que reía y que quería un cordero. Querer un cordero es prueba de que se existe》. se encogerán de hombros y os tratarán como se trata a un niño.

「副詞節」, 「動詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞節」

Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

les レス pron 彼らに 「間接目的語」

decís : デシス 2 複現(decir)v.t 言う 「動詞」

《》内は 「直接目的語」

La prueba ラ・プルエバ n.f 証拠は 「主語」

de que デ・ケ conj. 〜ということの 「形容詞節」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

existió エシスチオ 3 単点(existir)v.i 存在していた 「動詞」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

que ケ conj. 〜ということ 「補語」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

encantador, エンカンタドール adj.m 素敵な 「補語」

que ケ conj. 〜ということ 「補語」

reía レイア 3 単線(reír)v.i 笑った 「動詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. 〜ということ 「補語」

quería クリア 3 単線(querer)v.t 欲しがった 「動詞」

un cordero. ウン・コルデロ n.m 羊を 「目的語」

Querer ケレル 不定詞 v.t 欲しがることは 「主語」

un cordero ウン・コルデロ n.m 羊を 「目的語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

## IV

prueba プルエバ n.f	証拠	「補語」
de que デ・ケ conj.	～ということの	「形容詞節」
se existe》, セ・エキステ	3 単現(existir+se)	
v.i	彼が存在する	「動詞句」
se encogerán セ・エンコヘラン	3 複末(encogerse)v.pr	縮ませるだろう
de hombros デ・オンブロス pl.n.m	肩を	「目的語」
→	肩をすくませるだろう	
y イ conj.	そして	
os オス pron	君たちを	「間接目的語」
tratarán トラタン	3 複末(tratar)v.t	取り扱うだろう
como コモ conj.	～するように	「副詞節」
se trata セ・トラタ	3 単現(tratarse)v.pr	人が～と付き合う
a un niño. ア・ウン・ニョ	n.m	子供と
		「間接目的語」

しかし、彼らに「王子様の出身は小惑星 B612 という惑星である。」と言うならば、彼らは納得して、それ以上質問をせずに、君たちをそっとしておいてくれるだろう。

Pero si les decís : 《El planeta de donde venía es el asteroide B612》, entonces quedarán convencidos y os dejarán tranquilos sin preguntaros más.

Pero	「副詞節」, 「副詞」	「動詞」	「補語」	y	「目的語」	「動詞」	「補語」	「副詞句」
Pero ペロ conj.	しかし							
si シ conj.	もし～ならば							「副詞節」
les レス pron	彼らに							「間接目的語」
decís : デシス	2 複現(decir)v.t	言う						「動詞」
《》内は								「直接目的語」
El planeta エル・プラネタ n.m	その惑星は							「主語」
de donde デ・ドンデ pron	そこから～する							「形容詞節」
venía ベニア	3 単線(venir)v.i	やって来た、出身の						「動詞」
es エス	3 単現(ser)v.i	～である						「動詞」
el asteroide B612》, エル・アステロイデ・ベ・セイス・シエントス・トセ								
n.m	小惑星 B612							「補語」
entonces エントネス adv.	そうすると							「副詞」
quedarán クダラン	3 複末(quedar)v.i	(～の状態に) なるだろう						「動詞」
convencidos コンベンシトス adj.pl.	確信した、納得した							「補語」
y イ conj.	そして							
os オス pron	君たちを							「目的語」
dejarán デハラン	3 複末(dejar)v.t	(+目的格補語 の状態に) しておくだろう						「動詞」

## IV

tranquilos トランキロス adj.pl 静かな、平穏な	「補語」
sin +不定詞 シン adv. ～することなく、～しないで	「副詞句」
preguntaros プレグンタル・オス 不定詞(preguntar+os)	
v.t 君たちに質問する	「動詞句」
más. マス adv. それ以上	「副詞」

大人達というのはそんなものだ。だけど彼らを非難してはいけない。子供たちは大人達に対してとても寛大でいなければならない。

Son así. Y no hay que reprocharles. Los niños deben ser muy indulgentes con las personas grandes. 「動詞」「補語」 | Y 「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」

así. アシ adv. このような 「補語」

Y イ conj. そして

no hay que +不定詞 ノ・アイ・ケ 3 単現・禁止 v. ～してはならない 「動詞句」

reprocharles. レプ°ロチャール・レス 不定詞(reprochar+les)

v.t 彼らを非難する 「動詞句」

Los niños ロス・ニニョス pl.n.m 子供たちは 「主語」

deben ser デベン・セル 3 複現・必要(deber+不定詞)v.i ～でいなければならない 「動詞句」

muy indulgentes ムイ・イント°カルヘンテス adj. とても寛大な 「補語」

con las personas grandes. コン・ラス・ペ°ルソナス・グランテス adv. 大人達に対して 「副詞句」

しかしもちろん、人生をよく分かっている僕たちは、数字をそれほど大事にしない。

Pero, claro está, nosotros, que comprendemos la vida, nos burlamos de los números.

Pero 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Pero, ペロ conj. しかし

claro está, クラロ・エスタ adv. もちろん 「副詞句」

nosotros, ノトロス pron.pl. 僕たちは 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

comprendemos コンプレンデ°モス 1 複現(comprender)v.t 理解する、分かる 「動詞」

la vida, ラ・ビダ° n.f 人生を 「目的語」

nos burlamos ノス・ブルラ°モス 1 複現(burlarse)v.pr(de を) あざ笑う、軽んじる 「動詞句」

de los números. デ°ロス・ヌメロス pl.n.m 数字を 「目的語」

出来ることなら、この物語を妖精の物語のような調子で始めたかったのだが。できれば次のように言いたかった。

Hubiera deseado comenzar esta historia a la manera de los cuentos de hadas. Hubiera

## IV

deseado decir :

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」

Hubiera deseado +不定詞 ウビエラ・デセアド 接・1 単過・完了形・婉曲(desear+不定詞)

v. ～したかったのだが

「動詞句」

comenzar コメンサル 不定詞 v.t 始める

「動詞」

esta historia エスタ・イストリア n.f この物語を

「目的語」

a la manera ア・ラ・マネラ adv. ～の様子で

「副詞句」

de los cuentos de hadas. デ・ロス・クエントス・デ・アダス adj. 妖精の物語の 「形容詞句」

cuento クエント n.m 話、物語 hada アダ n.f 妖精

Hubiera deseado +不定詞 ウビエラ・デセアド 接・1 単過・完了形・婉曲(desear+不定詞)

v. ～したかったのだが

「動詞句」

decir : デシル 不定詞 v.t 言う

「動詞」

「昔々、王子様がいました。彼は自分自身よりほんの少し大きい惑星に住んでいて、友達を必要としていました。」

《Había una vez un principito que habitaba un planeta apenas más grande que él y que tenía necesidad de un amigo...》

《「動詞」「副詞句」「目的語」》

Había アビエ 3 単線(haber)v.t ～がいました

「動詞」

una vez ウナ・ベス adv. 昔々

「副詞句」

un principito ウン・プリンシピト n.m 一人の王子様が

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

habitaba アビタバ 3 単線(habitar)v.t 住んでいた

「動詞」

un planeta ウン・プラネタ n.m 惑星に

「目的語」

apenas más grande que él アペナス・マス・グランデ・ケ・エル

adj. 自分自身よりほんの少し大きい

「形容詞句」

y イ conj. そして

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t あった

「動詞」

necesidad de un amigo ...》ネシダ・デ・ウン・アミゴ n.f 友達の必要が

「目的語」

人生が分かる人にとっては、こちらのほうがずっと本当らしく聞こえるかも知れない。

Para quienes comprenden la vida habría parecido mucho más cierto.

「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Para quienes パ・ラ・キエネス pron ～する人のためには

「副詞節」

comprenden コンブレンデン 3 複現(comprender)v.t 分かる

「動詞」

la vida ラ・ビダ n.f 人生を

「目的語」

habría parecido アブリア・パレシト 3 単線・完了形(parecer)v.i 見えたかもしれない 「動詞句」



## IV

mucho más cierto. ムチョ・マス・シエルト adj. ずっと本当らしく

「補語」

なぜなら僕はこの本を軽々しく読んで貰いたくないから。王子様との思い出を語ることは僕にはつらいことなんだ。僕の友人が羊と一緒に行ってしまってから、もう 6 年にもなる。

Pues no me gusta que se lea mi libro a la ligera. ¡Me apena tanto relatar estos recuerdos!... Hace ya seis años que mi amigo se fue con su cordero.

Pues 「動詞句」「主語」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」 | 「副詞句」「副詞節」

Pues プエス conj. なぜなら～なので

no me gusta ノ・メ・グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i ～は私にとって好ましくない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

se lea セ・レア 接・3 単現・再帰受動(leerse)v.pr 読まれる 「動詞句」

mi libro ミ・リブロ n.m 僕の本が 「主語」

a la ligera. ア・ラ・リゲラ adv. 軽率に、軽々しく 「副詞句」

¡Me メ pron 僕に 「間接目的語」

apena アペナ 3 単現(apenar)v.t つらい思いをさせる 「動詞」

tanto タント adv. とても 「副詞」

relatar レタール 不定詞 v.t ～を語ることは 「主語」

estos recuerdos!... エストス・レクエルトス pl.n.m この思い出を 「目的語」

Hace ya seis años アセ・ジャ・セイス・アニョス 3 単現(hacer...que)

v.h (単人称) ～してからもう 6 年になる 「副詞句」

que ケ conj. ～してから 「副詞節」

mi amigo ミ・アニゴ n.m 僕の友人が 「主語」

se fue セ・フェ 3 単点(irse)v.pr 行ってしまった 「動詞句」

con su cordero. コン・ス・コルデロ adv. 羊と一緒に 「副詞句」

ここに彼のことを書こうとしているのは、彼を忘れないため。友達を忘れるのは悲しい事だ。誰もが友達を持った事があるわけではない。

Si intento describirlo aquí es para no olvidarlo. Es triste olvidar a un amigo. No todos han tenido un amigo.

「副詞節」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Si シ conj. (事実の提示) ～ではあるが、～しているのは 「副詞節」

intento describirlo インテント・デスクリビール・ロ 1 単現・試行(intentar+不定詞)

v.t 彼のことを書こうとしている 「動詞句」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

para +不定詞 パラ adv. ～するため 「副詞句」

## IV

no olvidarlo. ノ・オルビダール・ロ	不定詞・否定 v.t 彼を忘れない	「動詞句」
Es エス	3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
triste トリステ	adj. 悲しい	「補語」
olvidar オルビダール	不定詞 v.t 忘れることは	「主語」
a un amigo. ア・ウン・アミゴ	n.m 友達を	「目的語」
No todos ノ・トドス	pl.n.m (部分否定) 全ての人が〜とは限らない	「主語」
han tenido アン・テニド	3 複現・完了形(tener)v.t 持った事がある	「動詞句」
un amigo. ウン・アミゴ	n.m 友達を	「目的語」

それに、僕自身も数字にしか興味を示さない大人みたいな人間に変わってしまうかもしれない。だから絵の具と鉛筆の箱を買ったんだ。

Y puedo transformarme como las personas grandes, que no se interesan más que en las cifras. Por eso he comprado una caja de colores y de lápices.

Y「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Y イ conj. そして

puedo transformarme プエド・トランスフォルマル・メ 1 単現・可能性(poder+不定詞)

v.pr 僕自身が変わってしまうかもしれない 「動詞句」

como las personas grandes, コモ・ラス・ペルソナス・グランデス adv. 大人のように 「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

no se interesan más que ノ・セ・インテサソ・マス・ケ 3 複現・否定(interesar)

v.pr 〜にしか興味を示さない 「動詞句」

en las cifras. エン・ラス・シ fras adv. 数字に関して 「間接目的語」

Por eso ホル・エソ adv. そのために 「副詞句」

he comprado エ・コンプ ラト 1 単現・完了形(comprar)v.t 買った 「動詞句」

una caja ウナ・カーハ n.f 箱を 「目的語」

de colores y de lápices. デ・コレス・イ・デ・ラピセス

adv. 絵の具と鉛筆の 「形容詞節」

color コロール n.m 絵の具 lápiz ラピス n.m 鉛筆

6 歳の時に、中の見えないボア大蛇と中が見えるボア大蛇しか描いたことがなかったこの僕が、この年齢になってからまた絵を描き始めるのは辛いことなんだ。

Es penoso retomar el dibujo, a mi edad, cuando no se han hecho más tentativas que la de la boa cerrada y la de la boa abierta, a la edad de seis años.

「動詞」「補語」「主語」, 「副詞節」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

penoso ペノソ adj. 骨の折れる、つらい 「補語」

## IV

retomar レトマル 不定詞 v.t	再び始めることは	「主語」
el dibujo, エル・ディブ <sup>ゴ</sup> ホ	n.m デッサンを	「目的語」
a mi edad, ア・ミ・エダド	adv. この年齢で	「副詞句」
cuando クワント	conj. (譲歩) ～するにもかかわらず	「副詞節」
no se han hecho ノ・セ・アン・エチヨ	3 複現・完了形・再帰受動・否定(hacerse)	
v.pr	作られたことがなかった	「動詞句」
más tentativas マス・テンタティバ <sup>ス</sup>	pl.n.f それ以上の作品が	「主語」
que la de la boa cerrada y la de la boa abierta, ケ・ラ・デ・ラ・ボア・セラダ・イ・ラ・デ・ラ・ボア・アビエ <sup>ル</sup> タ		
adj.	中の見えないボア大蛇と中が見えるボア大蛇しか	「形容詞句」
a la edad de seis años. ア・ラ・エダド・デ・セイス・アニョス	adv. 6歳の時に	「副詞句」

もちろん僕は、肖像画を出来る限り似ているものにしようと努めるつもりだ。しかし、上手くできるかどうかは確信がない。ある絵は上手く描けているが、他の絵はまずい出来だ。

Trataré, por cierto, de hacer los retratos lo más parecidos posible. Pero no estoy del todo seguro de lograrlo. Unos dibujos salen bien y otros no.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」「補語」 | Pero 「動詞句」「補語」

「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「補語」

Trataré, ...de hacer トラテ<sup>レ</sup>...デ・アセ<sup>ル</sup> 1 単未・意思(tratar de+不定詞)

v.t	～しようと努める	「動詞句」
por cierto, ホル・シエ <sup>ル</sup> ト	adv. 間違いなく、もちろん	「副詞句」
los retratos ロス・レトラ <sup>ス</sup>	pl.n.m 肖像画を	「目的語」
lo más parecidos posible. ロ・マス・パレ <sup>リ</sup> ト <sup>ス</sup> ・ボ <sup>シ</sup> ブレ	adj. 出来る限り似ている	「補語」
Pero ペ <sup>ロ</sup>	conj. しかし	
no estoy ノ・エ <sup>ス</sup> トイ	1 単現・否定(estar)v.i ～でない	「動詞句」
del todo seguro デ <sup>ル</sup> ・ト <sup>ド</sup> ・セ <sup>グ</sup> ロ	adj. (de を) 確信した	「補語」
de lograrlo. デ <sup>ロ</sup> ・ク <sup>ガ</sup> ラ <sup>ル</sup> ・ロ	adv. それがうまくできると	「副詞句」
Unos dibujos ウ <sup>ノ</sup> ス・ディ <sup>ブ</sup> ホ <sup>ス</sup>	pl.n.m ある絵は	「主語」
salen サ <sup>レ</sup> ン	3 複現(salir)v.i (結果として) ～になる	「動詞」
bien ビ <sup>エ</sup> ン	adv. 上手に	「補語」
y イ	conj. しかし	
otros オ <sup>ト</sup> ロ <sup>ス</sup>	pl.n.m 他の絵は	「主語」
no. ノ	adv. 上手く描けていない	「補語」

身長についても少し間違えている。こちらの絵では、王子様は背が高すぎる。あちらの絵では背が低すぎる。王子様の服の色についてもためらいがある。

Me equivoco también un poco en la talla. Aquí el principito es demasiado alto. Allá es

## IV

demasiado pequeño. Vacilo, también, acerca del color de su vestido.

「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

「副詞」「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」

Me equivoco メ・エキボコ 1 単現(equivocarse)v.pr 間違えている 「動詞句」

también タンビエン adv. ～もまた 「副詞」

un poco en la talla. ウン・ポコ・エン・ラ・タジャ adv. 身長を少し 「副詞句」

Aquí アキ adv. こちらの絵では 「副詞」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

demasiado alto. デマシアト・アルト adj. 背が高すぎる 「補語」

Allá アジャ adv. あちらの絵では 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

demasiado pequeño. デマシアト・ペケニョ adj. 背が低すぎる 「補語」

Vacilo, バシロ 1 単現(vacilar)v.i ためらっている 「動詞」

también, タンビエン adv. その上に、～もまた 「副詞」

acerca del color アセルカ・テル・コロル adv. 色について 「副詞句」

de su vestido. デ・ス・ベスト adj. 服の 「形容詞句」

それでどうにかこうにか手探りで絵を描き進めている。結局、もっと重要な細部について間違えてしまうかもしれない。

Entonces voy tanteando de una manera u otra. He de equivocarme, en fin, sobre ciertos detalles más importantes.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Entonces エントンス adv. それで 「副詞」

voy tanteando ボイ・タンテアント 1 単現・進行(ir+現在分詞 tantear)

v.i 手探りで進んでいる 「動詞句」

de una manera u otra. デ・ウナ・マネラ・ウ・オトラ adv. なんとか、どうにかこうにか 「副詞句」

He de equivocarme, エ・デ・エキボカル・メ 1 単現・近接未来(haber de+不定詞)

v.pr 間違えるだろう 「動詞句」

en fin, エン・フィン adv. 結局、結局のところ 「副詞句」

sobre ciertos detalles más importantes. ソブレ・シエルトス・デ・タジエス・マス・インホルタンテス

adv. もっと重要な細部について 「副詞句」

しかし僕を許してほしい。僕の友人は一度も説明してくれなかった。おそらく、僕が彼と似た人間だと思っていたのだろう。

Pero habrá de perdonárseme. Mi amigo jamás daba explicaciones. Quizá me creía semejante a él.

## IV

Pero 「動詞句」	「主語」「動詞句」「目的語」	「副詞」「目的語」「動詞」「補語」
Pero ペロ conj. しかし		
habrá de perdonárseme. アブラ・デ・ヘル・トナルセメ 3 単未・義務(haber de+不定詞)		
v.t あなたは僕を許すべきだ		「動詞句」
Mi amigo ミ・アミゴ n.m 僕の友人は		「主語」
jamás daba ハマス・ダバ 3 単線・否定(dar)v.t 一度も与えなかった		「動詞句」
explicaciones. エクスプリカシオネス pl.n.f 説明を		「目的語」
Quizá キサ adv. たぶん、おそらく		「副詞」
me メ pron 僕を		「目的語」
creía クレイ 3 単線(creer)v.t 思っていた		「動詞」
semejante a él. セマンテ・ア・エル adj. 彼に似た		「補語」

しかし残念なことに僕は箱を通して羊を見ることが出来ない。たぶん僕も少し大人のようなかもしれない。年をとってしまったのに違いない。

Pero yo, desgraciadamente, no sé ver corderos a través de las cajas. Soy quizá un poco como las personas grandes. Debo de haber envejecido.

Pero 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」  
「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし		
yo, ジョ pron 僕は		「主語」
desgraciadamente, デスグラシアダメンテ adv. 残念なことに		「副詞」
no sé ver ノ・セ・ベール 1 単現・可能・否定(saber+不定詞)v.t 見ることが出来ない		「動詞句」
corderos コルデロス pl.n.m 羊を		「目的語」
a través de las cajas. ア・トラベス・デ・ラス・カス adv. 箱を通して		「副詞句」
Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である		「動詞」
quizá キサ adv. たぶん		「副詞」
un poco como las personas grandes. ウン・ポ・コ・コモ・ラス・ペルソナス・グランデス		
adv. 少し大人のような		「補語」
Debo de +不定詞完了形 デボ・デ 1 単現・推定 (deber de+不定詞完了形)		
v. ~してしまったのかもしれない、~に違いない		「動詞句」
haber envejecido. アベール・エンベヘシト 不定詞完了形(envejecer)		
v.i 年をとってしまった		「動詞句」

## V

## V

日ごとに、惑星の事や出発の事や旅行の事について、何か新しい事を知るようになった。

Cada día sabía algo nuevo sobre el planeta, sobre la partida, sobre el viaje.

「副詞句」「動詞」「目的語」「形容詞句」

Cada día カダ・デア adv. 毎日

「副詞句」

sabía サビア 1 単線(saber)v.t 知った

「動詞」

algo nuevo アルゴ・ヌエボ n.m 何か新しい事を

「目的語」

sobre el planeta, ソブレ・エル・プラネタ adj. 惑星についての

「形容詞句」

sobre la partida, ソブレ・ラ・パルチダ adj. 出発についての

「形容詞句」

sobre el viaje. ソブレ・エル・ビアヘ adj. 旅行についての

「形容詞句」

何か新しい事は、偶然に話された彼の考え事によって、ゆっくりと分かってきた。そして 3 日目にバオバブの悲劇を知った。

Venía lentamente, al azar de las reflexiones. Al tercer día me enteré del drama de los baobabs.

「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Venía ベニア 3 単線(venir)v.i (何か新しい事は) やって来た

「動詞」

lentamente, レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

al azar アル・アザール adv. 偶然によって

「副詞句」

de las reflexiones. デ・ラス・レフレクシオネス adj. 彼の熟考の

「形容詞句」

偶然に話された彼の考え事によって

Al tercer día アル・テルセル・デア adv. 3 日目に

「副詞句」

me enteré メ・エンテレ 1 単点(enterarse)v.pr (de を) 知った

「動詞句」

del drama de los baobabs. デル・ドラマ・デ・ロス・バオバブス

n.m バオバブの悲劇を

「目的語」

またしても羊のおかげだった。というのは、王子様がまるで深い疑念にとりつかれたみたいに突然ぼくに尋ねたからだ。

Fue otra vez gracias al cordero, pues el principito me interrogó bruscamente, como asaltado por una duda profunda :

「動詞」「副詞句」「補語」 pues 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった

「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. またしても

「副詞句」

gracias al cordero, グラシアス・アル・コルデロ n.f 羊のおかげで

「補語」

gracias a ... 「~のおかげで」

pues プエス conj. ~なので、というのは~だから

## V

el principito エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
interrogó インテロゴ 3 単点(interrogar)v.t	質問した、尋ねた	「動詞」
bruscamente, ブルスカメンテ adv.	突然、ぶっきらぼうに	「副詞」
como コモ adv.	～のように	「副詞句」
asaltado アサルタド 過去分詞・受動(asaltar)v.t	攻撃された、降りかかられた	「動詞」
por una duda profunda: ポル・ウナ・トウダ・フロフンダ		
adv.	深い疑念によって	「副詞句」

「羊が低木を好んで食べるというのは、本当なの？ そうじゃないの？」

---¿Es verdad, no es cierto, que a los corderos les gusta comer arbustos?

《「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」, 「主語」》

¿Es エス 3 単現(ser)v.i	～である？	「動詞」
verdad, ベルダド n.f	真実	「補語」
no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i	～でない？	「動詞」
cierto, シェルト adj.	確実な	「補語」
que ケ conj.	～ということは	「主語」
a los corderos ア・ロス・コルデロス adv.	羊にとって	「間接目的語」
les レス pron	彼らにとって	「間接目的語」
gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i	好ましい	「動詞」
comer コメル 不定詞 v.t	食べることは	「主語」
arbustos? アルブストス pl.n.m	低木を	「目的語」

「そう、本当だよ」

--- Sí. Es verdad.

《「応答」 | 「動詞」「補語」》

Sí. シ adv.	そうだ	「応答」
Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
verdad. ベルダド n.f	真実	「補語」

「ああ、それならよかった！」

---¡Ah! ¡Qué contento estoy!

《「感嘆」 | 「補語」「動詞」》

¡Ah! ア int.	ああ	「感嘆」
¡Qué contento ケ・コンテント adj.	なんと嬉しい	「補語」
estoy! エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」

## V

僕は、羊が低木を食べることがなぜそれほど重要なかが分からなかった。しかし、王子様は付け加えて言った。

No comprendí por qué era tan importante que los corderos comiesen arbustos. Pero el principito agregó: 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」  
 No comprendí ノ・コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)v.t 分からなかった 「動詞句」  
 por qué ポル・ケ conj. なぜ～であるかと言う事を 「目的語」  
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」  
 tan importante タン・インポルタンテ adj. それほど重要な 「補語」  
 que ケ conj. ～ということが 「主語」  
 los corderos ロス・コルデロス pl.n.m 羊が 「主語」  
 comiesen コミエシエン 接・3 複過(comer)v.t 食べるだろう 「動詞」  
 arbustos. アルブストス pl.n.m 低木を 「目的語」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えて言った 「動詞」

「従って、羊たちはバオバブも食べるということだよな？」

---¿De manera que comen también baobabs? 《De manera que 「動詞」「目的語」》  
 ¿De manera que +直説法 テ・マネラ・ケ conj. 従って～する  
 comen コメン 3 複現(comer)v.t 食べる 「動詞」  
 también baobabs? タンビエン・バオバブス pl.n.m バオバブも 「目的語」

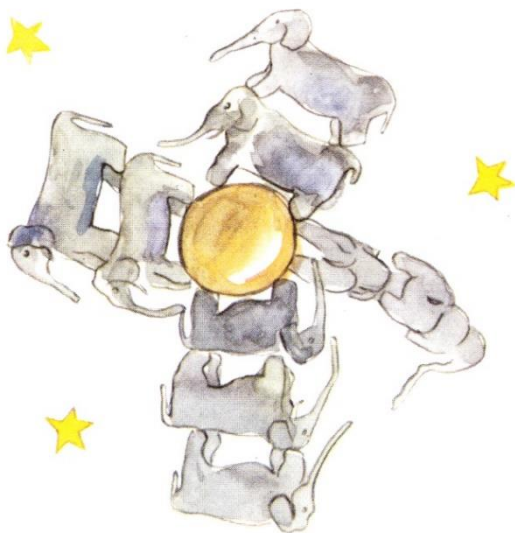
僕は王子様に、バオバブは低木ではなくて教会の建物みたいな大木なんだと言う事を分からせて、さらに、もし彼が象の群れ全体を連れて行ったとしてもその群れはたった一本のバオバブさえも食べつくせないだろうと気づかせた。

Hice notar al principito que los baobabs no son arbustos, sino árboles grandes como iglesias, y que aun si llevara con él toda una tropa de elefantes, la tropa no acabaría con un solo baobab. 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 y 「直接目的語」  
 Hice notar イセ・ノタル 1 単点・使役(hacer+不定詞)v.t ～を気づかせた 「動詞句」  
 al principito アル・プリンシピト adv. 王子様に 「間接目的語」  
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」  
 los baobabs ロス・バオバブス pl.n.m バオバブは 「主語」  
 no son ノ・ソ 3 複現・否定 (ser) v.i ～ではない 「動詞」  
 arbustos, アルブストス pl.n.m 低木 「補語」  
 sino シノ conj. (no+) そうではなくて  
 árboles grandes アルボレス・グランデス pl.n.m 大木 「補語」



## V

como iglesias, コモ・イグレスィア	adv. 教会の建物みたいな	「形容詞句」
y イ	conj. そして	
que ケ	conj. ～ということを	「直接目的語」
aun si アウン・シ	conj. もし～したとしても	「副詞節」
llevara ジェバラ	接・3 単過 (仮定法過去) (llevar)	
v.t	連れて行った	「動詞」
con él コ・ネル	adv. 彼と一緒に	「副詞句」
toda una tropa de elefantes, トダ・ウナ・トルパ・デ・エレファンテス		
n.f	象の群れ全部を	「目的語」
la tropa ラ・トルパ	n.f その群れは	「主語」
no acabaría ノ・アカバリア	3 単未・否定(acabar)	
v.i (con を)	食べつくせないだろう	「動詞句」
con un solo baobab. コン・ウン・ソロ・バオバウ		
adv.	たった一本のバオバブも	「目的語」



象の群れという思い付きは王子様を笑わせた。

La idea de la tropa de elefantes hizo reír al principito :

La idea ラ・イデア	n.f その思い付きは	「主語」
de la tropa de elefantes	デ・ラ・トルパ・デ・エレファンテス	adj. (同格) 象の群れという「形容詞句」
hizo reír	イヅ・レイル 3 単点・使役(hacer+不定詞)v.i 笑わせた	「動詞句」
al principito :	アル・プリンスィト	adv. 王子様を
		「間接目的語」

「象たちを次々に重ねなければならぬだろうな」

--- Habría que ponerlos unos sobre otros... 「動詞句」「目的語」「副詞句」

## V

Habría que ponerlos アブラ・カ・ポ・ネル・ロス 1 単過未・必要(haber que+不定詞)

v.t 象たちを乗せなければならないだろうな

「動詞句」

unos ウノス n.m 何頭かを

「目的語」

sobre otros... ソブレ・オトロス adv. 他の象の上に

「副詞句」

しかし賢明にも、こう指摘した。

Y observó sabiamente :

Y 「動詞」「副詞」

Y イ conj. しかし

observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した

「動詞」

sabiamente : サビアマンテ adv. 賢明にも

「副詞」

「成長する前は、バオバブでも最初は小さいんでしょう？」

--- Los baobabs, antes de crecer, comienzan por ser pequeños.

「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

Los baobabs, ロス・バオバブ pl.n.m バオバブは

「主語」

antes de crecer, アンテス・デ・クレセル adv. 成長する前は

「副詞句」

comienzan por +不定詞 コミエンサン・ポル 3 複現・開始(comenzar por+不定詞)

v.i 最初は～である

「動詞句」

ser セル 不定詞 v.i ～である

「動詞」

pequeños. ペケニョス adj.pl 小さい

「補語」

「その通り！だけど、どうして君の羊が小さいバオバブを食べる事を望むの？」

--- ¡Es cierto! Pero ¿por qué quieres que tus corderos comas baobabs pequeños?

《「動詞」「補語」 | Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」》

¡Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

cierto! シェルト adj. 確実な、正しい

「補語」

Pero ペロ conj. しかし

¿por qué ホル・ケ adv. どうして

「副詞句」

quieres キエレス 2 単現(querer)v.t 望む

「動詞」

que ケ conj. ～と言う事を

「目的語」

tus corderos トウス・コルデロス pl.n.m 君の羊が

「主語」

coman コマン 接・3 複現(comer)v.t 食べるだろう

「動詞」

baobabs pequeños? バオバブス・ペケニョス pl.n.m 小さいバオバブを

「目的語」

まるで証明済みのことのように、彼は答えた。「おやおや、何だって！」

Me contestó : 《¡Bueno! ¡Vamos!》, como si ahí estuviera la prueba.

## V

「間接目的語」「動詞」：《「感嘆」》, 「副詞節」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

《¡Bueno! ¡Vamos!》, ブエノ・ハモス

adv. (反語・皮肉) おやおや、何だって!

「感嘆」

「何だって! そんなのは分かりきった事じゃないか! 話を進めようよ」という感じ

como si コモ・シ conj. まるで~のように

「副詞節」

ahí アイ adv. そこに

「副詞」

estuviera エストゥビエラ 接・3 単過(estar)v.i ~があった

「動詞」

la prueba. ラ・プルエバ n.f 証拠、証明

「主語」

そしてその問題を自分一人で理解するために、かなり頭を使わなければならなかった。

Y necesité un gran esfuerzo de inteligencia para comprender por mí mismo el problema.

Y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

necesité ネシテ 1 単点(necesitar)v.t 必要だった

「動詞」

un gran esfuerzo ウン・グラン・エスフエルト n.m 大きな努力が

「目的語」

de inteligencia テ・インテリヘンシア adj. 知能の

「形容詞句」

para +不定詞 パラ adv. ~するために

「副詞句」

comprender コンプレンデール 不定詞 v.t 理解する

「動詞」

por mí mismo ホル・ミ・ミスモ adv. 自分一人で

「副詞句」

el problema. エル・プロブレマ n.m その問題を

「目的語」

実際に、王子様の惑星には全ての惑星と同じように、良い草と悪い草があった。

En efecto, en el planeta del principito, como en todos los planetas, había hierbas buenas y hierbas malas.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」

En efecto, エン・エフェクト adv. 実際に

「副詞句」

en el planeta del principito, エン・エルプラネタ・デル・プリンシピト

adv. 王子様の惑星には

「副詞句」

como en todos los planetas, コモ・エン・トトス・ロス・プラネタス

adv. 全ての惑星と同じように

「副詞句」

había アビア 3 単線(haber)v.t (+単数・複数名詞) ~がいた、あった

「動詞」

英語の there is と同様だが、名詞が複数でも動詞は三人称単数形を使用する

hierbas buenas y hierbas malas. イエルバス・ブエナス・イ・イエルバス・マラス

pl.n.f 良い草と悪い草

「目的語」

## V

それは、良い草の良い種と悪い草の悪い種による結果だった。

Como resultado de buenas semillas de buenas hierbas y de malas semillas de malas hierbas. 「副詞句」

Como resultado コモ・レスルタド adv. 結果として 「副詞句」

de buenas semillas de buenas hierbas デ・ブエナス・セミジャス・デ・ブエナス・イエルバス

adj. 良い草の良い種の 「形容詞句」

y イ conj. そして

de malas semillas de malas hierbas. デ・マラス・セミジャス・デ・マラス・イエルバス

adj. 悪い草の悪い種の 「形容詞句」

しかし種は目には見えない。彼らはその中のどれかが目覚める気になるまで、地面の神秘の中で眠り続けているのだ。

Pero las semillas son invisibles. Duermen en el secreto de la tierra hasta que a una de ellas se le ocurre despertarse.

Pero 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

las semillas ラス・セミジャス pl.n.f 種は 「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」

invisibles. インビシブルス adj.pl. 目に見えない 「補語」

Duermen ドゥエルメン 3 複現(dormir)v.i 眠っている 「動詞」

en el secreto de la tierra エン・エル・セクレト・デ・タ・ティエラ adv. 地面の神秘の中で 「副詞句」

hasta que アスタ・ケ conj. ~するまで 「副詞節」

a una de ellas ア・ウナ・デ・エジャス adv. その中の一つにとって 「間接目的語」

se le ocurre despertarse. セ・レ・オクレ・デスぺルタルセ 3 単現(ocurrirse+不定詞)

v.pr 目を覚ます気になる 「動詞句」

ocurrirse+不定詞 オクリルセ v.pr ~する気になる (不定詞が主語: gustar 型動詞)

le は「間接目的語」その種にとって

despertarse デスぺルタルセ v.pr 目を覚ます、目覚める

それから背伸びをして、最初は遠慮がちに、罪のない魅力的な小枝を太陽に向かって伸ばしていく。

Entonces se estira y, tímidamente al comienzo, crece hacia el sol una encantadora briznilla inofensiva. 「副詞」「動詞句」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」

Entonces エントンス adv. それから 「副詞」

se estira セ・エステラ 3 単現(estirarse)v.pr 背伸びをする 「動詞句」

y, イ conj. そして

## V

tímidamente チミダメンテ adv. おずおずと、遠慮がちに	「副詞」
al comienzo, アル・コミエンソ adv. 初めは	「副詞句」
crece クレセ 3 単現(crecer)v.t 伸ばしていく	「動詞」
hacia el sol アシア・エル・ソル adv. 太陽の方へ	「副詞句」
una encantadora briznilla inofensiva. ウナ・エンカントラ・ブリツニジャ・イノフェンシバ	
n.f 罪のない魅力的な小枝を	「目的語」
encantadora エンカントラ adj.f 魅力的な briznilla ブリツニジャ n.f(brizna+illa) 一辺	
-illo は<示小接尾辞> inofensiva イノフェンシバ adj.f 無害な	

フランス語原文では、

ここに、「赤カブや薔薇の木の小枝なら、それが芽を出すままにさせておけば良い。S'il s'agit d'une brindille de radis ou de rosier, on peut la laisser pousser comme elle veut.」という文があった。別のスペイン語版では「Si se trata de una ramita de rábano o de rosal, se la puede dejar que crezca como quiera.」(直訳は、もしハツカダイコンやバラの枝の問題ならば、それが伸びたいようにさせておけばよい) という文が入っている。

もし悪い植物の問題ならば、それと気づいたらすぐに引き抜かなければならない。

Si se trata de una planta mala, debe arrancarse la planta inmediatamente, en cuanto se ha podido reconocerla.	「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞」 「副詞節」
Si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr (de の) 問題である	「動詞句」
問題は～である、～が問題である	
de una planta mala, デ・ウナ・プラント・マラ adj. 悪い植物の	「補語」
debe arrancarse デ・ベ・アランカル・セ 3 単現・必要(deber+不定詞)	
v.t (根元から) 引き抜かなければならない	「動詞句」
se は「人は」の意味で、主語を表す	
la planta ラ・プラント n.f その植物を	「目的語」
inmediatamente, インメデアタメンテ adv. すぐに	「副詞」
en cuanto +直説法 エン・クワント conj. ～するとすぐに	「副詞節」
se セ pron 人が	「主語」
ha podido reconocerla. ア・ポデイト・レコノセル・ラ 3 単現・完了形・可能(poder+不定詞)	
v.t 悪い植物と気付いた	「動詞句」

フランス語原文では、

## V



ところで王子様の惑星には恐ろしい種があった。それはバオバブの種だった。

Había, pues, semillas terribles en el planeta del principito. Eran las semillas de los baobabs. 「動詞」 pues 「目的語」 「副詞句」 | 「動詞」 「補語」

Había, アビア 3 単線(haber)v.t ~があった 「動詞」

There is..., There are ... を兼用する (スペイン語では常に三人称単数形を用いる)

pues, プエス conj. (引き継ぎ) それで、ところで

semillas terribles セミジャス・テリブレス pl.n.f 恐ろしい種が 「目的語」

en el planeta del principito. エ・ネル・プラネタ・テル・プリンシピト

adv. 王子様の惑星には 「副詞句」

Eran エラン 3 複線(ser)v.i ~だった 「動詞」

las semillas ラス・セミジャス pl.n.f 種 「補語」

de los baobabs. デ・ロス・バオバブス adj. バオバブの 「形容詞句」

## V

その惑星の地面にはバオバブの種がはびこっていた。そしてもし一本のバオバブでも、丁度良い時に引き抜かないと、もう厄介払いすることは不可能になる。そしてバオバブが惑星全体を覆いつくしてしまう。

El suelo del planeta estaba infestado. Y si un baobab no se arranca a tiempo, ya no es posible desembarazarse de él. Invade todo el planeta.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Y「副詞節」,「副詞」「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「目的語」

El suelo del planeta エル・スエロ・デル・プラネタ n.m その惑星の地面は 「主語」

estaba infestado. エスタバ・インフェスタド 3 単線・受動(infestar)

v.t (バオバブの種に) はびこられていた 「動詞句」

能動態に翻訳する

Y イ conj. そして

si シ conj. もしなにならば 「副詞節」

un baobab ウン・バオバブ n.m 一本のバオバブが 「主語」

no se arranca ノ・セ・アランカ 3 単現・再帰受動・否定(arrancarse)

v.pr 引き抜かれない 「動詞句」

a tiempo, ア・ティエンポ adv. 丁度良い時に 「副詞句」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」

posible ポシブレ adj. 可能な 「補語」

desembarazarse デセンバラサル・セ 不定詞 v.pr (de を) 厄介払いすることは 「主語」

de él. デ・エル adv. バオバブを 「間接目的語」

Invade インバデ 3 単現(invadir)v.t 侵略する 「動詞」

todo el planeta. トド・エル・プラネタ n.m 惑星全体を 「目的語」

根によってそれに穴を開ける。そしてもしその惑星が小さすぎて、バオバブが多すぎる時には、バオバブはその惑星を破裂させてしまう。

Lo perfora con sus raíces. Y si el planeta es demasiado pequeño y si los baobabs son demasiado numerosos, lo hacen estallar.

「目的語」「動詞」「副詞句」 | Y「副詞節」 y「副詞節」, 「目的語」「動詞句」

Lo ロ pron それを 「目的語」

perfora ペルフォラ 3 単現(perforar)v.t 〜に穴を開ける 「動詞」

con sus raíces. コン・スス・ライセス adv. 根によって 「副詞句」

Y イ conj. そして

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

el planeta エル・プラネタ n.m その惑星が 「主語」

## V

es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
demaciado pequeño デマシアト・ペケニョ	adj. 小さすぎる	「補語」
y イ conj.	そして	
si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
los baobabs ロス・バオバブス pl.n.m	バオバブが	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
demaciado numerosos, デマシアト・ヌメロソス	adj. 多すぎる	「補語」
lo ロ pron	その惑星を	「目的語」
hacen estallar. アセン・エスタジャール 3 複現・使役(hacer+不定詞)		
v.t	爆発（破裂）させてしまう	「動詞句」

「それは規律の問題なんだ」と後になって王子様は僕に言った。

《Es cuestión de disciplina --- me decía más tarde el principito ---.

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
cuestión ケスチオン n.f	問題	「補語」
de disciplina --- デ・ディシプリナ	adj. 規律の	「形容詞句」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
decía デシア 3 単線(decir)v.t	言った	「動詞」
más tarde マス・タルテ	adv. 後になって	「副詞句」
el principito ---. エル・プリンシト n.m	王子様は	「主語」

「朝に自分の身づくろいを終えたら、星の手入れを入念にしないといけないんだ。」

Quando uno termina de arreglarse por la mañana, debe hacer cuidadosamente la limpieza del planeta.

《「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」》

Quando クワント conj.	～すると	「副詞節」
uno ウノ pron	人が	「主語」
termina de arreglarse テルミ・デ・アレグラセ 3 単現・完了(terminar de+不定詞)		
v.pr	身づくろいを終わらせる	「動詞句」
terminar de+不定詞	「～し終える」	
por la mañana, ホル・ラ・マニャ	adv. 朝に	「副詞句」
debe hacer デベ・アセール 3 単現・必要(deber+不定詞)v.t	～しなければならない	「動詞句」
cuidadosamente クイタドサメンテ	adv. 入念に、注意深く	「副詞句」
la limpieza ラ・リンピエサ n.f	掃除を、手入れを	「目的語」
del planeta. デル・プラネタ	adj. 星の	「形容詞句」



## V

「とても小さい時はバラによく似ているそれらの枝をバラの間から見分けたらすぐに、しっかりとバオバブを引き抜くことに専念しなければならないんだ。」

Hay que dedicarse regularmente a arrancar los baobabs en cuanto se los distingue entre los rosales, a los que se parecen mucho cuando son muy jóvenes.

《「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「副詞節」》

Hay que +不定詞 アイ・ケ 3 単現(hay que+不定詞)v. ～しなければならない 「動詞句」

dedicarse デ・デ・イ・ル 不定詞 v.pr (a+不定詞 ～することに) 専念する 「動詞句」

regularmente レグ・ラルメンテ adv. 規則正しく 「副詞句」

a arrancar ア・アランカル 不定詞 v.t. ～を引き抜くことに 「間接目的語」

los baobabs ロス・バ・オ・バ・ブス pl.n.m. バオバブを 「目的語」

en cuanto エン・クワント conj. ～するとすぐに 「副詞節」

se セ pron 人が 「主語」

los ロス pron それらを 「目的語」

distingue デ・イ・スティンゲ 3 単現(distinguir)v.t. 見分ける 「動詞」

entre los rosales, エントレ・ロス・ロサレス adv. バラの中から 「副詞句」

a los ア・ロス pron バラに 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se parecen セ・パ・レン 3 複現(parecerse)v.pr 似ている 「動詞句」

mucho ムチョ adv. とても 「副詞」

cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

son ソン 3 複現(ser)v.i. ～である 「動詞」

muy jóvenes. ムイ・ホベネス adj.pl. とても若い 「補語」

「とても退屈な仕事だけど、実に簡単だよ」

Es un trabajo muy aburrido, pero muy fácil.》 《「動詞」「補語」,pero「補語」》

Es エス 3 単現(ser)v.i. ～である 「動詞」

un trabajo ウン・トラバホ n.m. 仕事 「補語」

muy aburrido, ムイ・アブルリト adj. とても退屈な 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

muy fácil.》 ムイ・ファシル adj. とても簡単な 「補語」

V



Les baobabs.

## V

そしてある日王子様は、地球の子供たちの頭によく入るように、美しい絵を描き上げることに専念するように僕に勧めた。

Y un día me aconsejó que me aplicara a lograr un hermoso dibujo, para que entrara bien en la cabeza de los niños de mi tierra. Y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Y イ conj. そして

un día ウン・デア adv. ある日 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

aconsejó アコンセハ 3 単点(aconsejar)v.t 勧めた、助言した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

me aplicara a +不定詞 メ・アプリカラ・ア 接・1 単過(aplicarse a+不定詞)

v. ～することに専念する 「動詞句」

lograr ログラル 不定詞 v.t 成し遂げる、達成する 「動詞」

un hermoso dibujo, ウン・エルモソ・デア・ブホ n.m 美しい絵を 「目的語」

para que +接続法 パラ・ケ adv. ～するように 「副詞節」

entrara エントラ 接・3 単過(entrar)v.i 入る 「動詞」

bien ビエン adv. よく 「副詞」

en la cabeza エン・ラ・カベサ adv. 頭の中に 「副詞句」

de los niños de mi tierra. デ・ロス・ニョス・デ・ミ・ティエラ

adj. 地球の子供たちの 「形容詞句」

「いつか彼らが旅行するとき」と僕に言った。「彼らの役に立つかもしれないよ」

《Si algún día viajan --- me decía --- podrá serles útil.

《「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「動詞句」「補語」》

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

algún día アルグン・デア adv. いつか 「副詞句」

viajan --- ビアハ 3 複現(viajar)v.i 旅行する 「動詞」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

decía --- デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

podrá +不定詞 ポドラ 3 単未・可能性(poder+不定詞)v. ～するかもしれない 「動詞句」

serles セル・レス 不定詞 v.i 彼らにとって～になる 「動詞句」

útil. ウティル adj. 役に立つ 「補語」

「時には、仕事を後回しにしても不都合が生じないことがある」

A veces no hay inconveniente en dejar el trabajo para más tarde.

《「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

A veces ア・ベセス adv. 時々、時には 「副詞句」

## V

no hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t	～がない	「動詞句」
inconveniente インコンベンiente n.m	不都合が	「目的語」
en +不定詞 エン adv.	～することにおいて、～しても	「副詞句」
dejar デ・ハル 不定詞 v.t	(の状態に) しておく	「動詞」
el trabajo エル・トラバホ n.m	仕事を	「目的語」
para más tarde. パ・ラ・マス・タルデ adv.	もっと遅くに、後回しに	「副詞句」

しかしバオバブの話ならば、後回しにすることは大惨事につながる。

Pero, si se trata de los baobabs, es siempre una catástrofe.

Pero 「副詞節」, 「動詞」 「副詞」 「補語」

Pero, ペロ conj.	しかし	
si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr	(de ～についての) 話である	「動詞句」
de los baobabs, デ・ロス・バオバブス adv.	バオバブについての	「間接目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
siempre シエンプレ adv.	いつだって	「副詞」
una catástrofe. ウナ・カストロフェ n.f	大惨事	「補語」

「怠け者が住んでいた星を知っているよ。彼は 3 本の低木を放っておいたんだ...」

Conocí un planeta habitado por un perezoso. Descuidó tres arbustos ...」

《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」》

Conocí コノシ 1 単点(conocer)v.t	知っていた	「動詞」
un planeta ウナ・プラネタ n.m	ある惑星を	「目的語」
habitado アビタド 過去分詞・受動(habitar)adj.	住まれていた	「形容詞」
por un perezoso. ホル・ウン・ペレソ adv.	怠け者によって	「副詞句」
Descuidó デスクイト 3 単点(descuidar)v.t	おろそかにした	「動詞」
tres arbustos ...」 トレス・アルブストス pl.n.m	3 本の低木を	「目的語」
それはただの低木ではなくて、バオバブだったので、結果は大惨事という訳さ		

それで王子様の指示に従って、その惑星を描いた。

Y, según las indicaciones del principito, dibujé aquel planeta.

Y 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

Y, イ conj.	それで	
según las indicaciones del principito, セグン・ラス・インデイカシオネス・デル・プリンシピト		
adv.	王子様の指示に従って	「副詞句」
dibujé デイブヘ 1 単点(dibujar)v.t	描いた	「動詞」

## V

aquel planeta. アケル・プラネタ n.m その惑星を

「目的語」

道徳家の口調で言う事は、僕はあまり好きではない。

No me gusta mucho adoptar tono de moralista.

「動詞句」「主語」

No me gusta mucho ノ・メ・グスタ・ムチョ 3 単現・否定(gustar)v.i あまり好きでない 「動詞句」

me は「間接目的語」僕にとって

adoptar アドプタル 不定詞 v.t ～を採用することは

「主語」

tono de moralista. トノ・デ・モラリスタ n.m 道徳家の口調を

「目的語」

しかしバオバブの危険性はあまり知られていない、そして小惑星で道に迷った人によって  
もたらされる危険はあまりにも重大なので、一度だけ私の慎重さを忘れることにする。

Pero el peligro de los baobabs es tan poco conocido, y los riesgos corridos por quien se extravía en un asteroide son tan importantes, que, por una vez, salgo de mi reserva.

Pero 「主語」「動詞句」 Y 「主語」「動詞」「補語」 que 「副詞句」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

el peligro de los baobabs エル・ペリグロ・デ・ロス・バオバブス n.m バオバブの危険性

「主語」

es tan poco conocido, エス・タン・ポコ・コノシト 3 単現・受動・否定(conocer)

v.t (否定文で) あまり知られていない

「動詞句」

tan poco タン・ポコ adv. (否定文で) あまり～ない

y イ conj. そして

los riesgos ロス・リエスコス pl.n.m 危険は

「主語」

corridos コリトス 過去分詞・受動.pl(correr)v.t さらされた、もたらされた「形容詞句」

por quien ポル・キエン adv. ～する人によって

「副詞句」

se extravía セ・エクストラビア 3 単現(extraviarse)

v.pr 道に迷っている

「動詞句」

en un asteroide エ・スン・アステロイデ adv. 小惑星で

「副詞句」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である

「動詞」

tan importantes, タン・インポルタンテス adj. あまりにも重大な

「補語」

que, ケ conj.(tan...que) それで～する

tan ... que+直説法 (肯定文) 「あまりに... なので～する」

tan ... que+接続法 (否定文) 「～できないほど... ではない」

No es tan caro que no pueda comprarlo. それは私が買えないほど高価ではない。

por una vez, ポル・ウナ・ベス adv. 一度だけ

「副詞句」

salgo サルゴ 1 単現(salir)v.i (de から) 離れる

「動詞」

de mi reserva. デ・ミ・レセルバ adv. 私の慎重さから、慎重さから

「副詞句」



V

そしてこう言いたい:「子供たちよ!バオバブには用心するんだよ」

Y digo: 《¡Niños! ¡Cuidado con los baobabs!》

Y 「動詞」:《「呼びかけ」 | 「動詞」「間接目的語」》

Y イ conj. そして

digo: ディゴ 1 単現(decir)v.t こう言いたい

「動詞」

¡Niños! ニョス pl.n.m 子供たちよ!

「呼びかけ」

¡Cuidado クイダド 過去分詞・命令(cuidar)v.i (con に) 用心しなさい

「動詞」

con los baobabs!》コン・ロス・バオバブ adv. バオバブに

「間接目的語」

僕と同様、それと知らずにいる僕の友達をずっと前から付け狙っている危険があることを、  
彼らに知らせるために、僕はそんなにもこの絵に集中して仕上げたんだ。

Para prevenir a mis amigos de un peligro que desde hace tiempo los acecha, como a mí mismo, sin conocerlo, he trabajado tanto en este dibujo.

「副詞句」, 「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Para +不定詞 パラ adv. ~するために

「副詞句」

prevenir プレベニール 不定詞 v.t (de 危険を) 知らせる

「動詞」

a mis amigos ア・ミス・アミゴス adv. 友達に

「間接目的語」

de un peligro デ・ウン・ペリグロ n.m 危険を

「直接目的語」

que ケ pron ~する

「形容詞節」

desde hace tiempo デステ・アセ・テイエンボ adv. 以前から、昔から

「副詞句」

los ロス pl.pron 彼らを

「目的語」

acecha, アセチャ 3 単現(acechar)

v.t 見張っている、つけねらっている

「動詞」

como a mí mismo, コモ・ア・ミ・ミス adv. 僕と同様に

「副詞句」

sin conocerlo, シン・コネル・ロ adv. それを知らずに

「副詞句」

he trabajado エトラバハド 1 単現・完了形(trabajar)v.i 作業した

「動詞句」

tanto タント adv. そんなにも

「副詞」

en este dibujo. エン・エステ・ディブホ adv. この絵に

「間接目的語」

僕が与える教訓は考慮する価値がある。たぶん君たちは疑問に思うだろう。「どうしてこの  
本には、バオバブの絵のように立派な絵が他にないのだろう」と。

La lección que doy es digna de tenerse en cuenta. Quizá os preguntaréis: «¿Por qué no hay, en este libro, otros dibujos tan grandiosos como el dibujo de los baobabs?»

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」:

《「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」「形容詞句」》

La lección ラ・レクシオン n.f 教訓は

「主語」

## V

que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
doy トイ 1 単現(dar)v.t 与える	「動詞」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
digna デイグナ adj.f (de+不定詞) ～する値がある	「補語」
de tenerse en cuenta. テ・テネルセ・エン・クエンタ 不定詞 v.pr 考慮する	「動詞句」
Quizá キサ adv. 多分	「副詞」
os preguntaréis: オス・プレグンタレイス・オス・プレグンタレイス 2 複末(preguntarse)	
v.i 疑問に思うだろう	「動詞句」
¿Por qué ホル・ケ adv. どうして	「副詞句」
no hay, ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t ない	「動詞句」
en este libro, エン・エステ・リブロ adv. この本には	「副詞句」
otros dibujos オトロス・デイブ・オス pl.n.m 別の絵が	「目的語」
tan grandiosos タン・グランディオソス adj. これほど堂々とした、立派な	「形容詞句」
como コモ conj. ～のように	「副詞句」
el dibujo de los baobabs?》 エル・デイブ・オ・デ・ロス・バオバブス	
n.m バオバブの絵	「目的語」

答えはとても簡単。他の絵も描いてみたけど、上手いかなかったんだ。バオバブの絵を描いた時は、急を要するという意識が僕を駆り立てていたんだ。

La respuesta es bien simple: He intentado hacerlos, pero sin éxito. Cuando dibujé los baobabs me impulsó el sentido de la urgencia.

	「主語」「動詞」「補語」   「動詞句」「副詞句」
	「副詞節」, 「目的語」「動詞」「主語」
La respuesta ラ・レスプ・エスタ n.f 答えは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
bien simple: ビエン・シンプレ adj. とても簡単な	「補語」
He intentado hacerlos, エ・インテンタド・アセル・ロス 1 単現・完了形・試行(intentar+不定詞)	
v.t 他の絵も描いてみた	「動詞句」
pero sin éxito. ペ・ロ・シ・エクシト adv. しかし成功せずに、上手いかなかった	「副詞句」
Cuando クワント conj. ～した時	「副詞節」
dibujé デイブ・ヘ 1 単点(dibujar)v.t を描いた	「動詞」
los baobabs ロス・バオバブス pl.n.m バオバブを	「目的語」
me メ pron 僕を	「目的語」
impulsó インプルソ 3 単点(impulsar)v.t 駆り立てていた	「動詞」
el sentido エル・センチト n.m 意識が	「主語」
de la urgencia. テ・ラ・ウルヘンシア adj. 緊急の	「形容詞句」

## VI

## VI



ああ、王子様。このように少しづつ、君の憂鬱な人生が分かってきた。

¡Ah, principito! Así, poco a poco, comprendí tu pequeña vida melancólica.

「感嘆」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」

¡Ah, principito! ア・プ・リンシピト int. ああ、王子様

「感嘆」

Así, アシ adv. このように

「副詞」

poco a poco, ポコ・ア・ポコ adv. 少しづつ、ゆっくり

「副詞句」

comprendí コンブレンティ 1 単点(comprender)v.t 分かってきた

「動詞」

tu pequeña vida melancólica. トウ・ペ・ケンニャ・ビダ・メラソリカ

n.f 君の憂鬱な人生を

「目的語」

pequeña ペケンニャ adj.f 小さい、いとしい vida ビダ n.f 人生

melancólica メラソリカ adj.f 憂鬱な

長い間、穏やかな日の入りだけが君の気晴らしだったんだね。

Durante mucho tiempo tu única distracción fue la suavidad de las puestas de sol.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Durante mucho tiempo ドゥランテ・ムチョ・ティエンポ adv. 長い間

「副詞句」

tu única distracción トウ・ウニカ・ディストラクシオン n.f 君の唯一の娯楽は

「主語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった

「動詞」

la suavidad ラ・スワビダ n.f 穏やかさ

「補語」



## VI

de las puestas de sol. テ・ラス・プエスタス・デ・ソル adj. 日の入りの 「形容詞句」  
 puesta プエスタ n.f (日・月の) 入り

4 日目の朝、君が僕に言った時、僕はこの新しい細部を知った。

Me enteré de este nuevo detalle, en la mañana del cuarto día, cuando me dijiste:

「動詞句」「間接目的語」「副詞句」「副詞節」

Me enteré メ・エンテレ 1 単点(enterarse)v.pr (de+名詞 を) 知った 「動詞句」

de este nuevo detalle, テ・エステ・ヌエボ・デ・タジエ adv. この新しい細部を 「間接目的語」

en la mañana del cuarto día, エン・ラ・マニャ・テル・クワルト・デイア

adv. 4 日目の朝に 「副詞句」

cuando クワンド conj. ～した時 「副詞節」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijiste: デイヒステ 2 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「僕、日の入りが大好きなんだ。日の入りを見に行こうよ」

--- Me encantan las puestas de sol. Vamos a ver una puesta de sol.

《「目的語」「動詞」「主語」 | 「動詞句」「目的語」》

Me メ pron 僕を 「目的語」

encantan エンカンタン 3 複現(encantar)v.t 魅了する 「動詞」

las puestas de sol. ラス・プエスタ・デ・ソル pl.n.f 日の入りは 「主語」

Vamos a ver ハモス・ア・ベール 1 複現・勧誘(ir a+不定詞)v.t 見に行こうよ 「動詞句」

una puesta de sol. ウナ・プエスタ・デ・ソル n.f 日の入りを 「目的語」

「でも待たなくてはならない」

--- Pero tenemos que esperar ...

《Pero 「動詞句」》

Pero ペロ conj. でも

tenemos que esperar ... テネモス・ケ・エスペラール 1 複現・必要(tener que+不定詞)

v.i 待たなければならない 「動詞句」

「何を待たなくちゃならないの？」

--- ¿Esperar qué?

《「動詞句」「目的語」》

¿Esperar エスペラール 不定詞 v.i 待たなくちゃならない 「動詞句」

tenemos que が省略されている

qué? ケ pron 何を? 「目的語」

## VI

「日が沈むのを、待たなくては」

--- Esperar a que el sol se ponga.

「動詞」「間接目的語」

Esperar エスぺ ラール 不定詞 v.i 待つ

「動詞」

a que ア・ケ conj. ～することを

「間接目的語」

el sol エル・ソル n.m 太陽が

「主語」

se ponga. セ・ポンガ 接・3 単現(ponerse)v.pr 沈む

「動詞句」

最初、君はとても驚いたように見えた。そして君は自分自身をあざ笑って、僕に言ったね。

Al principio pareciste muy sorprendido; luego, te reíste de ti mismo. Y me dijiste:

「副詞句」「動詞」「補語」；「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」

Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初は

「副詞句」

pareciste パレシステ 2 単点(parecer)v.i ～のように見えた

「動詞」

muy sorprendido; ムイ・ソルプレンドイト adj. とても驚いた

「補語」

luego, ルエゴ adv. それから

「副詞」

te reíste テ・レイステ 2 単点(reírse)v.pr (de を) あざ笑った

「動詞句」

de ti mismo. テ・ティ・ミスト adv. 自分自身を

「間接目的語」

Y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijiste: 2 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

「まだ自分の星にいるつもりでいたよ」

--- ¡Me creo siempre en mi casa!

《「動詞句」「副詞句」》

¡Me creo メ・クオ 1 単現(creerse)v.pr 自分が～であると思う

「動詞句」

siempre シエンプレ adv. まだ

「副詞」

en mi casa! エン・ミ・カサ adv. 自分のところに

「副詞句」

なるほど、アメリカ合衆国で正午の時に、フランスでは日が沈むということは、誰もが知っていることだ。

En efecto. Todo el mundo sabe que cuando es mediodía en los Estados Unidos el sol se pone en Francia.

「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」

En efecto. エン・エフェクト adv. 実際に、なるほど

「副詞句」

Todo el mundo トト・エル・ムント pron 誰もが

「主語」

sabe サベ 3 単現(saber)v.t 知っている

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

cuando クワント conj. ～する時

「副詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

## VI

mediodía メディオディヤ n.m	正午	「補語」
en los Estados Unidos エン・ロス・エスタト・ス・ウニト・ス		
adv. アメリカ合衆国で		「副詞句」
el sol エル・ソル n.m	太陽が	「主語」
se pone セ・ポネ 3 単現(ponerse)v.pr	沈む	「動詞句」
en Francia. エン・フランシア adv.	フランスでは	「副詞句」

日の入りを見るには、フランスに 1 分で行く事が出来れば十分なのだが。

Bastaría poder ir a Francia en un minuto para asistir a la puesta del sol.

「動詞句」「主語」「副詞句」

Bastaría + 不定詞 バスタリア 3 単過未(bastar+不定詞)v.i ~すれば十分なのだが 「動詞句」

bastar + 不定詞/que+接続法 「不定詞/que+接続法」が「主語」である

poder ir ポ・デル・イール 不定詞・可能(poder+不定詞)v.i 行くことが出来ることが 「主語」

a Francia ア・フランシア adv. フランスに 「間接目的語」

en un minuto エ・ヌン・ミスト adv. 1 分で 「副詞句」

para asistir パ・ラ・アシスティール adv. (a に) 居合わせるために 「副詞句」

a la puesta del sol. ア・ラ・プ・エスタ・デル・ソル adv. 日の入りに 「間接目的語」

残念なことに、フランスは遠すぎる。しかし君の小さな星の上なら、君の椅子を数歩だけ動かすだけで十分だった。

Desgraciadamente, Francia está demasiado lejos. Pero sobre tu pequeño planeta te bastaba mover tu silla algunos pasos.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Desgraciadamente, デ・スグラシアダ・メンテ adv. 残念なことに 「副詞」

Francia フランシア n.f フランスは 「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

demasiado lejos. デ・マシアト・レホス adj. 遠すぎる 「補語」

Pero ペロ conj. しかし

sobre tu pequeño planeta ソブレ・トゥ・ペ・ケンニョ・プラネタ adv. 君の小さな星の上なら 「副詞句」

te テ pron 君にとって 「間接目的語」

bastaba + 不定詞 バスタバ 3 単線(bastar+不定詞)v.i ~すれば十分だった 「動詞句」

mover モベール 不定詞 v.t 動かすことが 「主語」

tu silla トゥ・シジャ n.f 君の椅子を 「目的語」

algunos pasos. アルグ・ノス・パス adv. 数歩だけ 「副詞句」

## VI

だから君は、見たいと思うたびにたそがれをじっと見ていたんだね。

Y contemplabas el crepúsculo cada vez que lo querías. Y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

contemplabas コンテンプラバス 2 単線(contemplar)v.t じっと見ていた 「動詞」

el crepúsculo エル・クレプ・ースクロ n.m たそがれを 「目的語」

cada vez カダ・ベス adv. 毎回、そのたびごとに 「副詞句」

que ケ pron ～する 「形容詞節」

lo ロ pron それを 「目的語」

querías. クリアス 2 単線(querer)v.t 望む 「動詞」

「ある日、僕は日の入りを 43 回見たよ」

--- Un día, vi ponerse el sol cuarenta y tres veces.

《「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」「副詞句」》

Un día, ウン・デア adv. ある日 「副詞句」

vi ビ 1 単点(ver+O+不定詞)v.t (O が～するのを) 見た 「動詞」

ponerse ポ・ネセ 不定詞 v.pr 沈む 「補語」

el sol エル・ソル n.m 太陽が 「目的語」

cuarenta y tres veces. クワレンタ・イトレス・ベセス pl.n.f 43 回 「副詞句」

フランス語原版でも 43 回だが、

「フランス語で読もう 星の王子様」では 44 回に変わっている (quarante-quatre fois!)

そして少したってから、君は付け加えたよね。

Y poco después agregaste: Y 「副詞句」「動詞」

Y イ conj. そして

poco después ポ・コ・デスプ・エス adv. 少し後になって 「副詞句」

agregaste: アグレカステ 2 単点(agregar)v.t 言い足した 「動詞」

「あのね？本当に悲しい時って、日の入りは気持ちが安らぐものでしょう？」

--- ¿Sabes? ... Cuando uno está verdaderamente triste son agradables las puestas de sol... 《「呼びかけ」 | 「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」》

¿Sabes? ... サベス int. あのね、ねえ 「呼びかけ」

Cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

uno ウノ pron 人が 「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

verdaderamente triste ベルダデラメンテ・トリステ adj. 本当に悲しい 「補語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」

フランス語原版でも 43 回だが、

## VII

agradables アグラダブレス adj.pl 快い、気持ちの良い

「補語」

las puestas de sol... ラス・プ エルタス・デ・ソル pl.n.f 日の入りは

「主語」

「それじゃあ、43 回日の入りを見た日は、本当に悲しかったんだね？」

--- ¿Estabas, pues, verdaderamente triste el día de las cuarenta y tres veces?

《「動詞」「副詞」「補語」「副詞句」》

¿Estabas, エスタバス 2 単線(estar)v.i 〜だった

「動詞」

pues, プエス adv. それでは

「副詞」

verdaderamente triste ベルタデラメンテ・トリステ adj. 本当に悲しい

「補語」

el día エル・デ・イア n.m その日は

「副詞句」

de las cuarenta y tres veces? デ・ラス・クワレンタ・イトレス・ベセス

adj. 43 回日の入りを見た

「形容詞句」

フランス語原版でも 43 回だが、

「フランス語で読もう 星の王子様」では 44 回に変わっている (quarante-quatre fois!)

王子様は返事をしなかった。

El principito no respondió.

「主語」「動詞句」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

no respondió. ノ・レスポ・ンデ・イオ 3 単点・否定(responder)v.i 返事をしなかった

「動詞句」

## VII

5 日目に、また羊のおかげで、王子様の人生のあの秘密が僕に明かされた。

Al quinto día, siempre gracias al cordero, me fue revelado este secreto de la vida del principito.

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「主語」

Al quinto día, アル・キント・デ・イア adv. 5 日目に

「副詞句」

siempre シエンプレ adv. また

「副詞」

gracias al cordero, グラシアス・アル・コルデロ adv. 羊のおかげで

「副詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

fue revelado フェ・レバ・ラト 3 単点・受動(revelar)v.t 明かされた

「動詞句」

este secreto エステ・セクレト n.m あの秘密が

「主語」

de la vida del principito. デ・ラ・ビダ・デル・プリンシピト

adj. 王子様の人生の

「形容詞句」

## VII

ぶっきらぼうにそして長い間黙って考え抜いた問題の結果であるかのように、僕に尋ねた。

Me preguntó bruscamente, y sin preámbulos, como fruto de un problema largo tiempo meditado en silencio:

Me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 bruscamente, ブルスカメンテ adv. ぶっきらぼうに 「副詞」  
 y イ conj. そして  
 sin preámbulos, シン・プレアンブルス adv. 前置きなしに 「副詞句」  
 como コモ conj. ～のように 「副詞句」  
 fruto フルト n.m 結果 「目的語」  
 de un problema デ・ウン・プロブレマ adj. 問題の 「形容詞句」  
 largo tiempo ラルゴ・ティエンポ adv. 長い間 「副詞句」  
 meditado en silencio: メディタド・エン・シレンシオ  
 adj. 黙って考え抜いた 「形容詞句」

「もし羊が低木を食べるのなら、花も食べるんでしょう？」

--- Si un cordero come arbustos, ¿come también flores?

Si シ conj. もし～ならば 《「副詞節」, 「動詞」 「目的語」》  
 un cordero ウン・コルデロ n.m 羊が 「主語」  
 come コメ 3 単現(comer)v.t 食べる 「動詞」  
 arbustos, アルブストス pl.n.m 低木を 「目的語」  
 ¿come コメ 3 単現(comer)v.t 食べる 「動詞」  
 también flores? タンビエン・フロレス pl.n.f 花も 「目的語」

「羊は出会う物はなんでも食べるよ」

--- Un cordero come todo lo que encuentra.

Un cordero ウン・コルデロ n.m 羊は 《「主語」 「動詞」 「目的語」》  
 come コメ 3 単現(comer)v.t 食べる 「動詞」  
 todo lo トド・ロ pron 全てのものを 「目的語」  
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」  
 encuentra. エンクエントラ 3 単現(encontrar)v.t 出会う 「動詞」

「とげのある花まで？」

--- ¿Hasta las flores que tienen espinas?

¿Hasta las flores アスタ・ラス・フロレス pl.n.f 花まで? 《「目的語」》  
 「目的語」

## VII

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 tienen ティエネン 3 複現(tener)v.t がある 「動詞」  
 espinas? エスピナス pl.n.f とげ 「目的語」

「そうだよ。とげのある花まで」

--- Sí. Hasta las flores que tienen espinas. 《「応答」 | 「目的語」》  
 Sí. シ adv. そうだよ 「応答」  
 Hasta las flores que tienen espinas. アスタ・ラス・フロレス・ケ・ティエネン・エスピナス  
 pl.n.f とげのある花まで 「目的語」

「それじゃあ、とげは何のために役に立つの？」

--- Entonces, las espinas, ¿para qué sirven? 《副詞「主語」「副詞句」「動詞」》  
 Entonces, エントネス adv. それじゃあ 「副詞」  
 las espinas, ラス・エスピナス pl.n.f とげは 「主語」  
 ¿para qué パラ・ケ adv. 何のために 「副詞句」  
 sirven? シルベン 3 複現(servir)v.i 役に立つ 「動詞」

僕はそれを知らなかった。その時僕は、エンジンのきつく締まり過ぎたボルトを外そうとしていてとても忙しかった。

Yo no lo sabía. Estaba entonces muy ocupado tratando de destornillar un bulón demasiado ajustado de mi motor.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「補語」「副詞句」  
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 no ...sabía. ノ...サビア 1 単線・否定(saber)v.t 知らなかった 「動詞句」  
 lo ロ pron それを 「目的語」  
 Estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」  
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」  
 muy ocupado ムイ・オカパト adj. とても忙しい 「補語」  
 tratando de destornillar トラタント・デ・デストルニジャール 現在分詞(tratar de+不定詞)  
 v.t ～のネジ釘を外そうとしていて 「副詞句」  
 un bulón アン・ブロン n.m ボルトを 「目的語」  
 demasiado ajustado デマシアト・アフスタト adj. きつく締まり過ぎた 「形容詞句」  
 de mi motor. デ・ミ・モートル adj. エンジンの 「形容詞句」

## VII

故障がとても深刻だということが分かり始めた上に、水が底について最悪の事態に対する恐怖が起こってきたので、僕はとても心配になっていた。

Estaba muy preocupado, pues mi avería comenzaba a resultarme muy grave y el agua que se agotaba me hacía temor lo peor. 「動詞」「補語」, 「副詞節」

Estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i. ～だった 「動詞」

muy preocupado, ムイ・プレオカパド adj. とても心配な 「補語」

pues プエス conj. ～なので 「副詞節」

mi avería ミ・アベリア n.f 故障が 「主語」

comenzaba a resultarme コメンサバ・ア・レスタル・メ 3 単線・開始(comenzar a+不定詞+me)

v.i 僕にとって～の結果になり始めていた 「動詞句」

comenzar a+不定詞 「～し始める」 resultar レスタル v.i. ～の結果になる

muy grave ムイ・グラーベ adj. とても深刻な 「補語」

y イ conj. そして

el agua エル・アグァ n.m 水は 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se agotaba セ・アコタバ 3 単線(agotarse)v.pr 枯渇している 「動詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

hacía アシア 3 単線(hacer)v.t. ～を生じさせた、起こさせた 「動詞」

temor lo peor. テモール・レ・ペ・オール n.m 最悪の恐怖を 「目的語」

「とげは何の役に立つの？」

--- Las espinas, ¿para qué sirven? 《「主語」「副詞句」「動詞」》

Las espinas, ラス・エスピナス pl.n.f とげは 「主語」

¿para qué パラ・ケ adv. 何のために 「副詞句」

sirven? シルベン 3 複現(servir)v.i 役に立つ 「動詞」

王子様は、一度言い出した質問は決してあきらめなかった。

El principito jamás renunciaba a una pregunta, una vez que la había formulado.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

jamás renunciaba ハマス・レンシアバ 3 単線・否定(renunciar)

v.i 決してあきらめなかった 「動詞句」

a una pregunta, ア・ウナ・プレグンタ adv. 質問を 「間接目的語」

una vez que ウナ・ベス・ケ conj. 一度～したら 「副詞節」

この「副詞節」は pregunta を修飾する「形容詞節」と考えても良い

la ラ pron それを 「目的語」



## VII

había formulado. アビェ・フォルムラト 3 単線・完了形(formular)

v.t (考えを) 表明した

「動詞句」

僕はボルトのせいで苛立っていたので、いい加減に答えた。

Yo estaba irritado por mi bulón y respondí cualquier cosa:

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

irritado イリタ 過去分詞(irritar)adj. 苛立った

「補語」

por mi bulón ポル・ミ・ブロン adv. ボルトのせいで

「副詞句」

y イ conj. それで

respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

cualquier cosa: クワルキエ・コサ n.f 適当なことを

「目的語」

cualquiera クワルキエ adj. (名詞の前では cualquier) (+名詞) どんな (~でも)

「とげは、何の役にも立たないよ。それは全く花の意地悪だよ」

--- Las espinas no sirven para nada. Son pura maldad de las flores.

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

Las espinas ラス・エスピナス pl.n.f とげは

「主語」

no sirven ノ・シルベン 3 複現・否定(servir)v.i 役に立たない

「動詞句」

para nada. パラ・ナダ adv. 何のためにも

「副詞句」

Son ソン 3 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

pura maldad プラ・マルダト n.f まったくの意地悪

「補語」

puro プロ adj.m, pura プラ adj.f まったくの、純粋な maldad マルダト n.f 悪さ

de las flores. デ・ラス・フロレス adj. 花の

「形容詞句」

「ああ！」

--- ¡Oh!

《「感嘆」》

¡Oh! オ int. おや、ああ「感嘆」

少し黙ってから、ある種の恨みを込めて僕に言った。

Después de un silencio me largó, con cierto rencor:

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」, 「副詞句」

Después de un silencio デスプエス・デ・ウン・シレンシオ adv. 少し黙ってから

「副詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

largó, ラルゴ 3 単点(largar)v.t (嫌な風に) 言った

「動詞」

## VII

con cierto rencor: コン・シエルト・レンコール adv. いくらかの恨みを込めて 「副詞句」  
 cierto シエルト adj. (+名詞) いくらかの、ある rencor レンコール n.m 恨み

「君は信用できないよ！花はか弱いんだ。無邪気なんだ。出来るだけ、身を守ろうとして  
 いるんだ。とげがあることで、自分が怖い存在だと思っているんだ」

--- ¡No te creo! Las flores son débiles. Son ingenuas. Se defienden como pueden. Se  
 creen terribles con sus espinas.

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」  
 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「補語」》

¡No ...creo! ノ...クレオ 1 単現・否定(creer)v.t 信用しない 「動詞句」  
 te テ pron 君を 「目的語」  
 Las flores ラス・フロレス pl.n.f 花は 「主語」  
 son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 débiles. デビレス adj.pl か弱い 「補語」  
 Son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 ingenuas. インヘヌアス adj.f.pl 無邪気 「補語」  
 Se defienden セ・デフィエンデテン 3 複現(defender)v.pr 身を守っている 「動詞句」  
 como コモ conj. ~するように 「副詞節」  
 pueden. プエテン 3 複現(poder)v.t 出来る 「動詞」  
 Se creen セ・クレエン 3 複現(creerse)v.pr 自分を~だと思っている 「動詞句」  
 terribles テリブレス adj.pl 恐ろしい 「補語」  
 con sus espinas. コン・スス・エスピナス adv. とげが有ることで 「副詞句」

僕は何も答えなかった。その瞬間、心の中で思っていた。「もしこのボルトがまだ抵抗する  
 なら、金槌で飛ばしてやろう」

No respondí nada. En ese instante me decía: «Si este bulón todavía resiste, lo haré  
 saltar de un martillazo.» 「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」:

《「副詞節」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」》

No respondí ノ・レスポンドィ 1 単点・否定(responder)v.t 答えなかった 「動詞句」  
 nada. ナダ pron 何も~ない 「目的語」  
 En ese instante エン・エセ・インスタンテ adv. その瞬間 「副詞句」  
 me decía: メ・デシア 1 単線(decirse)v.pr 心の中で思っていた 「動詞句」  
 Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」  
 este bulón エステ・ブロン n.m このボルトが 「主語」  
 todavía トダビシア adv. まだ 「副詞」  
 resiste, レシステ 3 単現(resistir)v.i 抵抗する 「動詞」

## VII

lo □ pron それを 「目的語」  
 haré saltar アレ・サルタル 1 単未・使役(hacer+不定詞)v.t 飛ばしてやろう 「動詞句」  
 de un martillazo.》 テ・ウン・マルティジャソ adv. 金槌で 「副詞句」

王子様はまたしても僕の熟考を邪魔した。

El principito interrumpió de nuevo mis reflexiones: 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 interrumpió インテルピオ 3 単点(interrumpir)v.t 遮った、邪魔をした 「動詞」  
 de nuevo テ・ヌエボ adv. またしても 「副詞句」  
 mis reflexiones: ミス・レフクシオネス pl.n.f 僕の熟考を 「目的語」

「それで、君、君は思っているのか？花というものは…」

--- ¿Y tú, tú crees que las flores ...? 《Y「呼びかけ」「主語」「動詞」「目的語」》  
 ¿Y イ conj. それで  
 tú, トゥ pron 君 「呼びかけ」  
 tú トゥ pron 君は 「主語」  
 crees クレイス 2 単現(creer)v.t 思っている 「動詞」  
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」  
 las flores ...? ラス・フロレス pl.n.f 花というものは 「主語」

「いや、いや。僕は何も思っていないよ。君にはいい加減に返事をしただけだよ。僕は今真面目な事をやっているんだから」

--- ¡No, no! ¡Yo no creo nada! Te he contestado cualquier cosa. ¡Yo me ocupo de cosas serias! 《「応答」 | 「主語」「動詞句」「目的語」  
 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」》  
 ¡No, no! ノ・ノ adv. いや、いや 「応答」  
 ¡Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 no creo ノ・クオ 1 単現・否定(creer)v.t 思っていない 「動詞句」  
 nada! ナダ pron 何も～ない 「目的語」  
 Te テ pron 君に 「間接目的語」  
 he contestado エ・コンテスタト 1 単現・完了形(contestar)v.t 返事をした 「動詞句」  
 cualquier cosa. クワルクエ・コサ n.f いい加減なことを 「直接目的語」  
 ¡Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 me ocupo メ・オクポ 1 単現(ocuparse)v.pr (de に) 従事している 「動詞句」  
 de cosas serias! テ・コサス・セアス adv. 真面目なことに 「間接目的語」

## VII

彼は呆然として僕を見つめた。

Me miró estupefacto.

「目的語」「動詞」「副詞」

Me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

estupefacto. エストゥペ・ファクト adv. 茫然として

「副詞」

「真面目なことにだって！」

--- ¡De cosas serias!

《「副詞句」》

De cosas serias! デ・コサス・セリアス adv. 真面目なことにだって！

「副詞句」

彼は僕を見ていた。僕は彼にとってはとても醜く見えるものにかがみ込んで、手には金槌をもち、指はグリースで真っ黒になっていた。



Me veía con el martillo en la mano y los dedos negros de grasa, inclinado sobre un objeto que le parecía muy feo.

「目的語」「動詞」「形容詞句」, 「形容詞

句」

Me メ pron 僕を

「目的語」

veía ベイア 3 単線(ver)v.t 見ていた

「動詞」

con コン adj. ーの

「形容詞句」

el martillo en la mano コン・エル・マルティジョ・エン・ラ・マノ n.m 手に金槌

「目的語」

y イ conj. そして

los dedos negros de grasa, ロス・デトス・ネグロス・デ・グラサ

pl.n.m グリースで真っ黒の指

「目的語」

inclinado インクリナド adj. 傾いた、かがみ込んだ

「形容詞句」

sobre un objeto ソブレ・ウン・オブヘト adv. 物体の上に

「副詞句」

que ケ pron ーする

「形容詞節」

le レ pron 彼にとって

「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ーに見える

「動詞」

muy feo. ムイ・フェオ adj. とても醜い

「補語」

「君は、大人みたいな話し方をしているね！」

--- ¡Hablas como las personas grandes!

《「動詞」「副詞句」》

¡Hablas アブラス 2 単現(hablar)v.i 話している

「動詞」

como +名詞 コモ adv. ーのように

「副詞句」

las personas grandes! ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人たち

「目的語」

como +直説法／接続法 「ーするように」

## VII

彼の言葉を聞いて、僕は少し恥ずかしくなった。しかし、彼は冷酷にも付け加えた。

Me avergonzó un poco. Pero, despiadado, agregó:

「目的語」「動詞」「副詞句」 | Pero 「副詞」「動詞」

Me メ pron 僕に

「目的語」

avergonzó アベルゴンソ 3 単点(avergonzar)v.t 恥をかかせた

「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

despiadado, デスピアダド adv. 冷酷にも、無慈悲にも

「副詞」

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

「すべてを混同している！何もかも、まぜこぜにしている！」

--- ¡Confundes todo!... ¡Mezclas todo! 《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」》

¡Confundes コンフンデス 2 単現(confundir)v.t 混同している

「動詞」

todo! トト pron すべての事を

「目的語」

¡Mezclas メクラス 2 単現(mezclar)v.t まぜこぜにしている

「動詞」

todo! トト pron すべての事を

「目的語」

彼は本当にすごく苛立っていた。金色の髪を風になびかせていた。

Estaba verdaderamente muy irritado. Sacudía al viento sus cabellos dorados.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」

Estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった

「動詞」

verdaderamente ベルタデラメンテ adv. 本当に

「副詞」

muy irritado. ムイ・イリタド adj. すごく苛立った

「補語」

Sacudía サクディア 3 単線(sacudir)v.t 揺り動かしていた

「動詞」

al viento アル・ビエント adv. 風に

「副詞句」

sus cabellos dorados. ス・カベジョス・トラドス pl.n.m 金色の髪を

「目的語」

「僕、深紅色さんが住んでいる惑星を知っているよ。その人は、たった一本の花の香りをかいだ事もないし、たった一つの星のほうへ視線を向けたこともなければ、誰も愛したことがないんだ。」

--- Conozco un planeta donde hay un Señor carmesí. Jamás ha aspirado una flor. Jamás ha mirado a una estrella. Jamás ha querido a nadie.

《「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「目的語」》

Conozco コノスコ 1 単現(conocer)v.t 知っている

「動詞」

un planeta ウン・プラネタ n.m ある星を

「目的語」

## VII

donde ドンデ pron	そこで～する	「形容詞節」
hay アイ 3 単現(haber)v.t	～がいる	「動詞」
un Señor carmesí. ウン・セニョール・カメルシ n.m	深紅色の人	「主語」
Jamás ハマス adv.	決して～ない	「副詞」
ha aspirado ア・アスピラド 3 単現・完了形(aspirar)v.t	吸った、香りをかいだ	「動詞句」
una flor. ウナ・フローラ n.f	たった一本の花を	「目的語」
Jamás ha mirado ハマス・ア・ミラド 3 単現・完了形・否定(mirar)		
v.i	視線を向けたことがない	「動詞句」
a una estrella. ア・ウナ・エストレジャ adv.	たった一つの星のほうへ	「間接目的語」
Jamás ha querido ハマス・ア・クレイド 3 単現・完了形・否定(querer)		
v.t	愛したことがない	「動詞句」
a nadie. ア・ナディエ pron	誰も～ない	「目的語」

「目的語」が特定の人の場合は、他動詞でも目的語の前に a を付ける

「彼は、足し算と引き算しかやったことがないんだ。そして一日中、君みたいに繰り返し言っているよ。“自分は真面目な男だ！自分は真面目な男だ！” って」

No ha hecho más que sumas y restas. Y todo el día repite como tú: “¡Soy un hombre serio! ¡Soy un hombre serio!”

《「動詞句」「目的語」

Y 「副詞句」「動詞」「副詞句」》:

“「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」”



No ha hecho más que ノ・ア・エチョ・マス・ケ 3 単現・完了形(hacer)		
v.t	～しかしたことがない	「動詞句」
no ...más que	～しか... ない	
sumas y restas. スマス・イ・レストス pl.n.f	足し算と引き算	「目的語」
Y イ conj.	そして	
todo el día トド・エル・デア adv.	一日中	「副詞句」

## VII

repite レピテ 3 単現(repetir)v.t 繰り返し言っている 「動詞」  
 como tú: コモ・トゥ adv. 君のように 「副詞句」  
 ¡Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un hombre serio! ウン・オンブレ・セリオ n.m まじめな男 「補語」  
 ¡Soy un hombre serio! ソイ・ウン・オンブレ・セリオ 自分は真面目な男だ！  
 フランス語原文では、  
 「足し算」 だけである

「彼は傲慢によって膨れ上がっているんだ。だけどあれは人間じゃない、キノコだよ！」

Se infla de orgullo. Pero no es un hombre, ¡es un hongo!

《「動詞句」「副詞句」 | Pero 「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》

Se infla セ・インフラ 3 単現(inflarse)v.pr 膨らんでいる 「動詞句」  
 de orgullo. デ・オルグジョ adv. (原因) 傲慢によって 「副詞句」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」  
 un hombre, ウン・オンブレ n.m 人間 「補語」  
 ¡es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un hongo! ウン・オンゴ n.m キノコ 「補語」

「何だって？」

--- ¿Un qué? 《「応答」》  
 ¿Un qué? ウン・ケ pron 何だって 「応答」

「キノコだよ！」

--- ¡Un hongo! 《「応答」》  
 Un hongo! ウン・オンゴ n.m キノコだよ 「応答」

王子様は、今では激怒のために真っ青になっていた。

El principito estaba ahora pálido de cólera. 「主語」「動詞」「副詞」「補語」  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」  
 ahora アオラ adv. 今では 「副詞」  
 pálido パリト adj. (顔色が) 青白い 「補語」  
 de cólera. デ・コレラ adv. (原因) 激怒のために 「副詞句」

## VII

「何百万年も前から花はとげを作っているし、何百万年も前から羊たちは、とげがあろうがなかろうが、花を食べている」

--- Hace millones de años que las flores fabrican espinas. Hace millones de años que los corderos comen igualmente las flores.

《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》

Hace millones de años que アセ・ミロネス・デ・アニョス・ケ conj. 何百万年も前から～した「副詞句」

この hace アセ 3 単現(hacer) は、前置詞的な役割である。「～前に、～前から」

las flores ラス・フロレス pl.n.f 花たちは 「主語」

fabrican ファブリカン 3 複現(fabricar)v.t 作っている 「動詞」

espinas. エスピナス pl.n.f とげを 「目的語」

Hace millones de años que アセ・ミロネス・デ・アニョス・ケ conj. 何百万年も前から～した「副詞句」

los corderos ロス・コルデロス pl.n.m 羊たちは 「主語」

comen コメン 3 複現(comer)v.t 食べている 「動詞」

igualmente イグワルメンテ adv. 同様に、(とげがあろうと) 「副詞」

las flores. ラス・フロレス pl.n.f 花を 「目的語」

「それでは、花たちが何のためにも役に立たないとげを作ることにあれほどまでに努力しているのは何が目的なのかを理解することが真面目じゃないって言うのか？」

¿Y no es serio intentar comprender por qué las flores se esfuerzan tanto en fabricar espinas que no sirven nunca para nada? 《Y「動詞」「補語」「主語」》

¿Y イ conj. それでは

no es ノ・エス 3 単現(ser)v.i ～でない 「動詞」

serio セリオ adj. 真面目な 「補語」

intentar comprender インテンタル・コンプレンデール 不定詞(intentar+不定詞)

n. ～を理解しようとするのが 「主語」

por qué ポル・ケ adv. 何のために～するというのを 「間接目的語」

las flores ラス・フロレス pl.n.f 花たちは 「主語」

se esfuerzan セ・エスフエルサン 3 複現(esforzarse)v.pr 努力する 「動詞句」

tanto タント adv. それほどまでに 「副詞」

en +不定詞 エン adv. ～することに 「副詞句」

fabricar ファブリカル 不定詞 v.t 作る 「動詞」

espinas エスピナス pl.n.f とげを 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no sirven nunca ノ・シルベン・ヌンカ 3 複現・否定(servir)

v.i 全く役に立たない 「動詞句」

para nada? パラ・ナダ adv. 何のためにも～ない 「間接目的語」



## VII

「羊と花の戦争は重要じゃないって言うの？太っちょの深紅色さんの足し算よりも、真面目でも重要でもないというの？」

¿No es importante la guerra de los corderos y las flores? ¿No es más serio y más importante que las sumas de un Señor gordo y rojo?

《「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「補語」》

¿No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない? 「動詞」

importante インポ・ルタンテ adj. 重要な 「補語」

la guerra ラ・グェッラ n.f 戦争は 「主語」

de los corderos y las flores? テ・ロス・コルテ・ロス・イ・ラス・フロレス

adj. 羊と花の 「形容詞句」

¿No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない? 「動詞」

más serio y más importante マス・セリオ・イ・マス・インポ・ルタンテ

adj. (否定文で) あまり真面目でも重要でも~ない 「補語」

que ケ adv. ~よりも 「副詞句」

las sumas ラス・スマス pl.n.f 足し算 「目的語」

de un Señor gordo y rojo? テ・ウン・セニョル・ゴルト・イ・ロホ

adj. 太っちょの深紅色さんの 「形容詞句」

「僕の星以外のどんな場所にも存在しない、この世で唯一の一輪の花を僕が知っていて、その花を子羊が、ある朝自分がしていることの意味も分からずに、ただの一撃で消滅させてしまうかもしれないということが、重要ではないということか？」

¿Y no es importante que yo conozca una flor única en el mundo, que no existe en ninguna parte, salvo en mi planeta, y que un corderito puede aniquilar una mañana, así, de un solo golpe, sin darse cuenta de lo que hace?

《Y「動詞句」「補語」「主語」 y「主語」》

¿Y イ conj. そして

no es ノ・エス 3 単現・否定・疑問(estar)v.i ~でないということか? 「動詞句」

importante インポ・ルタンテ adj. 重要な 「補語」

主節が価値判断を表す無人称表現なので、従属節は接続法となる

que ケ conj. (+接続法) ~ということが 「主語」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

conozca コノスカ 接・1 単現(conocer)v.t 知っている 「動詞」

una flor ウナ・フローラ n.f 一輪の花を 「目的語」

única en el mundo, ウニカ・エ・ネル・ムント adj. この世で唯一の 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節: flor」

## VII

no existe ノ・エキステ 3 単現・否定(existir)v.i	存在しない	「動詞句」
en ninguna parte, エン・ニンガナ・パルテ adv.	どんな場所にも	「副詞句」
salvo en mi planeta, サルボ・エン・ミ・プラネタ		
adj.	僕の星以外の	「形容詞句」
y イ conj.	そして	
que ケ conj. (目的語)	その花を～することが	「主語」
un corderito ウン・コルデリト n.m	子羊が	「主語」
cordero コルデロ n.m	ヒツジ + -ito (示小接尾辞) → corderito コルデリト n.m	子羊
puede aniquilar フ・エデ・アニキラル 3 単現・可能性(poder+不定詞)		
v.t	消滅させるかもしれない	「動詞句」
una mañana, ウナ・マニャナ adv.	ある朝	「副詞句」
así, アシ adv.	このように	「副詞」
de un solo golpe, デ・ウン・ソロ・ゴルペ adv.	(手段) たたの一撃で	「副詞句」
sin +不定詞 シン adv.	～しないで	「副詞句」
darse cuenta de ダルセ・クエンタ・デ 不定詞 v.pr	～に気付く	「動詞句」
lo ロ pron	そのこと	「目的語」
que ケ pron (目的語)	～する	「形容詞節」
hace? アセ 3 単現(hacer)v.t	自分がしている	「動詞」

「これが重要ではないというのか？」

¿ <u>Esto</u> <u>no es</u> <u>importante</u> ?	《「主語」「動詞」「補語」》
¿Esto エスト pron	これが「主語」
no es ノ・エス 3 単現・否定・疑問(estar)v.i	～でないというのか？「動詞句」
importante? インポルタンテ adj.	重要な「補語」

王子様は顔を赤らめて、言い足した。

<u>Enrojeció</u> y <u>agregó</u> :	「動詞」 y 「動詞」
Enrojeció エンロヘシオ 3 単点(enrojecer)v.i 顔が赤くなっていた	「動詞」
y イ conj. そして	
agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 言い足した	「動詞」

「もし誰かが、何百万、何千万という星の中に一例しか存在しないという、たった一輪の花を愛しているなら、星たちを見るだけで十分幸せになれる。」

--- Si alguien ama a una flor de la que no existe más que un ejemplar entre los millones y millones de estrellas, es bastante para que sea feliz cuando mira a las estrellas.

《「副詞節」, 「動詞」「補語」「副詞節」》

## VII

Si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
alguien アルギエ <sup>ン</sup> pron 誰かが	「主語」
ama アマ 3 単現(amar)v.t 愛している	「動詞」
a una flor ア・ウナ・フロール n.f 一輪の花を	「目的語」
de la デ・ラ adj. (同格) ～という花の	「形容詞句」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
no existe ノ・エキステ 3 単現・否定(existir)v.i 存在しない	「動詞句」
más que un ejemplar マス・ケ・ウン・エンプラール adv. 一例しか	「副詞句」
entre los millones y millones de estrellas, エントレ・ロス・ミジヨネス・イ・ミジヨネス・デ・エストレジャス adv. 何百万、何千万という星のなかで	「副詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
bastante バスタンテ adj. 十分な	「補語」
para que +接続法 パラ・ケ conj. ～するために	「副詞節」
sea セア 接・3 単現(ser)v.i ～になる	「動詞」
feliz フェリス adj. 幸せな	「補語」
cuando クワント conj. ～する時に	「副詞節」
mira ミラ 3 単現(mirar)v.t 見る	「動詞」
a las estrellas. ア・ラス・エストレジャス pl.n.f 星たちを	「目的語」
「どれかの星に自分が愛すべき花が咲いているのだから」	

その人は心の中で思う：「僕の花はあそこにある、あの星の中のどれかに」

Se dice: 《 <u>Mi flor está allí, en alguna parte...</u> 》	「動詞句」：《「主語」「動詞」「副詞句」》
Se dice: セ・デ・イセ 3 単現(decirse)v.pr 心の中で思う	「動詞句」
Mi flor ミ・フロール n.f 僕の花は	「主語」
está エスタ 3 単現(estar)v.i ～にある	「動詞」
allí, アジ adv. あそこに	「副詞」
en alguna parte...》 エン・アルグナ・パルテ adv. あの星の中のどれかに	「副詞句」
parte パルテ n.f 場所 → ここでは、無数の星の中のどれかという意味	

だから羊が花を食べてしまったら、その人にとって、それはすべての星が突然消えてしまったようなものだ。それでも、これが重要ではないというのか？

Y si el cordero come la flor, para él es como si, bruscamente, todas las estrellas se apagarán. Y esto, ¿no es importante?	
Y 「副詞節」, 「副詞句」「動詞」「補語」   Y 「主語」「動詞」「補語」	
Y イ conj. そして	
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」

## VII

el cordero エル・コルデロ n.m	ヒツジが	「主語」
come コメ 3 単現(querer)v.t	食べる	「動詞」
la flor, ラ・フローラ n.f	花を	「目的語」
para él パ・ラ・エル adv.	その人にとって	「副詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
como si, +接続法 コモ・シ conj.	まるで～するようなこと	「補語」
bruscamente, ブルスカメンテ adv.	突然	「副詞」
todas las estrellas トダス・ラス・エストレージャス pl.n.f	すべての星が	「主語」
se apagaran. セ・アパ・ガラン 接・3 複過(apagarse)v.pr	消えてしまった	「動詞句」
Y イ conj.	それでも	
esto, エスト pron	これが (羊と花の戦争が)	「主語」
¿no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i	～でない	「動詞」
importante? インポルタンテ adj.	重要な	「補語」

彼はそれ以上なにも言えなかった。突然、すすり泣いた。日はとつくに暮れていた。

No pudo decir nada más. Estalló bruscamente en sollozos. La noche había caído.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

No pudo decir ノ・プト・デ・シーラ 3 単点・可能・否定(poder+不定詞)

v.t 言うことが出来なかった 「動詞句」

nada más. ナダ・マス pron それ以上なにも～ない 「目的語」

Estalló エスタジョ 3 単点(estallar)v.i (en で) (感情が) 爆発した 「動詞」

bruscamente ブルスカメンテ adv. 突然 「副詞」

en sollozos. エン・ソジョソス adv. すすり泣きに 「副詞句」

La noche ラ・ノチェ n.f 夜は 「主語」

había caído. ハビ・ア・カイト 3 単線・完了形(caer)v.i すでに暮れていた 「動詞句」

僕はすでに工具を手放していた。かなづちも、ボルトも、喉の渇きも、死の恐怖でさえ、  
どうでもよかった。

Yo había dejado mis herramientas. No me importaban ni el martillo, ni el bulón, ni la sed, ni la muerte.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

había dejado アビ・ア・デハド 1 単線・完了形(dejar)v.t 手放していた 「動詞句」

mis herramientas. ミス・エラメンタス pl.n.f 工具を 「目的語」

No me importaban ノ・メ・インポルタバン 3 複線・否定(importar)v.i 重要でなかった 「動詞句」

me は「間接目的語」僕にとって

ni el martillo, ニ・エル・マルティジョ n.m かなづちも 「主語」

## VII

ni は連続で否定する接続詞 ～も～も... ない

ni el bulón, ニ・エル・ブロン n.m ボルトも

「主語」

ni la sed, ニ・ラ・セト n.f 喉の渇きも

「主語」

ni la muerte, ニ・ラ・ムエルテ n.f 死も

「主語」

1 つの星の上に、惑星の上に、僕の星、地球の上に、慰めを必要とする 1 人の王子様がいた。

En una estrella, en un planeta, el mío, la Tierra, había un principito que necesitaba consuelo.

「副詞句」「動詞」「目的語」

En una estrella, エン・ウナ・エストレジャ adv. 1 つの星の上に

「副詞句」

en un planeta, エン・ウン・プラネタ adv. 惑星の上に

「副詞句」

el mío, la Tierra, エル・ミオ・ラ・ティエラ adv. 僕の星、地球の上に

「副詞句」

había アビア 3 単線(haber)v.t いた

「動詞」

un principito ウン・プリンシピト n.m 1 人の王子様が

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

necesitaba ネシタバ 3 単線・時制の一致(necesitar)v.t 必要としている

「動詞」

consuelo. コンスエロ n.m 慰めを

「目的語」

彼を両腕で抱き上げて、ゆりかごのように揺すった。彼に言った：「君の愛する花はもう危険にさらされていないよ！君の羊に、口輪を描いてあげる。花には囲いを描いてあげるよ。描いてあげるよ...」

Lo tomé en mis brazos. Lo acuné. Le dije: «La flor que amas no corre peligro... Dibujaré un bozal para tu cordero. Dibujaré una armadura para tu flor... Di...»

「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」 | 「間接目的語」「動詞」

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」》

Lo ロ pron 彼を

「目的語」

tomé トメ 1 単点(tomar)v.t (手に) 取った、つかんだ

「動詞」

en mis brazos. エン・ミス・ブラソス adv. 両腕の中に

「副詞句」

Lo ロ pron 彼を

「目的語」

acuné. アクネ 1 単点(acunar)v.t (抱いて) 揺すった

「動詞」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije: ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

《La flor ラ・フロール n.f 花は

「主語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

amas アマス 2 単現(amar)v.t 愛している

「動詞」

no corre ノ・コレ 3 単現・否定(correr)v.t さらされていない

「動詞句」

## VII

peligro... ペリグロ n.m	危険	「目的語」
Dibujaré デイブアル 1 単未・意思(dibujar)v.t	描いてあげるよ	「動詞」
un bozal ボサル n.m	口輪を	「目的語」
para tu cordero. パラ・トゥ・コルデロ adv.	君の羊のために	「副詞句」
Dibujaré デイブアル 1 単未・意思(dibujar)v.t	描いてあげるよ	「動詞」
una armadura ウナ・アルマトゥラ n.f	甲冑、骨組み、囲い	「目的語」
para tu flor... パラ・トゥ・フローラ adv.	花のために	「副詞句」
Di...》デイ... 描いて...		「動詞」

何を言うべきかがよく分からなかった。自分がひどく間抜けに思われた。どうしたら彼の心に届くのか、どこでその答えに出会えるのか分からなかった。涙の国というのは、それほど不思議なところ！

No sabía bien qué decir. Me sentía muy torpe. No sabía cómo llegar a él, dónde encontrarlo... ¡Es tan misterioso el país de las lágrimas!...

「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「補語」 | 「動詞句」「目的語」

No sabía bien ノ・サビ・ア・ビエン 1 単線・否定(saber)v.t	よく分からなかった	「動詞句」
qué decir. ケ・デシル pron	何を言うべきかと言う事を	「目的語」
Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr	自分が～と感じた	「動詞句」
muy torpe. ムイ・トルペ adj.	ひどく間抜けな、不器用な	「補語」
No sabía ノ・サビ・ア 1 単線・否定(saber)v.t	分からなかった	「動詞句」
cómo +不定詞 コモ adv.	どのようにして～するかという方法	「目的語」
llegar ジェガール 不定詞 v.i (心に) 届く		「動詞」
a él, ア・エル pron	彼の心に	「間接目的語」
dónde トンデ adv.	どこで～するかという方法	「目的語」
encontrarlo... エンコントラル・ロ 不定詞 v.t	それに出会う	「動詞句」
lo	は彼の心に届くための方法を指す	
¡Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
tan misterioso タン・ミステリオ adj.	それほど不思議な	「補語」
el país de las lágrimas!... エル・パイス・デ・ラス・ラグリマス n.m	涙の国は	「主語」

## VIII

## VIII

間もなく、僕はその花をもっとよく知ることになった。王子様の惑星にはいつも、一列の花弁で飾られ、ほとんど場所も取らず、誰にも迷惑をかけないとても素朴な花があった。

Aprendí bien pronto a conocer mejor esa flor. En el planeta del principito siempre había habido flores muy simples, adornadas con una sola hilera de pétalos, que apenas ocupaban lugar y que no molestaban a nadie.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」

「副詞句」「動詞句」「目的語」「形容詞句」

Aprendí アプレンディ 1 単点(aprender)v.i (a+不定詞 仕方を) 習った 「動詞句」  
 bien ビエン adv. 良く 「副詞」  
 pronto プロント adv. 間もなく 「副詞」  
 a conocer ア・コノセル 不定詞 v.t 知る 「動詞句」  
 mejor メホル adv. もっと 「副詞」  
 esa flor. エサ・フロール n.f その花を 「目的語」  
 En el planeta del principito エ・ネル・プラネタ・テル・プリンシピト  
 adv. 王子様の惑星では 「副詞句」  
 siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」  
 había habido アビ・ア・アビト 3 単線・完了形(haber)v.t あった 「動詞句」  
 flores フロレス pl.n.f 花が 「目的語」  
 muy simples, ムイ・シンプレス adj. とても素朴な 「形容詞句」  
 adornadas アドルタス 過去分詞(adornar)adj.f.pl 飾った 「形容詞」  
 con una sola hilera de pétalos, コン・ウナ・ソラ・イレラデ・ペタロス  
 adv. 一列の花弁で 「副詞句」  
 que ケ pron ~する 「形容詞節」  
 apenas アペナス adv. ほとんど～ない 「副詞」  
 ocupaban オカパン v.t (場所を) 占める 「動詞」  
 lugar ルガル n.m 場所を 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 que ケ pron ~する 「形容詞節」  
 no molestaban ノ・モレスタバン 3 複線・否定(molestar)  
 v.t 邪魔する、迷惑をかける 「動詞句」  
 a nadie. ア・ナデエ pron 誰にも～ない 「目的語」

## VIII

それらの花はある朝草の間から姿を現し、その後夜には消えてしまうのだった。

Aparecían una mañana entre la hierba y luego se extinguían por la noche.

「動詞」「副詞句」 y 「副詞」「動詞句」「副詞句」

Aparecían アパレシオン 3 複線(aparecer)v.i 姿を見せた、現れた 「動詞」

una mañana ウナ・マニャーナ adv. ある朝 「副詞句」

entre la hierba エントレ・ラ・イエルバ adv. 草の間から 「副詞句」

hierba イエルバ n.f (時に集合名詞) 草、草木

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから、その後 「副詞」

se extinguían セ・エクシンギオン 3 複線(extinguirse)v.pr 消えた 「動詞句」

por la noche. ポル・ラ・ノチェ adv. 夜には 「副詞句」

しかしあの花が、何処かわからない所から運ばれてきた種からある朝芽を出したので、王子様は他の芽とは似ていないその芽をととても近くから監視していた。

Pero aquella había germinado un día de una semilla traída no se sabe de dónde y el principito había vigilado, muy de cerca, a esa brizna que no se parecía a las otras briznas. Pero 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

aquella アケジャ pron.f あの花は 「主語」

aquella アケジャ pron.f あれ、あのもの

había germinado アビア・ヘルミナド 3 単線・完了形(germinar)v.i 芽を出した 「動詞句」

un día ウン・デア adv. ある日 「副詞句」

de una semilla テ・ウナ・セミジャ adv. 種から 「副詞句」

traída トライダ 過去分詞・受動(traer)adj.f 運ばれてきた 「形容詞」

no se sabe de dónde ノ・セ・サベ・デ・ドンデ

adv. 何処かわからない所から

「副詞句」

y イ conj. そして

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

había vigilado, アビア・ビヒラド 3 単線・完了形(vigilar)v.t 監視していた 「動詞句」

muy de cerca, ムイ・デ・セカ adv. ととても近くから 「副詞句」

a esa brizna ア・エサ・ブリサ n.f その芽を 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no se parecía ノ・セ・パレシア 3 単線・否定(parecerse)

v.pr (a に) 似ていなかった

「動詞句」

a las otras briznas. ア・ラス・オTRAS・ブリサス adv. 他の花の芽と

「間接目的語」



## VIII

それはバオバブの新種かもしれない。しかしその低木はすぐに成長を止めて、1つの花をつけ始めた。

Podía ser un nuevo género de baobab. Pero el arbusto cesó pronto de crecer y comenzó a elaborar una flor. 「動詞句」「補語」 | Pero 「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」

Podía ser ポディア・セル 3 単線・可能性(poder+不定詞)v.i ~であるかもしれない 「動詞句」

un nuevo género ウン・ヌエボ・ヘネロ n.m 新種 「補語」

de baobab. デ・バオバブ adj. バオバブの 「形容詞句」

Pero ヘロ conj. しかし

el arbusto エル・アルブスト n.m その低木は 「主語」

cesó pronto de crecer セソ・プロント・デ・クレセル 3 単点・停止(cesar de+不定詞+ pronto)

v.i すぐに成長を止めた 「動詞句」

y イ conj. そして

comenzó a elaborar コメンソ・ア・エラボラール 3 単点・開始(comenzar a+不定詞)

v.t を作り始めた 「動詞句」

elaborar エラボラール v.t 生成する、加工する、入念に考える

una flor. ウナ・フロール n.f 1 つの花を 「目的語」



巨大なつぼみが出来ていくシーンに立ち会った王子様は、奇跡の出現が起こりそうだと感じた。しかしその花は、緑の部屋の避難所にこもって化粧を続けていた。

El principito, que asistió a la formación de un capullo enorme, sentía que iba a surgir una aparición milagrosa, pero, al abrigo de su cámara verde, la flor no terminaba de preparar su embellecimiento.

「主語」「動詞」「目的語」,pero 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

El principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

## VIII

asistió アシスチオ 3 単点(asistir)v.i (a に) 居合わせた、立ち会った	「動詞」
a la formación ア・ラ・フォルマシオン	
adv. 形成に、作られていくシーンに	「間接目的語」
de un capullo enorme, テ・ウン・カプ・シヨ・エノルメ adj. 巨大なつぼみの	「形容詞句」
sentía センチア 3 単線(sentir)v.t 感じた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
iba a surgir イバ・ア・スルヒール 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)	
v.i 起こるところだ、現れるところだ	「動詞句」
una aparición milagrosa, ウナ・アパ・リシオン・ミラグロサ n.f 奇跡の出現	「主語」
pero, ペロ conj. しかし	
al abrigo アル・アブリゴ adv. 避難所で	「副詞句」
abrigo アブリゴ n.m オーバー、外套、援助、避難所	
de su cámara verde, デ・ス・カマラ・ベルデ adj. 自分の緑の部屋の	「形容詞句」
cámara カマラ n.f カメラ、部屋	
la flor ラ・フロール n.f その花は	「主語」
no terminaba de preparar ノ・テルミナバ・デ・プレパラル 3 単線・停止・否定(terminar de+不定詞)	
v.t を準備するのを止めなかった	「動詞句」
su embellecimiento. ス・エンベジエシメント n.m 化粧を	「目的語」

注意深く自分の色を選んでいた。ゆっくりと服を着て、花卉を1枚ずつ調節していた。

Elegía con cuidado sus colores. Se vestía lentamente y ajustaba uno a uno sus pétalos.

「動詞」「副詞句」「目的語」   「動詞句」「副詞」「y」「動詞」「副詞句」「目的語」	
Elegía エレギア 3 単線(elegir)v.t 選んでいた	「動詞」
con cuidado コン・クイダド adv. 丁寧に、注意深く	「副詞句」
sus colores. スス・コロレツ pl.n.m 自分の色を	「目的語」
Se vestía セ・ベスチア 3 単線(vestirse)v.pr 服を着ていた	「動詞句」
lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと	「副詞」
y イ conj. そして	
ajustaba アフスタバ 3 単線(ajustar)v.t 調節していた	「動詞」
uno a uno ウナ・ア・ウナ adv. 1枚ずつ、1枚1枚	「副詞句」
sus pétalos. スス・ペタロス pl.n.m 花卉を	「目的語」

## VIII

ヒナゲシのようにしわだらけの状態の外に出たくなかった。自分の美しさの完全な輝きを  
 まとめて、姿を見せたかった。

No quería salir llena de arrugas como las amapolas. Quería aparecer con el pleno resplandor de su belleza.

「動詞句」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」

No quería salir ノ・ケリア・サール 3 単線・願望・否定(querer+不定詞)

v.i 外に出たくなかった

「動詞句」

llena de arrugas シェ・ア・デ・アルカス adj. しわだらけの状態で

「補語」

como las amapolas. コモ・ラス・アマポラス adv. ヒナゲシのように

「副詞句」

Quería aparecer クリア・アパレセル 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.i 姿を見せたかった

「動詞句」

con el pleno resplandor コン・エル・プレノ・レスプラントール adv. 完全な輝きをまとめて

「副詞句」

de su belleza. デ・ス・ベジェサ adj. 自分の美しさの

「形容詞句」

そうなのだ！彼女はとてもおしゃれだったのだ！彼女の神秘的な盛装は、何日も続いた。

¡Ah!, ¡sí! ¡Era muy coqueta! Su misterioso atavío había durado días y días.

「感嘆」 | 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

¡Ah!, ¡sí! アー・シー int. ああ、そうなんだ

「感嘆」

¡Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

muy coqueta! ムイ・コカ adj.f とてもおしゃれな

「補語」

Su misterioso atavío ス・ミステリオソ・アタビオ n.m 彼女の神秘的な盛装は

「主語」

atavío アタビオ n.m 美しく着飾ること、盛装

había durado アビオ・ドゥラド 3 単線・完了形(durar)v.i 続いた

「動詞句」

días y días. デイアス・イ・デイアス adv. 何日も

「副詞句」

そしてついに、ある朝正確に日の出の時間に、彼女は姿を現した。

Y he aquí que una mañana, exactamente a la hora de la salida del sol, se mostró.

Y 「動詞」「副詞」「目的語」

Y イ conj. そして

he エ 1 単現(haber)v.t ある、持っている

「動詞」

aquí アキ adv. 今、ここに、ついに

「副詞」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

una mañana, ウナ・マニャ adv. ある朝

「副詞句」

exactamente a la hora エクサクタメンテ・ア・ラ・オラ adv. 正確な時間に

「副詞句」

de la salida del sol, デ・ラ・サリダ・デル・ソル adj. 日の出の

「形容詞句」

se mostró. セ・モストロ 3 単点(mostrarse)v.pr 姿を現した

「動詞句」

## VIII

そして、きっちりとお化粧をした花はあくびをしながら言った。

Y la flor, que había trabajado con tanta precisión, dijo en medio de un bostezo:

Y 「主語」「動詞」「副詞句」

Y イ conj. そして

la flor, ラ・フロール n.f 花は

「主語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

había trabajado アビ・ア・トラバハト 3 単線・完了形(trabajar)

v.i 仕事をした、お化粧をした

「動詞句」

con tanta precisión, コン・タタ・プレシオン

adv. とても正確に、きっちりと

「副詞句」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

en medio de エン・メディオ・デ adv. (de の) 最中に

「副詞句」

un bostezo: ウン・ボステソ n. あくび

「目的語」

en medio de algo 「～の最中に」「～をしながら」

「ああ、やっと目が覚めたわ... ごめんなさいね... まだ髪がすっかり乱れていて...」

--- ¡Ah!, acabo de despertarme... Perdóname... Todavía estoy toda despeinada...

《「感嘆」, 「動詞句」 -- 「動詞句」 -- 「副詞」「動詞」「補語」》

¡Ah!, アー int. ああ「感嘆」

acabo de despertarme... アカボ・デ・デスぺルタルメ 1 単現・完了(acabar de+不定詞)

v.pr 目が覚めた

「動詞句」

acabar de+不定詞 アカバール・デ (肯定・線過去の場合は、～したばかりである：近接過去)

(肯定・線過去以外の場合は、～し終える：完了)

(否定・線過去の場合は、なかなか～しない)

(肯定・線過去以外の場合は、とうとう～しなかった)

despertarse デスぺルタルセ v.pr 目を覚ます、目覚めた

Perdóname... ペルトナメ 命・2 単現(perdonar+me)v.t 許してくれ、ごめん

「動詞句」

Todavía トダビャ adv. まだ

「副詞」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である

「動詞」

toda despeinada... トダ・デスぺイタ adj. 髪がすっかり乱れた

「補語」

todo トド, toda トダ adv. すっかり despeinada 過去分詞(despeinar)adj.f 髪が乱れた

(この花は、十分に時間をかけて納得がいくまで化粧をすましてから姿を現したのに、わざと髪がすっかり乱れていると言ったのだ!)

## VIII

そのとき王子様は感嘆の念を禁じえなかった。

El principito, entonces, no pudo contener su admiración:

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

El principito, エル・プリンスィピト n.m 王子様は

「主語」

entonces, エントンセス adv. その時

「副詞」

no pudo contener ノ・プド・コンテネル 3 単点・可能・否定(poder+不定詞)

v.t. ～を抑制することができなかった

「動詞句」

su admiración: ス・アドミラシオン n.f 感嘆の感情を

「目的語」

「あなたは、なんと美しいのだ！」

--- ¡Qué hermosa eres!

《「補語」「動詞」》

¡Qué hermosa ケ・エルモサ adj.f なんと美しい

「補語」

qué ケ adv. (感嘆文で) なんとという hermosa エルモサ adj.f 美しい

eres! エレス 2 単現(ser)v.i. ～である

「動詞」

「そうでしょう？」とその花は静かに返事をした。

--- ¿Verdad? --- respondió suavemente la flor ---. 《「応答」》, 「動詞」「副詞」「主語」

-¿Verdad? ベルダド n.f 真実、(付加疑問) そうでしょう？

「応答」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.i. 返事をした

「動詞」

suavemente スパヘメンテ adv. そっと、静かに

「副詞」

la flor ---. ラ・フロール n.f その花は

「主語」

「それに、私は太陽と同時に生まれたのよ...」

Y he nacido al mismo tiempo que el sol...

《Y 「動詞句」「副詞句」》

Y イ conj. そして

he nacido エ・ナシド 1 単現・完了形(nacer)v.i. 生まれた

「動詞句」

al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同じ時間に

「副詞句」

que el sol... ケ・エル・ソル adv. 太陽 (が生まれたの) と

「副詞句」

王子様は、その花があまり謙虚ではないことに気付いたが、同時に感動するほど美しいと思った。

El principito advirtió que no era demasiado modesta, ¡pero era tan conmovedora!...

「主語」「動詞」「目的語」 pero 「動詞」「補語」

El principito エル・プリンスィピト n.m 王子様は

「主語」

advirtió アドビールチオ 3 単点(advertir)v.t. ～に気付いた

「動詞」

que ケ conj. ～と言う事に

「目的語」

## VIII

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i	～でない	「動詞」
demasiado modesta, デマシアト・モデスタ adj.f	あまり謙虚では～ない	「補語」
¡pero ペロ conj.	しかし	
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i	～である	「動詞」
tan conmovedora!... タン・コンモベトラ adj.f	なんという感動するほど美しい	「補語」



「もう朝食の時間だと思うわ」とすぐに花は付け加えた。

--- Creo que es la hora del desayuno --- agregó enseguida la flor ---.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「副詞」「主語」

Creo クレオ 1 単現(creer)v.t (que +直説法)	～だと思う	「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
la hora ラ・オラ n.f	時間	「補語」
del desayuno --- テル・デサユノ adj.	朝食の	「形容詞句」
agregó アグレロ 3 単点(agregar)v.t	付け加えた	「動詞」
enseguida エンセギタ adv.	すぐに	「副詞」
la flor ---. ラ・フロール n.f	花は	「主語」

「もしも親切心がおありになるなら、私のことを思い出していただけないでしょうか？」

¿Tendrías la bondad de acordarte de mí?	《「動詞」「目的語」》
¿Tendrías テントリアス 2 単過未(tener)v.t ～を持っていたけなんでしょうか？	「動詞」
過去未来時制は「丁寧な依頼」の意味で使用される	
la bondad ラ・ボンダド n.f 親切心、好意	「目的語」
de +不定詞 デ adj. (同格) ～するという	「形容詞句」
acordarte アコルダール・テ 不定詞(acordarse)v.pr (de を) 思い出す	「動詞句」

## VIII

de mí? デ・ミ adv. わたくしのことを

「間接目的語」

そう言われてすっかり恐縮してしまった王子様は、新鮮な水をじょうろに 1 杯くんできて、花にかけてあげた。

Y el principito, confuso, habiendo ido a buscar una regadera de agua fresca, sirvió a la flor.

Y 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

confuso, コンフソ adj. 恥じ入った、恐縮した

「形容詞」

habiendo ido a buscar アビエント・イト・ア・ブスカル 現在分詞・完了形(ir a buscar)

adv. ～取りに行ってから

「副詞句」

buscar ブスカル v.t 探す、取りに行く、(+不定詞) ～しようとする

una regadera ウナ・レガデラ n.f じょうろ一杯を

「目的語」

de agua fresca, デ・アゲア・フレスコ adj. 新鮮な水の

「形容詞句」

sirvió シルビオ 3 単点(servir)v.t かけてあげた

「動詞」

a la flor. ア・ラ・フロール n.f 花に

「目的語」

このようにして彼はすぐに、少し付き合いずらい彼女の虚栄心に悩まされることになった。

Así lo atormentó bien pronto con su vanidad un poco sombría.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Así アシ adv. このように

「副詞」

lo ロ pron 彼を

「間接目的語」

atormentó アトルメント 3 単点(atormentar)v.t 拷問にかけた、苦痛を与えた

「動詞」

受動態に翻訳するほうが分かりやすい → 「～に悩まされた」

bien ビヤン adv. とても

「副詞」

pronto con su vanidad プロント・コン・ス・バニダド

adv. すぐに彼女の虚栄心のために

「副詞句」

un poco sombría. ウン・ポ・コ・ソムブリア adj. 少し陰気な、少し嫌味な

「形容詞句」

「物事を間接的に気取った言い方で言う性格の」

例えばある日は、自分の 4 本のとげについて話しながら、王子様に言った。

Un día, por ejemplo, hablando de las cuatro espinas, dijo al principito:

「副詞句」, 「動詞」「間接目的語」

Un día, ウン・デア adv. ある日は

「副詞句」

por ejemplo, ポール・エハンプロ adv. 例えば

「副詞句」

hablando アブラント 現在分詞(hablar)v.i (de について) 話しながら

「副詞句」

## VIII

de las cuatro espinas, テ・ラス・クワトロ・エスピナス

adv. 4本のとげについて

「間接目的語」

dijo ティヨ 3単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al principito: アル・プリンシピト adv. 王子様に

「間接目的語」

「今、大きな鉤爪のあるトラたちが来たって、構わないわ！」

--- ¡Ya pueden venir los tigres con sus garras!

《「副詞」「動詞句」「主語」》

¡Ya やー adv. 今すぐ

「副詞」

pueden venir プエデーン・ブニール 3複過・許可(poder+不定詞)v.i 来ても構わない

「動詞句」

los tigres ロス・ティグレス pl.n.m トラが

「主語」

con sus garras! コン・スス・ガッラス adj. 大きな鉤爪のある

「形容詞句」

「僕の惑星にはトラはいませんよ」と王子様は反論して、さらに「トラは草を食べませんよ」と付け加えた。

--- En mi planeta no hay tigres --- objetó el principito ---; y además, los tigres no comen hierba.

《「副詞句」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

y 「副詞」, 《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

En mi planeta エン・ミ・プラネタ adv. 僕の惑星には

「副詞句」

no hay ノ・アイ 3単現・否定(haber)v.t いない

「動詞句」

tigres --- ティグレス pl.n.m トラは

「目的語」

objetó オブ・ヘト 3単点(objetar)v.t 異議を唱えた、反論した

「動詞」

el principito ---; エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

y イ conj. そして

además, アデマス adv. さらに、その上

「副詞」

los tigres ロス・ティグレス pl.n.m トラは

「主語」

no comen ノ・コメン 3複現・否定(comer)v.t 食べない

「動詞句」

hierba. イェブラ n.f 草を

「目的語」

「私は草ではありませんよ」と花は静かに返事をした。

--- Yo no soy una hierba --- respondió suavemente la flor.

《「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「副詞」「主語」

Yo ヨ pron 私は

「主語」

no soy ノ・ソイ 1単現・否定(ser)v.i ~ではない

「動詞句」

una hierba --- ウナ・イェルバ n.f 草

「補語」

respondió レスポンディオ 3単点(responder)v.i 返事をした

「動詞」

suavemente スゥベメンテ adv. 静かに、そっと

「副詞」



## VIII

la flor. ラ・フロール n.f 花は

「主語」

「ごめんなさい...」

--- Perdóname...

《「応答」》

Perdóname... ペルドナ・メ 命・2 単現(perdonar+me)v.t 僕を許して下さい

「動詞句」

「トラなんて怖くないわ、でも空気の流れが嫌なのです。ついたてをお持ちじゃありません？」

--- No temo a los tigres, pero siento horror a las corrientes de aire. ¿No tendrías un biombo? 《「動詞句」「目的語」,pero「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

No temo ノ・テモ 1 単現・否定(temer)v.t 恐れない

「動詞句」

a los tigres, ア・ロス・ティグレス pl.n.m トラを

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

siento シェント 1 単現(sentir)v.t 感じる

「動詞」

horror オロール n.m 恐怖、嫌悪

「目的語」

a las corrientes ア・ラス・コリエンテス adv. 流れに対して

「副詞句」

de aire. デ・アイレ adj. 空気の

「形容詞句」

¿No tendrías ノ・テントリアス 2 単過未・否定(tener)

v.t ~をお持ちではなかったかしら？

「動詞句」

un biombo? ウン・ビョボ n.m 風除け、ついたて

「目的語」



「空気の流れが嫌いだって？植物にとっては、運が悪いな！」と王子様は思った。「この花はかなり気難しいな...」

《Horror a las corrientes de aire... No es una suerte para una planta --- observó el principito ---. Esta flor es bien complicada...》

《「補語」 | 「動詞」「補語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

## VIII

Horror	オロール	n.m	嫌い	「補語」
a las corrientes de aire...	ア・ラス・コリエンテス・デ・アイレ	adv.	空気の流れを	「副詞句」
No es	ノ・エス	3 単現・否定(ser)v.i	～でない	「動詞」
una suerte	ウナ・スエルテ	n.f	幸運	「補語」
para una planta ---	パラ・ウナ・プランテ	adv.	植物にとって	「副詞句」
observó	オブセルバ	3 単点(observar)v.t	気づいた	「動詞」
el principito ---	エル・プリンシピト	n.m	王子様は	「主語」
Esta flor	エスタ・フロール	n.f	この花は	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
bien complicada...》	ビヤン・コンプリカダ	adj.	とても複雑な、かなり気難しい	「補語」

「夜になったら、私に覆いをかけてくださいね。ここはとても寒いから。居心地がよくないわ。私がいた場所はね...」

--- Por la noche me meterás bajo un globo. Aquí hace mucho frío. Hay pocas comodidades. Allá, de donde vengo...

《「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「動詞」「目的語」  
「動詞」「目的語」「副詞句」》

Por la noche	ホル・ラ・ノチェ	adv.	夜になったら	「副詞句」
me	メ	pron	私を	「目的語」
meterás	メテラス	2 単未(meter)v.t	に入れてください	「動詞」
bajo un globo.	バホ・ウン・グロボ	adv.	覆いの下に	「副詞句」
Aquí	アキ	adv.	ここは	「副詞」
hace	アセ	3 単現(hacer)v.h	(天候が)～である	「動詞」
mucho frío.	ムチョ・フリオ	n.m	すごい寒さ	「目的語」
Hay	アイ	3 単現(haber)v.t	～がある	「動詞」
pocas comodidades.	ポカス・コモデダデス	pl.n.f	快適さ～ほとんどない	「目的語」
Allá,	アジャ	adv.	あちら	「副詞句」
de donde vengo...	デ・ドンデ・ベンゴ	adj.	そこから私が来た	「形容詞句」

しかし彼女は話を中断した。彼女は種の形でここへ来たのだった。だから他の世界のことは何も知ることはできなかったはずだ。

Pero se interrumpió. Había venido bajo forma de semilla. No había podido conocer nada de otros mundos.

Pero 「動詞句」 | 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Pero	ペロ	conj.	しかし	
se interrumpió.	セ・インテルピオ	3 単点(interrumpirse)v.pr	話を中断した	「動詞句」
Había venido	アビア・ベニト	3 単線・完了形(venir)v.i	来た	「動詞句」

## VIII

bajo forma バホ・フォルマ adv. 形で 「副詞句」

de semilla. デ・セミジャ adj. 種の 「形容詞句」

No había podido conocer ノ・アビア・ポデイト・コネセル 3 単線・完了形・可能(poder+不定詞)

v.t 知ることは出来なかった (はずだ) 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

de otros mundos. デ・オトス・ムントス adj. 他の世界の 「形容詞句」



彼女はかくも無邪気な嘘の準備中に見破られたことに面目を失って、2、3度咳払いをして、その過ちを王子様に押し付けた。

Humillada por haberse dejado sorprender en la preparación de una mentira tan ingenua, tosió dos o tres veces para poner en falta al principito.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Humillada ウミジャダ 過去分詞.f(humillar)adv. 面目を失って 「副詞句」

por +不定詞 ～して 「副詞句」

haberse dejado sorprender アベルセ・デハト・ソルプレンデール 不定詞・完了形(dejarse+不定詞)

v.t 見破られてしまう 「動詞句」

en la preparación エン・ラ・プレパラシオン adv. 準備中に 「副詞句」

de una mentira デ・ウナ・メンチラ adj. 嘘の 「形容詞句」

tan ingenua, タン・インヘヌア adj. かくも無邪気な 「形容詞句」

tosió トシオ 3 単点(toser)v.i 咳払いをした 「動詞」

dos o tres veces トス・オ・トレス・ベセス adv. 2、3度 「副詞句」

para poner パラ・ポネール adv. そして押し付けた 「副詞句」

en falta エン・ファルタ adv. 誤りを 「目的語」

al principito. アル・プリンシピト adv. 王子様に 「副詞句」

「それで、ついたては？」

--- ¿Y el biombo? 《Y 「目的語」》

¿Y í conj. それで

## VIII

el biombo? エル・ビョンボ n.m ついたて

「目的語」

「僕はそれを取りに行こうとしていたんだけど、あなたが僕に話しかけるので…」

--- ¡Lo iba a buscar, pero como me estabas hablando!...

《「目的語」「動詞句」, 「副詞節」》

¡Lo ▯ pron それを

「目的語」

iba a buscar, イバ・ア・ブスカル 1 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.t 取りに行こうとしていた

「動詞句」

pero ヘ ▯ conj. だけど

como コモ conj. ～なので

「副詞節」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

estabas hablando!... エスタバス・アブラント 2 単線・進行形(estar+現在分詞)

v.i 話しかけていた

「動詞句」

その時花はわざと咳払いをして、そう言われたのに、王子様に良心の呵責を押し付けた。

Entonces la flor forzó la tos para infligirle, aun así, remordimientos.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Entonces エントンス adv. その時

「副詞」

la flor ラ・フロール n.f 花は

「主語」

forzó フオル 3 単点(forzar)v.t (+動作名詞) 無理に～をした

「動詞」

la tos ラ・トス n.f 咳を

「目的語」

para infligirle, パラ・インフリール・レ adv. 彼に～を課するために

「副詞句」

「そして彼に～を課した」と翻訳する

aun así, アウン・アシ adv. そう言われても、そうであっても

「副詞句」

remordimientos. レモルディエントス pl.n.m 良心の呵責を

「目的語」

こうして王子様は、恋心から始まった善意だったけれども、早くも彼女を疑ったのだった。

De este modo, el principito, a pesar de la buena voluntad de su amor, pronto dudó de ella.

「副詞句」, 「主語」「副詞句」「動詞」「間接目的語」

De este modo, デ・エステ・モト adv. こうして

「副詞句」

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

a pesar de ア・ペサル・デ adv. ～にもかかわらず

「副詞句」

la buena voluntad ラ・ブエナ・ボルタド n.f 善意

「目的語」

de su amor, デ・ス・アモール adj. 彼の恋心から発生した

「形容詞句」

de は「起点」を表す

pronto プロント adv. すぐに、早くも

「副詞」

## VIII

dudó トゥット 3 単点(dudar)v.i (de を) 疑った 「動詞」  
de ella. デ・エジャ adv. 彼女を 「間接目的語」

彼はどうでもいいような言葉をまじめに受け止めてしまい、自分が大変不幸だと感じた。

Había tomado en serio palabras sin importancia y se sentía muy desgraciado.

「動詞句」「副詞句」「目的語」 y 「動詞句」「補語」

Había tomado アビア・トマト 3 単線・完了形(tomar)v.t (物事を) 受け止めた 「動詞句」  
en serio エン・セリオ adv. まじめに 「副詞句」  
palabras パラブラス pl.n.f 言葉を 「目的語」  
sin importancia シン・インポルタンシア adj. どうでもいいような、つまらない「形容詞句」  
y イ conj. そして  
se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた 「動詞句」  
muy desgraciado. ムイ・デスグラシアト adj. 大変不幸な 「補語」

「僕は、彼女の言う事を聞くべきではなかったんだ」と王子様はある日僕に打ち明けた。「決して花の言う事を聞いてはいけないんだ」

--- No debí haberla escuchado --- me confió un día ---; nunca hay que escuchar a las flores. 《「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」「目的語」》

No debí +不定詞 ノ・デビ 1 単点(no deber+不定詞)v.t 〜するべきでなかった 「動詞句」  
haberla escuchado --- アベル・ラ・エスクチャト 不定詞・完了形(escuchar+la)

v.t 彼女の言う事を聞いた 「動詞句」  
me メ pron 僕に 「間接目的語」  
confió コンフィオ 3 単点(confiar)v.t 打ち明けた 「動詞」  
un día ---; ウン・ディア adv. ある日 「副詞句」  
nunca ヌンカ adv. 決して〜ない 「副詞」  
hay que escuchar アイ・ケ・エスクチャール 3 単現・必要(hay que+不定詞)  
v.t 人は聞かなければならない 「動詞句」  
a las flores. ア・ラス・フロレス pl.n.f 花の言う事を 「目的語」

「花を見て、その香りをかかなくてははいけないんだ。僕の花は、僕の惑星を香りで包んでくれたけど、僕はその香りを楽しむことができなかったんだ」

Hay que mirarlas y aspirar su aroma. La mía perfumaba mi planeta, pero yo no podía gozar con ello.

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」 pero 「主語」「動詞句」「間接目的語」》  
Hay que +不定詞 アイ・ケ 3 単現・必要 v. 〜しなければならない 「動詞句」  
mirarlas y aspirar ミラル・ラス・イ・アスピラル 不定詞(mirar+las, aspirar)

## VIII

v.t 花を見て、吸い込む	「動詞句」
su aroma. ス・アロマ n.m 花の香りを	「目的語」
La mía ラ・ミア pron.f 僕の花は	「主語」
perfumaba ペルマハ 3 単線(perfumar)v.t ~の香りで包んだ	「動詞」
mi planeta, ミ・プラネタ n.m 僕の惑星を	「目的語」
pero ペロ conj. だけど	
yo ジョ pron 僕は	「主語」
no podía gozar ノ・ポディア・ゴサル 1 単線・否定(poder+不定詞)	
v.i (con を) 楽しめなかった	「動詞句」
con ello. コン・エジョ adv. その香りを (aroma の代用)	「間接目的語」



「僕をととても苛立たせたあの鉤爪の話だって、僕を  
ほろりとさせたはずなんだ」

La historia de las garras, que tanto me había fastidiado, debe de haberme enternecido...

La historia ラ・イストリア n.f 話は	《「主語」「動詞句」》
de las garras, デ・ラス・ガラス adj. 鉤爪の	「主語」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞句」
tanto タント adv. とても	「形容詞節」
me メ pron 僕を	「副詞」
había fastidiado, アビ・ア・ファスティディ・イト 3 単線・完了形(fastidiar)	「目的語」
v.t 不快にした、苛立たせた	「動詞句」
debe de +不定詞 デベ・デ 3 単現・推定(deber de+不定詞)v.i ~するはずだ	「動詞句」
haberme enternecido... アベル・メ・エンテルネスト 不定詞・完了形(enternecer+me)	
v.t 僕をほろりとさせた	「動詞句」

## VIII

そしてさらに僕に打ち明けて言った。

Y me confió aún:

Y 「間接目的語」「動詞」「副詞」

Y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

confió コンフィオ 3 単点(confiar)v.t 打ち明けた

「動詞」

aún: アウン adv. さらに

「副詞」

「その時は、何も理解できなかったんだ。彼女の言葉ではなくて、行いによって彼女を判断しなければならなかったんだ」

No supe comprender nada entonces. Debí haberla juzgado por sus actos y no por sus palabras. 《「動詞句」「目的語」「副詞」 | 「動詞句」「副詞句」》

No supe comprender ノ・スぺ・コンプレンデール 1 単点・可能・否定(saber+不定詞)

v.t 理解できなかった

「動詞句」

saber+不定詞「～する能力がある」 poder+不定詞「ある状況下で～できる」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

entonces. エントンセス adv. その時は

「副詞」

Debí haberla juzgado デビ・アベル・ラ・フズガド 1 単点・義務(deber+不定詞・完了形)

v.t 彼女を判断しなければならなかった

「動詞句」

por sus actos ポル・ス・アクトス adv. 彼女の行いによって

「副詞句」

y イ conj. そして

no por sus palabras. ノ・ポル・ス・パラブラス adv. 彼女の言葉によってではなく

「副詞句」

「彼女は、僕を香りで包んでくれたし、僕を明るく照らしてくれた。決して逃げるべきではなかったんだ。彼女の哀れなずる賢さの背後にある優しさを見抜くべきだったんだ。」

Me perfumaba y me iluminaba. ¡No debí haber huido jamás! Debí haber adivinado su ternura, detrás de sus pobres astucias.

《「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」 | 「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」「目的語」》

Me メ pron 僕を

「目的語」

perfumaba ペルフマバ 3 単線(perfumar)v.t 香りで包んだ

「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を

「目的語」

iluminaba. イルミナバ 3 単線(iluminar)v.t 照らした

「動詞」

¡No debí haber huido ノ・デビ・アベル・ウイト 1 単点・義務・否定(deber+不定詞・完了形)

v.i 逃げるべきではなかったんだ

「動詞句」

jamás! ハマス adv. 決して～ない

「副詞」

Debí haber adivinado デビ・アベル・アディビナド 1 単点・義務(deber+不定詞・完了形)

## IX

v.t. ～を見抜くべきだったんだ 「動詞句」  
 su ternura, ス・テルヌラ n.f. 彼女の優しさを 「目的語」  
 detrás de sus pobres astucias. デ・トラス・デ・ス・ポ・ブレス・アストゥシア  
 adj. 彼女の哀れなずる賢さの背後にある 「形容詞句」

「花というのは、かくも矛盾したものなのだ。しかし僕は若すぎて、彼女の愛し方がわからなかったんだ」

¡Las flores son tan contradictorias! Pero yo era demasiado joven para saber amarla.

《「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

¡Las flores ラス・フロレス pl.n.f. 花というのは 「主語」  
 son ソン 3 複現(ser)v.i. ～である 「動詞」  
 tan contradictorias! タン・コントラディクトリアス adj.pl.f. それほど矛盾した 「補語」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 yo ヨ pron. 私は 「主語」  
 era エラ 1 単線(ser)v.i. ～だった 「動詞」  
 demasiado joven デ・マシアト・ホベン adj. 若すぎる 「補語」  
 para saber amarla. パ・ラ・サベル・アマル・ラ adv. 彼女の愛し方を知るには 「副詞句」  
 → demasiado +形容詞 para +不定詞 「あまりにも... で～できない」

## IX

僕は、王子様が脱出するために野鳥の渡りを利用したと思っている。出発の朝には、自分の惑星をきちんと整理した。

Creo que, para su evasión, aprovechó una migración de pájaros silvestres. La mañana de la partida puso en orden su planeta.

「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」

Creo クレオ 1 単現(creer)v.t. (que+直説法) ～だと思う 「動詞」  
 que, ケ conj. ～ということ 「目的語」  
 para su evasión, パ・ラ・ス・エバシオン adv. 彼の脱出のために 「副詞句」  
 → すぐ後に、王子様が自分の惑星から旅に出発するための脱出であると分かる  
 aprovechó アルロベチョ 3 単点(aprovechar)v.t. 利用した 「動詞」  
 una migración ウナ・ミグラシオン n.f. 渡りを 「目的語」  
 de pájaros silvestres. デ・パ・ハロス・シルベストレス adj. 野鳥の 「形容詞句」  
 pájaro パ・ハロ n.m. 鳥 silvestre シルベストレ adj. 野生の  
 La mañana ラ・マニャーナ n.f. 朝は 「副詞句」  
 de la partida デ・ラ・パルチダ adj. 出発の 「形容詞句」



## IX

puso プソ 3 単点(poner)v.t (+目的語+補語) ~の状態にした	「動詞」
en orden エン・オルデン adv. きちんとしている、整っている	「補語」
su planeta. ス・プラネタ n.m 彼の惑星を	「目的語」

入念に活火山の煤払いをした。王子様は活火山を 2 つ所有していたのだ。

Deshollinó cuidadosamente los volcanes en actividad. Poseía dos volcanes en actividad.

「動詞」「副詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

Deshollinó デッソリノ 3 単点(deshollinar)v.t の煤払いをした	「動詞」
cuidadosamente クイダト・サメンテ adv. 入念に	「副詞」
los volcanes en actividad. ロス・ボルカネス・エン・アクティビダト pl.n.m 活火山を	「目的語」
Poseía ポセア 3 単線(poseer)v.t 持っていた	「動詞」
dos volcanes en actividad. トス・ボルカネス・エン・アクティビダト pl.n.m 2 つの活火山を	「目的語」

活火山は、朝の食事を暖めるにはとても便利だった。王子様は、休火山も 1 つ持っていた。

Era muy cómodo para calentar el desayuno de la mañana. Poseía también un volcan extinguido.

「動詞」「補語」「副詞句」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
muy cómodo ムイ・コモト adj. とても便利な	「補語」
para +不定詞 パラ adv. ~するためには	「副詞句」
calentar カンタル 不定詞 v.t 暖める	「動詞」
el desayuno de la mañana. エル・デサユノ・デ・ラ・マニャナ n.m 朝の食事を	「目的語」
Poseía ポセア 3 単線(poseer)v.t 持っていた	「動詞」
también タンビエン adv. ~もまた	「副詞」
un volcan extinguido. ウン・ボルカン・エクシチンギト n.m 休火山を 1 つ	「目的語」
extinguido エクシチンギト 過去分詞(extinguir)adj. 消えた	

しかし、王子様が言っていたように：「何が起こるか分かったものじゃない！」

Pero, como decía el principito: 《iNo se sabe nunca!》

Pero 「副詞節」：《「動詞句」「副詞」》

Pero, ペロ conj. しかし	
como コモ conj. ~のように	「副詞節」
decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた	「動詞」
el principito: エル・プリンシピト n.m 王子様が	「主語」
iNo se sabe ノ・セ・サヘ 3 単現・否定(saber)v.t 誰も分からない	「動詞句」
se は一般的な人を指す	
nunca!》ヌカ adv. 決して	「副詞」

IX

→ 休火山だからといって、噴火しないという保証はない



## IX

だから、休火山も同じように煤払いをした。火山がしっかりと煤払いされていれば、穏やかにそして規則的に燃えて、爆発を起こさないからだ。

Deshollinó, pues, igualmente el volcán extinguido. Si se deshollinan bien los volcanes, arden suave y regularmente, sin erupciones.

「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「副詞節」, 「動詞」「副詞句」

Deshollinó, デソリノ 3 単点(deshollinar) v.t の煤払いをした 「動詞」

pues, プエス adv. だから、それで 「副詞」

igualmente イグアルメンテ adv. 同じように 「副詞」

el volcán extinguido. エル・ボルカン・エクシンギト n.m 休火山を 「目的語」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

se deshollinan セ・デソリナン 3 複現・再帰受動(deshollinarse)

v.pr 煤払いされている 「動詞句」

bien ビエン adv. よく、十分に 「副詞」

los volcanes, ロス・ボルカネス pl.n.m 火山が 「主語」

arden アルデン 3 複現(arder)v.i 燃える 「動詞」

suave スワベ adv. 穏やかに 「副詞」

y イ conj. そして

regularmente, レグアルメンテ adv. 規則正しく 「副詞」

sin erupciones. シン・エルプシオネス adv. 爆発せずに 「副詞句」

火山の爆発は煙突の火花みたいなものだ。

Las erupciones volcánicas son como el fuego de las chimeneas.

「主語」「動詞」「補語」

Las erupciones ラス・エルプシオネス pl.n.f 爆発は 「主語」

volcánicas ボルカニカス adj.f.pl 火山の 「形容詞」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」

como コモ conj. ～のようなもの 「補語」

el fuego エル・フエゴ n.m 火 「目的語」

de las chimeneas. デ・ラス・チメネアス adj. 煙突の 「形容詞句」

ストーブの煙突を十分に煤払いしておく、煙は煙突を滑らかに通り抜けていくが、掃除を怠ると煙突内部に煤が詰まって、煙が通りずらくなる。煙突の中で圧力が高くなった時に爆発的に火花を出して通り道を作る。これは火事の原因になるので危険である。

当然ながらこの地球上では、私たちは小さすぎて地球の火山を煤払いすることはできない。だから、火山は私たちに沢山の厄介ごとを引き起こすのだ。

Evidentemente, en nuestra tierra, somos demasiado pequeños para deshollinar

## IX

nuestros volcanes. Por eso nos causan tantos disgustos.

「副詞句」, 「動詞」「補語」「副詞句」 | 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」  
 Evidentemente, エビデントメンテ adv. 明らかに、当然ながら 「副詞」  
 en nuestra tierra, エン・ヌエストラ・ティエラ adv. この地球上では 「副詞」  
 somos ソモス 1 単現(ser)v.i. ~である 「動詞」  
 demasiado pequeños デマシアト・ペケヨス adj. あまりにも小さい 「補語」  
 para +不定詞 パラ adv. (demasiado ... para+不定詞)  
 そのために~できない 「副詞句」  
 deshollar デソリナル 不定詞 v.t. ~の煤払いをする 「動詞」  
 nuestros volcanes. ヌエストロス・ボルカネス pl.n.m 地球の火山を 「目的語」  
 Por eso ホル・エソ adv. 従って、だから 「副詞句」  
 nos ノス pron 私たちに 「間接目的語」  
 causan カサン 3 複現(causar)v.t. ~を引き起こす、~の原因となる 「動詞」  
 tantos disgustos. タントス・ディグストス pl.n.m 沢山の厄介ごとを 「直接目的語」

王子様は、少し憂鬱そうにバオバブの最新の芽を引き抜くこともした。

El principito arrancó también, con un poco de melancolía, los últimos brotes de baobabs.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様 「主語」  
 arrancó アランコ 3 単点(arrancar)v.t (根元から) 引き抜いた 「動詞」  
 también, タンビエン adv. ~も 「副詞」  
 con un poco de melancolía, コン・ウン・ポコ・デ・メランコリア adv. 少し憂鬱そうに 「副詞句」  
 los últimos brotes ロス・ウルチモス・ブロテス pl.n.m 最新の芽を 「目的語」  
 último ウルチモ adj. 最後の、最近の、最新の  
 de baobabs. デ・バオバブス adj. バオバブの 「形容詞句」

彼は、もう二度と戻ってくることはないと思っていた。しかし、その朝は、これら全ての  
 毎日の仕事が非常に楽しいものに思われた。

Creía que no iba a volver jamás. Pero todos estos trabajos cotidianos le parecieron  
 extremadamente agradables esa mañana.

「動詞」「目的語」 | Pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」「副詞句」  
 Creía クレイア 3 単線(creer)v.t. ~と思っていた 「動詞」  
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」  
 no iba a volver jamás. ノイバ・ア・ホルベール・ハマス 3 単線・近接未来・否定・時制一致(ir a+不定詞)  
 v.i. 二度と戻らないだろう 「動詞句」  
 Pero ペロ conj. しかし

## IX

todos estos trabajos cotidianos トドス・エストス・トラバホス・コチデアノス

pl.n.m これらの全ての毎日の仕事は 「主語」

le le pron 彼には 「間接目的語」

parecieron パレシエロン 3 複点(parecer)v.i ーのように見えた 「動詞」

extremadamente agradables エクストレマダメンテ・アグラダブレス adj.pl 非常に楽しい 「補語」

esa mañana. エサ・マニャナ adv. その朝は 「副詞句」

そして王子様の花に最後の水をかけて、ガラスの覆いをかぶせてやろうとしたとき、王子様は泣きだしたいという自分自身の欲求に気がついた。

Y cuando regó por última vez la flor, y se dispuso a ponerla al abrigo de su globo, descubrió que tenía deseos de llorar. Y 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」

Y イ conj. そして

cuando クワント conj. ーした時 「副詞節」

regó レゴ 3 単点(regar)v.t ーに水をかけた 「動詞」

por última vez ポル・ウルチマ・ベス adv. 最後に 「副詞句」

la flor, ラ・フロール n.f 王子様の花に 「目的語」

y イ conj. そして

se dispuso a ponerla セ・ディスポソ・ア・ポネル・ラ 3 単点・試行(disponerse a+不定詞 poner+la) v.t 花にーを着せようとした 「動詞句」

al abrigo de su globo, アル・アブリゴ・デ・ス・グロボ adv. ガラスの覆いを 「間接目的語」

descubrió デスカブリオ 3 単点(descubrir)v.t 発見した 「動詞」

que ケ conj. ーということを 「目的語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t ーがある 「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 欲求 「目的語」

de llorar. デ・ジョール adj. 泣くという 「形容詞句」

「さようなら」と王子様は、花にむかって言った。

--- Adiós --- dijo a la flor. 《「感嘆」》, 「動詞」 「間接目的語」

Adiós --- アディオス int. さようなら 「感嘆」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

a la flor. ア・ラ・フロール adv. 花に 「間接目的語」

## IX

しかし花は彼に答えなかった。

Pero la flor no le contestó.

Pero 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Pero <sup>ペロ</sup> conj. しかし

la flor ラ・フロール n.f 花は

「主語」

no le contestó. ノ・レ・コンテスト 3 単点・否定(contestar+le)v.t 彼に答えなかった

「動詞句」

「さようなら」と王子様はもう一度言った。

--- Adiós --- repetió.

《「感嘆」》, 「動詞」

Adiós --- アディヨス int. さようなら

「感嘆」

repetió. レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した

「動詞」

花は咳をした。しかし風邪のせいではなかった。

La flor tosió. Pero no por el resfriado.

「主語」「動詞」 | Pero 「副詞句」

La flor ラ・フロール n.f 花は

「主語」

tosió. トシオ 3 単点(toser)v.i 咳をした

「動詞」

Pero <sup>ペロ</sup> conj. しかし

no por ノ・ポル adv. (原因) ~のせいではなく

「副詞句」

el resfriado. エル・レスフリアド n.m 風邪

「目的語」

「私がバカだったわ」と花はついに彼に口を開いた。「ごめんなさいね。幸せになるのよ」

--- He sido tonta --- le dijo por fin ---. Te pido perdón. Procura ser feliz.

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」,

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞句」「補語」》

He sido エ・シト 1 単現・完了形(ser)v.i ~だった

「動詞句」

tonta --- トンタ adj.f ばかな

「補語」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

por fin ---. ポル・フィン adv. ついに

「副詞句」

Te テ pron あなたに

「間接目的語」

pido ピト 1 単現(pedir)v.t 願う、求める

「動詞」

perdón. ペルトン n.m 許しを

「直接目的語」

Procura +不定詞 プロクラ 命・2 単現(procurar+不定詞)

v.t ~するようにしてください

「動詞句」

ser セル 不定詞 v.i ~になる

「動詞」

feliz. フェリス adj. 幸せな

「補語」

## IX

王子様は、何も非難されなかったので驚いた。

Quedó sorprendido por la ausencia de reproches.

「動詞」「補語」「副詞句」

Quedó クェド 3 単点(quedar)v.i (+補語) 〜になった

「動詞」

sorprendido ソルプレンドイト adj. 驚いた

「補語」

por la ausencia ポル・ラ・アウセンシア adv. 欠如のために

「副詞句」

de reproches. デ・レプレシエ adj. 非難の

「形容詞句」

手にガラスの覆いを持ったまま、困惑してそこに立ち尽くしていた。彼女のその静かな応対が理解できないでいた。

Permaneció allí, desconcertado, con el globo en la mano. No comprendía esa calma mansedumbre.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Permaneció ペルマネシオ 3 単点(permanecer)v.i とどまった

「動詞」

allí, アジ adv. そこに

「副詞」

desconcertado, デスコンセルタド adv. 困惑して

「副詞」

con el globo en la mano. コン・エル・グロボ・エン・ラ・mano adv. ガラスの覆いを手にもって

「副詞句」

No comprendía ノ・コンプレンドイア 3 単線・否定(comprender)v.t 理解できないでいた

「動詞句」

esa calma mansedumbre. エサ・カルマ・マンセドゥンブレ n.f その静かな応対

「目的語」

calmo カルモ adj. 静かな mansedumbre マンセドゥンブレ n.f おとなしさ、我慢強さ

「そう、そうなの。わたくし、あなたが好きよ」と花は話を続けた。「私の過ちのせいで、あなたは何も分からなかったのよ」

--- Sí, sí, te quiero --- prosiguió la flor ---. No has sabido nada, por mi culpa.

《「応答」「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

Sí, sí, シ・シ adv. そう、そうなの

「応答」

te テ pron あなたを

「目的語」

quiero キエロ 1 単現(querer)v.t 好きだ

「動詞」

prosiguió プロシギオ 3 単点(proseguir)v.t 継続した

「動詞」

la flor ラ・フロール n.f 花は

「主語」

No has sabido ノ・アス・サビド 2 単現・完了形・否定(saber)v.t 分からなかった

「動詞句」

nada, ナダ pron 何も〜ない

「目的語」

por mi culpa. ポル・ミ・クルパ adv. わたくしの過ちのせいで

「副詞句」

「そんなこと気にすることはないわ。だけどあなたも私と同じようにバカだったのよ」

No tiene importancia. Pero has sido tan tonto como yo.

《「動詞句」「目的語」 | Pero 「動詞句」「補語」》

No tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定(tener)v.t ない

「動詞句」

## IX

importancia. インポルタンシア n.f 重要性 「目的語」

→ あなたが気にすることはない、大したことはない、なんでもない

Pero ペロ conj. しかし

has sido アス・シト 2 単現・完了形(ser)v.i 〜だった 「動詞句」

tan tonto タン・トント adj. とてもばかな 「補語」

como yo. コモ・ヨ adv. 私と同じように 「副詞句」

「幸せになるのよ。ガラスの覆いを取り払ってちょうだい。もういらないわ。」

Procura ser feliz ... Deja el globo en paz. Ya no lo quiero.

「動詞句」「補語」 | 「動詞」「目的語」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」

Procura +不定詞 プロクラ 命・2 単現(procurar+不定詞)

v.t. 〜するようにしてください 「動詞句」

ser セル 不定詞 v.i. 〜になる 「動詞」

feliz... フェリス adj. 幸せな 「補語」

Deja デハ 命・2 単現(dejar)v.t (SVOC) O を C の状態にしてください 「動詞」

el globo エル・グロボ n.m ガラスの覆いを 「目的語」

en paz. エン・パス adv. 平和な、平安な 「補語」

→ ガラスの覆いを休ませる → ガラスの覆いを取り払う

Ya やー adv. もう 「副詞句」

no lo quiero. ノ・ロ・キエロ 1 単現・否定(querer+lo)v.t それは必要ない 「動詞句」

「だけど風が...」

--- Pero el viento... 《Pero「主語」》

Pero ペロ conj. だけど

el viento... エル・ビエント n.m 風が... 「主語」

「そんなに風邪をひいている訳ではないの。夜の涼しい風が私を元気にしてくれるはずよ。私は花なんだから」

--- No estoy tan resfriada como para... El aire fresco de la noche me hará bien. Soy una flor. 《「動詞句」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

No estoy ノ・エストイ 1 単現・否定(estar)v.i 〜ではない 「動詞句」

tan resfriada タン・レスフリアダ adj.f そんなに風邪をひいた 「補語」

como para... コモ・パラ adv. ... 〜みたいに 「副詞句」

El aire fresco エル・アイレ・フレスコ n.m 涼しい風が 「主語」

de la noche デ・ラ・ノチェ adj. 夜の 「形容詞句」

me メ pron 私を 「目的語」



## IX

hará アラ 3 単未(hacer)v.t する	「動詞」
bien. ビエン adv. 元気に	「補語」
Soy ソイ 1 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
una flor. ウナ・フロール n.f 花	「補語」

「だけど動物たちが…」

--- Pero <u>los animales</u> ...	《Pero 「主語」》
Pero ペロ conj. だけど	
los animales... ロス・アニマレス pl.n.m 動物たちが...	「主語」

「蝶々と知り合いになりたいなら、2 匹や 3 匹の毛虫は我慢しなくちゃならないわ」

--- <u>Es preciso que soporte dos o tres orugas si quiero conocer a las mariposas.</u>	《「動詞」「補語」「主語」》
Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
preciso プレシソ adj. (判断) 必要な	「補語」
que ケ conj. (接続法) 〜ということが	「主語」
soporte ソポルテ 接・1 単現(soportar)v.t 耐える、耐え忍ぶ	「動詞」
dos o tres orugas ドス・オ・トレス・オルガス pl.n.f 2 匹や 3 匹の毛虫を	「目的語」
si シ conj. もしにならば	「副詞節」
quiero conocer キエロ・コノセール 1 単現・願望(querer+不定詞)	
v.t と知り合いになりたい	「動詞句」
a las mariposas. ア・ラス・マリポサス pl.n.f 蝶々と	「目的語」

「蝶々ってとてもきれいだと思うわ。蝶々でなければ、誰が私を訪ねてくれるのかしら？  
あなたは遠くへ行くのでしょうか？」

i <u>Parece que es tan hermoso! Si no, ¿quien habrá de visitarme? Tú estarás lejos.</u>	《「動詞」「主語」   「副詞句」「主語」「動詞句」   「主語」「動詞」「副詞句」》
i Parece パレセ 3 単現(parecer)v.i 〜のように思われる、見える	「動詞」
que ケ conj. 〜ということ	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
tan hermoso! タン・エルモソ adj. とてもきれいな	「補語」
Si no, シ・ノ adv. 蝶々でなければ	「副詞句」
¿quien キエン pron 誰が	「主語」
habrá de +不定詞 アブラ・デ 3 単未・必要(haber de+不定詞)	
v.t 〜しなければならない	「動詞句」
visitarme? ビシタル・メ 不定詞 v.t 私を訪問する	「動詞句」

## IX

Tú トゥ pron あなたは 「主語」  
 estarás エスタス 2 単未(estar)v.i 行くのでしょう 「動詞」  
 lejos. レホス adv. 遠くへ 「副詞句」

「大きな動物のことは、怖くないわ。私だって鉤爪があるんだから」

En cuanto a los animales grandes, no les temo. Tengo mis garras.

《「副詞句」「動詞句」 | 「動詞」「目的語」》

En cuanto a エン・クワント・ア adv. ～に関しては 「副詞句」  
 los animales grandes, ロス・アニマルス・グランデス pl.n.m 大きな動物 「目的語」  
 no les temo. ノ・レス・テモ 1 単現・否定(temer)v.t 恐れない、怖がらない 「動詞句」  
 Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある 「動詞」  
 mis garras. ミス・ガラス pl.n.f 私の鉤爪 「目的語」

そして無邪気にも 4 本の棘を見せた。それから付け加えた。

Y mostró ingenuamente sus cuatro espinas. Después agregó:

Y 「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「副詞」「動詞」

Y イ conj. そして  
 mostró モストロ 3 単点(mostrar)v.t 見せた 「動詞」  
 ingenuamente インヘヌアメンテ adv. 無邪気にも 「副詞句」  
 sus cuatro espinas. スス・クワトロ・エスピナス pl.n.f 4 本の棘を 「目的語」  
 Después デスプエス adv. それから 「副詞」  
 agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

「これ以上立ち止まっていなくて、迷惑だわ。出発すると決めたんでしょう？行ってしまいなさい」

--- No te detengas más, es molesto. Has decidido partir. Vete.

《「動詞句」「副詞」, 「動詞」「補語」 | 「動詞句」 | 「動詞句」》

No te detengas ノ・テ・デテンガス 命・2 単現・否定(detenerse)v.pr 立ち止まるな 「動詞句」  
 más, マス adv. これ以上 「副詞」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 molesto. モレスト adj. 迷惑な、不愉快な 「補語」  
 Has decidido partir. アス・デシディト・パルティール 2 単現・完了形・決心(decidir+不定詞)  
 v.i 出発すると決めた 「動詞句」  
 Vete. ベーテ 命・2 単現(irse)v.pr 行ってしまいなさい 「動詞句」

## X

王子様に、泣いているのを見られたくなかったからだ。それほど誇り高い花だった。

Pues no quería que la viese llorar. Era una flor tan orgullosa...

Pues 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Pues プエ conj. ～なので

no quería ノ・ケリア 3 単線・否定(querer)v.t 望まなかった

「動詞句」

que ケ conj. (接続法) ～ということを

「目的語」

la ラ pron 彼女が

「目的語」

viere ビエ 接・3 単過(ver)v.t 見る

「動詞」

llorar. ショラル 不定詞 v.i 泣く

「補語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

una flor ウナ・フロール n.f 花

「補語」

tan orgullosa...タン・オルグジョソ adj. それほど誇り高い

「形容詞句」

## X

王子様は、小惑星 325, 326, 327, 328, 329 および 330 の重力圏内に入ってきた。

Se encontraba en la región de los asteroides 325, 326, 327, 328, 329 y 330.

「動詞句」「副詞句」

Se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた

「動詞句」

en la región エン・ラ・レヒオン adv. 領域内に

「副詞句」

→ 小惑星の重力の影響を受ける領域内(圏内)に

de los asteroides デ・ロス・アステロイデス adj. 小惑星の

「形容詞句」

325, 326, 327, 328, 329 y 330.

トレス・シエントス・ベ インティシコ・トレス・シエントス・ベ インティセイス・トレス・シエントス・ベ インティシエテ・

トレス・シエントス・ベ インティオチョ・トレス・シエントス・ベ インティヌエベ・イ・トレス・シエントス・トレインタ

adj. 325, 326, 327, 328, 329 および 330 の

「形容詞句」

それで、仕事を見つけて勉強をするために、それらの小惑星を訪問し始めた。

Comenzó, pues, a visitarlos para buscar una ocupación y para instruirse.

「動詞句」「副詞句」

Comenzó, pues, a visitarlos コメンソ・プエス・ア・ビシタル・ロス 3 単点・開始(comenzar a+不定詞)

v.t それでそれらを訪問し始めた

「動詞句」

para +不定詞 パラ adv. ～するために

「副詞句」

buscar ブスカル 不定詞 v.t 探す

「動詞」

una ocupación ウナ・オカピオン n.f 仕事、職業

「目的語」

y イ conj. そして

## X

para +不定詞 パラ adv. ～するために

「副詞句」

instruirse. インストゥルルセ 不定詞 v.pr 勉強する

「動詞」

最初の小惑星には、1人の王様が住んでいた。赤紫の服と白テンの毛皮を着た王様は、とても簡素だが、威厳のある玉座に座っていた。

El primero estaba habitado por un rey. El rey, vestido de púrpura y armiño, estaba sentado en un trono muy sencillo y sin embargo majestuoso.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

El primero エル・プリメロ pron.m (asteroide の代用) 最初の小惑星は

「主語」

estaba habitado エスタバ・アビタド 3 単線・受動(habitar)v.t 住まっていた

「動詞句」

por un rey. ポル・ウン・レイ adv. 1 人の王様によって

「副詞句」

能動態に翻訳する

El rey, エル・レイ n.m 王様は

「主語」

vestido ベステイト adj. (de を) 着た

「形容詞句」

de púrpura y armiño, デ・プルプーラ・イ・アルミニョ

adj. 赤紫の服と白テンの毛皮を

「目的語」

púrpura プルプーラ adj. 赤紫の armiño アルミニョ n.m オコジョ、アーミン、白貂(テン)

白テンの毛皮は上流階級の証とされた、冬毛のオコジョは純白でアーミンとも呼ばれた

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

sentado センタド adj.m 座った

「補語」

en un trono エン・ウン・トロノ adv. 玉座に

「副詞句」

muy sencillo ムイ・センシジョ adj. とても簡素な

「形容詞句」

y イ conj. そして

sin embargo シン・エンバールゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず

「副詞句」

majestuoso. マヘストウオソ adj. 威厳のある

「形容詞句」

「ああ、ここに家臣が来たぞ！」と王子様を見て、王様が大声で言いました。

--- ¡Ah! ¡He aquí un súbdito! --- exclamó el rey cuando vio al principito.

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞節」

¡Ah! アー int. ああ

「感嘆」

¡He エ 1 単現(haber)v.t ～がいる

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

un súbdito! --- ウン・スブディト n.m 家臣

「目的語」

exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ

「動詞」

el rey エル・レイ n.m 王様は

「主語」

cuando クワント conj. ～する時、～して

「副詞節」

## X

vio ヴィオ 3 単点(ver)v.t 見た

「動詞」

al principito. アル・プリンシト n.m 王子様を

「目的語」

それで王子様は疑問に思いました。

Y el principito se preguntó:

Y 「主語」「動詞句」

Y イ conj. それで

el principito エル・プリンシト n.m 王子様は

「主語」

se preguntó: セ・プレグント 3 単点(preguntarse)v.pr 自問した、疑問に思った

「動詞句」

「以前に一度もあつたことがないのに、どうして僕が分かるのだろうか？」

--- ¿Cómo puede reconocerme si nunca me ha visto antes?

《「副詞」「動詞句」「副詞節」》

¿Cómo コモ adv. どうして

「副詞」

puede reconocerme プ・エデ・レコノセル・メ 3 単現・可能(poder+不定詞+me)

v.t 僕を識別できる

「動詞句」

si シ conj. (対立) ~だというのに

「副詞節」

nunca me ha visto ヌンカ・メ・ア・ビスト 3 単現・完了形・否定(ver+me)

v.t 一度も僕に会ったことがない

「動詞句」

antes? アンテス adv. 以前に

「副詞句」

王様たちにとっては世の中がとても単純化されているということを、王子様は知らなかった。つまりすべての人間が家臣なのだ。

No sabía que para los reyes el mundo está muy simplificado. Todos los hombres son súbditos.

「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

No sabía ノ・サビア 3 単線・否定(saber)v.t 知らなかった

「動詞句」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

para los reyes パラ・ロス・レイジエス adv. 王様にとって

「副詞句」

el mundo エル・ムント n.m 世の中は

「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

muy simplificado. ムイ・シンプリフィカト adj. 単純な

「補語」

Todos los hombres トス・ロス・オンブレス pl.n.m すべての人間が

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

súbditos. スブディトス pl.n.m 家臣

「補語」

## X



「君がもっとよく見えるように、ちこう寄れ！」と、ついに誰かの王様になって鼻高々の王様は、王子様に言った。

--- Acércate para que te vea mejor --- le dijo el rey, que estaba orgulloso de ser al fin rey de alguien.      《「動詞句」「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「形容詞節」

Acércate アセカ・テ 命・2 単現(acercarse)v.pr 近づきなさい 「動詞句」

para que パラ・ケ adv. ～するように 「副詞節」

te テ pron お前を 「目的語」

vea ベア 接・1 単現(ver)v.t 見える 「動詞」

mejor --- メホル adv. もっとよく 「副詞」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

orgulloso オルグジョソ adj. (de を) 自慢する 「補語」

de ser テ・セル n. ～になったことを 「目的語」

## X

al fin アル・フィン adv. ついに

「副詞句」

rey de alguien. レイ・デ・アルギエン n.m 誰かの王様

「補語」

王子様は、視線を巡らせて自分が座るべき場所を探したが、この星は白テンの見事なマントですっかり覆われていた。

El principito buscó con la mirada un lugar donde sentarse, pero el planeta estaba totalmente cubierto por el magnífico manto de armiño.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 pero 「主語」「動詞句」「副詞句」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

buscó ブスコ 3 単点(buscar)v.t 探した

「動詞」

con la mirada コン・ラ・ミダ adv. 目で、視線を巡らせて

「副詞句」

un lugar ウン・ルガール n.m 場所を

「目的語」

donde sentarse, ドンデ・センタルセ adv. そこに座るべき

「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

el planeta エル・プラネタ n.m この惑星は

「主語」

estaba totalmente cubierto エスタバ・トタルメンテ・クビエルト 3 単線・受動(cubrir+ totalmente)

v.t すっかり覆われていた

「動詞句」

por el magnífico manto ポル・エル・マグニフィコ・マント adv. 見事なマントで

「副詞句」

de armiño. デ・アルミニョ adj. 白テンの

「形容詞句」

それで立ったままでもいたが、疲れていたのであくびをした。

Quedó, pues, de pie, y como estaba fatigado, bostezó.

「動詞」「副詞」「補語」 y 「副詞節」, 「動詞」

Quedó, クエド 3 単点(quedar)v.i (+補語) ~のままでいた

「動詞」

pues, プエス adv. それで

「副詞」

de pie, デピエ adj. 立って

「補語」

y イ conj. そして

como コモ conj. ~なので

「副詞節」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

fatigado, ファチガド adj. 疲れた

「補語」

bostezó. ボステゾ 3 単点(bostezar)v.i あくびをした

「動詞」

「王の面前であくびをすることは儀礼に反する」と、君主は王子様に言った。「君にあくびを禁止する」

--- Es contrario al protocolo bostezar en presencia de un rey --- le dijo el monarca ---. Te lo prohíbo.

《「動詞」「補語」「主語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

## X

《「間接目的語」「直接目的語」「動詞」》

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
contrario コントラリオ adj. (a に、と) 反対の		「補語」
al protocolo アル・プロトコロ adv. (公式の) 儀礼に		「副詞句」
bostezar ボステザール 不定詞 v.i	あくびをすることは	「主語」
en presencia de エン・プレセンシア・デ adv. ～のいる前で		「副詞句」
un rey --- ウン・レイ n.m	王	「目的語」
le レ pron 彼に		「間接目的語」
dijo デイホ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el monarca --- エル・モナルカ n.m	君主が	「主語」
Te テ pron 君に		「間接目的語」
lo ロ pron あくびを		「直接目的語」
prohíbo. プロイボ 1 単現(prohibir)v.t	禁ずる	「動詞」

「あくびを我慢できなかったのです」と、恐縮して王子は答えた。「長旅をしてきて、眠っていないのです」

--- No puedo evitarlo --- respondió confuso el principito ---. He hecho un largo viaje y no he dormido...

《「動詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」》

No puedo evitarlo --- ノ・プ・エト・エビタル・ロ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞)

v.t	あくびを我慢できなかった	「動詞句」
respondió	レスポ`ンデ`イオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
confuso	コンフソ adv. 恐縮して	「副詞」
el principito ---	エル・プ`リンシピ`ト n.m 王子様は	「主語」
He hecho	エ・エチヨ 1 単現・完了形(hacer)v.t ~をした	「動詞句」
un largo viaje	ウン・ラルゴ・ビ`アヘ n.m 長旅を	「目的語」
y	イ conj. そして	
no he dormido...	ノ・エト`ドルミト` 1 単現・完了形・否定(dormir)	
v.i	眠っていない	「動詞句」

「それならば」と、王は彼に言った。「君にあくびをするように命ずる」

--- Entonces --- le dijo el rey --- te ordeno bostezar.

《「副詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」「補語」》

Entonces --- エントンセス	adv.	それならば	「副詞」
le レ	pron	彼に	「間接目的語」
dijo デイホ	3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」



## X

el rey --- エル・レイ n.m	王は	「主語」
te テ pron	君に	「目的語」
ordeno オルデノ 1 単現(ordenar)v.t (+不定詞 ~するように) 命じる		「動詞」
bostezar. ボステサル 不定詞 v.i	あくびをする	「補語」

「何年も前から、誰かがあくびをするのを見たことがない。あくびはわしにとって興味深いものじゃ。さあ、もう一度あくびをするのだ。これは命令じゃ」

No he visto bostezar a nadie desde hace años. Los bostezos son una curiosidad para mí. ¡Vamos!, bosteza otra vez. Es una orden.

《「動詞句」「補語」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」  
「感嘆」, 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」》

No he visto ノ・エ・ビスト 1 単現・完了形・否定(ver)v.t	見たことがない	「動詞句」
bostezar ボステサル 不定詞 v.i	あくびをする	「補語」
a nadie ア・ナディエ pron	だれも〜ない	「目的語」
desde hace años. デステ・アセ・アニョス adv.	何年も前から	「副詞句」
Los bostezos ロス・ボステソス pl.n.m	あくびは	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i	〜である	「動詞」
una curiosidad ウナ・クリオシダド n.f	珍しいもの	「補語」
para mí. パラ・ミ adv.	わしにとっては	「副詞句」
¡Vamos!, バモス int.	さあ	「感嘆」
bosteza ボステサ 命・2 単現(bostezar)v.i	あくびをしなさい	「動詞」
otra vez. オトラ・ベス adv.	もう一度	「副詞句」
Es エス 3 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
una orden. ウナ・オルデン n.f	命令	「補語」

「そのように命令されても、僕はおじけづいてしまってあくびはできませんよ」と、顔を赤くして王子様は言った。

--- Eso me intimida..., no puedo... --- dijo el principito, enrojeciendo.

《「主語」「目的語」「動詞」, 「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」

Eso エソ pron.n (中性の指示代名詞)	その命令は	「主語」
me メ pron	僕を	「目的語」
intimida..., インチミダ 3 単現(intimidar)v.t	威嚇する	「動詞」
→ intimidarse インチミダルセ v.pr	おじけづく	
no puedo... ノ・プエド 1 単現・否定(poder+不定詞 bostezar を省略)		
v.i	あくびをできない	「動詞句」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」

## X

el principito, エル・プリンスィト n.m 王子様は 「主語」  
 enrojando, エンロヘシエント 現在分詞(enrojecer)v.i 顔を赤くして 「副詞」

「エヘン、エヘン」と王様は答えました。「それでは君... 君に命じる。あくびをしたり、しなかったり...」

--- ¡Hum! ¡Hum! --- respondió el rey ---. Entonces te ... te ordeno bostezar o no bos...  
 《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「目的語」「動詞」「補語」》  
 ¡Hum! ¡Hum! --- ウン・ウン int. エヘン、エヘン 「感嘆」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el rey ---. エル・レイ n.m 王様は 「主語」  
 Entonces エントンセス adv. それならば 「副詞」  
 te ... te テ... テ pron 君に 「目的語」  
 ordeno オルデノ 1 単現(ordenar)v.t 命ずる 「動詞」  
 bostezar o no bos... ボステサル・オ・ノ・ボス... 不定詞  
 v.i あくびをしたり、しなかったり... 「補語」

王様は、少し早口で話し、怒っているように見えた。

Farfulló un poco y pareció irritado. 「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「補語」  
 Farfulló ファルフジョ 3 単点(farfullar)v.i 早口で話した 「動詞」  
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 pareció パレィオ 3 単点(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」  
 irritado. イレタド 過去分詞(irritar)adj. 怒った 「補語」

王様というのは、本質的に、自分の権限が尊重されることを求める。そして、それに従わない者は許さない。

El rey exigía esencialmente que su autoridad fuera respetada. Y no toleraba la desobediencia. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」  
 El rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」  
 exigía エキシィア 3 単線(exigir)v.t 要求する 「動詞」  
 esencialmente エセンシアルメンテ adv. 本質的に、もともと 「副詞」  
 que ク conj. ~ということ を 「目的語」  
 su autoridad ス・アウトリダド n.f 彼の権限が 「主語」  
 fuera respetada. フェラ・レスペタダ 接・3 単過・受動.f(respetar)  
 v.t 尊重されるであろう 「動詞句」  
 Y イ conj. そして

## X

no toleraba ノ・トレバ 3 単線・否定(tolerar)v.r 大目に見る、許す 「動詞句」  
 la desobediencia. ラ・デソベディエンシア n.f 従わない者を 「目的語」

彼は絶対君主だったのだ。しかし大変お人よしだったので、分別のある命令を下していた。

Era un monarca absoluto. Pero, como era muy bueno, daba órdenes razonables.

「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

un monarca absoluto. ウン・モナルカ・アブソルト n.m 絶対君主 「補語」

Pero, ペロ conj. しかし

como コモ conj. 〜なので 「副詞節」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

muy bueno, ムイ・ブエノ adj. 大変ひとのいい 「補語」

daba ダバ 3 単線(dar)v.t 与えていた 「動詞」

órdenes razonables. オルデネス・ラサブレス pl.n.m 分別のある命令を 「目的語」

「もしわしが命令したら…」と王様はいつも言っていた。「もしわしがある将軍に、海鳥に変身するように命令して、その将軍がそれに従わないとしたら、それは将軍の過ちではなく、わしの過ちだろう」

《Si ordeno --- decía habitualmente ---, si ordeno a un general que se transforme en ave marina y si el general no obedece, no será culpa del general. Será culpa mía.》

《「副詞節」》, 「動詞」「副詞」, 《「副詞節」 y 「副詞節」, 「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》

Si ordeno シ・オルデノ adv. もしわしが命令したら 「副詞節」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた 「動詞」

habitualmente ---, アビトゥアルメンテ adv. いつも 「副詞」

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

ordeno オルデノ 1 単現(ordemar)v.t 命令する 「動詞」

a un general ア・ウン・ヘネラル adv. ある将軍に 「間接目的語」

que ケ 〜ということを 「直接目的語」

se transforme セ・トランスフォルメ 接・3 単現(transformarse)

v.pr 変身する 「動詞句」

en ave marina エン・アベ・マリナ adv. 海鳥に 「副詞句」

y イ conj. そして

si シ conj. 〜ならば 「副詞節」

el general エル・ヘネラル n.m その将軍が 「主語」

no obedece, ノ・オベデセ 3 単現・否定(obedecer)v.t 従わない 「動詞句」

no será ノ・セラ 3 単末・否定(ser)v.i 〜でないだろう 「動詞」

## X

culpa del general. クルパ・デル・ヘネラル n.f 将軍の過ち	「補語」
Será セラ 3 単未 (ser)v.i ~だろう	「動詞」
culpa mía.》クルパ・ミア n.f わしの過ち	「補語」

「腰かけてもよろしいでしょうか？」と、王子様はおずおずと尋ねた。

--- ¿Puedo sentarme? --- inquirió tímidamente el principito.

《「動詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」

¿Puedo sentarme? --- フェト・セントルメ 1 単現・許可・疑問文(poder+不定詞 sentarse)

v.pr 腰かけてもよろしいでしょうか？	「動詞句」
inquirió インキリオ 3 単点(inquirir)v.t 尋ねた	「動詞」
tímidamente チミダメンテ adv. おずおずと	「副詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

「腰かけるよう命ずる」と王様は答えると、白貂のマントのすそを威厳のある様子でたくしあげた。

--- Te ordeno sentarte --- le respondió el rey, que recogió majestuosamente un faldón de su manto de armiño. 《「目的語」「動詞」「補語」》,

「間接目的語」「動詞」「主語」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Te テ pron 君に	「目的語」
ordeno オルデノ 1 単現(ordemar)v.t 命じる	「動詞」
sentarte --- センタルテ 不定詞(sentarse)v.pr 腰かける	「補語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
el rey, エル・レイ n.m 王様は	「主語」
que ケ pron (主語) そして王様は (~する)	「主語」
recogió レコヒオ 3 単点(recoger)v.t (服の) すそをたくしあげた	「動詞」
majestuosamente マヘストゥオサメンテ adv. 威厳のある様子で	「副詞」
un faldón ウン・ファルトン n.m すそを	「目的語」
de su manto de armiño. デ・ス・マント・デ・アルニョ adj. 白貂のマントの	「形容詞句」

王子様は驚いた。その星は非常に小さかったのだ。王様は何を支配できているのだろうか？

El principito se sorprendió. El planeta era minúsculo. ¿Sobre qué podía reinar el rey?

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞句」「主語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
se sorprendió. セ・ソルプレンディオ 3 単点(sorprenderse)v.pr 驚いた	「動詞句」
El planeta エル・プラネタ n.m その星は	「主語」

## X

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
minúsculo. ミヌスコ adj. 非常に小さい	「補語」
¿Sobre qué ソブレ・ケ adv. 何に対して	「間接目的語」
podía reinar ポディア・レイナル 3 単線・可能(poder+不定詞)	
v.i 支配できている	「動詞句」
el rey? エル・レイ n.m 王様は	「主語」

「陛下！」と彼に言った。「質問することをお許し願いたいのですが...」

--- Sire... --- le dijo ---, os pido perdón por interrogaros...

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》	
Sire... シレ n.m (仏語 Sire シル より、スペイン語 señor に相当) 陛下	「呼びかけ」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
dijo ---, ディョ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
os オス pron (二人称敬称) あなたに	「間接目的語」
pido ビド 1 単現(pedir)v.t 願う	「動詞」
perdón ペルトン n.m (por ~の) 許しを	「直接目的語」
por interrogaros... ポル・インタロガール・オス adj. あなたに質問する	「形容詞句」

説明：

スペイン語で「呼びかけ」の「陛下」は Vuestra Majestad を使用するのだが、ここではフランス語原文で使用されている Sire をそのまま使用している。

「わしに質問するように命ずる」と、王様は急いで言った。

--- Te ordeno interrogarme --- se apresuró a decir el rey.

《「目的語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」	
Te テ pron 君に	「目的語」
ordeno オデノ 1 単現(ordemar)v.t 命ずる	「動詞」
interrogarme --- インテロガール・メ 不定詞(interrogar+me)v.t わしに質問する	「補語」
se apresuró a decir セ・アプレスロ・ア・デシル 3 単点・急ぎ(apresurarse a+不定詞)	
v.t 急いで言った	「動詞句」
el rey. エル・レイ n.m 王様は	「主語」

「陛下... 何を支配していらっしゃるのですか？」

--- Sire... ¿sobre qué reináis?	《「呼びかけ」... 「間接目的語」「動詞」》
Sire... シレ n.m (仏語 Sire シル より、スペイン語 señor に相当) 陛下	「呼びかけ」
¿Sobre qué ソブレ・ケ adv. 何に対して	「間接目的語」
reináis? レイアイス 2 複現(reinar)v. i 支配している	「動詞」

説明：

## X

「すべてじゃよ」と、王様はまったく簡潔に答えた。

--- Sobre todo --- respondió el rey, con gran simplicidad.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

Sobre todo --- ソブレ・トド adv. すべてについて 「応答」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」  
 con gran simplicidad. コン・グラン・シンプリシダド adv. まったく簡潔に 「副詞句」

「すべてですって？」

--- ¿Sobre todo?

「応答」

¿Sobre todo? ソブレ・トド adv. すべてですって？

「応答」

王様は、控えめな身振りで、自分の惑星と他の惑星とその他の星たちを指さした。

El rey con un gesto discreto señaló su planeta, los otros planetas y las estrellas.

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

El rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」  
 con un gesto discreto コン・ウン・ヘスト・ディスクレト adv. 控えめな身振りで 「副詞句」  
 gesto ヘスト n.m 身振り、手ぶり discreto ディスクレト adj. 控え目な、慎み深い  
 señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t 指し示した、指摘した 「動詞」  
 su planeta, ス・プラネタ n.m 自分の惑星 「目的語」  
 los otros planetas ロス・オトロス・プラネタス pl.n.m 他の惑星 「目的語」  
 y  
 las estrellas. ラス・エストレージャス pl.n.f 他の星たち 「目的語」

「あれらをみんな？」と、王子様は言った。

--- ¿Sobre todo eso? --- dijo el principito.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

¿Sobre todo eso? --- ソブレ・トド・エソ adv. あれらをみんな？

「応答」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito. エル・プリンスピト n.m 王子様は

「主語」

「あれらをみんなじゃよ」と、王様は答えた。

--- Sobre todo eso... --- respondió el rey.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

Sobre todo eso... ソブレ・トド・エソ adv. あれらをみんなじゃよ 「応答」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」

## X

それというのは、彼は絶対君主だっただけでなく宇宙の君主でもあったから。

Pues no sólo era un monarca absoluto sino un monarca universal.

Pues 「動詞句」 「補語」 sino 「補語」

Pues プエ conj. それというのは

no sólo era ノ・ソ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~だったのではない

「動詞句」

un monarca absoluto ウン・モナルカ・アブソルト n.m 絶対君主

「補語」

sino シノ conj. そうではなく~である

un monarca universal. ウン・モナルカ・ウニベルサル n.m 宇宙の君主

「補語」

「それで星たちはあなたに従うのですか？」

--- ¿Y las estrellas os obedecen?

《Y「主語」「目的語」「動詞」》

¿Y イ conj. それで

las estrellas ラス・エストレージャス pl.n.f 星たちは

「主語」

os オス pron あなたに

「目的語」

obedecen? オベデセン 3 複現(obedecer)v.t 従う

「動詞」

「もちろんだ」と、王様は彼に言った。「彼らはすぐに従う。わしは規則違反は許さない」

--- Por supuesto --- le dijo el rey ---. Obedecen al instante. No tolero la indisciplina.

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

Por supuesto --- ホル・スプエスト adv. もちろんだとも

「応答」

supuesto スプエスト n.m 推測、仮定、前提

le レ pron 彼に

「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el rey ---. エル・レイ n.m 王様は

「主語」

Obedecen オベデセン 3 複現(obedecer)v.t 従う

「動詞」

al instante. アル・インスタンテ adv. すぐに

「副詞句」

No tolero ノ・トレロ 1 単現・否定(tolerar)v.t 許さない

「動詞句」

la indisciplina. ラ・インディシプリナ n.f 不服従を、規律違反を

「目的語」

それほどの権力に、王子様は驚嘆した。

Un poder tal maravilló al principito.

「主語」「動詞」「目的語」

Un poder tal ウン・ポテール・タル n.m それほどの権力が

「主語」

maravilló マラビシヨ 3 単点(maravillar)v.t 驚嘆させた

「動詞」

al principito. アル・プリンシピト n.m 王子様を

「目的語」

→ 王子様を主語にして翻訳する

## X

もし彼がそんな権力を持っていたなら、43 回といわず 72 回も、いや 100 回も、もしかすると 200 回さえも、全く椅子を動かす必要もなく、同じ日のうちに日の入りを何度も見ることができただろうに。

¡Si él lo hubiera detentado, habría podido asistir, no a cuarenta y tres, sino a setenta y dos, o aun a cien, o aun a doscientas puestas de sol en el mismo día, sin necesidad de mover jamás la silla!

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」

¡Si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

él エル pron 彼が

「主語」

lo ロ pron そんな権力を

「目的語」

hubiera detentado, ヰビエラ・デテンタ<sup>ト</sup> 接・3 単過・完了形・仮定(detentar)

v.t (権力を) 不当に保持していたら

「動詞句」

habría podido asistir, アブリア・ポディト・アシスティール 3 単過未・完了形・可能(poder+不定詞)

v.i 居合わせることが出来ただろうに

「動詞句」

→ ～を見ることが出来ただろうに

no a cuarenta y tres, ノ・ア・クワレンタ・イトレス adv. 43 回ではなく

「副詞句」

sino a setenta y dos, シノ・ア・セてんた・イトス adv. そうではなく 72 回

「副詞句」

o aun a cien, オ・アウン・ア・シエン adv. 100 回さえも

「副詞句」

o aun a doscientas オ・アウン・ア・トスエンタス adv. もしかすると 200 回さえも

「副詞句」

puestas de sol プエスタス・デ・ソル pl.n.f 日の入りを

「目的語」

en el mismo día, エ・ネル・ミスト・デア adv. 同じ日に、1 日のうちに

「副詞句」

sin necesidad de +不定詞 シン・ネシダ<sup>ト</sup>・デ adv. ～する必要もなく

「副詞句」

mover モベール 不定詞 v.t 動かす

「動詞」

jamás ハマス adv. 全く～ない、一度も～ない

「副詞」

la silla! ラ・シジャ n.f 椅子を

「目的語」

フランス語原版でも 43 回だが、

「フランス語で読もう 星の王子様」では 44 回に変わっている (quarante-quatre fois!)

そして自分が見捨てた小さな惑星を思い出して少し悲しくなったので、思い切って自分の望みを王様にお願いした。

Y como se sentía un poco triste por el recuerdo de su pequeño planeta abandonado, se atrevió a solocitar una gracia al rey:

Y 「副詞節」, 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」

Y イ conj. そして

como コモ conj. ～なので

「副詞節」

se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr 自分が～と感じた

「動詞句」

フランス語原版でも 43 回だが、



## X

un poco triste	ウン・ポ・コ・トリステ	adj. 少し悲しい	「補語」
por el recuerdo	ポ・ル・エル・レクエルト	adv. 思い出のために、～を思い出して	「副詞句」
de su pequeño planeta abandonado,	デ・ス・ペ・クニョ・プラネタ・アバント・ナド		
	adj. 彼が見捨てた小さな惑星の		「形容詞句」
se atrevió a solicitar	セ・アトレビ・オ・ア・ソリシタル	3 単点・思い切り (atreverse a+不定詞)	
	v.t 思い切って～を懇願した		「動詞句」
una gracia	ウナ・グラシア	n.f 自分の望みを	「直接目的語」
al rey:	アル・レイ	adv. 王様に	「間接目的語」

「出来れば日の入りを見たいのですが。僕を喜ばせてください。太陽に沈むように命令してください。」

--- Quisiera ver una puesta de sol... Dame el gusto... Ordena al sol que se ponga...

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Quisiera ver	キシエラ・ベール	接・1 単過・願望(querer+不定詞)	
	v.t 出来れば見たいのですが		「動詞句」
una puesta de sol...	ウナ・プエスタ・デ・ソル	n.f 日の入り	「目的語」
Dame	ダ・メ	命・2 単現(dar+me)v.t 私に～をください	「動詞句」
el gusto...	エル・グスト	n.m 喜びを	「目的語」
Ordena	オルテナ	命・2 単現(ordena)v.t 命令してください	「動詞」
al sol	アル・ソル	adv. 太陽に	「間接目的語」
que	ケ	conj. ～することを	「直接目的語」
se ponga...	セ・ポンガ	接・1 単現(ponerse)v.pr (太陽が) 沈む	「動詞句」

「もしわしが将軍に、蝶々のように花から花へ飛べと命令したり、悲劇を書けと命令したり、海鳥に変身しろと命令したとして、その将軍が命令に従わないとしたら、彼とわしのどちらが間違えているのだろうか？」

--- Si ordeno a un general que vuele de flor en flor como una mariposa, o que escriba una tragedia, o que se transforme en ave marina, y si el general no ejecuta la orden recibida, ¿quién, él o yo, estaría en falta? 《「副詞節」 y 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》

Si	シ	conj. もし～ならば	「副詞節」
ordeno	オルデノ	1 単現(ordena)v.t 命令する	「動詞」
a un general	ア・ウン・ヘネラル	adv. 将軍に	「間接目的語」
que	ケ	conj. ～ということを	「直接目的語」
vuele	ブエ	接・3 単現(volar)v.i 飛ぶ、飛べ	「動詞」
de flor en flor	デ・フロール・エン・フロール	adv. 花から花へ	「副詞句」
como una mariposa,	コモ・ウナ・マリポサ	adv. 蝶々のように	「副詞句」

## X

o オ conj. または	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
escriba エスクリバ 接・3 単現(escribir)v.t 書け	「動詞」
una tragedia, ウナ・トラヘディア n.f 悲劇作品を	「目的語」
o オ conj. または	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
se transforme セ・トランスフォルメ 接・3 単現(transformarse)	
v.pr 変身しろ	「動詞句」
en ave marina, エン・アベ・マリナ adv. 海鳥に	「間接目的語」
y イ conj. そして	
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
el general エル・ヘネラル n.m その将軍が	「主語」
no ejecuta ノ・エクタ 3 単現・否定(ejecutar)v.t 実行しない	「動詞句」
la orden recibida, ラ・オルデン・レシビダ n.f 受けた命令を	「目的語」
¿quién, キエン pron 誰が	「主語」
él o yo, エル・オ・ジョ adj. 彼かわしの	「形容詞句」
estaría エスタリア 3 単過未(estar)v.i ～であろうか	「動詞」
en falta? エン・ファルタ adv. 間違えている	「補語」

「それはあなたです」と、王子様はきっぱりと言った。

--- Vos --- dijo firmemente el principito.	《「応答」》, 「動詞」「副詞」「主語」
Vos --- ボス pron あなたです	「応答」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
firmemente フィルメメンテ adv. きっぱりと	「副詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

「その通り！誰であっても、自分が出来ることを相手に要求しなければならない」と、王様は言い返した。

--- Exacto. Hay que exigir a cada uno lo que cada uno puede hacer --- replicó el rey ---.	《「応答」   「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」
Exacto. エクサクト int. そのとおり！	「応答」
Hay que exigir アイ・ケ・エキシール 3 単現・必要 v.t 要求しなければならない	「動詞句」
a cada uno ア・カダ・ウノ adv. それぞれの相手に対して	「間接目的語」
lo ロ pron それを	「直接目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
cada uno カダ・ウノ pron それぞれの人が	「主語」

## X

puede hacer --- フ・エテ・アセル 3 単現・可能(poder+不定詞)v.t 出来る 「動詞句」  
 replicó 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」  
 el rey ---. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

「権威というものは、まず、道理に基づいている。」

La autoridad reposa, en primer término, sobre la razón. 《「主語」「動詞」「副詞句」》  
 La autoridad ラ・アウトリダド n.f 権威というものは 「主語」  
 reposa, レポサ 3 単現(reposar)v.i 横になっている 「動詞」  
 en primer término, エン・プリメル・テルミノ adv. まず、最初に 「副詞句」  
 en primer término エン・プリメル・テルミノ adv. まず、最初に  
 en último término エン・ウルチモ・テルミノ adv. 最後の手段として、最後に  
 sobre la razón. ソブレ・ラ・ラソン adv. 道理の上に 「副詞句」

「もし君が、自分の国民に対して海に行って自殺しろと言ったら、革命が起こるだろう。」

わしの命令は道理にかなっているから、国民に服従を要求する権利があるのじゃ」

Si ordenas a tu pueblo que vaya a arrojarse al mar, hará una revolución. Tengo derecho a exigir obediencia porque mis órdenes son razonables.  
 《「副詞節」, 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」「副詞節」》  
 Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 ordenas オルデナス 2 単現(ordemar)v.t 命令する 「動詞」  
 a tu pueblo ア・トゥ・プエブロ adv. 君の国民に対して 「間接目的語」  
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」  
 vaya a arrojarse バヤ・ア・アロハセ 接・3 単現・命・行く(ir a+不定詞 arrojarse)  
 v.pr 自殺しに行け 「動詞句」  
 al mar, アル・マル adv. 海に 「副詞句」  
 hará アラ 3 単末(hacer)v.t ～を生じさせるだろう 「動詞」  
 una revolución. ウナ・レボリューション n.f 革命を 「目的語」  
 Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある 「動詞」  
 derecho デレチョ n.m 権利 「目的語」  
 a exigir ア・エキシール 不定詞 adj. ～を要求する 「形容詞句」  
 obediencia オベディエンシア n.f 服従を 「目的語」  
 porque ポルケ conj. ～なので 「副詞節」  
 mis órdenes ミス・オルデネス pl.n.m わしの命令は 「主語」  
 son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 razonables. ラサブレス adj.pl 道理にかなった 「補語」

## X

「それで、僕の日の入りのことは？」と、王子様は答えた。彼は一度言い出した質問は決して忘れなかった。

--- ¿Y mi puesta de sol? --- respondió el principito, que jamás olvidaba una pregunta una vez que la había formulado. 《Y「目的語」》,「動詞」「主語」,「主語」「動詞句」「目的語」  
 ¿Y イ conj. それで  
 mi puesta de sol? --- ミ・プエスタ・デ・ソル n.f 僕の日の入りのお願いは? 「目的語」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 que ケ pron 彼は 「主語」  
 jamás olvidaba ハマス・オルビダバ 3 単線・否定(olvidar)v.t 決して忘れなかった 「動詞句」  
 una pregunta ウナ・プレグンタ n.f 質問を 「目的語」  
 una vez que ウナ・ベス・ケ conj. 一度〜した 「形容詞節」  
 la ラ pron それを 「目的語」  
 había formulado. アビエ・フォルムラト 3 単線・完了形(formular)  
 v.t 表明した 「動詞句」

「君の日の入りは見られるだろう。そのように要請しておく。しかし、わしの統治術によると、条件が整うまで待つことにしよう」

--- Tendrás tu puesta de sol. Lo exigiré. Pero esperaré, con mi ciencia de gobernante, a que las condiciones sean favorables.  
 《「動詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」 | Pero「動詞」「副詞句」「目的語」》  
 Tendrás テンドラス 2 単末(tener)v.t 手に入れるだろう 「動詞」  
 tu puesta de sol. トゥ・プエスタ・デ・ソル n.f 日の入りを 「目的語」  
 Lo ロ pron それを 「目的語」  
 exigiré. エキシレ 1 単末(exigir)v.t 要請しておこう 「動詞」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 esperaré, エスペラレ 1 単末・意思(esperar)v.t 待とう 「動詞」  
 con mi ciencia de gobernante, コン・ミ・シエンシア・デ・ゴベルナnte  
 adv. 統治術を使って 「副詞句」  
 a que ア・ケ conj. 〜ということを 「目的語」  
 las condiciones ラス・コンディシオネス pl.n.f 条件が 「主語」  
 sean セアン 接・3 複現(ser)v.i 〜になる 「動詞」  
 favorables. ファボラブレス adj.pl 好都合な 「補語」

「それはいつになるのですか？」と、王子様は問い詰めた。

--- ¿Y esto cuándo sucederá? --- indagó el principito.

## X

《Y「主語」「副詞」「動詞」》,「動詞」「主語」

¡Y イ conj. それで

esto エスト pron それは

「主語」

cuándo クワント adv. いつ

「副詞」

sucederá? --- スセダラ 3 単未(suceder)v.i 起こる

「動詞」

indagó インダゴ 3 単点(indagar)v.i 尋問した、問い詰めた

「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

「えーと」と、まず大きいカレンダーを調べてから、王様は答えた。「えーと、それは... およそ...、それは今晚 7 時 40 分ちょうどくらいになるだろう」

--- ¡Hem! ¡Hem! --- le respondió el rey, que consultó antes un grueso calendario ---, ¡hem!, ¡hem!, ¡será a las... a las..., será esta noche a las siete y cuarenta en punto!

《「言いよどみ」》,「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞節」,

《「言いよどみ」》,「動詞」「副詞句」,「動詞」「副詞句」

¡Hem! ¡Hem! --- エン・エン int. えーと

「言いよどみ」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

el rey, エル・レイ n.m 王様は

「主語」

que ケ conj. ～をして

「副詞節」

consultó コンサルト 3 単点(consultar)v.t 調べた、参照した

「動詞」

antes アンテス adv. 先に、まず

「副詞」

un grueso calendario ---, ウン・グルエソ・カレンダリオ n.m 大きいカレンダーを「目的語」

¡hem!, ¡hem!, エン・エン int. えーと

「言いよどみ」

¡será セラ 3 単未(ser)v.i ～頃になるだろう

「動詞」

a las..., a las..., ア・ラス... ア・ラス adv. 何時ごろ

「副詞句」

será セラ 3 単未(ser)v.i ～頃になるだろう

「動詞」

esta noche エスタ・ノチェ adv. 今晚

「副詞句」

a las siete y cuarenta ア・ラス・シエ・イ・クワレンタ adv. 7 時 40 分

「副詞句」

en punto! エン・プント adv. ちょうど

「副詞句」

「その時になれば、どれほどわしの命令が守られるかが分かるだろう」

¡Y verás cómo soy obedecido!

《Y「動詞」「目的語」》

¡Y イ conj. そうすれば、その時になれば

verás ベラス 2 単未(ver)v.t 分かるだろう

「動詞」

cómo コモ adv. どれほど～するかと言う事を

「目的語」

soy obedecido! ソイ・オベデシト 1 単現・受動(obedecer)v.t 従われている

「動詞句」

## X

王子様はあくびをした。見損なった日の入りのことを悔やんでいた。それにもう、少し退屈していた。

El principito bostezó. Lamentaba la pérdida de su puesta de sol. Y como ya se aburría un poco: 「主語」「動詞」 | 「動詞」「目的語」 | Y 「副詞節」:

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 bostezó. ボステゾ 3 単点(bostezar)v.i あくびをした 「動詞」  
 Lamentaba ラメントハ 3 単線(lamentar)v.t 残念に思っていた 「動詞」  
 la pérdida ラ・ペルディダ n.f 喪失、失った事 「目的語」  
 de su puesta de sol. デ・ス・プエスタ・デ・ソル adj. 日の入りの 「形容詞句」  
 Y イ conj. そして  
 como コモ conj. ～なので 「副詞節」  
 ya ヤー adv. もう 「副詞」  
 se aburría セ・アブリア 1 単線(aburrirse)v.pr 退屈した 「動詞句」  
 un poco: ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

「ここにはやるべきことはもうありません」と、王様に言った。「出発します！」

--- No tengo nada más que hacer aquí--- dijo al rey ---. ¡Voy a partir!

《「動詞句」「目的語」「副詞」》, 「動詞」「間接目的語」, 《「動詞句」》

No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ない 「動詞句」  
 nada más que hacer ナダ・マス・ケ・ハセル pron するべきことはもう何も～ない 「目的語」  
 aquí --- アキ adv. ここには 「副詞」  
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 al rey ---. アル・レイ adv. 王様に 「間接目的語」  
 ¡Voy a partir! ボイ・ア・パルティール 1 単現・近接未来・意思(ir a+不定詞)  
 v.i 出発します 「動詞句」

「発ってはならぬ！」と、家臣を持って誇らしかった王様は言った。「発ってはならぬ！君を大臣にしよう！」

--- No partas --- respondió el rey, que estaba muy orgulloso de tener un súbdito ---. ¡No partas, te hago ministro!

《「応答」》, 「動詞」「主語」「形容詞節」, 《「応答」「目的語」「動詞」「補語」》

No partas --- ノ・パルタス 命・2 単現・否定(partir)v.i 発ってはならぬ 「応答」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

## X

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった	「動詞」
muy orgulloso マイ・オルグジョソ adj. とても誇らしい	「補語」
de +不定詞 デ adv. (原因) ~したので	「副詞句」
tener テネル 不定詞 v.t 持つ	「動詞」
un súbdito ---. ウン・スブデイト n.m 臣下を	「目的語」
¡No partas, ノ・パルタス 命・2 単現・否定(partir)v.i 発ってはならぬ	「応答」
te テ pron 君を	「目的語」
hago アゴ 1 単現(hacer)v.t (VOC) O を C にする	「動詞」
ministro! ミニストロ n.m 大臣に	「補語」

## 「何の大臣に？」

--- ¿ <u>Ministro de qué?</u>	《「応答」》
¿Ministro de qué? ミニストロ・デ・ケ n.m 何の大臣に？	「応答」

## 「法... 法務大臣に」

--- <u>De... i de justicia!</u>	《「応答」》
De... i de justicia! トゥウ... トゥウ・フステイシア adj. 法... 法務大臣に	「応答」

## 「でも、裁くべき人は一人もいませんよ！」

--- ¡Pero <u>no hay a quién juzgar!</u>	《Pero 「動詞句」「目的語」》
¡Pero ペロ conj. だけど	
no hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t いない	「動詞句」
a quién juzgar! ア・キエン・フスカール pron 裁くべき人が	「目的語」

## 「それは誰も分かん」と、王様は彼に言った。

--- <u>No se sabe</u> --- <u>le dijo el rey</u> ---.	《「応答」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」
No se sabe --- ノ・セ・サベ 3 単現・否定(saberse)v.pr それは誰も分かん	「応答」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el rey ---. エル・レイ n.m 王様は	「主語」

わしはまだ、わが王国を視察したことがないのじゃ。わしは年をとったが、馬車を置く場所がないのじゃ、歩くのは疲れる。

Todavía no he visitado mi reino. Soy muy viejo, no tengo lugar para una carroza y me fatiga caminar. 《「副詞」「動詞句」「目的語」  
「動詞」「補語」, 「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「主語」》

## X

Todavía トダビヤ adv. まだ	「副詞」
no he visitado ノ・エ・ビシト 1 単現・完了形・否定(visitar)v.t 視察したことがない	「動詞句」
mi reino. ミ・レイノ n.m わが王国を	「目的語」
Soy ソイ 1 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
muy viejo, ムイ・ビエホ adj. とても年をとった	「補語」
no tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ない	「動詞」
lugar ルガール n.m 場所が	「目的語」
para una carroza パラ・ウナ・カサ adj. 馬車のための	「形容詞句」
y イ	
me メ pron わしを	「目的語」
fatiga ファティガ 3 単現(fatigar)v.t 疲れさせる	「動詞」
caminar. カミナル 不定詞 v.i 歩くことは	「主語」

「おお！でも僕はもう惑星を見てきましたよ」と、王子様は言って、惑星の反対側をちらりと見た。

--- ¡Oh! Pero yo ya lo he visto ... --- dijo el principito, que se asomó para echar otra mirada hacia el lado opuesto del planeta ---.

《「感嘆」   Pero 「主語」「副詞」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「形容詞節」	
¡Oh! オー int. おお！	「感嘆」
Pero ペロ conj. でも	
yo ジョ pron 僕は	「主語」
ya ヤー adv. もう	「副詞」
lo ロ pron 星を	「目的語」
he visto ... エ・ビスト 1 単現・完了形(visto)v.t 見てきた	「動詞句」
dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
que ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
se asomó セ・アソモ 3 単点(asomarse)v.pr ちらりと見た	「動詞句」
para +不定詞 パラ adv. 〜するために	「副詞句」
echar エチャール 不定詞 v.t 投げかける	「動詞」
otra mirada オトラ・ミラダ n.f もう一度視線を	「目的語」
hacia el lado opuesto del planeta ---. アシア・エル・ラト・オブ エスト・テル・プラネタ	
adv. 惑星の反対側に	「副詞句」

「あちら側も、同じように誰もいませんよ！」

No hay nadie allí, tampoco...

《「動詞句」「目的語」「副詞句」》



## X

No hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t	いない	「動詞句」
nadie ナデ・エ pron	誰も～ない	「目的語」
allí, tampoco... アジ・タンポコ adv.	あちらにも同じように～ない	「副詞句」

「それでは、自分自身を裁きなさい」と、王様は返事をした。

--- Te juzgarás a ti mismo --- le respondió el rey ---.

《「目的語」「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Te テ pron	君を	「目的語」
juzgarás フスガラス 2 単未・勧誘(juzgar)v.t	裁きなさい	「動詞」
a ti mismo --- ア・ティ・ミモ pron	自分自身を	「目的語」
le レ pron	彼に	「間接目的語」
respondió レスポンデ・イオ 3 単点(responder)v.t	返事をした	「動詞」
el rey ---. エル・レイ n.m	王様は	「主語」

「それは最も難しいことだ。自分自身を裁くことは、他人を裁くことよりもずっと難しいことなのだ」

Es lo más difícil. Es mucho más difícil juzgarse a sí mismo que a los demás.

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」「副詞句」》

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
lo más difícil. ロ・マス・ディフィシル pron	もっとも難しいこと	「補語」
Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
mucho más difícil ムチョ・マス・ディフィシル adj.	もっとずっと難しい	「補語」
juzgarse フガルセ 不定詞 v.pr	裁くことは	「主語」
a sí mismo ア・シ・ミモ pron	自分自身を	「目的語」
que a los demás. ケ・ア・ロス・デマス adv.	他人を裁くことよりも	「副詞句」

「もし自分を正しく裁くことが出来れば、君は真の賢者ということだ」

Si logras juzgarte bien a ti mismo eres un verdadero sabio.

《「副詞節」, 「動詞」「補語」》

Si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
logras juzgarte ログラス・フスガルテ 2 単現・成功(lograr+不定詞 juzgarse)		
v.t	裁くことが出来る	「動詞句」
bien ビエン adv.	うまく、正しく	「副詞」
a ti mismo ア・ティ・ミモ pron	自分自身を	「目的語」
eres エス 2 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
un verdadero sabio. ウン・ベルダデロ・サビオ n.m	真の賢者	「補語」

## X

「僕は…」と、王子様は言った。「僕はどこに居たって、自分自身を裁くことが出来るんです。ここに住む必要はありません」

--- Yo --- dijo el principito --- puedo juzgarme a mí mismo en cualquier parte. No tengo necesidad de vivir aquí.

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」》

Yo --- ジョ pron 僕は 「主語」

dijo ティ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el principito --- エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

puedo juzgarme プエト・フズガルメ 1 単現・可能(poder+不定詞 juzgarse)

v.pr 裁くことができる 「動詞句」

a mí mismo ア・ミ・ミスト pron 自分自身を 「目的語」

en cualquier parte. エン・クワルクエ・パルテ adv. どんな場所に居ても 「副詞句」

No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t 〜がない 「動詞句」

necesidad ネシダド n.f 必要性が 「目的語」

de +不定詞 テ adj. 〜すべき 「形容詞句」

vivir ビビール 不定詞 v.i 暮らす、住む 「動詞」

aquí. アキ adv. ここに 「副詞」

「えへん、えへん」と、王様は言った。「この惑星のどこかに年老いたネズミが 1 匹いると思う。夜になると、その音が聞こえるのじゃ」

--- ¡Hem! ¡Hem! --- dijo el rey ---. Creo que en algún lugar del planeta hay una vieja rata. La oigo por la noche.

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」》

¡Hem! ¡Hem! --- エン・エン int. えへん、えへん 「感嘆」

dijo ティ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el rey ---. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

Creo クロ 1 単現(creer)v.t(que) 〜だと思う 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

en algún lugar del planeta エン・アルグン・ルカール・テル・プラネタ

adv. この惑星のどこかに 「副詞句」

hay アイ 3 単現(haber)v.t いる 「動詞」

una vieja rata. ウナ・ヴァイェハ・ラタ n.f 年老いたネズミが 「目的語」

La ラ pron その音が 「目的語」

oigo オイゴ 1 単現(oír)v.t 聞こえる 「動詞」

por la noche. ホル・ラ・ノチェ adv. 夜に 「副詞句」

## X

その年老いたネズミを裁いてくれないか？時々、そのネズミに死刑を宣告してくれないか。

Podrás juzgar a la vieja rata. La condenarás a muerte de vez en cuando.

「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Podrás juzgar ポドラス・フスカール 2 単未・依頼(poder+不定詞)

v.t 裁判をしてくれないかね

「動詞句」

a la vieja rata. ア・ラ・ビエハ・ラタ n.f その年老いたネズミを

「目的語」

La ラ pron そのネズミに

「間接目的語」

condenarás コンデナラス 2 単未・依頼(condenar)v.t 判決を下してくれ

「動詞」

a muerte ア・ムエルテ n.f 死、死刑を

「直接目的語」

de vez en cuando. デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

そうするとネズミの命は君の判決次第になるだろう。しかしネズミを生かしておくために、  
毎回そのネズミを赦免してくれ。ネズミは1匹しかいないのだから。

Así su vida dependerá de tu justicia. Pero la indultarás cada vez para conservarla. No hay más que una.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」

Pero 「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Así アシ adv. そうすると

「副詞」

su vida ス・ビダ n.f ネズミの命は

「主語」

dependerá デペンテラ 3 単未(depender)v.i ~次第になるだろう

「動詞」

de tu justicia. デ・トゥ・フスティシア adv. 君の判決

「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

la ラ pron そのネズミを

「目的語」

indultarás イントゥルタラス 2 単未・依頼(indultar)v.t 赦免してくれ

「動詞」

cada vez カダ・ベス adv. 毎回

「副詞句」

para conservarla. パラ・コンセルバル・ラ adv. ネズミを残しておくために

「副詞句」

No hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t いない

「動詞句」

más que una. マス・ケ・ウナ pron (否定文で) 1匹しか

「目的語」

「僕は、死刑を宣告するのは嫌です」と、王子様は答えた。「立ち去ろうと思います」

--- A mí no me gusta condenar a muerte --- respondió el principito --- Y creo que me voy.

《「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》

A mí ア・ミ adv. 僕にとって、僕は

「間接目的語」

no me gusta ノ・メ・グスタ 3 単現・否定(gustar)v.t 気に入らない

「動詞句」

condenar コンデナル 不定詞 v.t 判決を下すことが

「主語」

a muerte ア・ムエルテ n.f 死刑を

「目的語」

## X

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
el principito ---. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
Y イ conj. そして	
creo クロ 1 単現(creer)v.t (que) ~だと思う	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「目的語」
me voy. メ・ボイ 1 単現(irse)v.pr 立ち去る	「動詞句」

「行ってはならん！」と、王様は言った。

--- No --- dijo el rey.	《「応答」》, 「動詞」「主語」
No --- ノ adv. 行ってはならん！	「応答」
dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el rey. エル・レイ n.m 王様は	「主語」

しかし王子様は、もう出発の準備も出来ていたし、年老いた君主を苦しめたくなかった。

Pero el principito, habiendo concluido sus preparativos, no quiso afligir al viejo monarca:	Pero 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」
Pero ペロ conj. しかし	
el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
habiendo concluido アビエント・コンクルイト 現在分詞・完了形(concluir)	
v.t ~を終えていたので	「副詞句」
sus preparativos, ス・プレパラティボス pl.n.m 準備を	「目的語」
no quiso afligir ノ・キソ・アフリヒル 3 単点・願望・否定(querer+不定詞)	
v.t 苦しめたくなかった	「動詞句」
al viejo monarca: アル・ビエホ・モナルカ n.m 年老いた君主を	「目的語」

「もし陛下がきちんと命令に従って欲しいならば、分別のある命令をしてください」

--- Si Vuestra Majestad desea ser obedecido puntualmente podría darme una orden razonable.	《「副詞節」》, 「動詞句」「目的語」
Si シ conj. もし~ならば	「副詞節」
Vuestra Majestad ブエストラ・マヘスタド n.f 陛下が	「主語」
desea デセア 3 単現(desear)v.t (+不定詞) ~したい	「動詞句」
ser obedecido セル・オベデシト 不定詞・受動(obedecer)v.t 従われる	「動詞句」
puntualmente プントワルメンテ adv. きちんと	「副詞」
podría darme ポトリア・ダル・メ 3 単過未・仮定(poder+不定詞)	
v.t 私に与えるのが良いでしょう	「動詞句」
una orden razonable. ウナ・オルデン・ラサブレ n.m 分別のある命令を	「目的語」

## X

「例えば、すぐに出発しなさい、と僕に命令されたら良いと思います。私には、状況が好都合なように見えます」

Podría ordenarme, por ejemplo, que parta antes de un minuto. Me parece que las condiciones son favorables...

《「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」》

Podría ordenarme, ポトリア・オルデナル・メ 3 単過未・仮定(poder+不定詞)

v.t 僕に命令してはいかがですか	「動詞句」
por ejemplo, ポル・エヘンプロ adv. 例えば	「副詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
parta パルタ 接・3 単現・命令(partir)v.i 出発しなさい	「動詞」
antes de un minuto. アンテス・デ・ウン・ミヌト adv. すぐに、1 分以内に	「副詞句」
Me メ pron 私には	「間接目的語」
parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～に見える、思われる	「動詞」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
las condiciones ラス・コンディシヨネス pl.n.f 状況が	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i ～である	「動詞」
favorables... ファボラブレス adj.pl 好都合な	「補語」

王様が何も答えようとしなかったなので、王子様は少しためらったが、やがてため息をついて出発した。

Como el rey no respondiera nada, el principito vaciló un momento, y luego, con un suspiro, emprendió la partida.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Como コモ conj. ～なので	「副詞節」
el rey エル・レイ n.m 王様が	「主語」
no respondiera ノ・レスポンドィエラ 接・3 単過・否定(responder)	
v.t 答えようとしなかった	「動詞句」
nada, ナダ pron 何も～ない	「目的語」
el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
vaciló バシロ 3 単点(vacilar)v.i ためらった	「動詞」
un momento, ウン・モメント adv. 少し	「副詞句」
y イ conj. そして	
luego, ルエゴ adv. やがて、その後に	「副詞」
con un suspiro, コン・ウン・ススピロ adv. ため息をついて	「副詞句」
emprendió エンプレンディオ 3 単点(emprender)v.t 開始した	「動詞」

## XI

la partida. ラ・パルチダ n.f 出発を

「目的語」

「君を大使にしてやるぞ！」と、その時、王様は大急ぎで怒鳴った。

--- Te hago embajador --- se apresuró entonces a gritar el rey.

《「目的語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」

Te テ pron 君を

「目的語」

hago アゴ 1 単現(hacer)v.t ~にしてやる

「動詞」

embajador --- エンバハドール n.m 大使に

「補語」

se apresuró entonces a gritar セ・アプレスロ・エントンセス・ア・グリタル 3 単点・急ぎ

(apresurarse a+不定詞+ entonces)v.t その時大急ぎでどなった

「動詞句」

el rey. エル・レイ n.m 王様は

「主語」

王様は、とても威厳のある様子をしていた。

Tenía un aire muy autoritario.

「動詞」「目的語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴を) していた

「動詞」

un aire ウン・アイレ n.m 様子を

「目的語」

muy autoritario. ムイ・アウトリタリオ adj. とても威厳のある

「形容詞句」

〈大人の人たちはとても奇妙だな〉と、王子様は旅の間中心の中で思った。

Las personas grandes son bien extrañas, díjose a sí mismo el principito durante el viaje.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「間接目的語」「主語」「副詞句」

Las personas grandes ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人たちは

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

bien extrañas, ビエン・エクストラニャス adj.f.pl とても奇妙な

「補語」

díjose デイホセ 3 単点(decir+se)v.t 言った、思った

「動詞句」

a sí mismo ア・シ・ミスト adv. 自分自身に

「間接目的語」

心の中で思った

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

durante el viaje. トゥ・オウランテ・エル・ビエア adv. 旅の間中

「副詞句」

## XI

2 番目の惑星には、1 人の見栄っ張りが住んでいた。

El segundo planeta estaba habitado por un vanidoso:

「主語」「動詞句」「副詞句」

El segundo planeta エル・セグント・プラネタ n.m 2 番目の惑星は

「主語」

estaba habitado エスタバ・アビタド 3 単線・受動(habitar)v.t 住まれていた

「動詞句」

XI

por un vanidoso: ポル・ウン・バニドソ adv. 1 人の見栄っ張りによって  
能動文に翻訳する

「副詞句」



「やあ、やあ！おれのファンがきたぞ！」

--- ¡Ah! ¡Ah! ¡He aquí la visita de un admirador! ---

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》

¡Ah! ¡Ah! アー・アー int. ああ！ああ！

「感嘆」

¡He エ 1 単現(haber)v.t ある

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

la visita ラ・ビシタ n.f 訪問

「目的語」

de un admirador! テ・ウン・アドミラトール adj. ファンの

「形容詞句」

admirador アドミラトール n.m ファン、崇拜者、称賛者

## XI

王子様を見つけるやいなや、見栄っ張りは遠くから叫んだ。

exclamó desde lejos el vanidoso no bien vio al principito.

「動詞」「副詞句」「主語」, 「副詞節」

exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ

「動詞」

desde lejos デスデ・レホス adv. 遠くから

「副詞句」

el vanidoso エル・バニドソ n.m 見栄っ張りは

「主語」

no bien ノ・ビヤン adv. ～するやいなや

「副詞節」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見つけた

「動詞」

al principito. アル・プリンシト n.m 王子様を

「目的語」

というのは、見栄っ張り達にとって、他の人間たちは自分のファンなのだった。

Pues, para los vanidosos, los otros hombres son admiradores.

Pues 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Pues, プエ conj. ～なので、というのは～だから

para los vanidosos, パラ・ロス・バニドソス adv. 見栄っ張り達にとって

「副詞句」

los otros hombres ロス・オトрос・オンブレス pl.n.m 他の人間たちは

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である

「動詞」

admiradores. アドミラトレス pl.n.m ファンたち

「補語」

「こんにちは！」と、王子様は言った。「風変わった帽子をかぶっていますね！」

--- Buenos días --- dijo el principito ---. ¡Qué sombrero tan raro tienes!

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」》

Buenos días --- ブエノス・デ・アス adv. こんにちは

「挨拶」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito ---. エル・プリンシト n.m 王子様は

「主語」

¡Qué sombrero tan raro ケ・ソソブレロ・タン・ラロ n.m なんと風変わった帽子を

「目的語」

tienes! テイエネス 2 単現(tener)v.t かぶっている、持っている

「動詞」

「挨拶するためだよ」と、見栄っ張りは答えた。

--- Es para saludar --- le respondió el vanidoso ---.

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

para saludar --- パラ・サルダール adv. 挨拶するため

「補語」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

el vanidoso ---. エル・バニドソ n.m 見栄っ張りは

「主語」



## XI

「拍手喝采された時に、挨拶するためなんだよ。残念ながら、誰もこのあたりを通らないがね」

Es para saludar cuando me aclaman. Desgraciadamente, nunca pasa nadie por aquí.

《「動詞」「補語」「副詞節」 | 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞句」》

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

para saludar パラ・サルダール adv. 挨拶するため 「補語」

cundo クワント conj. 〜した時に 「副詞節」

me メ pron 私に 「目的語」

aclaman. アクラマン 3 複現(aclamar)v.t 拍手喝采する 「動詞」

受動態に翻訳する

Desgraciadamente, デスグラシアダメンテ adv. 残念ながら 「副詞」

nunca pasa ヌンカ・パサ 3 単現・否定(pasar)v.i 決して通らない 「動詞句」

adie ナディエ pron 誰も〜ない 「主語」

por aquí. ポ・ラキ adv. このあたりを 「副詞句」

「ああ、そうなんだ？」と、王子様は意味が分からないまま返事をした。

--- ¿Ah, sí? --- dijo el principito sin comprender. 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

¿Ah, sí? --- アー・シ int. ああ、そうなんだ？ 「応答」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

sin +不定詞 シ adv. 〜しないで 「副詞句」

comprender. コンプレンデーる 不定詞 v.t 分かる、理解する 「動詞」

「拍手しなさい」と、見栄っ張りは勧めた。

--- Golpea tus manos, una contra otra --- aconsejó el vanidoso.

《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

Golpea ゴルペア 命・2 単現(golpear)v.t 打ち付けなさい 「動詞」

tus manos, トゥス・マノス pl.n.m 君の手を 「目的語」

una contra otra --- ウナ・コントラ・オトラ adv. 一方の手をもう一方に 「副詞句」

「拍手しなさい」

aconsejó アコンセハ 3 単点(aconsejar)v.t 助言した、勧めた 「動詞」

el vanidoso. エル・バニドソ n.m 見栄っ張りは 「主語」

王子様は拍手をした。見栄っ張りは、帽子を持ち上げて、うやうやしく挨拶した。

El principito golpeó sus manos, una contra otra. El vanidoso saludó modestamente.

## XI

levantando el sombrero.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

El principito	エル・プリンスピト n.m	王子様は	「主語」
golpeó	ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t	打ち付けた	「動詞」
sus manos,	ス・マス pl.n.m	自分の手を	「目的語」
una contra otra.	ウナ・コントラ・オトラ adv.	一方の手をもう一方に	「副詞句」
El vanidoso	エル・バニトソ n.m	見栄っ張り	「主語」
saludó	サルト 3 単点(saludar)v.t	挨拶した	「動詞」
modestamente,	モデスタメンテ adv.	うやうやしく	「副詞」
levantando	レバント 現在分詞(levantar)v.t	持ち上げながら	「副詞句」
el sombrero.	エル・ソブレロ n.m	帽子を	「目的語」

「これは王様の所に訪問するより面白いや！」と、王子様は心の中で思った。

--- Esto es más divertido que la visita al rey. --- se dijo para sí el principito.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「副詞句」「主語」

Esto	エスト pron	これは	「主語」
es	エス 3 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
más divertido	マス・ディベルティト adj.	もっと面白い	「補語」
que	ケ adv.	〜よりも	「副詞句」
la visita	ラ・ビスタ n.f	訪問	「目的語」
al rey	アル・レイ adj.	王様への	「形容詞句」
se dijo	セ・ディホ 3 単点(decirse)v.pr	心の中で思った	「動詞句」
para sí	パラ・シ adv.	そうだと	「副詞句」
el principito.	エル・プリンスピト n.m	王子様は	「主語」

それで、王子様はまた拍手した。すると、見栄っ張りも帽子を持ち上げて、また挨拶した。

Y volvió a golpear sus manos, una contra otra. El vanidoso volvió a saludar, levantando el sombrero.

Y 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Y イ conj. それで

volvió a golpear ホルビオ・ア・ゴルペアル 3 単点・再度(volver a+不定詞)

v.t また打ち付けた 「動詞句」

sus manos, ス・マス pl.n.m 自分の手を 「目的語」

una contra otra. ウナ・コントラ・オトラ adv. 一方の手をもう一方に 「副詞句」

El vanidoso エル・バニトソ n.m 見栄っ張り 「主語」

volvió a saludar, ホルビオ・ア・サルダール 3 単点・再度(volver a+不定詞)

v.t また挨拶した 「動詞句」

## XI

levantando レバンタント 現在分詞(levantar)v.t 持ち上げながら 「副詞句」  
 el sombrero. エル・ソブブレロ n.m 帽子を 「目的語」

5 分間の実習の後で、王子様はゲームの単調さに飽きてしまった。

Después de cinco minutos de ejercicio el principito se cansó de la monotonía del juego.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」

Después de デスプ°エス・デ° adv. ～の後で 「副詞句」

cinco minutos de ejercicio シンコ・ミヌトス・デ°・エヘルシオ n.m 5 分間の実習 「目的語」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

se cansó セ・カンソ 3 単点(cansarse)v.pr (de に) 飽きてしまった 「動詞句」

de la monotonía デ°・ラ・モトニア adv. 単調さに 「間接目的語」

del juego. デル・フエゴ° adj. ゲームの 「形容詞句」

「それで、帽子が降りるためには、何をしなければならないの？」と、王子様は尋ねた。

--- ¿Y qué hay que hacer para que el sombrero caiga? --- preguntó...

《Y「目的語」「動詞句」「副詞節」》, 「動詞」

¿Y イ conj. それで

qué ケ pron 何を 「目的語」

hay que hacer アイ・ケ・アセル 3 単現(hay que+不定詞)v.t しなければならない 「動詞句」

para que パ°ラ・ケ conj. ～するためには 「副詞節」

el sombrero エル・ソブブレロ n.m その帽子が 「主語」

caiga? --- カイガ° 接・3 単現(caer)v.i 降りる 「動詞」

preguntó... プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

しかし見栄っ張りには彼の言う事を聞いていなかった。見栄っ張りというのは、自分を褒め  
 たたえる言葉しか聞こうとしないんだ。

Pero el vanidoso no le oyó. Los vanidosos no oyen sino las alabanzas.

Pero 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Pero ペ°ロ conj. しかし

el vanidoso エル・バニドソ n.m 見栄っ張り 「主語」

no ...oyó. ノ...オイヨ 3 単点・否定(oír)v.t 聞いていなかった 「動詞」

le レ pron 彼の言う事を 「目的語」

Los vanidosos ロス・バニドソス pl.n.m 見栄っ張りというのは 「主語」

no oyen ノ・オイエン 3 複現・否定(oír)v.t 聞かない 「動詞句」

sino las alabanzas. シノ・ラス・アラバンサス pl.n.f 賞賛の言葉しか 「目的語」

## XI

「本当に僕を褒めたたえてくれているのかい？」と、王子様に尋ねた。

--- ¿Me admiras mucho verdaderamente? --- preguntó al principito.

《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「目的語」

¿Me メ pron 僕を

「目的語」

admiras アドミラス 2 単現(admirar)v.t 賞賛している

「動詞」

mucho verdaderamente? --- ムチョ・ベルダデラメンテ adv. 本当にここから

「副詞句」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t (a+人 に) 尋ねた

「動詞」

al principito. アル・プリンシピト n.m 王子様に

「目的語」

「褒めたたえるって、どういう意味なの？」

--- ¿Qué significa 《admirar》?

「目的語」「動詞」「主語」

¿Qué ケ pron 何を

「目的語」

significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する

「動詞」

《admirar》? アドミラル 不定詞 n. 「褒めたたえる」という言葉は

「主語」

「褒めたたえるというのは、この私がこの惑星で最も美しい男で、最も良い服を着ていて、一番金持ちで、一番あたまがよいと認めることだよ」

--- Admirar significa reconocer que soy el hombre más hermoso, mejor vestido, más rico y más inteligente del planeta.

《「主語」「動詞」「補語」》

Admirar アドミラル n. 「褒めたたえる」ってことは

「主語」

significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する

「動詞」

reconocer レコネセル 不定詞 n. ～を認めるということ

「補語」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

soy ソイ 1 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

el hombre más hermoso, エル・オンブレ・マス・エルモソ n.m 最も美しい男

「補語」

mejor vestido, メホル・ベスチド adj. 最も良い服を着た

「補語」

más rico マス・リコ adj. 一番金持ちの

「補語」

y イ conj. そして

más inteligente マス・インテリヘンテ adj. 一番あたまがよい

「補語」

del planeta. デル・プラネタ adv. この惑星で

「副詞句」

「でも、この惑星にはあなたしかいないでしょう？」

--- ¡Pero si eres la única persona en el planeta!

「動詞」「補語」

¡Pero si eres ペロ・シ・エレス 2 単現(ser)v.i ～じゃあないか、～でしょう

「動詞」

Pero si は「抗議・強調：si のみで用いられることもある」

la única persona ラ・ウニカ・ペルソナ n.f 唯一の人

「補語」

## XI

en el planeta! エン・エル・プラネタ adv. この惑星で

「副詞句」

「喜ばせておくれよ！それでも、褒めたたえておくれよ！」

--- ¡Dame el placer!! ¡Admírame de todos modos!

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」》

¡Dame ダ・メ 命・2 単現(dar+me)v.t 与えてくれ

「動詞句」

el placer! エル・プラセール n.m 喜びを

「目的語」

¡Admírame アドミラ・メ 命・2 単現(admirar+me)v.t 褒めたたえてくれ

「動詞句」

de todos modos! デ・トドス・モトス adv. それでも、とにかく

「副詞句」

「君を褒めたたえてあげるよ」と、王子様は両肩をすくめながら言った。「でも、僕が君を褒めたたえることについて、なぜ君がそんなに興味があるの？」

--- Te admiro --- dijo el principito, encogiéndose de hombros ---. Pero ¿por qué puede interesarte que te admire?

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《Pero 「副詞句」「動詞句」「主語」》

Te テ pron 君を

「目的語」

admiro --- アドミロ 1 単現(admirar)v.t 褒めたたえる

「動詞」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

encogiéndose エンコヒエントセ 現在分詞(encogerse)v.pr (体を) 縮ませながら

「副詞句」

de hombros ---. テ・オンブros pl.n.m 両肩を

「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

¿por qué ホル・ケ adv. なぜ

「副詞句」

puede interesarte プエテ・インテサル・テ 3 単現・可能(poder+不定詞)

v.t 君の興味を引くことが出来る

「動詞句」

que ク conj. ～ということが

「主語」

te テ pron 君を

「目的語」

admire? アドミレ 接・1 単現(admirar)v.t 褒めたたえたら

「動詞」

それで王子様は立ち去った。

Y el principito se fue.

Y 「主語」「動詞句」

Y イ conj. それで

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

se fue. セ・フェ 3 単点(irse)v.pr 立ち去った

「動詞句」

## XII

〈大人の人たちは本当に奇妙だな〉と、王子様は旅の間中心の中で思った。

Las personas grandes son decididamente muy extrañas, se decía para sus adentros durante el viaje.      《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「副詞句」

Las personas grandes ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人の人たちは 「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i 〜である 「動詞」

decididamente muy extrañas, デシディダメンテ・ムイ・エクストラニャス

adj.f.pl 断固としてとても奇妙な 「補語」

se decía セ・デシア 3 単線(decirse)v.pr 自分に言った 「動詞句」

para sus adentros パラ・スス・アデントロス adv. 内心 「副詞句」

durante el viaje. ドゥランテ・エル・ビアヘ adv. 旅の間中 「副詞句」

## XII



次の惑星には、吞兵衛が住んでいた。

El planeta siguiente estaba habitado por un bebedor.      「主語」「動詞句」「副詞句」

El planeta siguiente エル・プラネタ・シギエンテ n.m 次の惑星は 「主語」

estaba habitado エスタバ・アビタド 3 単線・受動(habitar)v.t 住まれていた 「動詞句」

por un bebedor. ポル・ウン・ベベドール adv. 吞兵衛によって 「副詞句」

能動文に翻訳する

## XII

この訪問はごく短いものだったが、王子様を深い憂鬱の中に沈めた。

Esta visita fue muy breve, pero sumió al principito en una gran melancolía.

「主語」「動詞」「補語」 pero 「動詞」「目的語」「副詞句」

Esta visita エスタ・ビシタ n.f この訪問は

「主語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった

「動詞」

muy breve, ムイ・ブレベ adj. とても短い

「補語」

pero ペロ conj. sikasi

sumió スミオ 3 単点(sumir)v.t 沈めた

「動詞」

al principito アル・プリンスピト n.m 王子様を

「目的語」

en una gran melancolía. エン・ウナ・グラン・メランコリア adv. 深い憂鬱の中に

「副詞句」

「そこで何をしているの？」と、吞兵衛に尋ねた。王子様は、彼が沢山の空き瓶と酒が詰まった沢山の瓶の前で静かに座っているのに気がついた。

--- ¿Qué haces ahí? --- preguntó al bebedor, a quien encontró instalado en silencio, ante una colección de botellas vacías y una colección de botellas llenas.

《「目的語」「動詞」「副詞」》, 「動詞」「目的語」

「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」

¿Qué ケ pron 何を

「目的語」

haces アセス 2 単現(hacer)v.t している

「動詞」

ahí? --- アイ adv. そこで

「副詞」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

al bebedor, アル・ベベトール n.m 吞兵衛に

「目的語」

a quien ア・キエン pron その人が

「目的語」

encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t (+目的格補語) 発見した

「動詞」

instalado en silencio, インスタラト・エン・シレンシオ adj. 静かに座った

「補語」

ante アンテ adv. ~の前に

「副詞句」

una colección de botellas vacías ウナ・コレクシオン・デ・ボテジヤス・バシヤス

pl.n.f 沢山の空き瓶

「目的語」

colección コレクシオン n.f 多数、収集品 vacío バシオ adj. 空の

y イ conj. そして

una colección de botellas llenas. ウナ・コレクシオン・デ・ボテジヤス・シエンヤス

pl.n.f 沢山の満入りの瓶

「目的語」

lleno ジェノ adj. 満ちた、一杯の

## XII

「酒を飲んでいるんだ」と、吞兵衛は陰気な様子で答えた。

--- Bebo --- respondió el bebedor, con aire lúgubre. 《「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」  
 Bebo --- ベボ 1 単現(beber)v.t 酒を飲んでいる 「動詞」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el bebedor, エル・ベベトール n.m 吞兵衛は 「主語」  
 con aire lúgubre. コン・アイレ・ルグブレ adv. 陰鬱な様子で 「副詞句」

「なぜ飲んでいるの？」と、王子様は尋ねた。

--- ¿Por qué bebes? --- preguntóle el principito. 《「副詞句」「動詞」》, 「動詞」「主語」  
 ¿Por qué ホル・ケ adv. なぜ、なんで 「副詞句」  
 para qué パラ・ケ adv. 何のために con qué objeto コン・ケ・オブヘト adv. 何のために  
 bebes? --- ベベス 2 単現(beber)v.t 飲んでいる 「動詞」  
 preguntóle プレグントレ 3 単点(preguntó+le)v.t 彼に尋ねた 「動詞句」  
 最後の音節にアクセント記号が付いた単語の後ろに 1 音節追加されると、  
 アクセント記号が不要になる (単語のアクセントのルールで o が強勢になる)  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

単語のアクセントのルール：

(1) アクセント記号がある単語は、その位置にアクセントを置く。

japonés (日本の)、fábrica (工場)

(2) アクセント記号がなく、母音字 (a, e, i, o, u) または n、s で終わる単語は、後ろから二番目の母音にアクセントを置く。

espacio (空間)、examen (試験)、regalos (プレゼント)

(3) アクセント記号がなく、n、s 以外の子音字で終わる単語は、最後の母音にアクセントを置く。usted (あなた)、andar (歩く)、canal (運河)

注意：複数の母音が連続しているものは多重母音と言って、1 個の母音とみなす。しかし、連続した母音のどれかにアクセント記号が付いている場合は複数の母音とみなす。

例：río (川、ri-o) Raúl (ラウル [人名]、ra-ul)

「忘れるためだよ」と、吞兵衛は答えた。

--- Para olvidar --- respondió el bebedor. 《「応答」》, 「動詞」「主語」  
 Para olvidar --- パラ・オルビダール adv. 忘れるためだよ 「応答」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el bebedor. エル・ベベトール n.m 吞兵衛は 「主語」

「何を忘れるためなの？」と尋ねたが、王子様はすでに彼を哀れんでいた。

--- ¿Para olvidar qué --- inquirió el principito, que ya le compadecía.

単語のアクセントのルール：



## XII

《「質問」》, 「動詞」「主語」, 「主語」「副詞」「間接目的語」「動詞」  
 ¿Para olvidar qué --- パラ・オルビダール・ケ adv. 何を忘れるため? 「質問」  
 inquirió インキリオ 3 単点(inquirir)v.t 尋ねた 「動詞」  
 el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 que ケ pron 彼は 「主語」  
 ya ヤー adv. すでに 「副詞」  
 le レ pron 彼に 「間接目的語」  
 compadecía. コンパデシア 3 単線(compadecer)v.t ~に同情していた、を哀れんでいた「動詞」

「恥ずかしいということを忘れるためだよ!」と、吞兵衛はうつむいて打ち明けた。

--- Para olvidar que tengo vergüenza ---confesó el bebedor bajando la cabeza.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」  
 Para olvidar パラ・オルビダール adv. ~を忘れるため 「応答」  
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」  
 tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある 「動詞」  
 vergüenza --- ベルグエンサ n.f 恥 「目的語」  
 tener vergüenza テネル・ベルグエンサ v.i 恥ずかしい  
 confesó コンフェソ 3 単点(confesar)v.t 告白した、打ち明けた 「動詞」  
 el bebedor エル・ベベトール n.m 吞兵衛は 「主語」  
 bajando バハント 現在分詞(bajar)v.t ~を下げて 「副詞句」  
 la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」  
 bajar la cabeza バハール・ラ・カベサ 「頭を下げる、うつむく」

「何が恥ずかしいの?」と尋ねた、王子様は彼を助けてやりたかったのだ。

--- ¿Vergüenza de qué? ---indagó el principito, que deseaba socorrerle.

《「質問」》, 「動詞」「主語」, 「主語」「動詞句」  
 ¿Vergüenza de qué? --- ベルグエンサ・デ・ケ n.f 何が恥ずかしいの? 「質問」  
 indagó インダゴ 3 単点(indagar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 que ケ pron 王子様は 「主語」  
 deseaba socorrerle. デセアバ・ソコレール・レ 3 単線・願望(desear+不定詞+le)  
 v.t 彼を助けてやりたかった 「動詞句」

「酒を飲むことが恥ずかしいのさ」と言い終わると、吞兵衛は決定的に沈黙の中に閉じこもってしまった。

--- ¡Vergüenza de beber! ---terminó el bebedor, que se encerró definitivamente en el



## XIII

el del hombre de negocios. エル・デル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家の惑星	「補語」
el es el planeta の代用 negocio ネゴシオ n.m 事業 hombre de negocios 事業家	
El hombre エル・オンブレ n.m その男は	「主語」
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった	「動詞」
tan ocupado タン・オカパド adj. あまりにも忙しい	「補語」
que ケ conj. (tan...que+直説法) その結果〜する	「副詞節」
ni siquiera levantó ニ・シキエラ・エバント 3 単点(levantar)	
v.t 上げることさえもしなかった	「動詞句」
ni ニ adv. 〜さえ (ない) siquiera シキエラ adv. (否定の強調) 〜さえ (ない)	
la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を	「目的語」
cuando クワント conj. 〜した時	「副詞節」
llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i 着いた	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様が	「主語」



「こんにちは！」と、王子様は言った。「タバコの火が消えていますよ」

--- Buenos días ---le dijo éste ---. Su cigarrillo está apagado.

《「挨拶」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

Buenos días --- ブエノソウ・ディアス adv. こんにちは！

「挨拶」

## XIII

le レ pron 彼に	「間接目的語」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
éste ---. エステ pron 王子様は (el principito の代用)	「主語」
Su cigarrillo ス・シガリジョ n.m あなたの紙巻きたばこは	「主語」
está エスタ 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
apagado. アパガト adj. 消えた	「補語」

「2 たす 3 は 5。5 たす 7 は 12。12 たす 3 は 15。こんにちは！ 15 たす 7 は 22」

--- Tres y dos son cinco. Cinco y siete, doce. Doce y tres, quince. Buenos días. Quince y siete, veintidós.      《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」  
「挨拶」 | 「動詞」「補語」》

Tres y dos トレス・イトス n. 2 たす 3	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i ~である	「動詞」
cinco. シンコ n. 5	「補語」
Cinco y siete, シンコ・イ・シエテ n. 5 たす 7	「主語」
doce. トセ n. 12	「補語」
Doce y tres, トセ・イトス n. 12 たす 3	「主語」
quince. キンセ n. 15	「補語」
Buenos días. ブエノス・デイアス adv. こんにちは	「挨拶」
Quince y siete, キンセ・イ・シエテ n. 15 たす 7	「主語」
veintidós. ベインティドス n. 22	「補語」

「22 たす 6 は 28。タバコに火をつけなおす時間がない。26 たす 5 は 31」

Veintidós y seis, veintiocho. No tengo tiempo para volver a encenderlo. Veintiséis y cinco, treinta y uno.      《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」》

Veintidós y seis, ベインティドス・イ・セイス 22 たす 6	「主語」
veintiocho. ベインティオチョ n. 28	「補語」
No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ない	「動詞句」
tiempo ティエンポ n.m 時間が	「目的語」
para +不定詞 adj. ~するための	「形容詞句」
volver a encenderlo. ホルベル・ア・エンセデル・ロ 不定詞・再度(volver a+不定詞) v.t またそれに火をつける	「動詞句」
Veintiséis y cinco, ベインティセイス・イ・シンコ n. 26 たす 5	「主語」
本当は veintiocho y cinco になるはずだが、王子様に気を散らされて間違えた。	
treinta y uno. トレンタ・イ・ウノ n. 31	「補語」

## XIII

「ああ！これで、合計 5 億百六十二万二千七百三十一になった」

¡Uf! Da un total, pues, de quinientos un millones seiscientos veintidós mil setecientos treinta y uno.      《「感嘆」 | 「動詞」「目的語」「副詞」「形容詞句」》

¡Uf! ウ int. ああ

「感嘆」

Da ダー 3 単現(dar)v.t 与える、～になる

「動詞」

un total, ウン・トタル n.m 合計

「目的語」

pues, プエス adv. これで

「副詞」

de quinientos un millones seiscientos veintidós mil setecientos treinta y uno.

デ・キエントス・ウン・シジョネス・セイスシエントス・ベインティドス・セテシエントス・トレインタ・イ・ウノ

adj. (同格) 5 億百六十二万二千七百三十一という

「形容詞句」

「何が 5 億なの？」

--- ¿Quinientos millones de qué?

「主語」

¿Quinientos millones de キエントス・シジョネス・デ adj. 5 億の

「形容詞句」

qué? ケ pron 何

「主語」

「えっ！まだそこに居るのか？5 億 100 万の... もう分からない。仕事は沢山ある。俺は真面目なんだ、くだらないお喋りで時間を潰したりしないんだ。2 たす 5 は 7」

--- ¡Eh! ¿Sigues ahí? Quinientos un millones de... Ya no sé... ¡Tengo tanto trabajo! Yo soy serio, no me divierto con tonterías. Dos y cinco, siete...

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞」 | 「計算」 | 「副詞」「動詞句」 | 「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「補語」》

¡Eh! エー int. えっ！

「感嘆」

¿Sigues シゲス 2 単現(seguir)v.i ～し続けている

「動詞」

ahí? アイ adv. そこに (いる)

「副詞」

Quinientos un millones de... キエントス・ウン・シジョネス・デ...

adj. 5 億 100 万の...

「計算」

Ya ヤー adv. もう

「副詞」

no sé... ノセ 1 単現(saber)v.i 分からない

「動詞句」

¡Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある

「動詞」

tanto trabajo! タント・トラバホ n.m 沢山の仕事が

「目的語」

Yo ショ pron 俺は

「主語」

soy ソイ 1 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

serio, セリオ adj. 真面目な

「補語」

no me divierto ノ・メ・ディビエルト 1 単現・否定(divertirse)v.pr 楽しんだりしない

「動詞句」

con tonterías. コン・トンテリアス adv. 愚かな言動で

「副詞句」

## XIII

Dos y cinco, ドス・イ・シコ n. 2 たす 5

「主語」

siete... シエ n. 7

「補語」

「何が 5 億なの？」と、王子様は繰り返した。彼は、一度質問をすると、決して途中であきらめたことがなかった。

--- ¿Quinientos millones de qué? --- repitió el principito, que nunca en su vida había renunciado a una pregunta, una vez que la había formulado.

《「質問」》, 「動詞」「主語」,

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞節」

¿Quinientos millones de qué? キエントス・ミジョネス・デ・ケ pron 何が 5 億なの? 「質問」

repitió レピティó 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

que ケ pron 彼は 「主語」

nunca ヌンカ adv. 決して～ない 「副詞」

en su vida エン・ス・ビダ adv. (否定の強調) 決して～ない 「副詞句」

había renunciado ハビアー・ヌンシアトó 3 単線・完了形(renunciar)v.t あきらめた 「動詞句」

a una pregunta, ア・ウナ・プレグンタ n.f 質問を 「目的語」

una vez que +直説法 ウナ・ベス・ケ conj. 一度～したら 「副詞節」

la ラ pron それを 「目的語」

había formulado. アビアー・フォルマトó 3 単線・完了形(formar)

v.t (質問を) した 「動詞句」

フランス語原版でも「何が五億なの？」だが、

「フランス語で読もう 星の王子様」では「何が五億百万なの？」に変わっている

事業家は頭を上げた。

El hombre de negocios levantó la cabeza: 「主語」「動詞」「目的語」

El hombre de negocios エル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家は 「主語」

levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた 「動詞」

la cabeza: ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

「この惑星に住んで 54 年の間に、邪魔されたのは 3 回しかない」

--- En los cincuenta y cuatro años que habito este planeta, sólo he sido molestado tres veces.

《「副詞句」, 「副詞」「動詞句」「副詞句」》

En los cincuenta y cuatro años エン・ロス・シンクエンタ・イ・クワトロ・アニョス adv. 54 年の間に 「副詞句」

que ケ conj. ～してから 「副詞節」

habito アビト 1 単現(habitar)v.t 住んでいる 「動詞」

フランス語原版でも「何が五億なの？」だが、

## XIII

este planeta, エステ・プラネタ n.m この惑星に 「目的語」  
 sólo ソロ adv. ーだけ 「副詞」  
 he sido molestado エ・シト・モレスト 1 単現・完了形・受動(molestar)v.t 邪魔された 「動詞句」  
 tres veces. トレス・ベセス adv. 3 回 「副詞句」

最初は 22 年前、どこからか落ちてきたコガネムシのせいだった。

La primera fue hace veintidós años por un abejorro que cayó Dios sabe de dónde.

《「主語」「動詞」「副詞句」》

La primera ラ・プリメラ n.f 最初は 「主語」  
 fue フェ 3 単点(ser)v.i ーだった 「動詞」  
 hace veintidós años アセ・ベ・インティトス・アニコス adv. 22 年前 「副詞句」  
 por ポル adv. ーのために 「副詞句」  
 un abejorro ウン・アベホ n.m コガネムシ 「目的語」  
 que ケ pron (主語) ーする 「形容詞節」  
 cayó カヨ 3 単点(caer)v.i 落ちてきた 「動詞」  
 Dios sabe de dónde. ティオス・サベ・デ・ドンデ  
 adv. 神のみが知る所から、どこからか 「副詞句」

そいつがすさまじい雑音を出したので、足し算を 4 回も間違えてしまった。

Produjo un ruido espantoso y cometí cuatro errores en una suma.

《「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」》

Produjo プロトウホ 3 単点(producir)v.t 生産した、(音を) たてた 「動詞」  
 un ruido ウン・ルイト n.m 雑音を 「目的語」  
 espantoso エパントソ adj. すさまじい、恐ろしい 「形容詞」  
 y イ conj. そして  
 cometí コメティ 1 単点(cometer)v.t (過ちを) 犯した 「動詞」  
 cuatro errores クワトロ・エーレス pl.n.m 4 回の間違いを 「目的語」  
 en una suma. エン・ウナ・スマ adv. 足し算で 「副詞句」

2 回目は 11 年前、リウマチの発作のせいだった。運動が必要なんだ。

La segunda fue hace once años por un ataque de reumatismo. Me hace falta ejercicio.

《「主語」「動詞」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

La segunda ラ・セグンダ n.f 2 回目は 「主語」  
 fue フェ 3 単点(ser)v.i ーだった 「動詞」  
 hace once años アセ・オンセ・アニコス adv. 11 年前 「副詞句」  
 por un ataque de reumatismo. ポル・ウン・アタケ・デ・レウマティスモ

## XIII

adv. リューマチの発作のせい	「副詞句」
Me メ pron 私には	「間接目的語」
hace falta アセ・ファルタ 3 単現(hacer falta)v.t ~が必要だ	「動詞句」
ejercicio. エヘルシオ n.m 運動が	「直接目的語」

体を動かす時間がないんだ。おれは真面目なんだ。

No tengo tiempo para moverme. Yo soy serio.

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ない	「動詞句」
tiempo ティエンポ n.m 時間が	「目的語」
para moverme. パラ・モベルセ adv. 動くための、体を動かすための	「形容詞句」
Yo ヨ pron わしは	「主語」
soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
serio. セリオ adj. まじめな	「補語」

3 回目は... それが今回だ！えーと、5 億 1 万... と言っていたな...

La tercera vez... ¡Hela aquí! Decía, pues, quinientos un millones...

《「主語」「補語」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》

La tercera vez... ラ・テルセラ・ベス n.f 3 回目は	「主語」
¡Hela aquí! エラ・アキ adv. それが今回だ	「補語」
Decía, デシア 1 単線(decir)v.t 言っていた	「動詞」
pues, フエス adv. えーと	「副詞」
quinientos un millones... キニエントス・ウン・シヨネス n. 5 億 1 万... n.	「目的語」

「何が百万なの？」

--- ¿Millones de qué?	《「質問」》
¿Millones de qué? ミシヨネス・デ・ケ pron 百万の何なの？	「質問」

事業家は、安らぎの希望がないということを理解した。

El hombre de negocios comprendió que no había esperanza de paz.

「主語」「動詞」「目的語」

El hombre de negocios エル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家は	「主語」
comprendió コンプレンディオ 3 単点(comprender)v.t 理解した	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「目的語」
no había ノ・アビア 3 単線・否定(haber)v.t ない	「動詞句」
esperanza de paz. エスペランサ・デ・パス n.f 安らぎの希望	「目的語」



## XIII

「時々空に見える、あの無数の小さな物だよ」

--- Millones de esas cositas que se ven a veces en el cielo. 《「主語」》

Millones de esas cositas ミジョネス・デ・エサス・コシタス pl.n.f あの無数の小さな物だ 「主語」

cosa コサ n.f 物 -ito, -ita は「小さい」を表す → cosita 「小さな物」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se ven セ・ベン 3 複現(verse)v.pr 見える 「動詞句」

a veces ア・ベセス adv. 時々 「副詞句」

en el cielo. エ・ネル・シエロ adv. 空に 「副詞句」

「ハエのことなの？」

--- ¿Moscas? 《「確認」》

¿Moscas? モスカス pl.n.f ハエ? 「確認」

「違うよ、キラキラ光る小さな物だよ」

--- No, cositas que brillan. 《「応答」「主語」》

No, ノ adv. 違う 「応答」

cositas コシタス pl.n.f 小さな物 「主語」

que brillan. ケ・ブリジャン adj.pl キラキラ光っている 「形容詞節」

「ミツバチなの？」

--- ¿Abejas? 《「主語」》

¿Abejas? アベハス pl.n.f ミツバチ 「主語」

「違うよ！なまけ者たちを夢中にさせる金色の小さな物だよ。だけどおれは真面目なんだ。  
夢中になっている時間はないんだ！」--- ¡No, no! Cositas doradas que hacen desvariar a los holgazanes. ¡Pero yo soy serio!!No tengo tiempo para desvariar.

《「応答」「主語」 | Pero 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

¡No, no! ノ・ノ adv. 違うよ！ 「応答」

Cositas doradas コシタス・ドラダス pl.n.f 金色の小さな物だよ 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

hacen desvariar アセン・デスバリアル 3 複現・使役(hacer+不定詞)

v.i 精神錯乱を起こさせる、夢中にさせる 「動詞句」

desvariar デスバリアル v.i うわごとを言う、精神錯乱を起こす

a los holgazanes. ア・ロス・オカサネス pl.n.m なまけ者たちを 「目的語」

## XIII

¡Pero <sup>ペロ</sup> conj. しかし

yo <sup>ジョ</sup> pron おれは 「主語」

soy <sup>ソイ</sup> 1 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

serio! <sup>セリオ</sup> adj. まじめな 「補語」

No tengo <sup>ノ・テンゴ</sup> 1 単現・否定(tener)v.t ない 「動詞句」

tiempo <sup>ティエンポ</sup> n.m 時間が 「目的語」

para desvariar. <sup>パラ・デスバリアル</sup> adj. 夢中になっている 「形容詞句」

「ああ、空の星のことか！」

--- ¡Ah! ¡Estrellas! 「応答」

¡Ah! ¡Estrellas! <sup>アー・エストレジヤス</sup> adv. ああ、空の星！ 「応答」

「そう、それ。星だよ」

--- Eso es. Estrellas. 《「補語」「動詞」 | 「補語」》

Eso <sup>エソ</sup> pron それ 「補語」

es. <sup>エス</sup> 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

Estrellas. <sup>エストレジヤス</sup> pl.n.f 星 「補語」

「それで、5 億の星で君は何をするの？」

--- ¿Y qué haces tú con quinientos millones de estrellas?

《Y 「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」》

¿Y <sup>イ</sup> conj. それで

qué <sup>ケ</sup> pron 何を 「目的語」

haces <sup>アセス</sup> 2 単現(hacer)v.t する 「動詞」

tú <sup>トゥ</sup> pron 君は 「主語」

con quinientos millones de estrellas? <sup>コン・キエントス・ミジヨネス・デ・エストレジヤス</sup>

adv. 5 億の星で 「副詞句」

「5 億 162 万 2731 だよ！おれは真面目なんだ。おれは正確なんだ！」

--- Quinientos un millones seiscientas veintidós mil setecientas treinta y una. Yo soy serio, soy preciso. 《「応答」 | 「主語」「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》

Quinientos un millones seiscientas veintidós mil setecientas treinta y una.

<sup>キエントス・ウン・ミジヨネス・セイスシエンタス・ヘインティトス・ミル・セテシエンタス・トレインタ・イ・ウナ</sup>

n. 5 億 162 万 2731 だ 「応答」

yo <sup>ジョ</sup> pron おれは 「主語」

soy <sup>ソイ</sup> 1 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

## XIII

serio, セリオ adj. まじめな

「補語」

soy ソイ 1 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

preciso. プレシソ adj. 正確な

「補語」

「それで、その星で何をするの？」

--- ¿Y qué haces con esas estrellas?

《Y 「目的語」 「動詞」 「副詞句」》

¿Y イ conj. それで

qué ケ pron 何を

「目的語」

haces アセス 2 単現(hacer)v.t する

「動詞」

con esas estrellas? コン・エサス・エストレジャス adv. その星で

「副詞句」

「何をするかだって？」

--- ¿Qué hago?

《「目的語」 「動詞」》

¿Qué ケ pron 何を

「目的語」

hago? アゴ 1 単現(hacer)v.t (疑問文で) するかだって？

「動詞」

「そう」

--- Sí.

「応答」

Sí. シ adv. そう

「応答」

「何もしない。それらを所有しているのさ。」

--- Nada. Las poseo.

《「目的語」 | 「目的語」 「動詞」》

Nada. ナダ pron 何も〜ない

「目的語」

Las ラス pron それらを

「目的語」

poseo. ポセオ 1 単現(poseer)v.t 所有している

「動詞」

「星たちを所有しているだって？」

--- ¿Posees las estrellas?

《「動詞」 「目的語」》

¿Posees ポセエス 2 単現(poseer)v.t 所有している

「動詞」

las estrellas? ラス・エストレジャス pl.n.f 星たちを

「目的語」

「そうだよ」

--- Sí.

「応答」

Sí. シ adv. そう

「応答」

## XIII

「だけど、以前に会った王様は...」

--- Pero he visto un rey que...

《Pero 「動詞句」「目的語」「形容詞節」》

Pero ペロ conj. だけど

he visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t 会った

「動詞句」

un rey ウン・レイ n.m 王様に

「目的語」

que... ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

「王たちは所有しない、&lt;支配する&gt;んだ。これは全く違うことだよ」

--- Los reyes no poseen, 《reinan》. Es muy diferente.

《「主語」「動詞句」, 「動詞」 | 「動詞」「補語」》

Los reyes ロス・レイエス pl.n.m 王たちは

「主語」

no poseen, ノ・ポセエン 3 複現・否定(poseer)v.t 所有しない

「動詞句」

《reinan》. レイナン 3 複現(reinar)v.t 支配する

「動詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

muy diferente. ムイ・デ・イフェレンテ adj. 全く違う

「補語」

「それで、星を所有することが君にとって何の役に立つの？」

--- ¿Y para qué te sirve poseer las estrellas?

《Y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」》

¿Y イ conj. それで

para qué パラ・ケ adv. 何のために

「副詞句」

te テ pron 君にとって

「間接目的語」

sirve シルベ 3 単現(servir)v.i 役に立つ

「動詞」

poseer ポセエル 不定詞 v.t 所有することが

「主語」

las estrellas? ラス・エストレージャス pl.n.f 星を

「目的語」

「俺が金持ちになるのに役立つのさ」

--- Me sirve para ser rico.

《「間接目的語」「動詞」「副詞句」》

Me メ pron 自分にとって

「間接目的語」

sirve シルベ 3 単現(servir)v.i 役に立つ

「動詞」

para +不定詞 パラ adv. ~するのに

「副詞句」

ser セル 不定詞 v.i ~になる

「動詞」

rico. リコ adj. 金持ちの

「補語」

「それで、金持ちになることは、何の役に立つの？」

--- ¿Y para qué te sirve ser rico?

《Y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」》

## XIII

¿Y conj. それで

para qué パラ・ケ adv. 何のために

「副詞句」

te テ pron 君にとって

「間接目的語」

sirve シルベ 3 単現(servir)v.i 役に立つ

「動詞」

ser セル 不定詞 v.i ~になること

「主語」

rico? リコ adj. 金持ちの

「補語」

「誰かが他の星を見つけたら、それを買うのに役立つ」

--- Para comprar otras estrellas, si alguien las encuentra.

《「副詞句」「副詞節」》

Para +不定詞 パラ adv. ~するために (役に立つ)

「副詞句」

comprar コンプ ラール 不定詞 v.t 買う

「動詞」

otras estrellas, オTRAS・エストレジャス pl.n.f 別の星を

「目的語」

si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

alguien アルギエン pron 誰かが

「主語」

las ラス pron.pl 星を

「目的語」

encuentra. エンクエントラ 3 単現・推測(encontrar)v.t 見つけた

「動詞」

この男は、と王子様は心の中で思った、ちょっとあの酔っ払いみたいな理屈を言っている。

それでも、質問を続けた。

Éste, se dijo a sí mismo el principito, razona un poco como el ebrio. Sin embargo, siguió preguntando:

Éste, エステ pron この男は

「主語」

「副詞節」

se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った

「動詞句」

a sí mismo ア・シ・ミスマ adv. 自分自身に対して

「副詞句」

el principito, エル・プ リンシピト n.m 王子様は

「主語」

razona ラサ 3 単現(razonar)v.i 理屈を言っている

「動詞」

un poco como ウン・ポ コ・コモ adv. 少し~のように

「副詞句」

el ebrio. エル・エブリオ n.m あの酔っ払い

「目的語」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも

「副詞句」

siguió preguntando: シギョ・プレグンタント 3 単点・継続(seguir+現在分詞)

v.t 質問を続けた

「動詞句」

「どうしたら、星を所有できるの？」

--- ¿Cómo se puede poseer estrellas?

《「副詞」「動詞句」「目的語」》

¿Cómo コモ adv. どうしたら

「副詞」

## XIII

se puede poseer セ・プ エデ・ポ セル 3 単現・可能(poderse+不定詞)

v.pr (一般に人は) 所有できる

「動詞句」

estrellas? エストレジャス pl.n.f 星を

「目的語」

「星は、誰のものかね？」と不愛想に、事業家は言い返した。

--- ¿De quién son? ---replicó, hosco, el hombre de negocios.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「副詞」「主語」

¿De quién テ・キエン adj. 誰の物

「補語」

son? ソン 3 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

replicó, レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した

「動詞」

hosco, オスコ adv. 不愛想に

「副詞」

el hombre de negocios. エル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家は

「主語」

「知らない。誰のものでもないよ」

--- No sé. De nadie.

《「動詞句」 | 「補語」》

No sé. ノセ 1 単現・否定(saber)v.t 知らない

「動詞句」

De nadie. テ・ナディエ adj. 誰のものでもない

「補語」

「それなら、星は俺のものだ。俺が最初に所有することを思いついたんだから」

--- Entonces, son mías, pues soy el primero en haberlo pensado.

《「副詞」「動詞」「補語」「副詞節」》

Entonces, エントネス adv. それならば

「副詞」

son ソン 3 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

mías, ミアス pron.f.pl わしの物だ

「補語」

pues プエス conj. ~なので

「副詞節」

soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

el primero エル・プリメロ n.m 最初の者

「補語」

en +不定詞 エン adv. ~することにおいて

「副詞句」

haberlo pensado. アベール・ロ・ペンサド 不定詞・完了形(pensar+lo)

v.t それを思いついた

「動詞句」

「それで十分なの？」

--- ¿Es suficiente?

《「動詞」「補語」》

¿Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

suficiente? スフィエンテ adj. 十分な

「補語」

## XIII

「間違いない。君が、誰のものでもないダイヤモンドを見つけたら、それは君のものだ。  
君が、誰のものでもない島を見つけたら、それは君のものだ。」

--- Sin duda. Cuando encuentras un diamante que no es de nadie, es tuyo. Cuando encuentras una isla que no es de nadie, es tuya.

《「補語」 | 「副詞節」「動詞」「補語」 | 「副詞節」「動詞」「補語」》

Sin duda. シン・ドゥダ adj. 間違いない 「補語」

Cuando クワント conj. ～する時、～したら 「副詞節」

encuentras エンケントラス 2 単現(encontrar)v.t 見つける 「動詞」

un diamante ウン・デアマンテ n.m ダイヤモンドを 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞」

de nadie, デ・ナデー adj. 誰の物でも～ない 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

tuyo. トヨ pron.m 君のもの 「補語」

Cuando クワント conj. ～したら 「副詞節」

encuentras エンケントラス 2 単現(encontrar)v.t 見つける 「動詞」

una isla ウン・イスラ n.f 島を 「目的語」

que no es de nadie, ケ・ノ・エス・デ・ナデー adj. 誰のものでもない 「形容詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

tuya. トヤ pron.f 君の物 「補語」

もし君が最初にある考えを思いついたら、それを特許にするんだ。そうすればその考えは、  
君のものだ。おれは星を所有している、なぜなら俺よりも先に星を所有することを思いつ  
いた奴はいないんだから。

Cuando eres el primero en tener una idea, la haces patentar: es tuya. Yo poseo las  
estrellas porque jamás nadie antes que yo soñó con poseerlas.

「副詞節」, 「目的語」「動詞句」: 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」

Cuando クワント conj. ～したら 「副詞節」

eres エレス 2 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

el primero エル・プリメロ n.m 最初の人 「補語」

en +不定詞 エン adv. ～することにおいて 「副詞句」

tener テネル 不定詞 v.t 取る、生み出す 「動詞」

una idea, ウン・イデア n.f ある考え 「目的語」

la ラ pron それを 「目的語」

haces patentar: アセス・パテンタル 2 単現・使役(hacer+不定詞)

v.t 特許にさせる 「動詞句」

## XIII

es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
tuya. トゥヤ pron.f	君の物	「補語」
Yo ジョ pron	わしは	「主語」
poseo ポセオ 1 単現(poseer)v.t	所有している	「動詞」
las estrellas ラス・エストレジャス pl.n.f	星を	「目的語」
porque ポルケ conj.	～なので	「副詞節」
jamás nadie ハマス・ナデー pron	決して誰も～ない	「主語」
antes que yo アンテス・ケ・ジョ adv.	おれよりも前に	「副詞句」
soñó ソニョ 3 単点(soñar)		
v.i (否定文で) (con+不定詞)	～する夢を見なかった	「動詞」
con poseerlas. コン・ポセエル・ラス con+不定詞		
adv.	それを所有することを	「間接目的語」

「それはその通りだ」と、王子様は言った。「それで、その星で何をするの？」

--- Es verdad --- dijo el principito---. ¿Y qué haces tú con las estrellas?

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《Y「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」》

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
verdad --- ベルダッド adj.	事実、その通り	「補語」
dijo デイホ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el principito---. エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
¿Y イ conj.	それで	
qué ケ pron	何を	「目的語」
haces アセス 2 単現(hacer)v.t	する	「動詞」
tú トゥ pron	君は	「主語」
con las estrellas? コン・ラス・エストレジャス adv.	その星で	「副詞句」

「星を管理するんだ。星を数えて、また数え直すんだ」と、事業家は言った。

--- Las administro. Las cuento y las recuento --- dijo el hombre de negocios---.

《「目的語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

Las ラス pl.pron	それらを	「目的語」
administro. アドミニストロ 1 単現(administrar)v.t	管理する	「動詞」
Las ラス pl.pron	それらを	「目的語」
cuento ケント 1 単現(contar)v.t	数える	「動詞」
y イ conj.	そして	
las ラス pl.pron	それらを	「目的語」
recuento --- レケント 1 単現(recontar)v.t	再び数える	「動詞」



## XIII

dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el hombre de negocios---. エル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家は 「主語」

「これは困難なことだよ！だけど俺は真面目な人間だ！」

Es difícil. ¡Pero soy un hombre serio! 《「動詞」「補語」 | Pero 「動詞」「補語」》  
 Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 difícil. ディフィシル adj. 困難な、難しい 「補語」  
 ¡Pero ペロ conj. だけど  
 soy ソイ 1 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 un hombre serio! ウン・オンブレ・セリオ n.m まじめな人間 「補語」

王子様は、まだ満足しなかった。

El principito todavía no estaba satisfecho. 「主語」「副詞」「動詞」「補語」  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 todavía トダビャ adv. まだ 「副詞」  
 no estaba ノ・エスタハ 3 単線・否定(estar)v.i 〜でなかった 「動詞」  
 satisfecho. サティスフェチョ adj. 満足した 「補語」

「もし僕がスカーフを持っていたら、それを首に巻いて持ち運ぶことができる。もし僕が花を持っていたら、それを摘み取って持ち運ぶことができる。だけど、君は星を所有していていると言っているけど、それを空から摘み取ることはできないよ。」

--- Yo, si poseo un pañuelo, puedo ponerlo alrededor de mi cuello y llevármelo. Si poseo una flor, puedo cortarla y llevármela. ¡Pero tú no puedes cortar las estrellas!

《「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」 |

「副詞節」, 「動詞句」 y 「動詞句」 | Pero 「主語」「動詞句」「目的語」》

Yo, ショ pron 僕は 「主語」  
 si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」  
 poseo ポセオ 1 単現(poseer)v.t 持っている 「動詞」  
 un pañuelo, ウン・パニョエロ n.m スカーフ (ハンカチ) を 「目的語」  
 スカーフ: 首に巻いたり、肩に欠けたり、頭をおおったりする装飾と実用を兼ねた正方形、長方形の布で、防寒の目的はあまりない。  
 マフラー: 防寒用の長方形の布で、首、頭、顔、肩を包む。  
 puedo ponerlo プ・エト・ポネルロ 1 単現・可能(poder+不定詞+lo)  
 v.t それを身に着けることが出来る 「動詞句」  
 alrededor de mi cuello アルデトール・デ・ミ・クエジョ adv. 僕の首の周りに 「副詞句」  
 y イ conj. そして

## XIII

llevármelo. シェハール・メ・ロ 不定詞(llevarsi+lo)v.t 持ち運ぶことができる 「動詞句」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

poseo ポセオ 1 単現(poseer)v.t 所有している 「動詞」

una flor, ウナ・フロール n.f 花を 「目的語」

puedo cortarla プエト・コルタル・ラ 1 単現・可能(poder+不定詞+la)

v.t それを摘み取ることが出来る 「動詞句」

y

llevármela. シェハール・メ・ラ 不定詞(llevarsi+la)v.t 持ち運ぶことができる 「動詞句」

¡Pero ペロ conj. しかし

tú チュ pron 君は 「主語」

no puedes cortar ノ・プエテス・コルタル 2 単現・可能・否定(poder+不定詞)

v.t 切り取ることは出来ない 「動詞句」

las estrellas! ラス・エストレジャス pl.n.f 星を 「目的語」

「その通り、摘み取れない。だがそれを銀行に預けておくことができる。」

--- No, pero puedo depositarlas en el banco. 《「応答」 pero 「動詞句」 「副詞句」》

No, ノ adv. その通り、摘み取れない 「応答」

pero ペロ conj. しかし

puedo depositarlas プエト・デポシタル・ラス 1 単現・可能(poder+不定詞)

v.t それらを預けておくことができる 「動詞句」

en el banco. エ・ネル・バンコ adv. 銀行に 「副詞句」

「それはどういう意味なの？」

--- ¿Qué quiere decir eso? 《「目的語」 「動詞句」 「主語」》

¿Qué ケ pron 何を 「目的語」

quiere decir キエレ・デシル 3 単現・願望(querer+不定詞)

v.t 言いたい 「動詞句」

querer decir que... 「～という意味である」

eso? エソ pron それは 「主語」

「小さな紙切れに自分の星の個数を書いておくということだよ。それからその紙を引き出しに入れて、鍵をかけてしまっておくのだよ。」

--- Quiere decir que escribo en un papelito la cantidad de mis estrellas. Y después cierro el papelito, bajo llave, en un cajón.

《「動詞句」 「目的語」 | Y 「副詞」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

Quiere decir キエレ・デシル 3 単現 3 単現・願望(querer+不定詞)

## XIII

v.t (que+直説法) ～という意味である	「動詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
escribo エスクリボ 1 単現(escribir)v.t 書く	「動詞」
en un papelito エ・ヌン・パペリト adv. 小さな紙切れに	「副詞句」
la cantidad ラ・カンチダ n.f 数字を、数量を	「目的語」
de mis estrellas. デ・ミス・エストレジャス adj. 自分の星の	「形容詞句」
Y イ conj. そして	
después デスプエス adv. それから	「副詞」
cierro シエロ 1 単現(cerrar)v.t 閉じ込める、しまっておく	「動詞」
el papelito, エル・パペリト n.m その紙きれを	「目的語」
bajo llave, バホ・ジャベ adv. カギを掛けて	「副詞句」
en un cajón. エ・ヌン・カホン adv. 引き出しの中に	「副詞句」

## 「それで完了なの？」

--- ¿Es todo?	《「動詞」「補語」》
¿Es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
todo? トト pron すべて	「補語」

## 「それで充分さ！」

--- Es suficiente.	「動詞」「補語」》
¿Es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
suficiente. スフィシエンテ adj. 十分な	「補語」

## 「これは面白い」と、王子様は思った。「かなり誌的だけど、あまり真面目じゃないな」

Es divertido, pensó el principito. Es bastante poético. Pero no es muy serio.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」   Pero 「動詞」「補語」》	
Es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
divertido, デイベルト adj. 面白い	「補語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
Es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
bastante poético. バスタンテ・ポエティコ adj. かなり誌的な	「補語」
Pero ペロ conj. だけど	
no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない	「動詞」
muy serio. ムイ・セリオ adj. (否定文で) あまり真面目で～ない	「補語」

## XIII

王子様は、真面目ということについて、大人たちとは全く異なる考えを持っていた。

El principito tenía sobre las cosas serias ideas muy diferentes de las ideas de las personas grandes.

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」  
 sobre las cosas serias ソブレ・ラス・コサス・セリアス adv. 真面目ということについて 「副詞句」  
 ideas イデアス pl.n.f 考えを 「目的語」  
 muy diferentes de las ideas ムイ・デ・イフェレンテス・デ・ラス・イデアス  
 adj. 考えとは非常に異なる 「形容詞句」  
 de las personas grandes. デ・ラス・ペルソナス・グランデス adj. 大人たちの 「形容詞句」

「僕は」と王子様はさらに言った。「一輪の花を持っていて、毎日それに水をやっていた。それから火山を 3 つ持っていて、毎週煤払いをしていた」

--- Yo ---dijo aún--- poseo una flor que riego todos los días. Poseo tres volcanes que deshollino todas las semanas.

《「主語」》, 「動詞」「副詞」, 《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」》  
 Yo --- ジョ pron 僕は 「主語」  
 dijo テイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 aún--- アウン adv. さらに 「副詞」  
 poseo ポセオ 1 単現(poseer)v.t 持っている 「動詞」  
 una flor ウナ・フロール n.f 一輪の花を 「目的語」  
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」  
 riego リエゴ 1 単現(regar)v.t ~に水をかける 「動詞」  
 todos los días. トドス・ロス・デヤス adv. 毎日 「副詞句」  
 Poseo ポセオ 1 単現(poseer)v.t 持っている 「動詞」  
 tres volcanes トレス・ボルカネス pl.n.m 火山を 3 つ 「目的語」  
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」  
 deshollino デリツノ 1 単現(deshollinar)v.t ~の煤払いをする 「動詞」  
 todas las semanas. タダス・ラス・セマナス adv. 毎週 「副詞句」

それに休火山も煤払いをしていた。何が起こるか分からないから。僕がそれらを持っていたことは、火山にとっても花にとっても役立つことなんだ。

Pues deshollino también el que está extinguido. No se sabe nunca. Es útil para mis volcanes y es útil para mi flor que yo los posea.

「副詞」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「補語」 y 「動詞」「補語」「主語」  
 Pues プエス adv. それに 「副詞」

## XIII

deshollino デソリノ 1 単現(deshollinar)v.t	～の煤払いをする	「動詞」
también el タンビエン・エル pron	火山も	「目的語」
el は volcan の代用		
que ケ pron (主語) ～する		「形容詞節」
está エスタ 3 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
extinguido. エクステングイト adj.	消えた	「補語」
No se sabe ノ・セ・サヘ 3 単現・否定(saberse)v.t	人は分からない	「動詞句」
nunca. ヌンカ adv.	決して	「副詞」
Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
útil ウティル adj.	役立つ	「補語」
para mis volcanes パ・ラ・ミス・ボルカネス adv.	僕の火山にとって	「副詞句」
y イ conj.	そして	
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
útil ウティル adj.	役立つ	「補語」
para mi flor パ・ラ・ミ・フロール adv.	僕の花にとって	「副詞句」
que ケ conj.	～ということは	「主語」
yo ジョ pron	僕が	「主語」
los ロス pl.pron	それらを	「目的語」
posea. ポセア 接・1 単現(poseer)v.t	持っている	「動詞」

だけど君は星たちに対して役立っていない。

Pero <u>tú no eres útil a las esterllas...</u>	Pero 「主語」「動詞」「補語」
Pero <sup>°</sup> conj. だけど	
tú トゥ pron 君は	「主語」
no eres ノ・エス 2 単現・否定(ser)v.i ～でない	「動詞」
útil ウティル adj. 役立つ	「補語」
a las esterllas... ア・ラス・エストレジャス adv. 星たちに対して	「副詞句」

事業家は口を開けたが答えが見つからなかった。それで王子様はそこを立ち去った。

<u>El hombre de negocios abrió la boca pero no encontró respuesta y el principito se fue.</u>	「主語」「動詞」「目的語」 pero 「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」
El hombre de negocios エル・オンブレ・デ・ネゴシオス n.m 事業家は	「主語」
abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた	「動詞」
la boca ラ・ボカ n.f 口を	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
no encontró ノ・エンコントロ 3 単点・否定(encontrar)v.t 見つからなかった	「動詞句」

## XIV

respuesta レスプ°エスタ n.f	答えが	「目的語」
y イ conj.	それで	
el principito エル・プ°リンシピ°ト n.m	王子様は	「主語」
se fue. セ°フエ 3 単点(irse)v.pr	立ち去った	「動詞句」

〈断固として、大人というのは本当にどうしようもないな〉と、王子様は旅の間中ずっと心の中で思った。

<u>Decididamente las personas grandes son extraordinarias, se decía para sus adentros durante el viaje.</u>	〈「副詞」「主語」「動詞」「補語」〉, 「動詞句」「副詞句」
Decididamente デシデ`イタ`メンテ adv. 断固として	「副詞」
las personas grandes ラス・ペ`ルナス・グランデス pl.n.f 大人は	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i 〜である	「動詞」
extraordinarias, エクストラオルデ`イナリアス adj.f.pl. 途方もない	「補語」
se decía セ・デシア 3 単線(decirse)v.pr 自分に言った	「動詞句」
para sus adentros パ`ラ・ス・アデントロス adv. 内心で	「副詞句」
durante el viaje. ト`ウランテ・エル・ビアヘ adv. 旅の間中ずっと	「副詞句」

## XIV

5 番目の惑星はとても奇妙な星だった。それは全ての星の中で一番小さかった。

<u>El quinto planeta era muy extraño. Era el más pequeño de todos.</u>	「主語」「動詞」「補語」   「動詞」「補語」	
El quinto planeta エル・キン・ト・プ ラネタ n.m	5 番目の惑星は	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
muy extraño. ムイ・エクストラニョ adj.	とても奇妙な	「補語」
Era エラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
el más pequeño エル・マス・ペ・ケンニョ n.m	一番小さい星	「補語」
de todos. デ・ト・トス adj.	全ての中で	「形容詞句」

1 本の街灯と 1 人の点灯夫を入れるのにぎりぎりの場所があった。

<u>Había apenas lugar para alojar un farol y un farolero.</u>	「動詞」「目的語」「副詞句」
Había アビ°ア 3 単線(haber)v.t あった	「動詞」
apenas lugar アペ°ナス・ルガール n.m ぎりぎりの場所が	「目的語」
para +不定詞 パ°ラ adv. ～するのに	「副詞句」
alojar アロハール 不定詞 v.t (物を) 入れる	「動詞」
un farol y un farolero. ウン・ファロール・イ・ウン・ファロレロ	

## XIV

pl.n.m 1 本の街灯と 1 人の点灯夫を

「目的語」

空の真ん中で、家もないし、人もいない惑星の上で、1 本の街灯と 1 人の点灯夫が何の役に立つのか王子様はうまく理解できなかった

El principito no lograba explicarse para qué podían servir en medio del cielo en un planeta sin casa ni población, un farol y un farolero.

「主語」「動詞句」「目的語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

no lograba explicarse ノ・ログラバ・エクスプリカセ 3 単線・否定(lograr+不定詞)

v.pr うまく理解することができなかった

「動詞句」

lograr+不定詞 「～することが出来る」 explicarse v.pr 理解する

para qué パラ・ケ conj. 何のために～するかということ

「目的語」

podían servir, ポ・デア・ン・セルビール 3 複線・可能性(poder+不定詞)

v.i 役に立つだろう

「動詞句」

en medio del cielo, エン・メディオ・デル・シエロ adv. 空の真ん中で

「副詞句」

en un planeta エン・ウン・プラネタ adv. 惑星の上で

「副詞句」

sin casa ni población, シン・カーサ・ニ・ポ・ブラシオン

adv. 家もないし、人もいない

「副詞句」

un farol y un farolero. ウン・ファロール・イ・ウン・ファロレロ

pl.n.m 1 本の街灯と 1 人の点灯夫が

「主語」

それでも、心の中で思った。

Sin embargo, se dijo a sí mismo:

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも

「副詞句」

se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 自分に言った

「動詞句」

a sí mismo: ア・シ・ミスト adv. 自分自身に対して

「副詞句」

「この男は理屈に合わないかもしれないな。それでも、あの王様や見栄っ張りや事業家や吞兵衛に来ればたらそれほど馬鹿げていないかも知れないな」

--- Tal vez este hombre es absurdo. Sin embargo, es menos absurdo que el rey, que el vanidoso, que el hombre de negocios y que el bebedor.

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」「副詞句」》

Tal vez タル・ベス adv. たぶん

「副詞句」

este hombre エステ・オンブレ n.m この男は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

absurdo. アプ・スルト adj. 不条理な、ばかげた、理屈に合わない

「補語」

## XIV

Sin embargo, シン・エンバルゴ <sup>ゴ</sup> adv. それでも	「副詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
menos absurdo メノス・アブ <sup>ゴ</sup> スルト <sup>ゴ</sup> adj. 馬鹿げていない	「補語」
menos adv. より少なく、~ほど... ない	
que el rey, ケ・エル・レイ adv. あの王様よりも	「副詞句」
que el vanidoso, ケ・エル・バニトソ <sup>ソ</sup> adv. あの見栄っ張りよりも	「副詞句」
que el hombre de negocios ケ・エル・オンブレ・デ・ネゴシオス <sup>ス</sup> adv. あの事業家よりも	「副詞句」
y イ conj. そして	
que el bebedor. ケ・エル・ベベトル <sup>トル</sup> adv. あの呑兵衛よりも	「副詞句」

少なくとも、彼の仕事には意味がある。街灯を点灯する時は、まるで星をもう一つ、または花をもう一輪誕生させるようなものだ。

Por lo menos su trabajo tiene sentido. Cuando enciende el farol es como si hiciera nacer una estrella más o una flor.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「副詞節」, 「動詞」 「補語」

Por lo menos ポル・ロ・メノス <sup>ス</sup> adv. 少なくとも	「副詞句」
su trabajo ス・トラバ <sup>ハ</sup> ホ n.m 彼の仕事は	「主語」
tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t ~がある	「動詞」
sentido. センチト <sup>ト</sup> n.m 意味	「目的語」
Cuando クワント <sup>ト</sup> conj. ~する時	「副詞節」
enciende エンシエンテ <sup>テ</sup> 3 単現(encender)v.t 点灯する	「動詞」
el farol エル・ファロー <sup>ール</sup> n.m 街灯を	「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
como si +接続法 コモ・シ conj. まるで~であるかのように	「補語」
hiciera nacer イシエラ・ナセル 接・3 単過・使役(hacer+不定詞)	
v.t 誕生させる	「動詞句」
una estrella más, ウナ・エストレジャ・マス <sup>ス</sup> n.f 星をもう一つ	「目的語」
o オ conj. または	
una flor. ウナ・フロール <sup>ール</sup> n.f 花をもう一輪	「目的語」

街灯を消す時は、花や星を眠らせるんだ。

<u>Cuando apaga el farol, hace dormir a la flor o a la estrella.</u>	「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」
Cuando クワント <sup>ト</sup> conj. ~する時	「副詞節」
apaga アパガ <sup>ガ</sup> 3 単現(apagar)v.t 消す	「動詞」
el farol, エル・ファロー <sup>ール</sup> n.m 街灯を	「目的語」
hace dormir アセ・ドルミー <sup>ー</sup> る 3 単現・使役(hacer+不定詞)v.t 眠らせる	「動詞句」



## XIV

a la flor ア・ラ・フローラ n.f 花を 「目的語」

o オ conj. または、や

a la estrella. ア・ラ・エストレージャ n.f 星を 「目的語」

これは美しい仕事だ。美しいから、本当に役に立つ仕事なんだ。

Es una ocupación muy hermosa. Es verdaderamente útil porque es hermosa.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「副詞節」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

una ocupación ウナ・オカピシオン n.f 仕事、職業 「補語」

muy hermosa. ムイ・エルモサ adj. とても美しい 「形容詞句」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

verdaderamente útil ベルダデラメンテ・ウティル adj. 本当に役に立つ仕事 「補語」

verdaderamente adv. 本当に、確かに útil adj. 役立つ、有用な

porque ポルケ conj. 〜なので、〜だから 「副詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

hermosa. エルモサ adj. 美しい 「補語」

この星に着いたとき、王子様はうやうやしく点灯夫に挨拶した。

Cuando llegó al planeta saludó con respeto al farolero:

「副詞節」, 「副詞」「動詞句」「目的語」

Cuando クワント conj. 〜した時 「副詞節」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i 着いた 「動詞」

al planeta アル・プラネタ adv. この惑星に 「間接目的語」

saludó サルト 3 単点(saldar)v.t に挨拶した 「動詞」

con respeto コン・レスペト adv. うやうやしく、敬意を込めて 「副詞句」

al farolero: アル・ファロロロ n.m 点灯夫 「目的語」

「こんにちは。どうして今街灯を消したの？」

--- Buenos días. ¿Por qué acabas de apagar el farol?

《「挨拶」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

Buenos días. ブエノス・デ・イアス adv. こんにちは 「挨拶」

¿Por qué ポルケ adv. どうして 「副詞句」

acabas de apagar アカバス・デ・アパガール 2 単現・完了直後(acabar de+不定詞)

v.t ちょうど今消した 「動詞句」

el farol? エル・ファロール n.m 街灯を 「目的語」

## XIV

「指令なんだ」と、点灯夫は答えた。「こんにちは」

--- Es la consigna --- respondió el farolero --- Buenos días.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「挨拶」》

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

la consigna --- ラ・コンシグナ n.f 指令

「補語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

el farolero---. エル・ファロロロ n.m 点灯夫が

「主語」

Buenos días. ブエノス・デ・イアス adv. こんにちは

「挨拶」

「指令って、何なの？」

--- ¿Qué es la consigna?

《「主語」「動詞」「補語」》

¿Qué ケ pron 何が

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

la consigna? ラ・コンシグナ n.f 指令

「補語」

「街灯を消すことだよ。こんばんは」

--- Apagar el farol. Buenas noches.

《「補語」 | 「挨拶」》

Apagar アパガール 不定詞 v.t 消すこと

「補語」

el farol. エル・ファロール n.m 街灯を

「目的語」

Buenas noches. ブエナス・ノチェス adv.こんばんは

「挨拶」

そしてまた街灯を点灯した。

Y volvió a encenderlo.

Y 「動詞句」

Y イ conj. そして

volvió a encenderlo. ホルビエ・オ・ア・エンテンデル・ロ 3 単点・再度(volver a+不定詞+lo)

v.t また街灯を点灯した

「動詞句」

「だけど、どうして今街灯を点灯したの？」

--- Pero ¿por qué acabas encenderlo?

《Pero 「副詞句」「動詞句」》

Pero ペロ conj. だけど

¿por qué ホルケ adv. どうして

「副詞句」

acabas encenderlo? アカバス・エンセンデル・ロ 2 単現・完了直後(acabar de+不定詞)

v.t 今それを点灯した

「動詞句」

「指令だよ」と、点灯夫が答えた。

--- Es la consigna --- respondió el farolero.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

## XIV

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 la consigna ラ・コンシグナ n.f 指令 「補語」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el farolero. エル・ファロロ n.m 点灯夫が 「主語」

「理解できないな」と、王子様は言った。

--- No comprendo --- dijo el principito. 《「動詞句」》, 「動詞」「主語」  
 No comprendo ノ・コンプレント 1 単現・否定(comprender)v.t 理解できない 「動詞句」  
 dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「理解すべきことなんて何もないさ。」と、点灯夫が言った。「指令は指令さ。こんにちは」

--- No hay nada que comprender --- dijo el farolero ---. La consigna es la consigna. Buenos días. 《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」 | 「挨拶」》  
 No hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t 〜がない 「動詞句」  
 nada que +不定詞 ナダ・ケ pron 〜すべきものが何も... ない 「目的語」  
 comprender --- コンプレンデール 不定詞 v.t 理解する 「動詞」  
 dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el farolero---. エル・ファロロ n.m 点灯夫が 「主語」  
 La consigna ラ・コンシグナ n.f 指令は 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 la consigna. ラ・コンシグナ n.f 指令 「補語」  
 Buenos días. ブエノス・ディアス adv. こんにちは 「挨拶」

そう言って、街灯を消した。

Y apagó el farol. Y 「動詞」「目的語」  
 Y イ conj. そして  
 apagó アパゴ 3 単点(apagar)v.t 消した 「動詞」  
 el farol. エル・ファロル n.m 街灯を 「目的語」

それから赤い格子縞のハンカチで自分の額を拭いた。

Luego se enjugó la frente con un pañuelo a cuadros rojos. 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」  
 Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」  
 se enjugó セ・エンフゴ 3 単点(enjugarse)v.pr (自分の体の) 〜を拭いた 「動詞句」  
 la frente ラ・フレンテ n.f 額を 「目的語」

## XIV

con un pañuelo コ・ヌン・パニエロ adv. ハンカチで 「副詞句」  
 a cuadros ア・クワトロス adj. 格子縞の 「形容詞句」  
 rojos. ロホス adj.pl. 赤の 「形容詞句」

「恐ろしい仕事をしているのさ。昔は理にかなっていたんだ」

--- Tengo un oficio terrible. Antes era razonable.

《「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞」「補語」》

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t (+動作名詞) をしている 「動詞」  
 un oficio ウン・オフィオ n.m 仕事を 「目的語」  
 terrible. テリブレ adj. 恐ろしい 「形容詞」  
 Antes アンテス adv. 以前は、昔は 「副詞」  
 era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」  
 razonable. ラサブレ adj. 道理にかなった、妥当な 「補語」

朝には街灯を消し、夜になると街灯を点灯していたんだ。昼間の残りは休んで過ごし、夜の残りは眠ったものだよ。

Apagaba por la mañana y encendía por la noche. Tenía el resto del día para descansar, y el resto de la noche para dormir... 「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」「副詞句」

Apagaba アパガバ 3 単線(apagar)v.t 消した 「動詞」  
 por la mañana ホル・ラ・マニャナ adv. 朝に、午前中に 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 encendía エンセンディア 3 単線(encender)v.t 点灯する 「動詞」  
 por la noche. ホル・ラ・ノチェ adv. 夜に 「副詞句」  
 Tenía テニア 1 単線(tener)v.t (日・時を) 過ごした 「動詞」  
 el resto del día エル・レスト・デル・ディア n.m 昼間の残りを 「目的語」  
 para descansar, パラ・デスカンサル adv. 休むために 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 el resto de la noche エル・レスト・デ・ラ・ノチェ n.m 夜の残りを 「目的語」  
 para dormir... パラ・ドルミール adv. 眠るために 「副詞句」

「それで、その後で指令が変わったの？」

--- Y después de esa época, ¿la consigna cambió?

《Y「副詞句」, 「主語」「動詞」》

Y イ conj. そして

después de esa época, デスパス・デ・エサ・エポカ adv. その時期の後で 「副詞句」  
 ¿la consigna ラ・コンシグナ n.f 指令は 「主語」

## XIV

cambió? カビョ 3 単点(cambiar)v.i 変わったの?

「動詞」

「指令は変わっていない」と、点灯夫は言った。「そこに悲劇があるんだ！年ごとに惑星は少しずつ早く自転しているんだ。それでも指令は変わっていないんだよ」

--- La consigna no ha cambiado ---dijo el farolero---. ¡Ahí está el drama! Año tras año el planeta gira más rápido y la consigna no ha cambiado.

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞」「動詞」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞句」》

La consigna ラ・コンシグナ n.f 指令は

「主語」

no ha cambiado ノ・ア・カンビアト 3 単現・完了形・否定(cambiar)v.i 変わらなかった 「動詞句」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el farolero---. エル・ファロレロ n.m 点灯夫が

「主語」

¡Ahí アイ adv. そこに

「副詞」

está エスタ 3 単現(ser)v.i 〜がある

「動詞」

el drama! エル・ドラマ n.m 悲劇が

「主語」

Año tras año アニョ・トラス・アニョ adv. 年々、年ごとに

「副詞句」

el planeta エル・プラネタ n.m 惑星は

「主語」

gira ヒラ 3 単現(girar)v.i 自転している

「動詞」

más rápido マス・ラピト adv. 少しずつ早く

「副詞句」

y イ conj. そして

la consigna ラ・コンシグナ n.f 指令は

「主語」

no ha cambiado. ノ・ア・カンビアト 3 単現・完了形・否定(cambiar)v.i 変わらなかった 「動詞句」

「それで？」と、王子様は言った。

--- ¿Entonces? ---dijo el principito.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

¿Entonces? --- エントネス adv. それで?

「応答」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

「それで今では、1分ごとに1回転するので、1秒も休めないのさ。1分ごとに、街灯を点灯したり、消灯しているんだよ」

--- Entonces, ahora que da una vuelta por minuto, no tengo un segundo de descanso. Enciendo y apago una vez por minuto.

《「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」》

Entonces, エントネス adv. それで

「副詞」

ahora アハラ adv. 今では

「副詞」

## XIV

que ケ conj. (理由) ～するので	「副詞節」
da ダ 3 単現(dar)v.t (動作を) する	「動詞」
una vuelta ウナ・ブエルタ n.f 1 回転を	「目的語」
por minuto, ポル・ミヌート adv. 1 分ごとに	「副詞句」
no tengo ノ・テゴ 1 単現・否定(tener)v.t ない	「動詞句」
un segundo ウン・セグント n.m 1 秒	「目的語」
de descanso. デ・デスカソ adj. 休むための	「形容詞句」
Enciendo y apago エンシエント・イ・アパゴ 1 単現(encender, apagar)	
v.t 街灯を点灯して消灯する	「動詞句」
una vez ウナ・ベス adv. 1 回	「副詞句」
por minuto. ポル・ミヌート adv. 1 分ごとに	「副詞句」

「それはおかしい！君の惑星では、1 日が 1 分間で終わってしまうなんて！」

--- ¡Qué raro! ¡En tu planeta los días duran un minuto!

《「感嘆」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」》

¡Qué raro! ケ・ラロ adj. なんとおかしい！	「感嘆」
¡En tu planeta エン・トゥ・プラネタ adv. 君の惑星では	「副詞句」
los días ロス・ディアス pl.n.m 1 日は	「主語」
duran トゥラン 3 複現(durar)v.i 続く	「動詞」
un minuto! ウン・ミヌート adv. 1 分間	「副詞句」

「少しもおかしくないよ」と、点灯夫が言った。「一緒に話し始めてから、もう 1 ヶ月になるんだ」

--- No es raro en absoluto ---dijo el farolero---. Hace ya un mes que estamos hablando juntos. 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「副詞」「目的語」「副詞節」》

No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない	「動詞」
raro ラロ adj. おかしい	「補語」
en absoluto --- エン・アプソルット adv. (否定文で) まったく～でない	「副詞句」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el farolero---. エル・ファロレロ n.m 点灯夫が	「主語」
Hace アセ 3 単現(hacer)v.t (que ～してから) ～になる	「動詞」
ya ヤー adv. もう	「副詞」
un mes ウン・メス n.m 1 ヶ月	「目的語」
que ケ conj. ～してから	「副詞節」
estamos hablando アスタモス・アブラント 1 複現・進行形(hablar)	
v.i 話している	「動詞句」

XIV

juntos. フントス adv. 一緒に

「副詞」



Je fais là un métier terrible.

「1 ヶ月だって？」

--- ¿Un mes?

¿Un mes? ウン・メス n.m 1 ヶ月だって？

《「応答」》

「応答」

## XIV

「そう、30分。30日だよ！こんにちは」

--- Sí. Treinta minutos. ¡Treinta días! Buenas noches.

《「応答」「副詞句」「応答」「挨拶」》

Sí. シ adv. そう

「応答」

Treinta minutos. トレンタ・ミヌス pl.n.m 30分

「副詞句」

¡Treinta días! トレンタ・ディース pl.n.f 30日だよ！

「応答」

Buenas noches. ブエナス・ノチェス adv. こんにちは

「挨拶」

そう言って、点灯夫はまた街灯を点灯した。

Y volvió a encender el farol.

Y 「動詞句」「目的語」

Y イ conj. そして、そう言って

volvió a encender ボルビョ・ア・エンセンデル 3 単点・再度(volver a+不定詞)

v.t また点灯した

「動詞句」

el farol. エル・ファロル n.m 街灯を

「目的語」

王子様はじっと彼を見つめた。王子様は、指令に対してそんなに忠実な、その点灯夫が好きになった。昔、椅子を動かして、彼自身が追いかけていた日の入りを思い出した。

El principito lo miró y le gustó el farolero que era tan fiel a la consigna. Recordó las puestas de sol que él mismo había perseguido, en otro tiempo, moviendo su silla.

「主語」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「動詞」「目的語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t じっと見つめた

「動詞」

y イ conj. そして

le レ pron 彼にとって

「間接目的語」

gustó グスト 3 単点(gustar)v.i 気に入った、好きになった

「動詞」

el farolero エル・ファロレロ n.m その点灯夫は

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

tan fiel タン・フィエル adj. そんなに忠実な

「補語」

a la consigna. ア・ラ・コンシグナ adv. 指令に対して

「副詞句」

Recordó レコルト 3 単点(recordar)v.t 思い出した

「動詞」

las puestas de sol ラス・プエスタ・デ・ソル pl.n.f 日の入りを

「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

él mismo エル・ミスト pron 彼自身が

「主語」



## XIV

había perseguido, アビ・ア・ペルセギト 3 単線・完了形(perseguir)

v.t 追いかけていた

「動詞句」

en otro tiempo, エン・オトロ・ティエンポ adv. 昔、かつて

「副詞句」

moviendo モビエント 現在分詞(mover)v.t (手段) ～を動かして

「副詞句」

su silla. ス・シジャ n.f 椅子を

「目的語」

友人を助けたいと思った。

Quiso ayudar a su amigo:

「動詞句」「目的語」

Quiso ayudar キソ・アユダール 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 助けたいと思った

「動詞句」

a su amigo: ア・ス・アミゴ n.m 友達を

「目的語」

「ねえ？僕、君が好きな時に休める方法を知っているんだ...」

--- ¿Sabes?..., conozco un medio para que descanses cuando quieras...

《「呼びかけ」 | 「動詞」「目的語」》

¿Sabes?..., サヘス 2 単現(saber)v.t 知っている、ねえ

「呼びかけ」

conozco コノスコ 1 単現(conocer)v.t 知っている

「動詞」

un medio ウン・メディオ n.m 手段、方策

「目的語」

para que+接続法 パラ・ケ adj. ～するための

「形容詞節」

descanses デスアンセス 接・2 単現(descansar)v.i 休む

「動詞」

cundo quieras... クワント・キエス adv. 君が望むときに

「副詞節」

「いつだって休みたいよ！」と、点灯夫が答えた。

--- Siempre quiero ---dijo el farolero.

《「副詞」「動詞」》, 「動詞」「主語」

Siempre シエンプレ adv. いつでも

「副詞」

quiero --- キエロ 1 単現(querer)v.t 望んでいる

「動詞」

descansar が省略されている

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el farolero. エル・ファロロロ n.m 点灯夫が

「主語」

それというのも人は皆、勤勉であると同時に怠け者でもあるのだから。

Pues se puede ser, a la vez, fiel y perezoso.

Pues 「動詞」「副詞」「補語」

Pues プエス conj. ～なので、それというのも～だから

se puede ser, セ・プエデ・セル 3 単現・一般性(poderse+不定詞)

v.pr 人は一般的に～である

「動詞句」

a la vez, ア・ラ・ベス adv. 同時に

「副詞句」

fiel y perezoso. フィエル・イ・ペレソ adj. 勤勉でありしかも怠け者

「補語」

## XIV

王子様は、話を続けた。

El principito prosiguió:

「主語」「動詞」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

prosiguió: プロシギオ 3 単点(proseguir)v.t 続行した

「動詞」

「君の惑星はすごく小さいから、おおまたぎ 3 回で一周できるね。いつも太陽の下にとどまるには、ほんとうにゆっくり歩くだけでいいよ」

--- Tu planeta es tan pequeño que puedes recorrerlo en tres zancadas. No tienes más que caminar bastante lentamente para quedar siempre al sol.

《「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 | 「動詞句」「副詞句」》

Tu planeta トゥ・プラネタ n.f 君の惑星は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

tan pequeño タン・ペケニョ adj. すごく小さい

「補語」

que ケ conj. (tan...que) だから~する

「副詞節」

puedes recorrerlo プエテス・レコレル・ロ 2 単現・可能(poder+不定詞)

v.t その全体を歩き回れる

「動詞句」

en tres zancadas. エン・トレス・ザンカダス adv. おおまたぎ 3 回で

「副詞句」

No tienes más que caminar ノ・ティエネス・マス・ケ 2 単現・必要・否定(no tener más que+不定詞)

v.i 歩きさえすればよい

「動詞句」

bastante lentamente バスタンテ・レンタメンテ adv. 相当にゆっくり

「副詞句」

para +不定詞 パラ adv. ~するためには

「副詞句」

quedar ケダー 不定詞 v.i ~にとどまる

「動詞」

siempre al sol. シエンプレ・アル・ソル adv. いつも太陽の場所に

「副詞句」

「君が休みたいときは歩くといいよ、そうすれば君が望むだけずっと昼間が続くよ」

Cuando quieras descansar, caminarás... y el día durará tanto tiempo como quieras.

《「副詞節」, 「動詞」 y 「主語」「動詞」「副詞句」》

Cuando クワント conj. ~する時は

「副詞節」

quieras descansar, キエラス・デスカンサル 2 単現・願望(querer+不定詞)

v.i 休みたい

「動詞句」

caminarás... カミラス 3 単末・勧誘(caminar)v.i 歩きなさいよ

「動詞」

y イ conj. そして

el día エル・ディア n.m 昼間が

「主語」

durará ドゥアラ 3 単末(durar)v.i 続くだろう

「動詞」

tanto tiempo タント・ティエンポ adv. ずっと長く

「副詞句」

## XIV

como quieras. コモ・キェラス adv. 君が望むだけ

「副詞節」

「そんなことをしても、あまり得にはならないね。」と、点灯夫は言った。「この世で好きなことは、眠ることだよ！」

--- Con eso no adelanto gran cosa ---dijo el farolero---. Lo que me gusta en la vida es dormir. 《「副詞句」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

Con eso コン・エソ adv. そんなことをしても 「副詞句」

no adelanto ノ・アデラント 1 単現・否定(adelantar)v.t 得られない 「動詞句」

gran cosa --- グラン・ッコサ n.f (否定文で) あまり大したものを 「目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el farolero---. エル・ファロレロ n.m 点灯夫は 「主語」

Lo ロ pron 事は 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る 「動詞」

en la vida エン・ラ・ビダ adv. 人生で、この世で 「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

dormir. ドルミール 不定詞 v.i 眠ること 「補語」

「それはあいにくだね」と、王子様は言った。

--- Eso es no tener suerte ---dijo el principito. 《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

Eso エソ pron それは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

no tener ノ・テネル 不定詞・否定 v.t ~がない状態の 「補語」

suerte --- スエルテ n.f 運 「目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「それはあいにくだよ。」と、点灯夫は言った。「おはよう」

--- Eso es no tener suerte ---dijo el farolero---. Buenos días.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「挨拶」》

Eso エソ pron それは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

no tener ノ・テネル 不定詞・否定 v.t ~がない状態の 「補語」

suerte --- スエルテ n.f 運 「目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

## XIV

el farolero---. エル・ファロロ n.m 点灯夫は

「主語」

Buenos días. ブエノス・デ・アス adv. おはよう

「挨拶」

それから街灯を消した。

Y apagó el farol.

Y 「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして

apagó アパゴ 3 単点(apagar)v.t (明かりを) 消した

「動詞」

el farol. エル・ファロル n.m 街灯を

「目的語」

「この人は…」と、王子様はさらに遠くまで旅を続けながら心の中で思った。「この人は、他のみんなから、王様からも、見栄っ張りからも、吞兵衛からも、事業家からも軽蔑されるだろうな」

《Éste ---se dijo el principito mientras proseguía su viaje hacia más lejos---, éste sería despreciado por todos los otros, por el rey, por el vanidoso, por bebedor, por el hombre de negocios.

《「主語」, 「動詞句」「主語」「副詞節」, 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

Éste --- エステ pron この人は

「主語」

se dijo セ・デ・イ 3 単点(deccirse)v.pr 心の中で思った

「動詞句」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

mientras ミエントラス conj. ～しながら

「副詞節」

proseguía プロセギア 3 単線(proseguir)v.i 続けた

「動詞」

su viaje ス・ビアヘ n.m 旅を

「目的語」

hacia más lejos---, アシア・マス・レホス adv. さらに遠くまで

「副詞句」

éste エステ pron この人は

「主語」

sería despreciado セリア・デスプレシアド 3 単過未・受動・推測(desprecer)v.t

v.t 軽蔑されるだろう

「動詞句」

過去未来時制は推測を表す (英語では would be despised)

por todos los otros, ホル・トドス・ロス・オトス adv. 他のみんなから

「副詞句」

por el rey, ホル・エル・レイ adv. 王様から

「副詞句」

por el vanidoso, ホル・エル・バニドソ adv. 見栄っ張りから

「副詞句」

por bebedor, ホル・ベベトール adv. 吞兵衛から

「副詞句」

por el hombre de negocios. ホル・エル・オンブレ・デ・ネゴシオス adv. 事業家から

「副詞句」

とはいえ彼は僕にとって滑稽に見えない唯一の人だ。おそらく自分以外の事に従事しているからだろう。

Sin embargo, es el único que no me parece ridículo. Quizá porque se ocupa de una cosa

## XIV

ajena a sí mismo.》

《「副詞句」「動詞」「補語」 | 「副詞」 porque 「動詞句」「間接目的語」》

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず 「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

el único エル・ウニコ n.m 唯一の人 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

no me parece ノ・メ・パレ 3 単現・否定(parecer)

v.i 私に~と思えない 「動詞句」

ridículo. リディク adj. 滑稽な 「補語」

Quizá キサ adv. おそらく 「副詞」

porque ボル conj. ~なので

se ocupa セ・オカ 3 単現(ocuparse)v.pr (de に) 従事している 「動詞句」

de una cosa デ・ウナ・コサ adv. ある事に 「間接目的語」

ajena a sí mismo.》アハ・ア・シ・シミ adj. 自分自身とは異なる 「形容詞句」

王子様は望郷の念がよぎってため息をつき、さらに思った。

Suspiró nostálgico y se dijo aún: 「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「副詞」

Suspiró ススピロ 3 単点(suspirar)v.i ため息をついた 「動詞」

nostálgico ノスタルヒコ adv. 望郷の念がよぎって 「副詞」

y イ conj. そして

se dijo セ・デハ 3 単点(decirse)v.pr 自分で思った 「動詞句」

aún: アウン adv. さらに 「副詞」

「この人は、僕が友達にすることが出来た唯一の人だ。だけど彼の惑星は本当に小さすぎる。2 人分の場所がないんだから」

--- Éste es el único de quien pude haberme hecho amigo. Pero su planeta es verdaderamente demasiado pequeño. No hay lugar para dos...

《「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

Éste エステ pron この人は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

el único エル・ウニコ n.m 唯一の人 「補語」

de quien デ・キエン pron (目的語) その人を~する 「形容詞節」

pude haberme hecho プデ・アベル・メ・エチ 1 単点・可能(poder+不定詞・完了形 hacer)

v.pr O を C にすることが出来た 「動詞句」

amigo. アミゴ n.m 友達 「補語」

Pero ペロ conj. しかし

## XV

su planeta ス・プラネタ n.m	彼の惑星は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
verdaderamente demasiado pequeño. ベルダデラメンテ・デマシアト・ペケニョ		
adj.	本当に小さすぎる	「補語」
No hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t	～がない	「動詞句」
lugar ルガール n.m	場所が	「目的語」
para dos... パラ・トス adj.	2 人分の	「形容詞句」

王子様は、なにより 24 時間に 1440 回の日が入りが見られるがゆえに祝福されたこの惑星に心が引き付けられていたことをあえて自分自身に認めなかった。

El principito no osaba confesarse que añoraba a este bendito planeta, sobre todo, por las mil cuatrocientas cuarenta puestas de sol, icada veinticuatro horas!

		「主語」「動詞句」「目的語」
El principito エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
no osaba confesarse ノ・オサバ・コンフェサル・セ 3 単線・否定(osar+不定詞)		
v.pr	あえて自分自身に認めなかった	「動詞句」
que ケ conj.	～ということを	「目的語」
añoraba アニョラバ 3 単線(añorar)v.t	懐かしむ、心が引き付けられていた	「動詞」
a este bendito planeta, ア・エステ・ベンディト・プラネタ		
n.m	この祝福された惑星を	「目的語」
sobre todo, ソブレ・トト adv.	とりわけ、なにより	「副詞句」
por las mil cuatrocientas cuarenta puestas de sol,		
ポル・ラス・ミル・クアトロシント・クワレンタ・プエスタス・デ・ソル		
adv.	1440 回の日入りのために	「副詞句」
icada veinticuatro horas! カダ・ベインティクワトロ・オラス		
adv.	24 時間ごとに	「副詞句」

## XV

6 番目の惑星は、10 倍大きな惑星だった。

<u>El sexto planeta era un planeta diez veces más grande.</u>	「主語」「動詞」「補語」
El sexto planeta エル・セクスト・プラネタ n.m 6 番目の惑星は	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
un planeta ウン・プラネタ n.m 惑星	「補語」
diez veces más grande. デイエス・ベセス・マス・グランデ adj. 10 倍大きな	「形容詞句」

## XV

巨大な本を書いている老人が住んでいた。

Estaba habitado por un Anciano que escribía enormes libros. 「動詞句」「副詞句」

Estaba habitado エスタバ・アビタド 3 単過・受動(habitar)v.t 住まれていた 「動詞句」

por un Anciano ポル・ウン・アンシアノ adv. 一人の老人に 「副詞句」

「老人」を主語にして翻訳する

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

escribía エスクリビア 3 単線・時制の一致(escribir)v.t 書いている 「動詞」

enormes libros. エノルメス・リブロス pl.n.m 巨大な本を 「目的語」

「おや！探検家がきたぞ！」と、王子様をみて叫びました。

--- ¡Toma! ¡He aquí un explorador! ---exclamó cuando vio al principito.

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》, 「動詞」「副詞節」

¡Toma! トマ int. (驚き) おや！ 「感嘆」

¡He エ 1 単現(haber)v.t ～がいる 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

un explorador! --- ウン・エクスプロラトール n.m 探検家が 「目的語」

exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

cuando クワント conj. ～して 「副詞節」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た 「動詞」

al principito. アル・プリンシピト n.m 王子様を 「目的語」

王子様は机の上に腰を掛けて、少し息を切らせた。それほどの旅をしてきたのだった。

El principito se sentó sobre la mesa y resopló un poco. ¡Había viajado tanto!

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた 「動詞句」

sobre la mesa ソブレ・ラ・メサ adv. 机の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

resopló レソプロ 3 単点(resoplar)v.i 息を切らせた、あえいだ 「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

¡Había viajado アビア・ビアハド 3 単線・完了形(viajar)v.i 既に旅をしてきた 「動詞句」

tanto! タント adv. それほどの 「副詞句」

「どこから来たのかね？」と、老人は彼に言った。

--- ¿De dónde vienes? ---díjole el Anciano.

《「副詞句」「動詞」》, 「動詞」「主語」

¿De dónde デ・ドンデ adv. どこから 「副詞句」

## XV

vienes? --- ビエネス 2 単現(venir)v.i (疑問文で) 来たのかね? 「動詞」  
 díjole ディホ・レ 3 単点(decir+le)v.t 彼に言った 「動詞句」  
 el Anciano. エル・アンシアノ n.m 老人は 「主語」

「その分厚い本は何ですか？」と、王子様は尋ねた。「ここで何をしているのですか？」

--- ¿Qué es este grueso libro? ---preguntó el principito---. ¿Qué haces aquí?  
 《「動詞」「補語」「主語」》, 《「動詞」「主語」》, 《「目的語」「動詞」「副詞」》  
 ¿Qué ケ pron 何? 「補語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 este grueso libro? --- エステ・グエルソ・リブロ n.m その分厚い本は 「主語」  
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 ¿Qué ケ pron 何を 「目的語」  
 haces アセス 2 単現(hacer)v.t している 「動詞」  
 aquí? アキ adv. ここで 「副詞」

「わしは地理学者じゃよ」と、老人は答えた。

--- Soy geógrafo ---dijo el Anciano. 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」  
 Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 geógrafo --- ヘオグラフォ n.m 地理学者 「補語」  
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el Anciano. エル・アンシアノ n.m 老人は 「主語」

「地理学者って、何ですか？」

--- ¿Qué es un geógrafo? 《「動詞」「補語」「主語」》  
 ¿Qué ケ pron 何? 「補語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un geógrafo? ウン・ヘオグラフォ n.m 地理学者というのは 「主語」

「それは、海や川や町や山や砂漠がどこにあるかを知っている学者のことじゃよ」

--- Es un sabio que conoce dónde se encuentran los mares, los ríos, las ciudades, las montañas y los desiertos. 《「動詞」「補語」》  
 Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un sabio ウン・サビオ n.m 学者 「補語」  
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」  
 conoce コネセ 3 単現(conocer)v.t 知っている 「動詞」



## XV

dónde ドンデ adv. 何処に〜するかということを 「目的語」

se encuentran セ・エンクエントラン 3 複現(encontrarse)

v.pr ある 「動詞句」

los mares, ロス・マレス pl.n.m 海が 「主語」

los ríos, ロス・リオス pl.n.m 川が 「主語」

las ciudades, ラス・シタデス pl.n.f 町が 「主語」

las montañas ラス・モンタニャス pl.n.f 山が 「主語」

y イ conj. そして

los desiertos. ロス・デシエルトス pl.n.m 砂漠が 「主語」

「それは大変興味深いですね」と、王子様は言った。「やっと本当の仕事に巡り合いました」  
そう言って、王子様は地理学者の惑星の上を見回した。

--- Es muy interesante --- dijo el principito---. ¡Por fin un verdadero oficio! --- Y echó una mirada a su alrededor, sobre el planeta del geógrafo.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」》, Y 「動詞」「目的語」「副詞節」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

muy interesante --- ムイ・インテリサンテ adj. とても興味深い 「補語」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

¡Por fin ポル・フィン adv. 最後には、ついに、やっと 「副詞句」

un verdadero oficio! --- ウン・ベルダデロ・オフィシオ n.m 本当の仕事 「目的語」

Y イ conj. そして

echó エチョ 3 単点(echar)v.t 投げた 「動詞」

una mirada ウナ・ミラダ n.f 視線を 「目的語」

a su alrededor, ア・ス・アルデトール adv. 自分の周りを 「副詞句」

sobre el planeta del geógrafo. ソブレ・エル・プラネタ・テル・ヘオグラフォ

adv. 地理学者の惑星の上を 「副詞句」

王子様は、これほど威厳のある惑星を見たことが一度もなかった。

Todavía no había visto un planeta tan majestuoso---. 「副詞」「動詞句」「目的語」

Todavía トダヴィア adv. まだ〜ない 「副詞」

no había visto ノ・アビア・ビスト 3 単線・完了形・否定(ver)v.t 見たことがなかった 「動詞句」

un planeta ウン・プラネタ n.m 惑星を 「目的語」

tan majestuoso---. タン・マジエストウオソ adj. これほど威厳のある 「形容詞句」

## XV



「とても美しいですね、あなたの惑星は。海はあるのですか？」

Es muy bello vuestro planeta. ¿Tiene océanos?

《「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「目的語」》

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

muy bello ムイ・ベッロ adj. とても美しい

「補語」

vuestro planeta. ブェストロ・プラネタ n.m あなたの惑星は

「主語」

¿Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ある

「動詞」

océanos? オセアノス pl.n.m 海が

「目的語」

「それを知ることができないのじゃ」と、地理学者が答えた。

--- No puedo saberlo ---dijo el geógrafo.

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」

No puedo saberlo --- ノ・プエト・サベル・ロ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞+lo)

v.t それを知ることができない

「動詞句」

dijo ティエ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el geógrafo. エル・ヘオグラーフォ n.m 地理学者が

「主語」

「ああ」と言って、王子様はがっかりした。「それじゃあ、山はありますか？」

--- ¡Ah! ---El principito estaba decepcionado---. ¿Y montañas?

《「感嘆」》, 「主語」「動詞句」, 《Y「主語」》

¡Ah! --- アー int. ああ

「感嘆」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

estaba decepcionado---. エスタバ・デセプシオナト 3 単線・完了形・状態(decepcionar)

## XV

v.i 失望した

「動詞句」

decepcionado は「補語」の様な機能だが、「失望した状態」だったのではなく、「失望する状態」になったことを表現している。

¿Y í conj. それじゃあ

montañas? モンタニャス pl.n.f 山は

「主語」

「それを知ることができないのじゃ」と、地理学者が答えた。

--- No puedo saberlo ---dijo el geógrafo.

《「動詞句」》, 「動詞」 「主語」

No puedo saberlo --- ノ・プ エト・サベル・ロ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞+lo)

v.t それを知ることができない

「動詞句」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el geógrafo. エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者が

「主語」

「それじゃあ、町や川や砂漠はあるんですか？」

--- ¿Y ciudades y ríos y desiertos?

《Y 「主語」 y 「主語」 y 「主語」》

¿Y í conj. それじゃあ

ciudades シダデス pl.n.f 町は

「主語」

y í conj. そして

ríos リオス pl.n.m 川は

「主語」

y í conj. そして

desiertos? デシエルトス pl.n.m 砂漠は

「主語」

「それを知ることが出来ないのじゃ」と、地理学者が言った。

--- Tampoco puedo saberlo ---dijo el geógrafo.

《「副詞」 「動詞句」》, 「動詞」 「主語」

Tampoco タンポコ adv. ～もまた～ない

「副詞」

puedo saberlo --- プ エト・サベル・ロ 1 単現・可能(poder+不定詞+lo)

v.t (否定文で) それを知ることができない

「動詞句」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el geógrafo. エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者が

「主語」

「だけど、あなたは地理学者でしょう！」

--- ¡Pero eres geógrafo!

《Pero 「動詞」 「補語」》

¡Pero ヘロ conj. だけど

eres エス 2 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

geógrafo! ヘオグラフォ n.m 地理学者

「補語」

## XV

「そのとおりじゃ！」と、地理学者が言った。「しかしわしは探検家ではない。まったく探検家がいなくて困っているのじゃ」

--- Es cierto --- dijo el geógrafo ---, pero no soy explorador. Carezco absolutamente de exploradores.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《pero 「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞」「間接目的語」》

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

cierto シェルト adj. 疑いない、確実な 「補語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el geógrafo---, エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者が 「主語」

pero ペロ conj. しかし

no soy ノソイ 1 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」

explorador. エクスプロトール n.m 探検家 「補語」

Carezco カレスコ 1 単現(carecer)v.i (de を) 欠く、~がない 「動詞」

absolutamente アブソルタメンテ adv. 絶対的に 「副詞」

de exploradores. テ・エクスプロトール adv. 探検家が 「間接目的語」

「町や川や山や海や大洋や砂漠の数を数えるのは、地理学者ではないのじゃ」

No es el geógrafo quien debe hacer el cómputo de las ciudades, de los ríos, de las montañas, de los mares, de los océanos y de los desiertos.

《「動詞」「補語」「主語」》

No es ノエス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」

el geógrafo エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者 「補語」

quien ケン pron (主語) ~する人は 「主語」

debe hacer テベ・アセル 3 単現・義務(deber+不定詞)

v.t ~しなければならない 「動詞句」

el cómputo コンプト n.m 計算を 「目的語」

de las ciudades, テ・ラス・シタデス adj. 町の 「形容詞句」

de los ríos, テ・ロス・リオス adj. 川の 「形容詞句」

de las montañas, テ・ラス・モンタニャス adj. 山の 「形容詞句」

de los mares, テ・ロス・マレス adj. 海の 「形容詞句」

de los océanos テ・ロス・オシアノス adj. 大洋の 「形容詞句」

y イ conj. そして

de los desiertos. テ・ロス・デシェルトス adj. 砂漠の 「形容詞句」

## XV

「地理学者は重要な仕事をしているから、歩き回ることができないのじゃ」

El geógrafo es demasiado importante para ambular. 《「主語」「動詞」「補語」》

El geógrafo エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

demasiado importante デマシアト・インポルタンテ adj. 重要すぎる 「補語」

para ambular. パラ・アンブラール adv. (結果) それで歩き回れない 「副詞句」

demasiado ... para+不定詞 「... すぎて〜できない」

「地理学者は事務所を離れてはならない。しかしそこに探検家を迎え入れる。そして彼らに尋ねて、彼らの調査結果を書きとる」

No debe dejar su despacho. Pero recibe allí a los exploradores. Les interroga y toma nota de sus observaciones. 《「動詞句」「目的語」 | Pero 「動詞」「副詞」「目的語」

「間接目的語」「動詞」 y 「動詞」「目的語」》

No debe dejar ノ・デベ・デハール 3 単現・義務・否定(deber+不定詞)

v.t 〜から離れてはならない 「動詞句」

su despacho. ス・デスパチョ n.m 事務所 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

recibe レシベ 3 単現(recibir)v.t 迎え入れる、受け取る 「動詞」

allí アジ adv. そこに 「副詞」

a los exploradores. ア・ロス・エクスプロアドレス pl.n.m 探検家を 「目的語」

Les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」

interroga インテカ 3 単現(interrogar)v.t 質問する、尋ねる 「動詞」

y イ conj. そして

toma トマ 3 単現(tomar)v.t 取る 「動詞」

nota ノタ n.f 覚え書きを 「目的語」

de sus observaciones. デ・ス・オブセルバシオネス adj. 彼らの観測の 「形容詞句」

「そしてもし誰かの調査結果が興味深いと思われた時には、地理学者はその探検家の品行について確認を行う。」

Y si las observaciones de alguno le parecen interesantes, el geógrafo hace averiguaciones acerca de la moralidad del explorador.

Y 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

las observaciones de alguno ラス・オブセルバシオネス・デ・アルクノ

pl.n.f 誰かの調査結果が 「主語」

## XV

le レ pron 彼に	「間接目的語」
parecen パレセ 3 複現(parecer)v.i ~のように見える	「動詞」
interesantes, インテレサントス adj.pl 興味深い	「補語」
el geógrafo エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者は	「主語」
hace アセ 3 単現(hacer)v.t 行う	「動詞」
averiguaciones アベルイグア ショネス pl.n.f 確認、調査	「目的語」
acerca de la moralidad アセカ・デ・ラ・モラリダド adv. 品行について	「副詞句」
del explorador. デル・エクスプロタドール adj. 探検家の	「形容詞句」

「どうしてそんなことを？」

--- ¿Por qué? 《「質問」》

¿Por qué? ポル・ケ adv. どうしてそんなことを? 「質問」

「なぜなら、嘘をつくような探検家は地理学の本を台無しにしてしまうかもしれないからじゃ。それに、飲み過ぎるような探検家も同様じゃ」

--- Porque un explorador que mintiera ocasionaría desbarajustes en los libros de geografía. Y también un explorador que bebiera demasiado.

《Porque 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | Y 「主語」》

Porque ポルケ conj. なぜなら～なので

un explorador ウン・エクスプロタドール n.m 探検家は 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

mintiera ミンティエラ 接・3 単過・假定(mentir)

v.i 嘘をつくかもしれない 「動詞」

ocasionaría オカシオナリア 3 単過未・推量(ocasionar)v.t 引き起こすかもしれない 「動詞」

desbarajustes デスバラフステス n.m 大混乱、無秩序 「目的語」

en los libros de geografía. エン・ロス・リブ・ロス・デ・ヘオグラフィア adv. 地理学の書物に 「副詞句」

Y イ conj. そして

también un explorador タンビエン・ウン・エクスプロタドール n.m 探検家も同様である 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

bebiera ベビエラ 接・3 単過(beber)v.t 飲むかもしれない 「動詞」

demasiado. デマシアド adv. あまりにも 「副詞」

「どうして、そうなの？」と、王子様は尋ねた。

--- ¿Por qué? --- preguntó el principito. 《「質問」》, 「動詞」「主語」

¿Por qué? --- ポル・ケ adv. どうして、そうなの? 「質問」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

## XV

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

「なぜなら酔っ払いたちは物が二重に見える。そうすると地理学者は、山が 1 つしかない所に山を 2 つ記入してしまうだろう」

--- Porque los ebrios ven doble. Entonces el geógrafo señalaría dos montañas donde no hay más que una sola.

《Porque 「動詞」「主語」「補語」 | 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」》

Porque ポルケ conj. なぜなら～だから

los ebrios ロス・エブリオス pl.n.m 酔っ払いたちは

「主語」

ven ベン 3 複現(ver)v.t 見える

「動詞」

doble. ドブレ adj. 二重の

「補語」

Entonces エントンス adv. そうすると

「副詞」

el geógrafo エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者は

「主語」

señalaría セニャリア 3 単過未・推量(señalar)v.t 記入してしまうだろう

「動詞」

dos montañas ドス・モンタナス pl.n.d 山を 2 つ

「目的語」

donde トンデ adv. ～する場所に

「副詞節」

no hay más que ノ・アイ・マス・ケ 3 単現(haber)v.t ～しかない

「動詞句」

una sola. ウナ・ソラ n.f 1 つだけ

「目的語」

sola ソラ adj.f(solo) 唯一の montaña が女性なので sola を用いる

「ある人を知っている」と、王子様は言った。「その人は悪い探検家だったかもしれない」

Conozco a alguien ---dijo el principito--- que sería un mal explorador.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

Conozco コノスコ 1 単現(conocer)v.t 知っている

「動詞」

a alguien --- ア・アルギエン pron ある人を

「目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito--- エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

que ケ pron その人は

「主語」

sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ～だったかもしれない

「動詞」

un mal explorador. ウン・マル・エクスプロラトール n.m 悪い探検家

「補語」

「たぶんそうだろう。だから、探検家の品行がよさそうならば、彼の発見について調査が行われるのじゃ」

--- Es posible. Por tanto, cuando la moralidad del explorador parece aceptable, se hacen averiguaciones acerca de su descubrimiento.

《「動詞」「補語」 | 「副詞句」「副詞節」, 「動詞句」「主語」「副詞句」》

## XV

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
posible. ポッシブレ	adj. ありうる、可能な	「補語」
Por tanto, ポル・タント	adv. そのため、したがって	「副詞句」
cuando クアント	～する時	「副詞節」
la moralidad del explorador	ラ・モラリダド・デル・エクスプロータール	
n.f	探検家の品行が	「主語」
parece パレセ 3 単現(parecer)v.i	～に見える	「動詞」
acceptable, アセプタブレ	adj. 受け入れられる	「補語」
se hacen セ・アセン 3 複現・再帰受動(hacerse)v.pr	～が行われる	「動詞句」
averiguaciones アベリガシオネス	pl.n.f 調査が	「主語」
acerca de su descubrimiento. アセカ・デ・ステスィブリミエント		
adv. 彼の発見について		「副詞句」

「自分で見に行かれるのですか？」

--- ¿Se va a ver?	《「動詞句」》
¿Se va a ver? セ・バ・ア・ベール 3 単現(irse a+不定詞)v.pr	自分で見に行く 「動詞句」

「いいや、行かない。それは複雑すぎるから。しかしその探検家に、証拠の提出を求める」

--- No. Es demasiado complicado. Pero se exige al explorador que presente pruebas.	《「応答」   「動詞」「補語」   Pero 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》
No. ノ	adv. いいや 「応答」
Es エス 3 単現(ser)v.i	～である 「動詞」
demasiado complicado. デマシアト・コンプリカト	adj. 複雑すぎる 「補語」
Pero ペロ conj.	しかし
se exige セ・エキシ 3 単現・再帰受動(exigirse)v.pr	要求される 「動詞句」
al explorador アル・エクスプロータール	n.m その探検家自身に 「間接目的語」
que ケ conj.	(要求を表すので接続法) ～ということ 「直接目的語」
presente プレゼンテ 接・3 単現(presentar)v.t	提出する 「動詞」
pruebas. プルエバス	pl.n.f 証拠を 「目的語」

「例えば、大きい山を発見した時には、その山から大きな石を持ってくるように要求する。」

Si se trara, por ejemplo, del descubrimiento de una gran montaña, se le exige que traiga grandes piedras.	《「副詞節」, 「動詞句」「目的語」》
Si シ conj.	もし～ならば 「副詞節」
se trara, セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr (de の)	問題である 「動詞句」
por ejemplo, ポル・エハンプロ	adv. 例えば 「副詞句」



## XV

del descubrimiento de una gran montaña, テル・デ・スクブリメント・デ・ウナ・グラン・モンタニャ

adv. 大きい山の発見の「補語」

se le exige セ・レ・エキシヘ 3 単現(exigirse+le)v.pr 〜を要求される 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

traiga トライガ 接・3 単現(traer)v.t 持ってくる 「動詞」

grandes piedras. グランデス・ピエドラス pl.n.f 大きな石を 「目的語」

地理学者は、急に興奮して言った。

El geógrafo se emocionó súbitamente: 「主語」「動詞句」「副詞句」

El geógrafo エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

se emocionó セ・エモシオノ 3 単点(emocionarse)v.pr 興奮した 「動詞句」

súbitamente: スービタメンテ adv. 突然、急に 「副詞節」

「しかし君、君は遠くからやって来たんだから、探検家じゃあないか。君の惑星のことを  
わしに話して聞かせてくれ！」

--- Pero tú, ¡tú vienes de lejos! ¡Eres explorador! ¡Vas a describirme tu planeta!

《Pero「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

tú, トゥ pron 君！ 「呼びかけ」

tú トゥ pron 君は 「主語」

vienes ビエネス 2 単現(venir)v.i やってきた 「動詞」

de lejos! デ・レホス adv. 遠くから 「副詞句」

Eres エレス 2 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

explorador! エクスプロラトール n.m 探検家 「補語」

¡Vas a describirme バス・ア・デscribir・メ 2 単現・近接未来・依頼(ir a+不定詞+me)

v.t わしに話して聞かせてくれ 「動詞句」

tu planeta! トゥ・プラネタ n.f 君の惑星のことを 「目的語」

そして地理学者は、登録簿を開いて、鉛筆を削った。

Y el geógrafo, habiendo abierto su registro, afinó la punta del lápiz.

Y 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして

el geógrafo, エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者は 「主語」

habiendo abierto アビエント・アビエルト 現在分詞・完了形(abrir)v.t 〜を開いて 「副詞句」

su registro, ス・レシストロ n.m 登録簿を 「目的語」

afinó アフィノ 3 単点(afinar)v.t 細くした、削った 「動詞」

## XV

la punta del lápiz. ラ・プンタ・テル・ラピス n.m 鉛筆の先端を

「目的語」

探検家たちの報告は、最初は鉛筆で書き留められるのだ。

Los relatos de los exploradores se anotan con lápiz al principio.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Los relatos de los exploradores ロス・レラトス・デ・ロス・エクスプロータド레스

pl.n.m 探検家たちの報告は

「主語」

se anotan セ・アノタン 3 複現・再帰受動(anotarse)v.pr 書き留められる

「動詞句」

con lápiz al principio. コン・ラピス・アル・プリンシピオ adv. 最初は鉛筆で

「副詞句」

それらをインクで書きあらためるには、探検家が証拠の品を提出するのを待つのだ。

Para anotarlos con tinta se espera a que el explorador haya suministrado pruebas.

「副詞句」, 「動詞句」「主語」

Para anotarlos パラ・アノタル・ロス adv. それらを書き留めるために

「副詞句」

con tinta コン・チンタ adv. インクで

「副詞句」

se espera セ・エスペラ 3 単現・再帰受動(esperarse)v.t 待たれる

「動詞句」

a que ア・ケ pron ~ということが

「主語」

el explorador エル・エクスプロータドル n.m 探検家が

「主語」

haya suministrado 接・3 単現・完了形(suministrar)v.t 提出する

「動詞句」

pruebas. プルエバス pl.n.f 証拠の品を

「目的語」

「さあ、話してくれたまえ」と、地理学者は尋ねた。

--- ¿Decías? ---interrogó el geógrafo.

《「催促」》, 「動詞」「主語」

¿Decías? --- デシアス 2 単線・願望(decir)v.t さあ、話してくれたまえ

「催促」

interrogó インテロゴ 3 単点(interrogar)v.t 尋ねた

「動詞」

el geógrafo. エル・ヘオグラーフォ n.m 地理学者は

「主語」

「えーと、僕の惑星は」と、王子様が言った。「あまり面白くないですよ。とても小さいんです。僕は火山を3つ持っています。2つは活火山で1つは休火山です。でも何が起こるかなんて誰にも分かりませんよ！」

--- ¡Oh! Mi planeta ---dijo el principito--- no es muy interesante, es muy pequeño. Tengo tres volcanes. Dos volcanes en actividad y un volcán extinguido. Pero no se sabe nunca.

《「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」

「主語」「補語」 y 「主語」「補語」 | Pero 「動詞句」「副詞」》

¡Oh! Mi planeta --- オ・ミ・プラネタ n.m えーと、僕の惑星は

「主語」

## XV

dijo ティハ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el principito--- エル・プリンシポト	n.m 王子様は	「主語」
no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i	～でない	「動詞」
muy interesante, ムイ・インテサント	adj. (否定文で) あまり面白くない	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
muy pequeño. ムイ・ペケニョ	adj. とても小さい	「補語」
Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t	持っている	「動詞」
tres volcanes. トレス・ボルカネス	pl.n.m 火山を 3 つ	「目的語」
Dos volcanes トス・ボルカネス	pl.n.m 2 つの火山は	「主語」
en actividad エン・アクティビダ	adv. 活動中	「補語」
y イ conj.	そして	
un volcán ウン・ボルカン	n.m 1 つの火山は	「主語」
extinguido. エクシングイト	過去分詞(extinguir)adj. 消えた	「補語」
Pero ペロ conj.	しかし	
no se sabe ノ・セ・サベ 3 単現・否定・再帰受動(saberse)v.pr	知られていない	「動詞句」
nunca. ヌンカ	adv. 決して	「副詞」
「休火山は本当に安全なのかどうかは誰にも分からない」		

「その通り、誰にもわからない」と、地理学者が答えた。

--- <u>No se sabe nunca</u> --- <u>dijo el geógrafo.</u>	《「応答」》, 「動詞」 「主語」
No se sabe nunca --- ノ・セ・サベ・ヌンカ adv. その通り、誰にもわからない	「応答」
dijo ティハ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el geógrafo. エル・ヘオグセラフォ n.m 地理学者が	「主語」

「花も一輪持っています」

--- <u>Tengo también una flor.</u>	《「動詞」「目的語」》
Tengo テンゴ` 1 単現(tener)v.t 持っている	「動詞」
también una flor. タンビエン・ウナ・フロール n.f 花も一輪	「目的語」

「わしたち地理学者は、花は書き留めないのじゃ」

--- <u>No anotamos las flores</u> --- <u>dijo el geógrafo.</u>	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
No anotamos ノ・アナトマス 1 複現・否定(anotar)v.t	書き留めない 「動詞句」
las flores --- ラス・フロレス pl.n.f	花を 「目的語」
dijo ティハ 3 単点(decir)v.t	言った 「動詞」
el geógrafo. エル・ヘオグラフォ n.m	地理学者が 「主語」

## XV

「どうして？一番美しいもののなのに」

--- ¿Por qué? ¡Es lo más lindo!

《「応答」 | 「動詞」「補語」》

¿Por qué? ポル・ケ adv. どうして？

「応答」

¡Es エス 3 単現(ser)v.i. ~である

「動詞」

lo más lindo! ロ・マス・リント n.m. 一番美しいもの

「補語」

「なぜなら花ははかないからじゃ」

--- Porque las flores son efímeras.

《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》

Porque ポル・ケ adv. なぜなら

「副詞」

las flores ラス・フロレス pl.n.f. 花は

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i. ~である

「動詞」

efímeras. エフィメラス adj.f.pl. はかない

「補語」

「はかないってどういう意味なの？」

--- ¿Qué significa «efímera»?

《「目的語」「動詞」「主語」》

¿Qué ケ pron. 何を

「目的語」

significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t. 意味する

「動詞」

«efímera»? エフィメラ n. 「はかない」は

「主語」

「地理学の書籍というのは」と、地理学者は言った。「あらゆる本のなかで最も有益なものなのじゃ」

--- Los libros de geografía ---dijo el geógrafo--- son los más valiosos de todos los libros.

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

Los libros de geografía --- ロス・リブ・ロス・デ・ヘオグラーフィア pl.n.m. 地理学の書籍は

「主語」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t. 言った

「動詞」

el geógrafo--- エル・ヘオグラーフォ n.m. 地理学者が

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i. ~である

「動詞」

los más valiosos ロス・マス・バリオス pl.n.m. 最も有益なもの、信用のおける

「補語」

de todos los libros. デ・トドス・ロス・リブ・ロス adj. あらゆる本のなかで

「形容詞句」

地理学の書籍は流行遅れになることはない。山の場所が変わることや、海の水がなくなるはめったにない。地理学者は、永続的な物を書き留めるのじゃ。

Nunca pasan de moda. Es muy raro que una montaña cambie de lugar. Es muy raro que un océano pierda su agua. Escribimos cosas eternas.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」

「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「目的語」

## XV

Nunca pasan	ヌカ・パサン	3 複現・否定(pasar)v.i (de)	決して～から過ぎ去らない	「動詞句」
de moda.	デ・モダ	adv.	流行から	「副詞句」
			「流行遅れにはならない」	
Es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
muy raro	マイ・ラロ	adj.	めったにない	「補語」
que	ケ	conj.	～ということは	「主語」
una montaña	ウナ・モンタンニャ	n.f	山が	「主語」
cambie	カンビエ	接・3 単現・可能性(cambiar)v.i (de)	変わる、変える	「動詞」
de lugar.	デ・ルガル	n.m	場所を	「間接目的語」
Es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
muy raro	マイ・ラロ	adj.	めったにない	「補語」
que	ケ	conj.	～ということは	「主語」
un océano	ウン・オセアノ	n.m	海が	「主語」
pierda	ピエルダ	接・3 単現・可能性(perder)v.t	失う	「動詞」
su agua.	ス・アグァ	n.f	水を	「目的語」
Escribimos	エスクリビモス	1 複現(escribir)v.t	書き留める	「動詞」
cosas eternas.	コサス・エテルナス	pl.n.f	永続的な物を	「目的語」

「でも、休火山は目覚めるかもしれませんよ。」と、王子様は遮った。『『はかない』ってどんな意味なんですか？』

---	Pero	los volcanes extinguidos	pueden despertarse	---interrumpió el principito---	¿
Qué	significa	«efímera»?	《Pero》	「動詞」「主語」	《「目的語」「動詞」「主語」》
Pero	ペロ	conj.	でも		
los volcanes extinguidos	ロス・ボルカネス・エクスチングイトス	pl.n.m	休火山は	「主語」	
pueden despertarse	フエテン・デスペルタルセ	3 複現・可能性(poder+不定詞)			
	v.pr		目覚めるかもしれない	「動詞句」	
interrumpió	インテルピオ	3 単点(interrumpir)v.t	遮った	「動詞」	
el principito---	エル・プリンシピト	n.m	王子様は	「主語」	
¿Qué	ケ	pron	何を	「目的語」	
significa	シグニフィカ	3 単現(significar)v.t	意味する	「動詞」	
«efímera»?	エフィメラ	adj.	「はかない」は	「主語」	

## XV

「火山が休んでいても、目を覚ましていても、わしらには同じことなんじゃ。」と、地理学者は言った。「わしらにとって重要なのは山なんだ。山は変化しないから」

--- Que los volcanes estén extinguidos o se hayan despertado es lo mismo para nosotros.  
---dijo el geógrafo---. Lo que cuenta para nosotros es la montaña. La montaña no cambia.

《「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」》

Que ケ pron ~ということは 「主語」  
los volcanes ロス・ボルカネス pl.n.m 火山が 「主語」  
estén エステン 接・3 複現・可能性(estar)v.i ~である 「動詞」  
extinguidos エクシングイトス adj. 消えた 「補語」  
o オ conj. または  
se hayan despertado セ・アヤン・デスペルト 接・3 複現・完了形・可能性(despertarse)  
v.pr 目覚めている 「動詞句」  
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
lo mismo para nosotros --- ロ・ミスト・パラ・ノトロス  
n.m わしらにとっては同じこと 「補語」  
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
el geógrafo---. エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者が 「主語」  
Lo que ロ・ケ pron (主語) ~するものは 「主語」  
cuenta ケンタ 3 単現(contar)v.i 重要である 「動詞」  
para nosotros パラ・ノトロス adv. 我々にとって 「副詞句」  
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
la montaña. ラ・モンタンニャ n.f 山 「補語」  
La montaña ラ・モンタンニャ n.f 山は 「主語」  
no cambia. ノ・カンビア 3 単現・否定(cambiar)v.i 変化しない 「動詞句」

「でも、『はかない』ってどんな意味なんですか？」と、王子様は繰り返した。彼は一度した質問を途中であきらめたことはなかった。

--- Pero ¿qué significa «efímera»? ---repitió el principito, que nunca había renunciado a una pregunta, una vez que la había formulado.

《Pero 「目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, 「形容詞節」

Pero ペロ conj. でも  
¿qué ケ pron 何を 「目的語」  
significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する 「動詞」  
«efímera»? エフィメラ adj. 「はかない」は 「主語」  
repitió レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」  
el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

## XV

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

nunca había renunciado ヌンカ・アビ・ア・レンシアド 3 単線・完了形・否定(renunciar)

v.i あきらめたことは一度もなかった 「動詞句」

a una pregunta, ア・ウナ・プレグンタ adv. 質問を 「間接目的語」

una vez que +直説法 ウナ・ベス・ケ adv. 一度～したら 「副詞節」

la ラ pron それ質問を 「目的語」

había formulado. アビ・ア・フォルマト 3 単線・完了形(formar)

v.t してしまった 「動詞句」

「それは『近いうちに消滅する危機にさらされている』という意味だ」

--- Significa «que está amenazado por una próxima desaparición».

《「動詞」「目的語」》

Significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t ～を意味する 「動詞」

«que ケ pron (主語) ～ということを 「目的語」

está amenazado エスタ・アメサト 3 単現・受動(amenazar)v.i 脅迫されている 「動詞」

por una próxima desaparición. ポル・ウナ・プロキシマ・デサパリシオン

adv. 近日中の消滅によって 「副詞句」

「僕の花は、近いうちに消滅する危機にさらされているんですか？」

--- ¿Mi flor está amenazada por una próxima desaparición?

《「主語」「動詞」「副詞句」》

¿Mi flor ミ・フロール n.f 僕の花は 「主語」

está amenazado エスタ・アメサト 3 単現・受動(amenazar)v.i 脅迫されている 「動詞」

por una próxima desaparición? ポル・ウナ・プロキシマ・デサパリシオン

adv. 近日中の消滅によって 「副詞句」

「その通り」

--- Seguramente. 「副詞」

Seguramente. セグラメンテ adv. 確かに、その通り 「副詞」

「僕の花ははかないんだ。」と、王子様は考えた。「そして、世の中から身を守るのにとげを4本しか持っていない。それなのに、僕はたった独りぼっちで僕の家に残してきたんだ」

«Mi flor es efímera ---pensó el principito---, ¡y sólo tiene cuatro espigas para defenderse contra el mundo! ¡Y la he dejado totalmente sola en mi casa!»

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《y「動詞句」「目的語」「副詞句」 | Y「目的語」「動詞句」「副詞句」》

## XV

Mi flor ミ・フロール n.f	僕の花は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
efímera --- エフィメラ adj.f	はかない	「補語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i	考えた	「動詞」
el principito---, エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
iy イ conj.	そして	
sólo tiene ソ・ティエネ 3 単現(tener)v.t	～しか持っていない	「動詞句」
cuatro espinas クアトロ・エスピナス pl.n.f	とげを 4 本	「目的語」
para defenderse パラ・デフェンデルセ adv.	自分を守るために	「副詞句」
contra el mundo! コントラ・エル・ムント° adv.	世の中から	「副詞句」
iY イ conj.	そして	
la ラ pron	その花を	「目的語」
he dejado エ・デハド° 1 単現・完了形(dejar)v.t	残してきた	「動詞句」
totalmente sola トタルメンテ・ソラ adv.	たった独りぼっちで	「副詞句」
en mi casa! エン・ミ・カサ adv.	僕の家	「副詞句」

それは、やり残した事に対する初めての衝撃だった。しかし、彼は落ち着きを取り戻した。

Ése fue su primer impulso de nostalgia. Pero se repuso:

		「主語」「動詞」「補語」   Pero 「動詞句」
Ése エセ pron	それは	「主語」
fue フェ 3 単点(ser)v.i	～だった	「動詞」
su primer impulso ス・プリーメル・インプルス n.m	初めての衝撃	「補語」
de nostalgia. デ・ノスタルヒア adj.	心残りの	「形容詞句」
Pero ペロ conj.	しかし	
se repuso: セ・レプソ 3 単点(reponerse)v.pr	立ち直った、落ち着いた	「動詞句」

「僕はこれから何を訪れたら良いですか？」と王子様は尋ねた。

--- ¿Qué me aconsejáis que vaya a visitar? ---preguntó.

		《「直接目的語」「間接目的語」「動詞」「形容詞節」》, 「動詞」
¿Qué ケ pron	何を	「直接目的語」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
aconsejáis アコンセハイス 2 複現(aconsejar)v.t	助言する	「動詞」
que ケ pron (目的語)	～する	「形容詞節: Qué」
vaya a visitar? --- バヤ・ア・ビシタル 接・1 単現・近接未来(ir a+不定詞)		
v.t	これから訪れるのが良い	「動詞句」
preguntó. プレグント 3 単点(preguntar)v.t	尋ねた	「動詞」



## XVI

「地球という惑星がいいだろう」と、地理学者が答えた。

--- El planeta Tierra --- le respondió el geógrafo---

《「主語」》, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

El planeta Tierra --- エル・プラネタ・ティエラ n.m 地球という惑星 「主語」

le le pron 彼に 「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

el geógrafo---. エル・ヘオグラフォ n.m 地理学者が 「主語」

「地球は評判がいい」

Tiene buena reputación... 「動詞」 「目的語」

Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ある 「動詞」

buena reputación... ブエナ・レプタシオン n.f よい評判 「目的語」

それで、王子様は自分の花の事を思いながらそこを離れた。

Y el principito partió, pensando en su flor.

Y 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Y イ conj. それで

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

partió, パルティオ 3 単点(partir)v.i 出発した 「動詞」

pensando ペンサント 現在分詞(pensar)v.i 考えながら 「副詞句」

en su flor. エン・ス・フロール adv. 彼の花の事を 「間接目的語」

## XVI

7 番目の惑星は、だから、地球だった。

El séptimo planeta fue, pues, la Tierra.

「主語」 「動詞」 pues 「補語」

El séptimo planeta エル・セプティモ・プラネタ n.m 7 番目の惑星は 「主語」

fue, フェ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」

pues, フェ conj. だから、それで

la Tierra. ラ・ティエラ n.f 地球 「補語」

地球は、ありふれた惑星ではない。

La Tierra no es un planeta cualquiera.

「主語」 「動詞」 「補語」

La Tierra ラ・ティエラ n.f 地球は 「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」

un planeta ウン・プラネタ n.m 惑星 「補語」

## XVI

cualquiera. クワルキエラ adj. ありふれた

「形容詞」

そこには、111 人の王様（もちろん黒人の王様も数えて）、7000 人の地理学者、90 万人の実業家、750 万人の酔っ払い、3 億 1100 万人の見栄っ張り、つまり、およそ 20 億人の大人たちが数えられる。

Se cuentan allí ciento once reyes (sin olvidar, sin duda, los reyes negros), siete mil geógrafos, novecientos mil hombres de negocios, siete millones y medio de ebrios, trescientos once millones de vanidosos, es decir, alrededor de dos mil millones de personas grandes.

「動詞句」「副詞」「主語」

Se cuentan セ・クエンタン 3 複現・再帰受動(contarse)v.pr 数えられる、含まれる 「動詞句」

allí アジ adv. そこには 「副詞」

ciento once reyes シェント・オンセ・レイェス pl.n.m 111 人の王様 「主語」

(sin olvidar, シン・オルビダール adv. 忘れずに 「副詞句」

sin duda, シン・ドゥダ adv. もちろん、疑いもなく 「副詞句」

los reyes negros), ロス・レイェス・ネグロス pl.n.m 黒人の王様を 「目的語」

siete mil geógrafos, シエテ・ミル・ヘオグラフォス pl.n.m 7000 人の地理学者 「主語」

novecientos mil hombres de negocios, ノベシエントス・ミル・オンブレス・デ・ネゴシオス  
pl.n.m 90 万人の実業家 「主語」

siete millones y medio de ebrios, シエテ・ミリョネス・イ・メディオ・デ・エブリオス  
pl.n.m 750 万人の酔っ払い 「主語」

trescientos once millones de vanidosos, トレスシエントス・オンセ・ミリョネス・デ・バニトソス  
pl.n.m 3 億 1100 万人の見栄っ張り 「主語」

es decir, エス・デシール adv. つまり 「副詞句」

alrededor de アルデトール・デ adv. 約～の 「副詞句」

dos mil millones de ドス・ミル・ミリョネス・デ adj. 20 億人の 「形容詞句」

personas grandes. ペルソナ・グランデス pl.n.f 大人が 「主語」

地球の大きさについてのおよその知識を君たちに与えるために、僕は次のように言いたい。  
それは、電気が発明される以前には、6 つの大陸の合計で 462,511 人の点灯夫を保持しなければならなかったということだ。

Para daros una idea de las dimensiones de la Tierra os diré que antes de la invención de la electricidad se debía mantener en el conjunto de seis continentes, un verdarero ejército de cuatrocientos sesenta y dos mil quinientos once faroleros.

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Para +不定詞 パラ adv. ～するように 「副詞句」

daros ダル・オス 不定詞(dar+os)v.t 君たちに与える 「動詞句」

## XVI

una idea ウナ・イデア n.f およその知識を 「目的語」  
 de las dimensiones de la Tierra デ・ラス・ディメンシオン・ネス・デ・ラ・ティエラ  
 adj. 地球の大きさについての 「形容詞句」  
 os オス pron 君たちに 「間接目的語」  
 diré ディレ 1 単未・意思(decir)v.t 言いたい 「動詞」  
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」  
 antes de la invención de la electricidad アンテス・デ・ラ・インベンシオン・デ・ラ・エレクトリシダド  
 adv. 電気が発明される以前には 「副詞句」  
 se セ pron 人は 「主語」  
 debía mantener, デビア・マンテネール 3 単線・義務(deber+不定詞)  
 v.t 保持しなければならなかった 「動詞句」  
 en el conjunto de seis continentes, エン・エル・コンフント・デ・セイス・コンチネンテス  
 adv. 6 つの大陸の合計で 「副詞句」  
 un verdadero ejército de ウン・ベルダデロ・エヘリト・デ adj. 1 つの本物の軍隊のような 「形容詞句」  
 cuatrocientos sesenta y dos mil quinientos once faroleros.  
 クワトロシエントス・セセンタ・イ・トス・ミル・キンientos・オンセ・ファロレロス  
 pl.n.m 462,511 人の点灯夫を 「目的語」  
 cuatrocientos sesenta y dos クワトロシエントス・セセンタ・イ・トス 462 mil ミル 1000  
 quinientos once キンientos・オンセ 511 → 462,511

離れて見ると、点灯夫たちは素晴らしい効果を作っていた。

Vistos desde lejos hacían un efecto espléndido. 「副詞句」「動詞」「目的語」  
 Vistos ビストス 過去分詞・受動(pl(ver))v.t 見られると 「副詞句」  
 desde lejos デステ・レホス adv. 離れて、遠くから 「副詞句」  
 hacían アシアン 3 複線(hacer)v.t 作っていた 「動詞」  
 un efecto espléndido. ウン・エフェクト・エスプレンディト n. 素晴らしい効果を 「目的語」

この軍隊の動きは、オペラのバレエ団のように編成されていました。

Los movimientos de este ejército estaban organizados como los de un ballet de ópera.  
 「主語」「動詞句」「副詞句」  
 Los movimientos ロス・モビメントス pl.n.m 動きは 「主語」  
 de este ejército デ・エステ・エヘリト adj. この軍隊の 「形容詞句」  
 estaban organizados エスタバン・オルガニザト 3 複線・受動(organizar)v.t 編成されていた「動詞句」  
 編成：個々のものを集めて組織的なまとまりとすること  
 como los de un ballet de ópera. コモ・ロス・デ・ウン・バレ・デ・オペラ  
 adv. オペラのバレエ団のように 「副詞句」

## XVI

一番最初は、ニュージーランドとオーストラリアの点灯夫たちの順番だった。彼らは、一度街灯が点灯されると、寝るために立ち去った。

Primero era el turno de los faroleros de Nueva Zelanda y de de Australia. Una vez alumbradas sus lamparillas, se iban a dormir.

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」

Primero プリメロ n.m 最初は 「主語」  
 era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」  
 el turno de los faroleros エル・トゥルノ・デ・ロス・ファロロス n.m 点灯夫たちの順番 「補語」  
 de Nueva Zelanda y de Australia. デ・ヌエバ・ツェランダ・イ・デ・アウストリア  
 adj. ニュージーランドとオーストラリアの 「形容詞句」  
 Una vez ウナ・ベス adv. 〜した後で、一度〜したら 「副詞句」  
 alumbradas アルムブラダス 過去分詞 pl.f(alumbrar)点灯された 「動詞」  
 sus lamparillas, スス・ランパ・リジャス pl.n.f 街灯が 「主語」  
 se iban a dormir. セ・イバン・ア・ドルミール 3 複線(irse a+不定詞)  
 v.pr 寝るために立ち去った 「動詞句」

すると今度は、中国とシベリアの点灯夫たちが、ダンスの順番になって入ってきた。それから、彼らもそっと舞台裏に消えて行った。

Entonces entraban en el turno de la danza los faroleros de China y de Siberia. Luego, también se escabullían entre los bastidores.

「副詞」「動詞」「副詞句」「主語」 | 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

Entonces エントンセス adv. すると、その時 「副詞」  
 entraban エントラバン 3 複線(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」  
 en el turno de la danza エン・エル・トゥルノ・デ・ラ・ダンサ adv. ダンスの順番になって 「副詞句」  
 los faroleros de China y de Siberia. ロス・ファロロス・デ・チナ・イ・デ・シベリヤ  
 pl.n.m 中国とシベリアの点灯夫たちが 「主語」  
 Luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」  
 también タンビエン adv. 〜もまた、同様に 「副詞」  
 se escabullían セ・エスカブリアン 3 複線(escabullirse)  
 v.pr (誰にも気づかれずに) 紛れ込んだ 「動詞」  
 entre los bastidores. エントレ・ロス・バステドレス adv. 舞台裏に 「副詞句」

## XVI

今度は、ロシアとインドの点灯夫の順番だった。それから、アフリカとヨーロッパの点灯夫。それから、南アメリカの点灯夫。それから、北アメリカの点灯夫が出てきた。

Entonces era el turno de los faroleros de Rusia y de las Indias. Luego los de África y Europa. Luego los de América del Sur. Luego los de América del Norte.

「副詞」「動詞」「補語」 | 「副詞」「主語」 | 「副詞」「主語」 | 「副詞」「主語」

Entonces エントンス adv. 今度は 「副詞」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

el turno de los faroleros de Rusia y de las Indias.

エル・トゥルノ・デ・ロス・ファロロス・デ・ロシア・イ・デ・ラス・インディアス

n.m ロシアとインドの点灯夫の順番 「補語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

los de África y Europa. ロス・デ・アフリカ・イ・エウロパ

pl.n.m アフリカとヨーロッパの点灯夫が 「主語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

los de América del Sur. ロス・デ・アメリカ・デル・スル pl.n.m 南アメリカの点灯夫が 「主語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

los de América del Norte. ロス・デ・アメリカ・デル・ノルテ pl.n.m 北アメリカの点灯夫が 「主語」

そして彼らは決して舞台に登場する順番を間違えなかった。それは壮大な眺めだった。

Y nunca se equivocaban en el orden de entrada en escena. Era grandioso.

Y 「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「補語」

Y イ conj. そして

nunca ヌンカ adv. 決して～ない 「副詞」

se equivocaban セ・エキボカバン 3 複線(equivocarse)v.pr (否定文で) 間違えなかった「動詞句」

en el orden エン・エル・オルデテン adv. 順番を 「間接目的語」

de entrada デ・エントラダ adj. 登場の 「形容詞句」

en escena. エン・エッセナ adv. 舞台に 「副詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

grandioso. グランディオソ adj. 壮大な 「補語」

北極の唯一の街灯の点灯夫と南極の唯一の街灯の点灯夫だけは、暇で無気力な生活を送っていた：彼らは、1年に2回だけ働いていたのだ。

Solamente el falorero del único farol del Polo Norte y su colega del único farol del Polo Sur llevaban una vida ociosa e indiferente: trabajaban dos veces al año.

「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「副詞句」

Solamente el falorero ソラメンテ・エル・ファロロ n.m 点灯夫だけは 「主語」

## XVII

del único farol	デル・ウニコ・ファロル	adj. 唯一の街灯の	「形容詞句」
del Polo Norte	デル・ポ・ロ・ノルテ	adj. 北極の	「形容詞句」
y	イ	conj. そして	
su colega	ス・コレガ	n.m. その同僚は	「主語」
del único farol	デル・ウニコ・ファロル	adj. 唯一の街灯の	「形容詞句」
del Polo Sur	デル・ポ・ロ・スル	adj. 南極の	「形容詞句」
llevaban	ジェババン	3 複線(llevar)v.t. 過ごしていた	「動詞」
una vida	ウナ・ビダ	n.f. 生活を	「目的語」
ociosa e indiferente:	オシオサ・エ・インディフェレンテ		
	adj.f. 暇で無気力な		「形容詞句」
trabajaban	トラバハバン	3 複線(trabajar)v.i. 働いていた	「動詞」
dos veces al año.	ドス・ベセス・アル・アニーヨ	adv. 1年に2回	「副詞句」

## XVII

人は、自分の知性をひけらかそうとすると、少し嘘をつくことがある。

<u>Cuando se quiere ser ingenioso ocurre que se miente un poco.</u>	「副詞節」, 「動詞」「主語」
Cuando クワント conj. ～すると	「副詞節」
se セ pron 人は	「主語」
quiere +不定詞 キエレ 3 単現・願望 v. ～したい	「動詞句」
ser セル 不定詞 v.i. ～でいる	「動詞」
ingenioso インヘニオ adj. 利発な、才気に富んだ	「補語」
ocurre オクレ 3 単現(ocurrir)v.i. 起こる	「動詞」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
se セ pron 自分に	「間接目的語」
miente ミエンテ 3 単現(mentir)v.i. 嘘をつく	「動詞」
un poco. ウン・ポコ adv. 少し	「副詞句」

点灯夫たちについて話した時、僕はあまり正直ではなかった。

<u>No he sido muy honesto cuando hablé de los faroleros.</u>	「動詞句」「補語」「副詞節」
No he sido ノ・エ・シト 1 単現・完了形・否定(ser)v.i. ～でなかった	「動詞句」
muy honesto マイ・オネスト adj. (否定文で) あまり正直では～ない	「補語」
cundo クワント conj. ～した時	「副詞節」
hablé アブレ 1 単点(hablar)v.i. (de について) 話した	「動詞」
de los faroleros. デ・ロス・ファロロス adv. 点灯夫たちについて	「間接目的語」

## XVII

僕たちの惑星を知らない人たちに、間違えた概念を与えてしまう危険がある。

Corro el riesgo de dar una falsa idea de nuestro planeta a quienes no lo conocen.

「動詞」「目的語」

Corro コロ 1 単現(correr)v.t (危険などに) さらされている

「動詞」

el riesgo エル・リエスコ n.m 危険に

「目的語」

de dar デ・ダール 不定詞 v.t ~を与えるという

「形容詞句」

una falsa idea ウナ・ファルサ・イデア n.f 間違えた概念を

「直接目的語」

de nuestro planeta デ・ヌストラ・プラネタ

adj. 僕たちの惑星の

「形容詞句」

a quienes ア・キエス adv. 人たちに

「間接目的語」

no lo conocen. ノ・ロ・コネン 3 複現・否定(conocer)

v.t それを知らない

「動詞句」

人間たちは、地球上でほんのわずかな場所を占領しているにすぎない。

Los hombrers ocupan muy poco lugar en la Tierra. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Los hombrers ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは

「主語」

ocupan オカパン 3 複現(ocupar)v.t 占領している

「動詞」

muy poco lugar ムイ・ポ・コ・ルガール n.m ほんのわずかな場所を

「目的語」

en la Tierra. エン・ラ・ティエラ adv. 地球上で

「副詞句」

もし地球に住んでいる 20 億人の住人が、少しきつく詰めて集会みたいに立っているとすれば、幅 20 マイルで長さ 20 マイルの公共広場の中に簡単に入ることができるだろう。

Si los dos mil millones de habitantes que pueblan la Tierra se tuviesen de pie y un poco apretados, como en un mitin, podrían alojarse fácilmente en una plaza pública de veinte millas de largo por veinte millas de ancho. 「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」

Si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

los dos mil millones de habitantes ロス・ト・ス・ミル・ミシヨネス・デ・アビタンテス

pl.n.m 20 億人の住人が

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

pueblan プエブラン 3 複現(poblar)v.t 住んでいる

「動詞」

la Tierra ラ・ティエラ n.f 地球に

「目的語」

se tuviesen セ・トゥビエセン 接・3 複過(tenerse)v.pr 立っていたとする

「動詞句」

de pie デ・ピエ adv. 立って

「副詞句」

y イ conj. そして

un poco apretados, ウン・ポ・コ・アプレタドス adv. 少しきつく詰めて「副詞句」

como en un mitin, コモ・エン・ウン・ミチン adv. 集会みたいに「副詞句」

## XVII

podrían alojarse ポトリアン・アロハルセ 3 複過未・推量・可能(poder+不定詞)

v.pr 入ることができるだろう 「動詞句」

fácilmente ファシルメンテ adv. 簡単に 「副詞」

en una plaza pública エン・ウナ・プラサ・プブリカ adv. 公共広場の中に 「副詞句」

de veinte millas de largo デ・ベインテ・ミジャス・デ・ラルゴ

adj. 長さ 20 マイルの 「形容詞句」

por veinte millas de ancho. ポル・ベインテ・ミジャス・デ・アンチョ

adv. 幅 20 マイルで 「副詞句」

太平洋のとても小さい島の上に、人類を山積みにする事だってできるだろう。

Podría amontonarse a la humanidad sobre la más mínima isleta del Pacífico.

「動詞句」「目的語」「副詞句」

Podría amontonarse ポトリア・アモントナル・セ 3 単過未・推量(poder+不定詞)

v.t 人は～を山積みにする事ができるだろう 「動詞句」

Podría +不定詞は条件法 amontonarse の se は「主語」で「人は」の意味

a la humanidad ア・ラ・ウマニダド n.f 人類を 「目的語」

sobre la más mínima isleta ソブレ・ラ・マス・ミナ・イスラ adv. とても小さい島の上に 「副詞句」

del Pacífico. デル・パシフィコ adj. 太平洋の 「形容詞句」

大人たちは、間違いなく、君たちを信じないだろう。

Las personas grandes, sin duda, no os creerán.

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Las personas grandes, ラス・ペルソナス・グランデス pl.n.f 大人たちは 「主語」

sin duda, シン・ドゥダ adv. 間違いなく、きっと 「副詞句」

no ...creerán. ノ...クレエラン 3 複未・否定(creer)v.t 信じないだろう 「動詞句」

os os pron 君たちを 「目的語」

彼らは、自分たちが沢山の場所を占めていると思い込んでいる。

Se imaginan que ocupan mucho lugar.

「動詞句」「目的語」

Se imaginan セ・イマヒナン 3 複現(imaginarse)

v.pr (que+直説法 ～と) 彼らは思い込んでいる 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

ocupan オクパン 3 複現(ocupar)v.t 占めている 「動詞」

mucho lugar. ムチョ・ルガル n.m 沢山の場所を 「目的語」



## XVII

彼らは、自分がバオバブのように大物だと感じているんだ。

Se sienten importantes, como los baobabs.

「動詞句」「補語」「副詞句」

Se sienten セ・シエンテン 3 複現(sentirse)v.pr 自分が～だと感じている

「動詞句」

importantes, インポルタンテス adj.pl 重大な、大物の

「補語」

como los baobabs. コモ・ロス・バオバブス adv. バオバブのように

「副詞句」

だから彼らに、計算をするように助言してみなさい。

Les aconsejaréis, pues, que hagan el cálculo.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Les レス pron.pl 彼らに

「間接目的語」

aconsejaréis, アコンセヘイス 2 複末・命令(aconsejar)

v.t (que+接続法 ～するように) 助言しなさい

「動詞」

pues, プエス adv. それで、だから

「副詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

hagan アガソ 接・3 複現(hacer)v.t する

「動詞」

el cálculo. エル・カルクロ n.m 計算

「目的語」

大人たちは数字が大好きだから、その助言は彼らの気に入るだろう。

Les agrada porque adoran las cifras.

「間接目的語」「動詞」「副詞節」

Les レス pron.pl 彼らに

「間接目的語」

agrada アグラダ 3 単末(agradar)v.i 気に入るだろう

「動詞」

「主語」は「計算しなさい」という「助言」

porque ボルケ conj. ～なので

「副詞節」

adoran アドラン 3 複現(adorar)v.t 熱愛する、大好きである

「動詞」

las cifras. ラス・シフラス pl.n.f 数字を

「目的語」

でも、そんなうんざりすることで時間を無駄にしてはいけない。

Pero no perdáis el tiempo en esta penitencia.

Pero 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. でも

no perdáis ノ・ペルタイス 接・2 複現・命令・否定(perder)v.t (時間を) 無駄にするな 「動詞句」

el tiempo エル・ティエンポ n.m 時間を

「目的語」

en esta penitencia. エン・エスタ・ペニテンシア adv. そんな苦行で

「副詞句」

それは無駄なことだ。

Es inútil.

「動詞」「補語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

## XVII

inútil. イヌティル adj. 無駄な

「補語」

君たちは、僕を信用して欲しいな。

Tened confianza en mí.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tened テネ 命・2 複現(tener)v.t 持ちなさい

「動詞」

confianza コンフィアンサ n.f 信頼、信用

「目的語」

en mí. エン・ミ adv. 僕に対して

「副詞句」

一度地球に着いてみると、誰にも会わないので王子様はとても驚いた。

Una vez en tierra, el principito quedó muy sorprendido al no ver a nadie.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Una vez en tierra, ウナ・ベス・オン・ティエラ adv. 一度地球に着いてみると

「副詞句」

una vez +過去分詞／+直説法 一度～したら、～した後で

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

quedó クェド 3 単点(quedar)v.i (+補語) なった

「動詞」

muy sorprendido ムイ・ソルプレンドイド 過去分詞(sorprender)adj. とても驚いた

「補語」

al +不定詞 アル adv. (原因) ～することに、～するので、

「副詞句」

no ver ノ・ベール 不定詞・否定 v.t 会わない

「動詞句」

a nadie. ア・ナディエ pron 誰にも～ない

「目的語」

惑星を間違えたのではないかと心配していた。その時、砂の中で月色の輪が動いた。

Temía ya haberse equivocado de planeta, cuando un anillo de color de luna se revolvió en la arena.

「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Temía +不定詞 テミア 3 単線・心配(temer+不定詞)

v.t ～するのではないかと心配していた

「動詞句」

ya ヤー adv. すでに、もう

「副詞」

haberse equivocado アベールセ・エキボカド 不定詞・完了形(equivocarse)

v.pr(de を) 間違えてしまった

「動詞句」

de planeta, デ・プラネタ n.m 惑星を

「目的語」

cuando クワント adv. その時

「副詞」

un anillo ウン・アニジョ n.m 輪が

「主語」

de color de luna デ・コロル・デ・ルナ adj. 月の色の

「形容詞句」

se revolvió セ・レボルビョ 3 単点(revolverse)v.pr 動いた

「動詞句」

en la arena. エン・ラ・エレナ adv. 砂の中で

「副詞句」

## XVII

「今晚は」と、王子様はあてもなく言った。

--- Buenas noches --- dijo al azar el principito.      《「挨拶」》, 「動詞」 「副詞句」 「主語」  
 --- Buenas noches --- ブエナス・ノチェス adv. 今晚は      「挨拶」  
 dijo ディヨ 3 単点(deir)v.t 言った      「動詞」  
 al azar アル・アサル adv. あてもなく      「副詞句」  
 el principito. エル・エル・プリンスィト n.m 王子様は      「主語」

「今晚は」と、へビが言った。

--- Buenas noches --- dijo la serpiente.      《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」  
 --- Buenas noches --- ブエナス・ノチェス adv. 今晚は      「挨拶」  
 dijo ディヨ 3 単点(deir)v.t 言った      「動詞」  
 la serpiente. ラ・セルビ°エンテ n.f へビが      「主語」

「僕はどの惑星に落ちたのだろうか？」と、王子様は尋ねた。

--- ¿En qué planeta he caído? --- preguntó el principito.      《「副詞句」 「動詞句」》, 「動詞」 「主語」  
 --- ¿En qué planeta エン・ケ・プラネタ adv. どの惑星に      「副詞句」  
 he caído? --- エ・カイト° 1 単現・完了形(caer)v.i 落ちた      「動詞句」  
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた      「動詞」  
 el principito. エル・プリンスィト n.m 王子様は      「主語」

「地球だよ、アフリカだよ」

--- En la Tierra, en África --- respondió la serpiente.      《「応答」》, 「動詞」 「主語」  
 --- En la Tierra, エン・ラ・ティエラ adv. 地球だよ      「応答」  
 en África --- エン・アフリカ adv. アフリカだよ      「応答」  
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 la serpiente. ラ・セルビ°エンテ n.f へビが      「主語」

「ああ！... それじゃあ、地球には誰もいないの？」

--- ¡Ah! ... ¿No hay, pues, nadie en la Tierra?      《「感嘆」 ... 「動詞句」 「副詞」 「目的語」 「副詞句」》  
 --- ¡Ah! ... アー int. ああ！      「感嘆」  
 ¿No hay, ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t いない      「動詞句」  
 pues, プエス adv. それならば      「副詞」  
 nadie ナディエ pron 誰も～ない      「目的語」  
 en la Tierra? エン・ラ・ティエラ adv. 地球には      「副詞句」

## XVII

「ここは砂漠だよ。砂漠には誰もいないよ。地球は広いんだ。」と、へびが言った。

--- Esto es el desierto. En los desiertos no hay nadie. La Tierra es grande --- dijo la serpiente.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」》

--- 「動詞」「主語」

--- Esto	エスト	pron	ここは	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
el desierto.	エル・デシエルト	n.m	砂漠	「補語」
En los desiertos	エン・ロス・デシエルトス	adv.	砂漠には	「副詞句」
no hay	ノ・アイ	3 単現・否定(haber)v.t	いない	「動詞句」
nadie.	ナデ・イ	pron	誰も～ない	「目的語」
La Tierra	ラ・ティエラ	n.f	地球は	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
grande	グランデ	adj.	大きい	「補語」
dijo	デ・イ	3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
la serpiente.	ラ・セルピエンテ	n.f	へびが	「主語」



## XVII

王子様は、岩に腰を掛けて、空を見上げた。

El principito se sentó sobre una piedra y levantó los ojos hacia el cielo:

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った、腰かけた 「動詞句」  
 sobre una piedra ソブレ・ウナ・ピエドラ adv. 岩の上に 「副詞句」  
 y イ conj. それから  
 levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた 「動詞」  
 los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」  
 hacia el cielo: アシア・エル・シエロ adv. 空の方へ 「副詞句」

「僕は自分に問いかける」と王子様は言った。「星たちは、誰もがいつかは自分の星を見つ  
 けられるように輝いているのだろうか。」

--- Me pregunto --- dijo--- si las estrellas están encendidas a fin de que cada uno pueda encontrar la suya algún día.

《「動詞句」》, 「動詞」, 《si 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」》

--- Me pregunto --- メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 僕は自分に問いかける 「動詞句」  
 dijo--- デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」  
 las estrellas ラス・エストレージャス pl.n.f 星たちは 「主語」  
 están エスタン 3 複現(estar)v.i ～である 「動詞」  
 encendidas エンセンディダス 過去分詞(encender)adj.f.pl 輝いている 「補語」  
 a fin de que ア・フィン・デ・ケ conj. ～するために 「副詞節」  
 cada uno カダ・ウノ pron 誰もが、それぞれの人が 「主語」  
 pueda encontrar プエダ・エンコントラル 接・3 単現・可能(poder+不定詞)  
 v.t 見つけられるように 「動詞句」  
 la suya ラ・スヤ pron.f 自分の星を 「目的語」  
 algún día. アルグン・デア adv. いつかは 「副詞句」

フランス語原版と「フランス語で読もう 星の王子様」では

retrouver（見つける、戻る）が使われていて「自分の星に戻れるように」と翻訳されているが、ここでは「見つけられるように」と翻訳した。

「見てごらん、僕の惑星を。僕たちの真上にある... けど、なんて遠いんだろう。」

Mira mi planeta. Está justo sobre nosotros... Pero ¡qué lejos está!

《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」...Pero 「補語」「動詞」》

Mira ミラ 命・2 単現(mirar)v.t 見なさい 「動詞」

フランス語原版と「フランス語で読もう 星の王子様」では

## XVII

mi planeta. ミ・プラネタ n.m	僕の惑星を	「目的語」
Está エスタ 3 単現(estar)v.i	～にある	「動詞」
justo フスト adv.	ちょうど	「副詞」
sobre nosotros... ソブレ・ノストロス adv.	僕たちの上に	「副詞句」
Pero ペロ conj.	だけど	
¡qué lejos ケ・レホス adj.	なんて遠い！	「補語」
está! エスタ 3 単現(estar)v.i	～である	「動詞」

「なんて美しいんだ！」と、ヘビが言った。「ここへ何をしにきたの？」

---¡Qué hermoso es! ---dijo la serpiente---. ¿Qué vienes a hacer aquí?

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞句」「副詞」》

---¡Qué hermoso ケ・エルモソ adj.m	なんて美しいんだ	「補語」
es! エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
---dijo デイホ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
la serpiente---. ラ・セルピエント n.f	ヘビが	「主語」
¿Qué ケ pron	何を	「目的語」
vienes a hacer ビエネス・ア・アセル 2 単現(venir a+不定詞)		
v.t	～をしに来た	「動詞句」
aquí? アキ adv.	ここに	「副詞」

「ある花と気まづくなつたんだよ」と、王子様は言った。

--- <u>Estoy disgustado con una flor</u> --- <u>dijo el principito</u> .	《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」
Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i	～である 「動詞」
disgustado ディスク`スタド` adj.	対立した、気まずい 「補語」
con una flor --- コン・ウナ・フロール adv.	ある花と 「副詞句」
dijo ディホ 3 単点(decir)v.t	言った 「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m	王子様は 「主語」

「あ、そう」と、ヘビが答えた。

---¡Ah! --- <u>dijo la serpiente.</u>	《「応答」》, 「動詞」「主語」
---¡Ah! --- アー adv. あ、そう	「応答」
dijo デイホ 3 単点(deir)v.t 言った	「動詞」
la serpiente. ラ・セルピエント n.f ヘビが	「主語」

そして二人は黙り込んだ。

Y <u>quedaron en silencio</u> .	Y 「動詞」「補語」
---------------------------------	------------

## XVII

Y イ conj. そして

quedaron ケダロン 3 複点(quedar)v.i ~になった

「動詞」

en silencio. エン・シレンシオ adv. 無言に、静かに

「補語」

「人間たちはどこにいるの？」とついに王子様は続けた。「人は砂漠ではちょっと独りぼっちだね」

--- ¿Dónde están los hombres? ---prosiguió al fin el principito---. Se está un poco solo en el desierto.

《「副詞」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞句」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

--- ¿Dónde トンデ adv. どこに

「副詞」

están エスタン 3 複現(estar)v.i ~にいる

「動詞」

los hombres? ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは

「主語」

---prosiguió プロシギオ 3 単点(proseguir)v.t 続けた

「動詞」

al fin アル・フィン adv. ついに

「副詞句」

el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

Se セ pron 人は

「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

un poco solo ウン・ポ・コ・ソロ adj. ちょっと独りぼっちの

「補語」

en el desierto. エ・ネル・デシエルト adv. 砂漠では

「副詞句」

「人間たちと一緒に居てもやはり、人は独りぼっちだよ」と、へビが言った。

---Con los hombres también se está solo ---dijo la serpiente.

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

---Con los hombres コン・ロス・オンブレス adv. 人間たちと一緒に居ても

「副詞句」

también タンビエン adv. やはり、同じように

「副詞」

se セ pron 人は

「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

solo ソロ adj. 独りぼっちの

「補語」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

la serpiente. ラ・セルピエンテ n.f へビが

「主語」

王子様は、しばらくへビを見ていた。

El principito la miró largo tiempo.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

la ラ pron (la serpiente の代用) へビを

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

## XVII

largo tiempo. ラルゴ・ティエンポ adv. しばらく

「副詞句」

「君は、奇妙な動物だね」と、ついにヘビに向かって言った。「指みたいに細くて…」

---Eres un animal raro ---le dijo al fin---. Delgado como un dedo...

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」, 《「補語」》

---Eres エレス 2 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

un animal raro ウン・アニマル・ラロ n.m 奇妙な動物

「補語」

---le レ pron (la serpiente の代用) ヘビに

「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al fin---. アル・フィン adv. ついに

「副詞句」

Delgado デルガド adj. 細い

「補語」

como un dedo... コモ・ウン・デド adv. 指みたいに

「副詞句」

「だけど、俺は王様の指よりも強いぜ」と、ヘビが言った。

---Pero soy más poderoso que el dedo de un rey. ---dijo la serpiente.

《Pero 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

---Pero ペロ conj. だけど

soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

más poderoso マス・ポデロソ adj. もっと強い

「補語」

que el dedo ケ・エル・デド adv. 指よりも

「副詞句」

de un rey デ・ウン・レイ adj. 王様の

「形容詞句」

---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

la serpiente. ラ・セルピエンテ n.f ヘビが

「主語」

王子様は微笑んだ。

El principito sonrió.

「主語」「動詞」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

sonrió. ソリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ

「動詞」

「それほど強くないね... 足さえ持っていないし... 旅行だって出来ないよ」

---No eres muy poderoso..., ni siquiera tienes patas..., ni siquiera puedes viajar...

《「動詞句」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」》

---No eres ノ・エス 2 単現・否定(ser)v.i ~でない

「動詞句」

muy poderoso..., マイ・ポデロソ adj. (否定文で) それほど強くない

「補語」

ni siquiera ニ・シキエラ adv. ~さえ... ない

「副詞句」

ni ニ conj. ~も... もない siquiera シキエラ adv. (否定の強調) ~さえ (ない)



XVII

tienes テイエネス 2 単現(tener)v.t 持っている

「動詞」

patas..., パタス pl.n.f 脚

「目的語」

ni siquiera ニ・シキエラ adv. 〜さえ... ない

「副詞句」

puedes viajar... プエデス・ビエハール 2 単現・可能(poder+不定詞)

v.i 旅行できる

「動詞句」



— Tu es une drôle de bête, lui dit-il enfin, mince comme un doigt...

「船よりも遠くまで、君を連れていけるぜ」と、へビは言った。

---Puedo llevarte más lejos que un navío ---dijo la serpiente.

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

## XVII

---Puedo llevarte プェト・ジェハル・テ 1 単現・可能(poder+不定詞)

v.t 君を連れていける

「動詞句」

más lejos マス・レホス adv. もっと遠くまで

「副詞句」

que un navío ケ・ウン・ナビオ adv. 船よりも

「副詞句」

---dijo ティハ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

la serpiente. ラ・セルピエnte n.f ヘビが

「主語」

ヘビは、金のブレスレットのように、王子様の足首の周りに巻き付いた。

Se enroscó alrededor del tobillo del principito como un brazalete de oro.

「動詞句」「副詞句」

Se enroscó セ・エンロスコ 3 単点(enroscarse)v.pr 巻き付いた

「動詞句」

alrededor del tobillo アルデトール・テル・トビシヨ adv. 足首の周りに

「副詞句」

del principito テル・プリンシピト adj. 王子様の

「形容詞句」

como un brazalete de oro. コモ・ウン・ブラサレ・テ・オ adv. 金のブレスレットのように「副詞句」

「俺は人に触って、その人がやってきたもとの場所に戻してやる」と、さらに言った。

---A quien toco, lo vuelvo a la tierra de donde salió ---dijo aún---

《「目的語」「動詞」, 「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「副詞」

---A quien ア・キエン pron その人を

「目的語」

toco, トコ 1 単現(tocar)v.t 触れる、触る

「動詞」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

vuelvo プェルボ 1 単現(volver)v.t 戻す

「動詞」

a la tierra ア・ラ・ティエラ adv. その土地へ

「副詞句」

de donde テ・ドンデ adv. そこから

「副詞句」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i やってきた

「動詞」

---dijo ティハ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

aún---. アウン adv. さらに

「副詞」

「だけど、君は純粹だし、星からやって来たんだ...」

Pero tú eres puro y vienes de una estrella...

《Pero「主語」「動詞」「補語」 y「動詞」「副詞句」》

Pero ペロ conj. しかし

tú トゥ pron 君は

「主語」

eres エレス 2 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

puro プーロ adj. 純粹な

「補語」

y イ conj. そして

## XVII

vienes ビエネス 2 単現(venir)v.i やって来た 「動詞」  
 de una estrella... デ・ウナ・エストレジャ adv. 星から 「副詞句」

王子様は、何も答えなかった。

El principito no respondió nada. 「主語」「動詞句」「目的語」  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 no respondió ノ・レスポ・ンディオ 3 単点・否定(responder)v.t 答えなかった 「動詞句」  
 nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

「花崗岩の地球の上でそれほど弱い君は、僕に哀れみを催させるよ。いつか君が、た  
 らなく自分の星が恋しくなったら、君を助けることが出来るよ。おれ、出来るんだ...」

---Me das lástima, tú, tan débil, sobre esta Tierra de granito. Puedo ayudarte si algún  
día extrañas demasiado tu planeta. Puedo...

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「主語」 | 「動詞句」「副詞節」 | 「動詞」》  
 ---Me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 das ダス 2 単現(dar)v.t 起こさせる 「動詞」  
 lástima, ラスティマ n.f 哀れみを 「直接目的語」  
 tú, トゥ pron 君は 「主語」  
 tan débil, タン・デビル adj. それほどか弱い 「形容詞句」  
 sobre esta Tierra de granito. ソブレ・エスタ・ティエラ・デ・グラニト  
 adv. 花崗岩の地球の上で 「副詞句」  
 Puedo ayudarte プエト・アユダール・テ 1 単現・可能(poder+不定詞)  
 v.t 君を助けることが出来る 「動詞句」  
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 algún día アルグン・ディア adv. いつか 「副詞句」  
 extrañas エクストラニャス 2 単現・近接未来(extrañar)v.t ～を恋しく思う 「動詞」  
 demasiado デマシアト adv. あまりにも 「副詞」  
 tu planeta. トゥ・プラネタ n.m 君の星を 「目的語」  
 Puedo... プエト 1 単現(poder)v.i 出来る 「動詞」

「ああ！よく分かったよ。」と、王子様は言った。「だけど、どうしていつも謎をかけるの？」

---¡Oh! Te he comprendido muy bien ---dijo el principito---, pero ¿por qué hablas  
siempre con enigmas? 《「間投」 | 「目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」,  
 《pero 「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

---¡Oh! オー int. ああ！ 「間投」  
 Te テ pron 君の言う事を 「目的語」

## XVIII

he comprendido エ・コンプレンディト 1 単現・完了形(comprender)v.t	分かった	「動詞句」
muy bien --- ムイ・ビエン adv.	よく	「副詞句」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el principito---, エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
pero ペロ conj.	しかし	
¿por qué ホル・ケ adv.	なぜ	「副詞句」
hablas アブラス 2 単現(hablar)v.i	話す	「動詞」
siempre シエンプレ adv.	いつも	「副詞」
con enigmas? コン・エニグマス adv.	謎をかけて	「副詞句」

「謎はすべて、俺が解く」と、へびが言った。

---Yo los resuelvo todos ---dijo la serpiente.

《「主語」「目的語」「動詞」「形容詞」》, 「動詞」「主語」

---Yo ジョ pron	おれが	「主語」
los ロス pron.pl	それらを	「目的語」
resuelvo レスエルボ 1 単現(resolver)v.t	解く	「動詞」
todos --- トロス adj.pl	すべての	「形容詞」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
la serpiente. ラ・セルピエンテ n.f	へびが	「主語」

そして彼らは口をつぐんだ。

Y quedaron en silencio.

Y 「動詞」「補語」

Y イ conj.	そして	
quedaron ケダロン 3 複点(quedar)v.i	～になった	「動詞」
en silencio. エン・シレンシオ adv.	無言に、静かに	「補語」

## XVIII

王子様は砂漠を横断したが、1 輪の花以外は何も出会わなかった。花卉が 3 枚の、まったくつまらない花に...

El principito atravesó el desierto y no encontró más que una flor. Una flor de tres pétalos. una flor de nada...

El principito エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
atravesó アトラベルソ 3 単点(atraversar)v.t	横断した	「動詞」
el desierto エル・デシエルト n.m	砂漠を	「目的語」
y イ conj.	そして、しかし	

## XVIII

no encontró の・エンコントロ 3 単点・否定(encontrar)v.t 出会わなかった	「動詞句」
más que una flor. マス・ケ・ウナ・フロール n.f 1 輪の花以外は何も	「目的語」
Una flor ウナ・フロール n.f 1 輪の花	「目的語」
de tres pétalos, デ・トレス・ペ・タロス adj. 花弁が 3 枚の	「形容詞句」
una flor ウナ・フロール n.f 1 輪の花	「目的語」
de nada... デ・ナダ adj. まったくつまらない	「形容詞句」



「こんにちは」と、王子様が言った。

--- <u>Buenos días</u> --- <u>dijo el principito.</u>	《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」
--- Buenos días ブエノス・ディアス adv. こんにちは	「挨拶」
--- dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

「こんにちは」と、花が言った。

--- <u>Buenos días</u> --- <u>dijo la flor.</u>	《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」
--- Buenos días ブエノス・ディアス adv. こんにちは	「挨拶」
--- dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la flor. ラ・フロール n.f 花が	「主語」

## XVIII

「人間たちは、どこにいますか？」と、王子様は丁重に尋ねた。

---¿Dónde están los hombres? ---preguntó cortésmente el principito.

《「副詞」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞」「主語」

---¿Dónde トンデ adv. どこに

「副詞」

están エスタン 3 複過(estar)v.i. ～にいる

「動詞」

los hombres? ロス・オンブレス pl.n.m. 人間たちは

「主語」

---preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t. 尋ねた

「動詞」

cortésmente コルテスメンテ adv. 礼儀正しく、丁重に

「副詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m. 王子様は

「主語」

花は、ある日キャラバンが通るのを見たことがあった。

Un día la flor había visto pasar una caravana.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

Un día ウン・デア adv. ある日

「副詞句」

la flor ラ・フロール n.f. 花は

「主語」

había visto アビア・ビスト 3 単線・完了形(ver)v.t. 見たことがあった

「動詞句」

pasar パサル 不定詞 v.i. (目的語の動作) 通る

「補語」

una caravana. ウナ・キャラバナ n.f. キャラバンが

「目的語」

「人間たちですって？6人か7人はいると思うわ」

---¿Los hombres? Creo que existen seis o siete.

《「確認」 | 「動詞」「目的語」》

---¿Los hombres? ロス・オンブレス pl.n.m. 人間たちですって？

「確認」

Creo クレオ 1 単現(creer)v.t. (+que+直説法) ～だと思う

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

existen エクシステン 3 複現(existir)v.i. いる、存在する

「動詞」

seis o siete. セイス・オ・シエテ pl.n.m. 6人か7人は

「主語」

何年も前に彼らも見ましたが、どこで彼らに出会えるかは全くわかりません。

Los he visto hace años. Pero no se sabe nunca dónde encontrarlos.

「目的語」「動詞句」「副詞句」 | Pero 「動詞句」「主語」

Los ロス pron. 彼らを

「目的語」

he visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t. 見た

「動詞句」

hace años. アセ・アニョス adv. 何年も前に

「副詞句」

Pero ペロ conj. だけど

no se sabe nunca ノ・セ・サベ・ヌカ 3 単現・否定(saberse)v.pr. 決して分からない

「動詞句」

dónde トンデ adv. どこで～するかということは

「主語」

## XIX

encontrarlos. エンコントラル・ロス 不定詞(encontrar+los)

v.t 彼らに出会う

「動詞句」

風が彼らを運んでいくんです。彼らには根がないんです。その事で、彼らはとても困っています。

El viento los lleva. No tienen raíces. Les molesta mucho no tenerlas.

「主語」「目的語」「動詞」 | 「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」

El viento エル・ビエント n.m 風が

「主語」

los ロス pl.pron 彼らを

「目的語」

lleva. ジェバ 3 単現(llevar)v.t 運んでいく

「動詞」

No tienen ノ・ティエネン 3 複現・否定(tener)v.t ない

「動詞句」

raíces. ライセス pl.n.f(raíz) 根が

「目的語」

Les レス pron 彼らに

「間接目的語」

molesta モस्ता 3 単現(molestar)v.t 迷惑をかける、調子を狂わす

「動詞」

mucho ムチョ adv. とても

「副詞」

no tenerlas. ノ・テネル・ラス 不定詞・否定(tener+las)

n. 根が無い事が

「主語」

「さようなら」と、王子様が言った。

---Adiós ---dijo el principito.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

---Adiós アディオス int. さようなら

「挨拶」

---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は「主語」

「さようなら」と、花が言った。

---Adiós ---dijo la flor.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

---Adiós アディオス int. さようなら

「挨拶」

---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

la flor. ラ・フロール n.f 花が

「主語」

## XIX

王子様は高い山に登った。

El principito subió a una alta montaña.

「主語」「動詞」「間接目的語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

subió スビョ 3 単点(subir)v.i (a に) 登った

「動詞」



## XIX

a una alta montaña. ア・ウン・アルタ・モンタニャ adv. 高い山に

「間接目的語」

彼が知っていたのは、彼の膝に達する 3 つの火山だけだった。

Las únicas montañas que había conocido eran los tres volcanes que le llegaban a la rodilla.

「主語」「動詞」「補語」

Las únicas montañas ラス・ウニカス・モンタニャス pl.n.f ほんの数個の山は

「主語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

único ウニコ adj. 唯一の、特別な (複数の特別な物の場合は únicos を使う)

había conocido アビ・ア・コノシト 3 単線・完了形(conocer)

v.t 知っていた

「動詞句」

eran エラン 3 複点(ser)v.i ～だった

「動詞」

los tres volcanes ロス・トレス・ボルカネス pl.n.m 3 つの火山

「補語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

llegaban ジェガバン 3 複線(llegar)v.i 達する

「動詞」

a la rodilla. ア・ラ・ロデイジャ adv. 膝に

「間接目的語」

彼は、休火山を腰かけとして使っていた。

Usaba el volcán apagado como taburete.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Usaba ユサバ 3 単線(usar)v.t 使っていた

「動詞」

el volcán エル・ボルカソ n.m 一つの火山を

「目的語」

apagado アパガト adj. 消えた、活気のない

「形容詞」

como taburete. コモ・タブレテ adv. 腰かけとして、スツール

「副詞句」

「このように高い山からならば」と、自分で思った。「惑星全体と全ての人間を一挙に見られるだろうな」

《Desde una montaña alta como ésta ---se dijo---, veré de un golpe todo el planeta y todos los hombres...》

《「副詞句」》, 「動詞句」, 《「動詞」「副詞句」「目的語」》

《Desde una montaña デステ・ウ・サ・モンタニャ adv. 山からならば

「副詞句」

alta como ésta アルタ・コモ・エスタ adj. このように高い

「形容詞句」

---se dijo---, セ・テイホ 3 単点(decirse)v.pr 自分で思った

「動詞句」

veré ベレ 1 単未(ver)v.t 見えるだろう

「動詞」

de un golpe デ・ウン・ゴルペ adv. 一気に、一挙に、一目で

「副詞句」

todo el planeta トト・エル・プラネタ n.m 惑星全体を

「目的語」

y イ conj. そして

todos los hombres...》トトス・ロス・オンブレス pl.n.m 全ての人間を

「目的語」



## XIX

しかしとても尖った岩の針しか見えなかった。

Pero sólo vio agujas de rocas bien afiladas.

Pero 「副詞」「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

sólo ソロ adv. ～だけ

「副詞」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た

「動詞」

agujas de rocas アグハス・デ・ロカス pl.n.f 岩の針を

「目的語」

bien afiladas. ビヤン・アフィラダス adj. とても尖った

「形容詞句」

afilado アフィラール v.t 鋭くする、研ぐ → afilado 過去分詞・受動 adj. 鋭くされた、尖った

「こんにちは」と、王子様はあてもなく言ってみた。

---Buenos días ---dijo al azar.

《「挨拶」》, 「動詞」「副詞句」

---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは

「挨拶」

---dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al azar. アル・アサル adv. 適当に、あてもなく

「副詞句」

「こんにちは、こんにちは、こんにちは…」と、こだまが答えた。

---Buenos días... Buenos días... Buenos días...---respondió el eco.

《「挨拶」「挨拶」「挨拶」》, 「動詞」「主語」

---Buenos días... ブエノス・デ・アス adv. こんにちは

「挨拶」

Buenos días... Buenos días... ブエノス・デ・アス・ブエノス・デ・アス

adv. こんにちは、こんにちは

「挨拶」

---respondió レスポンデオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

el eco. エル・コー n.m こだまが

「主語」

「君は誰？」と、王子様は言った。

---¿Quién eres? ---dijo el principito.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

---¿Quién キエン pron 誰

「補語」

eres? エレス 2 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

---dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

「君はだれ?... 君はだれ?...」と、こだまが答えた。

---¿Quién eres? ..., quién eres... ---respondió el eco.

《「補語」「動詞」 | 「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

---¿Quién キエン pron 誰

「補語」

## XIX

eres? ..., エレス 2 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
quién キェン pron 誰	「補語」
eres... エレス 2 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
---respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
el eco. エル・コー n.m こだまが	「主語」

「僕の友達になってちょうだい、僕は独りぼっちなんだ」と、王子様は言った。

---Sed amigos míos, estoy solo ---dijo el principito.

《「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

---Sed セッド 命・2 複現(ser)v.i ~になつてちょうだい	「動詞」
amigos míos, アミゴス・ミオス pl.n.m 僕の友達に	「補語」
estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である	「動詞」
solo ソロ adj. 孤独な、独りぼっちの	「補語」
---dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

「僕は独りぼっち...僕は独りぼっち...僕は独りぼっち...」と、こだまが答えた。

---Estoy solo..., estoy solo..., estoy solo ---respondió el eco.

《「動詞」「補語」...「動詞」「補語」...「動詞」「補語」...》, 「動詞」「主語」

---Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である	「動詞」
solo..., ソロ adj. 孤独な、独りぼっちの	「補語」
estoy solo..., estoy solo エストイ・ソロ・エストイ・ソロ	「動詞」「補語」...「動詞」「補語」
---respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
el eco. エル・コー n.m こだまが	「主語」

「なんて奇妙な惑星だろう!」と、その時王子様は思った。「干上がって、先が尖って、厳しそうだ。」

《¡Qué planeta tan raro! ---pensó entonces---. Es seco, puntiagudo y salado.

《「感嘆」》, 「動詞」「副詞」, 《「動詞」「補語」》

《¡Qué planeta ケ・プラネタ n.m なんていう惑星だ!	「感嘆」
tan raro! タン・ラロ adj. とても変わった、奇妙な	「形容詞句」
---pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」
entonces---. エントネセス adv. その時	「副詞」
Es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
seco, セコ adj. 干上がった	「補語」
puntiagudo プンティアグト adj. 先のとがった	「補語」

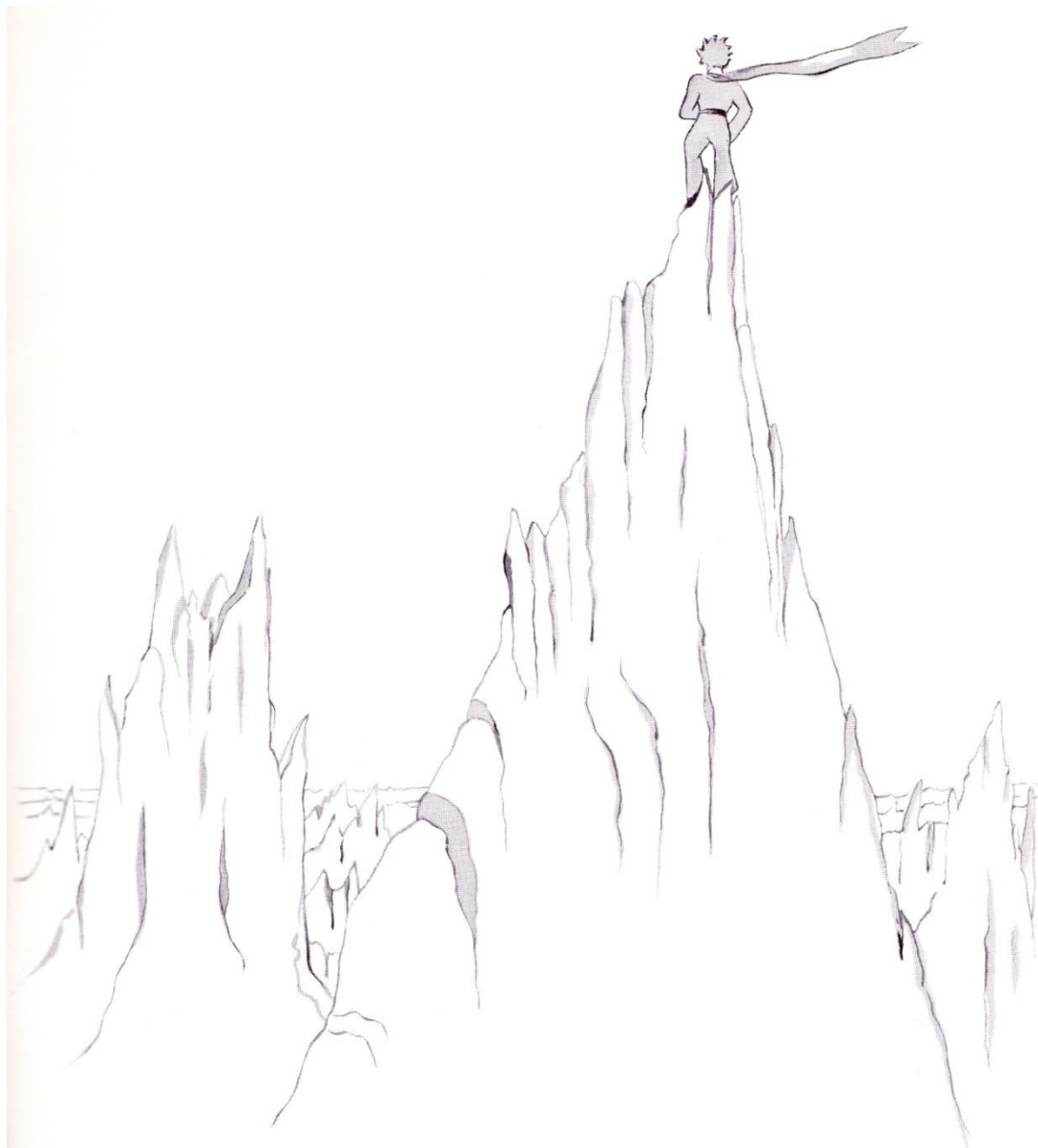
## XIX

y イ conj. そして

salado. サド adj. 厳しい、塩分を含んだ

「補語」

salado は塩分ではなくて、生活するには厳しい環境を表しているのだろう。



Cette planète est toute sèche, et toute pointue et toute salée.

それに人々は想像力に欠けている。人が言う事をそのまま繰り返して言っているだけだ。  
僕の星では、ぼくは一輪の花を持っていたけど、いつでも彼女が先に話しかけてくれた。

Y los hombres no tienen imaginación. Repiten lo que se les dice... En mi casa tenía una flor: era siempre la primera en hablar...》

《Y「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

「副詞句」「動詞」「目的語」：「動詞」「副詞」「補語」》

## XX

Y イ conj. そして

los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人々は 「主語」

no tienen ノ・ティエネン 3 複現・否定(tener)v.t ない 「動詞句」

imaginación. イマヒナシオン n.f 想像力 「目的語」

Repiten レピテン 3 複現(repetir)v.t 繰り返している 「動詞」

lo ロ pron そのことを 「目的語」

que ケ pron (直接目的語) ～する 「形容詞節」

se セ pron 人が 「主語」

les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」

dice... デイセ 3 単現(decir)v.t 言う 「動詞」

En mi casa エン・ミ・カーサ adv. 僕の星では 「副詞句」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」

una flor: ウナ・フロール n.f 一輪の花を 「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

la primera ラ・プリメラ n.f 1 番、最初 「補語」

en hablar...》エン・アブラール adv. 話す時は 「副詞句」

## XX

しかし王子様は、長い時間砂地や岩場や雪の上を歩いた後で、たまたま 1 本の道をついに発見したのだった。

Pero sucedió que el principito, habiendo caminado largo tiempo a través de arenas, de rocas y de nieves, descubrió al fin una ruta. Pero 「動詞句」「主語」

Pero ペロ conj. しかし

sucedió ステディオ 3 単点(suceder)v.i (que+直説法) ～が起こった、たまたま～した 「動詞句」

que ケ conj. ～ということが 「主語」

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

habiendo caminado ハビエント・カミト 現在分詞・完了形(caminar)

v.i 歩いた後で 「副詞句」

largo tiempo ラルコ・ティエンポ adv. 長い時間 「副詞句」

a través ア・トラベス adv. (de を) 通って 「副詞句」

de arenas, デ・アレナス pl.n.f 砂地を 「目的語」

de rocas デ・カス pl.n.f 岩場を 「目的語」

y イ conj. そして

de nieves, デ・ニエバス pl.n.f 雪の上を 「目的語」

## XX

descubrió デスカブリーオ 3 単点(descubrir)v.t 発見した

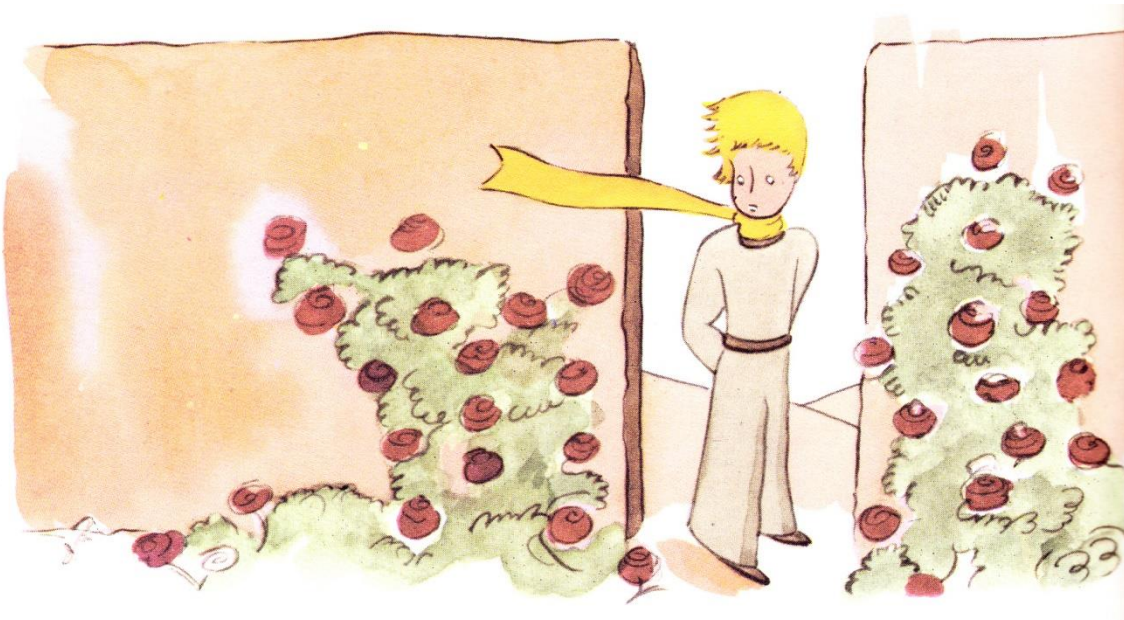
al fin アル・フィン adv. ついに

una ruta. ウナ・ルータ n.f 1 本の道を

「動詞」

「副詞句」

「目的語」



そして、すべての道は人々の住居まで続いているのだ。

Y todas las rutas van hacia la morada de los hombres.

Y 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Y イ conj. そして

todas las rutas トダス・ラス・ルタス pl.n.f 全ての道は

「主語」

van バン 3 複現(ir)v.i 〜に達する

「動詞」

hacia la morada アシア・ラ・モラダ adv. 住居の方へ

「副詞句」

hacia アシア prep 〜の方へ morada モラダ n.f 住居

de los hombres. デ・ロス・オンブレス adj. 人々の

「形容詞句」

「こんにちは」と、王子様が言った。

---Buenos días ---dijo.

《「挨拶」》, 「動詞」

---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは

「挨拶」

---dijo. デ・イホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

そこはバラの花が咲いた庭だった。

Era un jardín florido de rosas.

「動詞」 「補語」

Era エラ 3 単点 (ser) v.i 〜だった

「動詞」

un jardín ウン・ハルデ・イン n.m 庭

「補語」

florido de rosas. フロリト・デ・ロサス adj. バラの花が咲いた

「形容詞句」



## XX

el principito. エル・プリンスィト n.m 王子様は

「主語」

そして王子様は自分がとても哀れに感じた。彼の花は、王子様に、自分は宇宙の中でその種の唯一の花だと語っていたのだった。

Y se sintió muy desdichado. Su flor le había contado que era la única de su especie en el universo.

Y 「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Y イ conj. そして

se sintió セ・シンチオ 3 単点(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた 「動詞句」

muy desdichado. マイ・デステイチアド adj. とても哀れな、不幸な 「補語」

Su flor ス・フロール n.f 彼の花は 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

había contado アビ・ア・コンタド 3 単線・完了形(contar)v.t 語っていた 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

la única ラ・ウニカ n.f 唯一の花 「補語」

de su especie デ・ス・エスペシエ adj. その種の 「形容詞句」

en el universo. エン・エル・ウニベルソ adv. 宇宙の中で 「副詞句」

しかしここには、たった1つの庭の中に5000本のどれも良く似た花があるじゃあないか！

Y he aquí que había cinco mil, todas semejantes, en un solo jardín.

Y 「動詞」「副詞句」

Y イ conj. そして

he エ 1 単現(haber)v.t ある 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

había アビ・ア 3 単線(haber)v.t 持っている 「動詞」

cinco mil, シンコ・ミル pl.n. 5000 本 「目的語」

todas semejantes, トダス・セメハンテス

adj. どれも似たような 「形容詞句」

en un solo jardín. エン・ウン・ソロ・ハルディン adv. 一つの庭に 「副詞句」

「もしもこれを見たら、とても侮辱されたと感じるだろうな」と、王子様は思った。「ひどく咳をして、ばつの悪い立場から逃れるために死んだふりをするだろうな」

《Se sentiría bien vejada si viera esto ---se dijo---; tosería enormemente y aparentaría morir para escapar al ridículo.

《「動詞句」「補語」「副詞節」》, 「動詞句」, 《「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「副詞句」》



## XX

《Se sentiría セ・センチリア 3 単過未・推量(sentirse)v.pr 自分を〜だと感じるだろう 「動詞句」  
 bien vejada ビエン・ベハダ 過去分詞・受動.f(vejar) とても侮辱された 「補語」  
 si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」  
 viera ビエラ 接・3 単過・仮定法(ver)v.t 見たとする 「動詞」  
 esto エスト pron これを 「目的語」  
 ---se dijo---; セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 思った、自分に言った 「動詞句」  
 tosería トセリア 3 単過未・推量(toser)v.i 咳をするだろう 「動詞」  
 enormemente エノルメンテ adv. ひどく 「副詞」  
 y イ conj. そして  
 aparentaría +不定詞 アパレンタリア 3 単過未・推量(aparentar+不定詞)  
 v. 〜したふりをするだろう 「動詞句」  
 morir モリール 不定詞 v.i 死んだ 「動詞」  
 para +不定詞 パラ adv. 〜するために 「副詞句」  
 escapar エスカパール 不定詞 v.i のがれる 「動詞」  
 al ridículo. アル・リディクロ adv. ばつの悪い立場になるのを 「間接目的語」

そして僕は彼女の世話をするふりをしなければならなくなるだろうな。そうしなければ、僕にも屈辱を与えるために、本当に死んでしまうだろうから。

Y yo tendría que aparentar cuidarla, pues, si no, para humillarme a mí también, se dejaría verdaderamente morir...》 《Y 「主語」「動詞句」, 「副詞節」》

Y イ conj. そして  
 yo ヨ pron 僕は 「主語」  
 tendría que +不定詞 テントリア・ケ 1 単過未・推量(tener que+不定詞)  
 v. 〜しなければならないだろう 「動詞句」  
 aparentar +不定詞 アパレントアル 不定詞 v. 〜したふりをする 「動詞句」  
 cuidarla, クイダール・ラ 不定詞(cuidar+la)v.t 彼女の世話をする 「動詞句」  
 pues, フエス conj. 〜なので 「副詞節」  
 si no, シ・ノ adv. さもなければ 「副詞句」  
 para +不定詞 パラ adv. 〜するために 「副詞句」  
 humillarme ウジヤール・メ 不定詞(humillar+me)  
 v.t 僕に屈辱を与える 「動詞句」  
 a mí también, ア・ミ・タンビエン adv. ぼくにも 「副詞句」  
 se dejaría verdaderamente morir...》 セ・デハラ・ベルダデラメンテ・モリール  
 3 単過未・推量(dejarse+自動詞の不定詞 morir + verdaderamente)  
 v.pr 本当に死んでしまうだろう 「動詞句」



## XX

それから、王子様はさらに思った：「僕は、この世に唯一の花を持っているので豊かだと思っていた、けどありふれた花を一輪もっているだけなんだ」

Luego, se dijo aún: 《Me creía rico con una flor única y no poseo más que una rosa ordinaria.》  
 「副詞」「動詞句」「副詞」：《「動詞句」「補語」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」》  
 Luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」  
 se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」  
 aún: アウン adv. さらに 「副詞」  
 《Me creía クレイ 1 単線(creerse)v.pr 自分を～であると思っていた 「動詞句」  
 rico リコ adj. 豊かな 「補語」  
 con una flor única コン・ウナ・フロール・ウニカ adv. この世に唯一の花を持っているので 「副詞句」  
 y イ conj. けど  
 no poseo ノ・ポセ 1 単現・否定(poseer)v.t 持っていない 「動詞句」  
 más que una rosa マス・ケ・ウナ・ロサ n.f 一輪の花しか 「目的語」  
 ordinaria. オルティナリア adj.f ありふれた 「形容詞」

「あのバラと僕の膝に達する 3 個の火山。1 個の火山は永久に消えたままだろう。」

La rosa y mis tres volcanes que me llegan a la rodilla, uno de los cuales quizá está apagado para siempre. 《「主語」, 「主語」「副詞」「動詞」「補語」》  
 La rosa ラ・ロサ n.f あのバラは 「主語」  
 y イ conj. そして  
 mis tres volcanes ミス・トレス・ボルカネス pl.n.m 僕の 3 つの火山は 「主語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 me メ pron 僕の 「間接目的語」  
 llegan ジェガ 3 複現(llegar)v.i 届く 「動詞」  
 a la rodilla, ア・ラ・ロディージャ adv. 膝に 「間接目的語」  
 uno de los cuales ウノ・デ・ロス・クアレス n.m そのうちの一つは 「主語」  
 quizá キサ adv. たぶん 「副詞」  
 está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である 「動詞」  
 apagado アパガト adj. 消えた 「補語」  
 para siempre. パラ・シエンプレ adv. 永久に 「副詞句」

「現実には、僕は立派な王子なんかじゃない」

Realmente no soy un gran príncipe...》 「副詞」「動詞句」「補語」  
 Realmente レアルメンテ adv. 現実には 「副詞」  
 no soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」  
 un gran príncipe...》 ウン・グラン・プリンシペ n.m 立派な王子様 「補語」

## XXI

そして、草の上に横たわって、王子様は泣いた。

Y, tendido sobre la hierba, lloró.

Y 「副詞句」, 「動詞」

Y, イ conj. そして

tendido テンデイト 過去分詞(tenderse)v.pr 横たわって

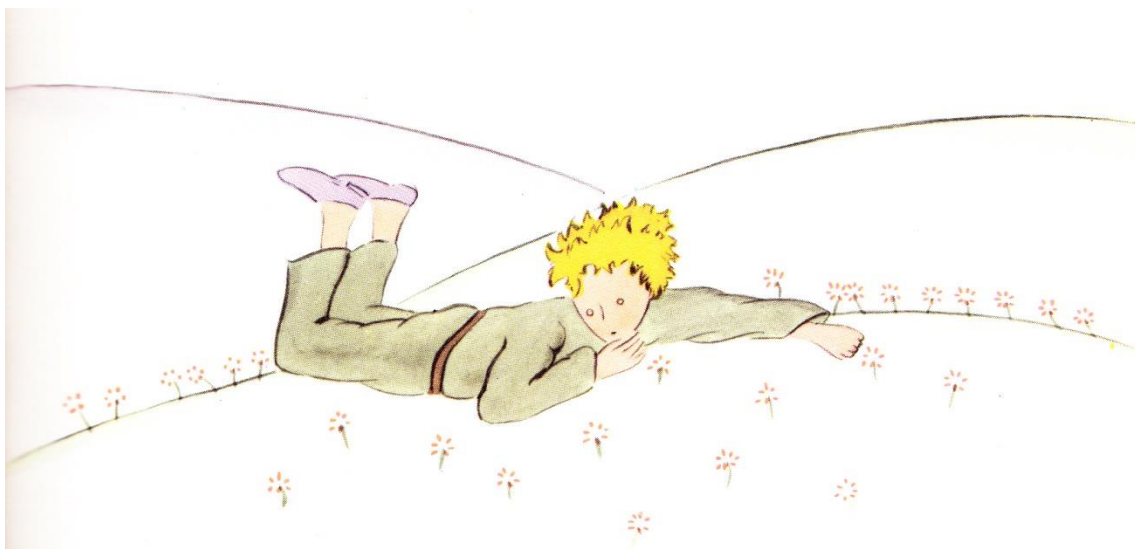
「副詞句」

sobre la hierba, ソブレ・ラ・イエルバ adv. 草の上に

「副詞句」

lloró. ショロ 3 単点(llorar)v.i 泣いた

「動詞」



## XXI

その時、キツネが現れた。

Entonces apareció el zorro.

「副詞」 「動詞」 「主語」

Entonces エントンス adv. その時

「副詞」

apareció アパレシオ 3 単点(aparecer)v.i 現れた

「動詞」

el zorro. エル・ソロ n.m キツネが

「主語」

「こんにちは」と、キツネが言った。

---Buenos días ---dijo el zorro.

《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」

---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは

「挨拶」

---dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el zorro. エル・ソロ n.m キツネが

「主語」

## XXI

「こんにちは」と、王子様は礼儀正しく答えて、振り返ったが、何も見えなかった。

---Buenos días ---respondió cortésmente el principito, que se dio la vuelta, pero no vio nada.

《「挨拶」》, 「動詞」 「副詞」 「主語」,

「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 pero 「動詞句」 「目的語」

---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは 「挨拶」

---respondió レスポ・ンデ・イオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

cortésmente コルテスマンテ adv. 礼儀正しく 「副詞」

el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

que ケ pron (主語) 彼は 「主語」

se セ pron 自分に 「間接目的語」

dio デ・イオ 3 単点(dar)v.t 与えた 「動詞」

la vuelta, ラ・ヴァルタ n.f 回転を 「直接目的語」

darse la vuelta → 振り返る

pero ペロ conj. しかし

no vio ノ・ビオ 3 単点・否定(ver)v.t 見えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」



「僕はここにいるよ」と、声が言った。「リンゴの木の下だよ」

---Estoy aquí.---dijo la voz---, bajo el manzano...

《「動詞」 「副詞」》, 「動詞」 「主語」, 《「副詞句」》

---Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i (存在) ～にいる 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

## XXI

---dijo ティイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 la voz---, ラ・ボス n.f 声が 「主語」  
 bajo バホ prep ~の下に 「副詞句」  
 el manzano... エル・マンサノ n.m リンゴの木 「目的語」

「君はだれ？」と、王子様は言った。「君はとても可愛いね」

---¿Quién eres? ---dijo el principito---. Eres muy lindo...  
 《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》  
 ---¿Quién キエン pron 誰 「補語」  
 eres? エルス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 ---dijo ティイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 Eres エルス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 muy lindo... ムイ・リント adj. とても可愛い 「補語」

「ぼくはキツネだよ」と、キツネが言った。

---Soy un zorro ---dijo el zorro. 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」  
 ---Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un zorro ウン・ゾロ n.m キツネ 「補語」  
 ---dijo ティイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」

「僕と一緒に遊ぼうよ！」と、王子様は彼に申し出た。「僕はこんなに悲しいんだよ」

---Ven a jugar conmigo ---le propuso el principito---. ¡Estoy tan triste!...  
 《「動詞句」「副詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》  
 ---Ven a jugar ベン・ア・ファール 命・2 単現・目的(venir a+不定詞)  
 v.i 遊びにおいて 「動詞句」  
 conmigo コンミゴ adv. 僕と一緒に 「副詞」  
 ---le レ pron 彼に 「間接目的語」  
 propuso プロポソ 3 単点(proponer)v.t 申し出た、提案した 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 ¡Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」  
 tan triste!... タン・トリステ adj. こんなに悲しい 「補語」

「君とは遊べないよ！」と、キツネが言った。「飼いならされていないから」

---No puedo jugar contigo ---dijo el zorro---. No estoy domesticado.

## XXI

《「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

---No puedo jugar ノ・プエト・ファール 1 単現・可能・否定(poder+不定詞)

v.i 遊べない

「動詞句」

contigo コンティゴ adv. 君とは

「副詞」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが

「主語」

No estoy domesticado. ノ・エストイ・トメステイカド 1 単現・受動・否定(domesticar)

v.t 飼いならされていない

「動詞句」

「ああ、ごめんね！」と、王子様は言った。

---¡Ah! Perdón ---dijo el principito.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」

---¡Ah! Perdón アー・ヘルトン adv. ああ、ごめんね！

「挨拶」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

しかし、よく考えてから、付け足した。

Pero, después de reflexionar, agregó:

Pero 「副詞句」「動詞」

Pero, ペロ conj. しかし

después de +不定詞 デスプエス・デ adv. ～した後で

「副詞句」

reflexionar, レフレクシヨナル 不定詞 v.i 熟考する

「動詞」

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け足した

「動詞」

『「飼いならす』って、どういう意味なの？』

---¿Qué significa 《domesticar》?

《「目的語」「動詞」「主語」》

---¿Qué ケ pron 何を

「目的語」

significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する

「動詞」

《domesticar》? トメスチカル 不定詞 v.t 『「飼いならす』は

「主語」

「きみはここの人じゃないね」と、キツネが言った。「何を探しているの？」

---No eres de aquí---dijo el zorro---. ¿Qué buscas?

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」》

---No eres ノ・エス 2 単現・否定(ser)v.i ～でない

「動詞」

de aquí デ・アキ adv. ここの出身の

「補語」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが

「主語」

¿Qué ケ pron 何を

「目的語」

## XXI

buscas? ブスカス 2 単現(buscar)v.t 探している 「動詞」

「人間たちを探しているんだ」と、王子様は言った。

---Busco a los hombres ---dijo el principito ---. 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」  
 ---Busco ブスコ 1 単現(buscar)v.t 探している 「動詞」  
 a los hombres ア・ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちを 「目的語」  
 ---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito ---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

『『飼いならす』って、どういう意味なの?』

¿Qué significa 《domesticar》? 《「目的語」「動詞」「主語」》  
 ¿Qué ケ pron 何を 「目的語」  
 significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する 「動詞」  
 《domesticar》? ドメスチカル 不定詞 v.t 『飼いならす』は 「主語」

「人間たちか」と、キツネが言った。「彼らは鉄砲を持っていて、狩りをするんだ。これは迷惑な話さ。それから雌鶏も飼っている。これは彼らの唯一のいいことだよ。君も雌鶏を探すのかい?」

---Los hombres ---dijo el zorro--- tienen fusiles y cazan. Es muy molesto. También crían gallinas. Es su único interés. ¿Buscas gallinas?

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」 y 「動詞」 | 「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

---Los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは 「主語」  
 ---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」  
 tienen ティエネン 3 複現(tener)v.t 持っている 「動詞」  
 fusiles フシレス pl.n.m 鉄砲を 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 cazan. カザン 3 複現(cazar)v.t 狩りをする 「動詞」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 muy molesto. ムイ・モレスト adj. とても迷惑な 「補語」  
 También タンビエン adv. その上に 「副詞」  
 crían カリアン 3 複現(criar)v.t 育てている、飼育している 「動詞」  
 gallinas. ガジナス pl.n.f 雌鶏 「目的語」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

## XXI

su único interés. ス・ウニコ・インテレス n.m 彼らの唯一の利点 「補語」  
 ¿Buscas ブスカス 2 単現(buscar)v.t 探す 「動詞」  
 gallinas? ガジナス pl.n.f 雌鶏を 「目的語」

「いや、探さない」と、王子様は言った。「僕は、友達を探しているんだ。『飼いならす』  
 って、どういう意味なの？」

---No ---dijo el principito---. Busco amigos. ¿Qué significa 《demestigar》?  
 《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「主語」》  
 ---No / adv. いや、探さない 「応答」  
 ---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 Busco ブスコ 1 単現(buscar)v.t 探している 「動詞」  
 amigos. アミゴス pl.n.m 友達を 「目的語」  
 ¿Qué ケ pron 何を 「目的語」  
 significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する 「動詞」  
 《domesticar》? ドメスチカル 不定詞 v.t 『飼いならす』は 「主語」

「それは、皆に忘れられ過ぎた事だよ」と、キツネは言った。「『絆を創る』という意味さ」

---Es una cosa demasiado olvidada ---dijo el zorro---. Significa 《crear lazos》.  
 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》  
 ---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 una cosa ウナ・コサ n.f 事 「補語」  
 demasiado olvidada デマシアト・オルビダダ adj.f 忘れられ過ぎた 「形容詞句」  
 ---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---. エル・ソロ n.m キツネが 「主語」  
 Significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する 「動詞」  
 《crear lazos》. クレアール・ラソス n. 『絆を創る』こと 「目的語」

「絆を創る？」

---¿Crear lazos? 《「動詞」「目的語」》  
 ---¿Crear クレアール 不定詞 v.t 創る 「動詞」  
 lazos? ラソス pl.n.m 絆、束縛 「目的語」

「そうだよ」と、キツネが言った。「僕にとって、君はまだよく似た 10 万人の少年の中の 1  
 人に過ぎないんだ。だから、僕は君が必要ではないし、君もまた、僕が必要ではない」

---Sí ---dijo el zorro---. Para mí no eres todavía más que un muchachito semejante a cien

## XXI

mil muchachitos. Y no te necesito. Y tú tampoco me necesitas.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞句」「副詞」「補語」

Y 「動詞句」「目的語」 | Y 「主語」「副詞」「目的語」「動詞」》

---Sí シ adv. そうだよ 「応答」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」  
 Para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」  
 no eres ノ・エス 2 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞句」  
 todavía トダ・ビヤ adv. まだ 「副詞」  
 más que un muchachito マス・ケ・ウン・ムチャチト n.m 1 人の少年にしか 「補語」  
 semejante セマンテ adj. 似ている 「形容詞」  
 a cien mil muchachitos. ア・シエン・ミル・ムチャチトス adv. 10 万人の少年に 「副詞句」  
 Y イ conj. そして  
 no ...necesito. ノ...ネシト 1 単現・否定(necesitar)v.t 必要でない 「動詞句」  
 te テ pron 君を 「目的語」  
 Y イ conj. そして  
 tú トゥ pron 君は 「主語」  
 tampoco タンポ・コ adv. 〜もまた〜ない 「副詞」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 necesitas. ネシタス 2 単現(necesitar)v.t 必要である 「動詞」

「君にとって、僕はよく似た 10 万匹キツネの中の 1 匹に過ぎないんだ。だけど、もし君が僕を飼いならしたら、お互いに必要になるだろう」

No soy para ti más que un zorro semejante a cien mil zorros. Pero, si me domesticas, tendremos necesidad el uno del otro.

《「動詞」「副詞句」「補語」 | Pero 「副詞節」「動詞」「目的語」「副詞句」》

No soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」  
 para ti パラ・ティ adv. 君にとって 「副詞句」  
 más que un zorro マス・ケ・ウン・ゾロ n.m 1 匹のキツネにしか 「補語」  
 semejante a cien mil zorros. セマンテ・ア・シエン・ミル・ゾロス  
 adj. 10 万匹のキツネに似ている 「形容詞句」  
 Pero, ペロ conj. しかし  
 si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 domesticas, ドメスティカス 2 単現(domesticar)v.t 飼いならす 「動詞」  
 tendremos テント・レモス 1 複未(tener)v.t 持つだろう 「動詞」



## XXI

necesidad ネシダト<sup>ド</sup> n.f 必要性 「目的語」  
 el uno del otro. エル・ウノ・デル・オトロ adv. 互いに 「副詞句」  
 el uno al otro 互いに

「君は、僕にとってこの世で唯一の存在になるだろうし、僕も、君にとってこの世で唯一の存在になるだろう」

Serás para mí único en el mundo. Seré para tí único en el mundo...

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

Serás セラス 2 単末(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」  
 para mí パラ・ミ adv. 僕にとって 「副詞句」  
 único en el mundo. ウニコ・エン・エル・ムント<sup>ド</sup> n.m この世で唯一の存在 「補語」  
 Seré セレ 1 単末(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」  
 para tí パラ・ティ adv. 君にとって 「副詞句」  
 único en el mundo... ウニコ・エン・エル・ムント<sup>ド</sup> n.m この世で唯一の存在 「補語」

「分かって来たよ」と、王子様は言った。

---Empiezo a comprender ---dijo el principito---. 《「応答」》, 「動詞」「主語」  
 ---Empiezo a comprender エンピ・エソ・ア・コンプレンデール 1 単現・開始(empezar a+不定詞)  
 v.t 分かって来たよ 「応答」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「一輪の花があつてね... それが僕を飼いならしたと思うんだ」

Hay una flor... Creo que me ha domesticado. 《「動詞」「目的語」... | 「動詞」「目的語」》  
 Hay アイ 3 単現(haber)v.t (存在) があつた 「動詞」  
 una flor... ウナ・フロール n.f 一輪の花 「目的語」  
 Creo クロ 1 単現(creer)v.t (que ~だと) 思う 「動詞」  
 que ケ conj. ~ということ を 「目的語」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 ha domesticado. ア・トメスティカト<sup>ド</sup> 3 単現・完了形(domesticar)  
 v.t 飼いならした 「動詞句」

「それはありうることだ」と、キツネは言った。「地球の上では、あらゆることが見られる」

---Es posible ---dijo el zorro---. ¡En la Tierra se ve toda clase de cosas...!  
 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞句」「主語」》  
 ---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

## XXI

posible ポシブル adj. ありうる、可能な	「補語」
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el zorro エル・ゾロ n.m キツネが	「主語」
¡En la Tierra エン・ラ・ティエラ adv. この地球上では	「副詞句」
se ve セ・ベ 3 単現・再帰受動(verse)v.pr 見られる	「動詞句」
toda clase de cosas...! トダ・クラセ・デ・コサス n.f (全体・単数扱い) 全ての事が	「主語」

「いや！地球上のことではないんだ」と、王子様が言った。

---¡Oh! <u>No es en la Tierra</u> --- <u>dijo el principito.</u>	《「感嘆」   「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」
---¡Oh! オー adv. おお	「感嘆」
No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない	「動詞句」
en la Tierra エン・ラ・ティエラ adv. 地球上の	「副詞句」
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

キツネは、大いに好奇心をそそられたように見えた。

<u>El zorro</u> <u>pareció</u> <u>muy intrigado.</u>	「主語」「動詞」「補語」
El zorro エル・ゾロ n.m キツネは	「主語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように見えた	「動詞」
muy intrigado. ムイ・イントリガト 過去分詞・受動(intrigar) adj. 大いに興味をそそられた	「補語」

「別の惑星での事だって？」

---¿ <u>En otro planeta?</u>	《「副詞句」》
---¿En otro planeta? エン・オトロ・プラネタ adv. 別の惑星で	「副詞句」

「そうだよ」

--- <u>¡Sí.</u>	《「応答」》
---Sí. シ adv. そうだ	「応答」

「その惑星に、獵師はいるのかい？」

---¿ <u>Hay cazadores en ese planeta?</u>	《「動詞」「目的語」「副詞句」》
---¿Hay アイ 3 単現(haber)v.t いる、ある	「動詞」
cazadores カサド레스 pl.n.m 漁師	「目的語」
en ese planeta? エン・エ・プラネタ adv. その惑星には	「副詞句」

## XXI

「いや、いないよ」

---No.

《「応答」》

---No. / adv. いや、いない

「応答」

「それは興味深いね！それじゃあ、雌鶏はいるの？」

---i Es interesante eso! ¿Y gallinas?

《「動詞」「補語」「主語」 | Y「目的語」》

---i Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

interesante インテリサンテ adj. 興味深い

「補語」

eso! エソ pron それは

「主語」

¿Y イ conj. それじゃあ

gallinas? ガジナス pl.n.f 雌鶏

「目的語」

Hay が省略されている

「いや、いないよ」

---No.

《「応答」》

---No. / adv. いや、いないよ

「応答」

「完璧なものなんて無いね」と、キツネはため息をついた。

---No hay nada perfecto ---suspiró el zorro.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

---No hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t ない

「動詞句」

nada perfecto ナダ・ペルフェクト pron 完璧なものは何も～ない

「目的語」

---suspiró ススピロ 3 単点(suspirar)v.i ため息をついた

「動詞」

el zorro. エル・ゾロ n.m キツネは

「主語」

しかしキツネは自分の考えに戻った：

Pero el zorro volvió a su idea:

Pero 「主語」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

el zorro エル・ゾロ n.m キツネは

「主語」

volvió ボルビョ 3 単点(volver)v.i (a に) 戻った

「動詞」

a su idea: ア・ス・イデア adv. 自分の考えに

「副詞句」

「僕の生活は単調なんだ。僕が雌鶏を追いかけると、人間たちが僕を追いかける。全ての雌鶏はお互いに似ているそして全ての人間もお互いに似ている」

---Mi vida es monótona. Cazo gallinas, los hombres me cazan. Todas las gallinas se parecen y todos los hombres se parecen.

## XXI

《「主語」「動詞」「補語」 |

「動詞」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」 y 「主語」「動詞句」》

---Mi vida ミ・ビダ n.f 僕の生活は 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 monótona. モトナ adj.f 単調な 「補語」  
 Cazo カ 1 単現(cazar)v.t 狩りをする、追いかける 「動詞」  
 gallinas, ガジナス pl.n.f 雌鶏を 「目的語」  
 los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは 「主語」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 cazan. カン 3 複現(cazar)v.t 追いかける 「動詞」  
 Todas las gallinas トダス・ラス・ガジナス pl.n.f 全ての雌鶏は 「主語」  
 se parecen セ・パレン 3 複現(parecerse)v.pr お互いに似ている 「動詞句」  
 y イ conj. そして  
 todos los hombres トダス・ロス・オンブレス pl.n.m 全ての人間は 「主語」  
 se parecen. セ・パレン 3 複現(parecerse)v.pr お互いに似ている 「動詞句」

「だから僕はちょっとうんざりしているんだ。だけど、もし君が僕を飼いならしてくれたら、僕の生活は沢山の太陽で照らされたみたいになるだろう。」

Me aburro, pues, un poco. Pero, si me domesticas, mi vida se llenará de sol.

《「主語」 pues 「動詞句」「副詞句」 | Pero 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」》

Me aburro, メ・アブロ 1 単現(aburrirse)v.pr うんざりしている、退屈した 「動詞句」  
 pues, フェス conj. だから  
 un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」  
 Pero, ペロ conj. だけど  
 si シ conj. もし~ならば 「副詞節」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 domesticas, ドメスカス 2 単現(domesticar)v.t 飼い馴らす 「動詞」  
 mi vida ミ・ビダ n.f 僕の生活は 「主語」  
 se llenará セ・ジェラ 3 単末(llenarse)v.pr (de で) 一杯になるだろう 「動詞句」  
 de sol. デ・ソル adv. 太陽で 「副詞句」

「他のどんな音とも違うようになっていく足音を聞き分けられるようになるだろう。」

Conoceré un ruido de pasos que será diferente de todos los otros. 《「動詞」「目的語」》

Conoceré コネレ 1 単末(conocer)v.t (音を) 聞き分けられるようになるだろう 「動詞」  
 un ruido ウン・ルト n.m 物音を 「目的語」  
 de pasos デ・パソス adj. 歩くときの 「形容詞句」

## XXI

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

será セラ 3 単末(ser)v.i ～になるだろう

「動詞」

diferente ディフェレンテ adj. 異なる

「補語」

de todos los otros. デ・トドス・ロス・オトス

adv. 他のどんな音とも

「副詞句」

注釈：現時点では、王子様の足音は特別な意味が無いので、他の音と区別が出来ない。王子様がキツネを飼いならし始めると、少しずつ足音が特別なものになっていく。

「他の足音は、僕を地面の下へ隠れさせる。」

Los otros pasos me hacen esconder bajo la tierra.

《「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」》

Los otros pasos ロス・オトス・パス pl.n.m 他の足音は

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

hacen esconder アセン・エスコンデール 3 複現・使役(hacer+O+不定詞)

v.t O を～隠れさせる

「動詞句」

bajo la tierra. バホ・ラ・ティエラ adv. 地面の下へ

「副詞句」

「君の足音は、音楽のように僕を巣穴の外へ呼び出すだろう。その上、ほら見てごらん！あそこに、見えるだろう、小麦畑が？」

El tuyo me llamará fuera de la madriguera, como una música. Y además, ¡mira! ¿Ves, allá, los campos de trigo?

《「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞」 | 「動詞」「副詞」「目的語」》

El tuyo エル・トヨ pron 君の足音は

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

llamará ジャマラ 3 単末(llamar)v.t 呼び出すだろう

「動詞」

fuera de la madriguera, フェラ・デ・ラ・マトリゲラ adv. 巣穴の外へ

「副詞句」

como una música. コモ・ウナ・ムシカ adv. 音楽のように

「副詞句」

Y además, イ・アデマス adv. その上

「副詞句」

¡mira! ミラ 命・2 単現(mirar)v.t 見てごらん

「動詞」

¿Ves, ベス 2 単現・疑問文(ver)v.t 見えるだろう？

「動詞」

allá, アジャ adv. あそこに

「副詞」

los campos de trigo? ロス・カンポス・デ・トリゴ pl.n.m 小麦畑が

「目的語」

「僕はパンを食べないから、僕にとって小麦は役に立たない。だから小麦畑は僕に何も思いつくさせることはないんだ。」

Yo no como pan. Para mí el trigo es inútil. Los campos de trigo no me recuerdan nada.

## XXI

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」  
「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Yo ジョ pron 僕は	「主語」
no como ノ・コモ 1 単現・否定(comer)v.t 食べない	「動詞句」
pan. パン n.m パンを	「目的語」
Para mí パラ・ミ adv. 僕にとって	「副詞句」
el trigo エル・トリゴ n.m 小麦は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
inútil. イヌ・ティル adj. 役に立たない	「補語」
Los campos de trigo ロス・カンポ・ス・デ・トリゴ pl.n.m 小麦畑は	「主語」
no ...recuerdan ノ...レクエルダソ 3 複現・否定(recordar)v.t (a+人 に) 思い出させない	「動詞句」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
nada. ナダ pron 何も (~ない)	「直接目的語」

「それはとても悲しいことだよ。だけど、君の髪は金色だ。だから君が僕を飼いならしてくれたら、素晴らしい事になるだろう」

i Es bien triste! Pero tú tienes cabellos color de oro. Cuando me hayas domesticado, i será maravilloso!

《「動詞」「補語」   Pero 「主語」「動詞」「目的語」   「副詞節」, 「動詞」「補語」》	
i Es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
bien triste! ビ・ヤソ・トリステ adj. とても悲しい	「補語」
Pero ペロ conj. しかし	
tú トゥ pron 君は	「主語」
tienes テイエス 2 単現(tener)v.t (身体的特徴が) ある	「動詞」
cabellos カベシヨス pl.n.m 頭髪	「目的語」
color de oro. コロール・デ・オロ adj. 金色の	「形容詞句」
Cuando クワント conj. ~すると	「副詞節」
me メ pron 僕を	「目的語」
hayas domesticado, アヤス・トメスチカト 接・2 単現・完了形 (仮定法) (domesticar)	
v.t 飼い馴らした (とする)	「動詞句」
i será セラ 3 単未(ser)v.i ~になるだろう	「動詞」
maravilloso! マラビシヨソ adj. 素晴らしい	「補語」

「金色の小麦は、君を思い出させてくれるだろう。そうすると、僕は、小麦の中を吹き渡る風の音が好きになるだろうな」

El trigo dorado será un recuerdo de ti. Y amaré el ruido del viento en el trigo...

## XXI

《「主語」「動詞」「補語」 | Y「動詞」「目的語」》

El trigo dorado エル・トリゴ・ド・ラト n.m 金色の小麦は 「主語」  
 será セラ 3 単未(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」  
 un recuerdo de ti. ウン・レクエルト・デ・ティ n.m 君の思い出 「補語」  
 Y イ conj. そして  
 amaré アマレ 1 単未(amar)v.t 好きになるだろう 「動詞」  
 el ruido del viento エル・ルイト・デル・ビエント n.m 風の音を 「目的語」  
 en el trigo... エン・エル・トリゴ adv. 小麦の中の 「副詞句」

キツネは黙り込んで、長いこと王子様を見つめた。

El zorro calló y miró largo tiempo al principito.

「主語」「動詞」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」

El zorro エル・ゾロ n.m キツネは 「主語」  
 calló カジョ 3 単点(callar)v.i 黙った 「動詞」  
 y イ conj. そして  
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.i 見た 「動詞」  
 largo tiempo ラルコ・ティエンポ adv. 長く 「副詞句」  
 al principito. アル・プリンシポ n.m 王子様を 「目的語」

「お願いだから、僕を飼いならしておくれよ」と、言った。

---¡Por favor..., domésticame! ----dijo. 《「依頼」「動詞句」》, 「動詞」  
 ---¡Por favor..., ホル・ファボール adv. お願いだから 「依頼」  
 domésticame! トメスティカ・メ 命・2 単現(domesticar+me)  
 v.t 僕を飼いならしておくれよ 「動詞句」  
 ----dijo. ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「僕もそうしたいよ」と、王子様は答えた。「だけどあまり時間が無いんだ。友達を見つけたり、沢山の事を知らなければならぬんだ」

---Me gustaría ---respondió el principito---, pero no tengo mucho tiempo. Tengo que encontrar amigos y conocer muchas cosas.

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《pero「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」》

---Me gustaría メ・グスタリア 条・1 単現(gustar)v.t できれば僕もそうしたいよ 「動詞句」  
 ---respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 el principito---, エル・プリンシポ n.m 王子様は 「主語」  
 pero ペロ conj. だけど

## XXI

no tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t	「動詞句」
mucho tiempo. ムチョ・ティエンポ n.m (否定文で) あまり時間が	「目的語」
Tengo que +不定詞 テンゴ・ケ 1 単現(tener que+不定詞)v. ～しなければならない	「動詞句」
encontrar エンコントラル 不定詞 v.t 見つける	「動詞句」
amigos アミゴス pl.n.m 友達を	「目的語」
y イ conj. そして	
conocer コノセール 不定詞 v.t 知る	「動詞句」
muchas cosas. ムチャス・コサス pl.n.f 沢山の事を	「目的語」

「飼いならされた物事しか分からないんだよ」と、キツネは言った。「人間たちは、もう、お互いによく知り合うための時間が全くないんだ」

---Sólo se conocen las cosas que se domestican ---dijo el zorro---. Los hombres ya no tienen tiempo de conocer nada.

《「主語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞」》

---Sólo ソロ adv. ～だけ	「副詞」
se conocen セ・コネン 3 複現・再帰受動(conocerse)v.pr 知られる	「動詞句」
las cosas ラス・コサス pl.n.f 物事は	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
se domestican セ・トメスチカン 3 複現・再帰受動(domesticarse)	
v.pr 飼い馴らされる	「動詞句」
→ Sólo を含めて「主語」は「飼い馴らされるものだけが」という意味になる	
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el zorro---. エル・ソロ n.m キツネは	「主語」
Los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは	「主語」
ya ヤー adv. もう	「副詞」
no tienen ノ・ティエン 3 複現・否定(tener)v.t ない	「動詞句」
tiempo ティエンポ n.m 時間が	「目的語」
de conocer デ・コノセール adj. 知り合うための	「形容詞句」
nada. ナダ adv. 全く	「副詞」

人間たちは、商人のところで出来上がったものを買って来る。だけど、友達を売る商人はいないから、人間たちはもう友達がいないんだ。友達が欲しいのなら、僕を飼いならしておくれよ！

Compran cosas hechas a los mercaderes. Pero como no existen mercaderes de amigos, los hombres ya no tienen amigos. Si quieres un amigo, ¡doméstícame!

「動詞」「目的語」「副詞句」 | Pero 「副詞節」「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」



## XXI

「副詞節」, 「動詞句」

Compran	コンプ <sup>ラ</sup> ン 3 複現(comprar)v.t	(人間たちは) 買ってくる	「動詞」
cosas	コサス pl.n.f	物を	「目的語」
hechas	エチャス 過去分詞(hacer)adj.f.pl	出来上がった、作られた	「形容詞」
a los mercaderes.	ア・ロス・メルカデレス adv.	商人の所で	「副詞句」
Pero	ペロ conj.	しかし	
como	コモ conj.	～なので	「副詞節」
no existen	ノ・エキステン 3 複現・否定(existir)v.i	～がない	「動詞句」
mercaderes de amigos,	メルカデレス・デ・アミゴス pl.n.m	友達を売る商人は	「主語」
los hombres	ロス・オンブレス pl.n.m	人間たちは	「主語」
ya	ヤ adv.	もう	「副詞」
no tienen	ノ・ティエネン 3 複現・否定(tener)v.t	持っていない	「動詞句」
amigos.	アミゴス pl.n.m	友達を	「目的語」
Si	シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
quieres	キエス 2 単現(querer)v.t	欲しい	「動詞」
un amigo,	ウン・アミゴ n.m	友達を	「目的語」
¡doméstícame!	ドメスチカ・メ 命・2 単現・依頼(domesticar+me)		
v.t		僕を飼いならしておくれ!	「動詞句」

「何をすればいいの？」と、王子様は言った。

---¿Qué hay que hacer? ---dijo el principito.

《「目的語」「動詞」「形容詞句」》, 「動詞」「主語」

---¿Qué	ケ pron	何を	「目的語」
hay	アイ 3 単現(haber)v.t	～がある	「動詞」
que hacer?	ケ・アセル adj.	するべき	「形容詞句 : Qué」
「するべき何があるの？」→「何をすればいいの？」			
---dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el principito.	エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」

「忍耐強いことが必要だね」と、キツネが答えた。

---Hay que ser paciente ---respondió el zorro---

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

---Hay	アイ 3 単現(haber)v.t	～がある	「動詞」
que	ケ conj.	～ということ	「目的語」
ser	セル 不定詞 v.i	～でいるべき	「形容詞」
paciente	パシエンテ adj.	忍耐強い	「補語」
---respondió	レスポ <sup>ン</sup> ディ <sup>オ</sup> 3 単点(responder)v.t	答えた	「動詞」

## XXI

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが

「主語」

「最初のうちは、僕から少し離れて、こんな風に草の中に座ったらいいいよ。僕は、君を横目で見ただろうけど、君は何も言ってはいけないよ」

Te sentarás al principio un poco lejos de mí, así, en la hierba. Te miraré de reajo y no dirás nada. 《「動詞句」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」》

Te sentarás テ・センタラス 2 単未・勧誘(sentarse)v.pr 座ったらいいいよ 「動詞句」

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは 「副詞句」

un poco lejos ウン・ポコ・レホス adv. 少し遠くに 「副詞句」

de mí, テ・ミ adv. 僕から 「副詞句」

así, アシ adv. こんな風に 「副詞句」

en la hierba. エン・ラ・イエルバ adv. 草の中に 「副詞句」

Te テ pron 君を 「目的語」

miraré ミラレ 1 単未(mirar)v.t 見ただろう 「動詞」

de reajo テ・レホ adv. 横目で 「副詞句」

y イ conj. そして

no dirás ノ・ディラス 2 単未・否定・勧誘(decir)v.t 言ってはいけない 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

「言葉というものは、誤解のもとなんだ。それでも、毎日、少しずつ近くに座れるようになるよ」

La palabra es fuente de malentendidos. Pero, cada día, podrás sentarte un poco más cerca... 《「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

La palabra ラ・パラブラ n.f 言葉というものは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

fuelle フェンテ n.f 泉、出所 「補語」

de malentendidos. テ・マルエンテンディトス adj. 誤解の 「形容詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

cada día, カダ・デア adv. 毎日 「副詞句」

podrás sentarte ポドラス・センタルテ 2 単未・可能(poder+不定詞 sentarse)

v.pr 座れるようになるだろう 「動詞句」

un poco más cerca... ウン・ポコ・マス・セルカ adv. 少しずつ近くに 「副詞句」

次の日、王子様が戻って来た。

Al día siguiente volvió el principito.

「副詞句」「動詞」「主語」

Al día siguiente アル・デア・シギエンテ adv. 次の日に

「副詞句」

## XXI

volvió ボルビョ 3 単点(volver)v.i 戻って来た 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「同じ時間に来ていたら、もっと良かっただろうね」と、キツネが言った。「もし君が、例えば 4 時に来るとすると、僕は 3 時には幸せになり始めるだろう」

---Hubiese sido mejor venir a la misma hora ---dijo el zorro---. Si vienes, por ejemplo, a las cuatro de la tarde, comenzaré a ser feliz desde las tres.

《「動詞句」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」, 「動詞句」「補語」「副詞句」》

---Hubiese sido ウビエシド 接・3 単過・完了形(仮定法)(ser)

v.i ~であったらこう 「動詞句」

mejor メホル adj. もっと良い 「補語」

venir ウェニール 不定詞 v.i 来ることが 「主語」

a la misma hora ア・ラ・ミスマ・オーラ adv. 同じ時間に 「副詞句」

---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」

Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

vienes, ビエネス 2 単現(venir)v.i 来る 「動詞」

por ejemplo, ホル・エハンプロ adv. 例えば 「副詞句」

a las cuatro de la tarde, ア・ラス・クワトロ・デ・ラ・タルデ adv. 午後 4 時に 「副詞句」

comenzaré a ser コメンサレ・ア・セール 1 単未・開始(comenzar a+不定詞)

v.i ~になり始めるだろう 「動詞句」

feliz フェリス adj. 幸せな 「補語」

desde las tres. デスデ・ラス・トレス adv. 3 時から 「副詞句」

「時間が進むほど、僕はますます幸せだと感じるようになるだろう。4 時になると、そわそわして落ち着かなくなり、幸福の代価に気が付くことになるだろう。」

Cuanto más avance la hora, más feliz me sentiré. A las cuatro me sentiré agitado e inquieto; ¡descubriré el precio de la felicidad!

《「副詞節」, 「補語」「動詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「補語」; 「動詞」「目的語」》

Cuanto クワント conj. (más...más) ~すればするほど... 「副詞節」

más マス adv. もっと 「副詞」

avance アバンセ 接・3 単現(avanzar)v.i 進む 「動詞」

la hora, ラ・オーラ n.f 時間が 「主語」

más feliz マス・フェリス adj. ますます幸せな 「補語」

me sentiré. メ・センフレ 1 単未(sentirse)v.pr 感じるようになるだろう 「動詞句」

A las cuatro ア・ラス・クワトロ adv. 4 時になると 「副詞句」

## XXI

me sentiré. メ・センフレ 1 単未(sentirse)v.pr	感じるようになるだろう	「動詞句」
agitado アジタド adj.	そわそわした	「補語」
e エ conj.	そして	
inquieto; インキエト adj.	落ち着きがない	「補語」
¡descubriré デスクブリエ 1 単未(descubrir)v.t	発見するだろう	「動詞」
el precio エル・プレシオ n.m	代価、報い	「目的語」
de la felicidad! デ・ラ・フェリシダド adj.	幸福の	「形容詞句」

「だけど君が、時間を決めずにやって来ると、僕は何時に心の準備をしたらいかがが分からなくなってしまうだろう。習わしが必要なんだよ。」

Pero si vienes a cualquier hora, nunca sabré a qué hora preparar mi corazón... Los ritos son necesarios. 《Pero 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj.	だけど	
si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
vienes ビエネス 2 単現(venir)v.i	やって来る	「動詞」
a cualquier hora, ア・クワルキエル・オラ adv.	どんな時間にも	「副詞句」
	不特定の時間に	
nunca sabré ヌンカ・サブレ 1 単未・否定(saber)v.t	決して分からないだろう	「動詞句」
a qué hora ア・ケ・オラ adv.	何時に～するかということ	「目的語」
de qué hora 何時から para qué hora 何時までに hasta qué hora 何時まで		
preparar プレパラル 不定詞 v.t	準備すべきである	「動詞」
mi corazón... ミ・コラソン n.m	心臓、心	「目的語」
Los ritos ロス・リトス pl.n.m	習わし、儀式が	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
necesarios. ネセサリオス adj.pl	必要な	「補語」

習わし：

しきたり、風習、習慣の意味。慣わしとも書く。

『『習わし』って、何のこと？』と、王子様は言った。

---¿Qué es un rito? --- <u>dijo el principito.</u>	《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」
---¿Qué ケ pron 何	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
un rito? ウン・リト n.m 習わしは	「主語」
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

習わし：

## XXI



「それも、忘れられ過ぎたものさ」と、キツネが言った。

---Es también algo demasiado olvidado ---dijo el zorro---

《「動詞」「副詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

también タンビエン adv. もまた

「副詞」

algo アルゴ pron 何か、もの

「補語」

demasiado olvidado デマシアド・オルビダド adj. 忘れられ過ぎた

「形容詞句」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが

「主語」

「それは、ある 1 日を他の日とは違う 1 日にしたり、ある時間を他の時間とは違う時間に  
するものだよ」

Es lo que hace que un día sea diferente de los otros días; una hora, de las otras horas.

《「動詞」「補語」》

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

lo ロ pron もの

「補語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

hace アセ 3 単現・使役(hacer que+接続法)v.t ~にさせる

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

un día ウン・デア n.m ある日が

「主語」

sea セア 接・3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

## XXI

diferente ディフェレンテ adj. (de と) 違った、異なった 「補語」

de los otros días; デ・ロス・オトロス・ディアス

adv. 他の日とは 「副詞句」

una hora, ウン・オラ n.f ある時間が 「主語」

de las otras horas. デ・ラス・オTRAS・オラス adv. 他の時間とは 「副詞句」

「例えば、獵師たちの間にはある習わしがある。彼らは、村の娘たちと木曜日にダンスをするんだ」

Entre los cazadores, por ejemplo, hay un rito. El jueves bailan con las muchachas del pueblo. 《「副詞句」, 「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「副詞句」》

Entre los cazadores, エントレ・ロス・カサドレス adv. 獵師たちの間には 「副詞句」

por ejemplo, ポル・エヘンプロ adv. 例えば 「副詞句」

hay アイ 3 単現(haber)v.t ~がある 「動詞」

un rito. ウン・リト n.m ある習わしが 「目的語」

El jueves エル・フエベス adv. 木曜日には 「副詞句」

bailan バイラン 3 複現(bailar)v.i ダンスをする 「動詞」

con las muchachas コン・ラス・ムチャヤス adv. 娘たちと 「副詞句」

del pueblo. デル・プエブロ adj. 村の 「形容詞句」

「すると、木曜日は素晴らしい1日になるんだ。僕は、ブドウ畑まで散歩に行くのさ」

El jueves es, pues, un día maravilloso. Voy a pasearme hasta la viña.

《「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」》

El jueves エル・フエベス n.m 木曜日は 「主語」

es, エス 3 単現(ser)v.i ~になる 「動詞」

pues, プエス adv. そうすると、それで 「副詞」

un día maravilloso. ウン・ディア・マラビジョソ n.m 素晴らしい1日 「補語」

Voy a pasearme ボイ・ア・パセアル・メ 1 単現・意思(ir a+不定詞 pasearse)

v.pr 散歩に行くんだ 「動詞句」

hasta la viña. ハスタ・ラ・ビーニャ adv. ブドウ畑まで 「副詞句」

「もし漁師たちが決まった日にダンスをしなかったら、毎日が似たようなものになって、僕には休暇が無くなってしまうだろう」

Si los cazadores no bailaran en día fijo, todos los días se parecerían y yo no tendría vacaciones. 《「副詞節」, 「主語」「動詞句」 y 「主語」「動詞句」「目的語」》

Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

los cazadores ロス・カサドレス pl.n.m 獵師たちが 「主語」

## XXI

no bailaran ノ・バイラン 接・3 複過・否定（仮定法）(bailar)

v.i ダンスをしなかった

「動詞句」

en día fijo, エン・デア・フィホ adv. 決まった日に

「副詞句」

todos los días ト・ス・ロス・デア・ス pl.n.m 毎日が

「主語」

se parecerían セ・パレリアン 3 複過未・可能性(parecerse)

v.pr 同じようになってしまおうだろう

「動詞句」

y イ conj. そして

yo ヨ pron 僕は

「主語」

no tendría ノ・テントリア 1 単過未・否定・可能性(tener)v.t 無くなってしまうだろう 「動詞句」

vacaciones. バカシオネ pl.n.f 休暇が

「目的語」



このようにして王子様はキツネを飼い馴らした。そして出発の時間が近づいてきた時：

Así el principito domesticó al zorro. Y cuando se acercó la hora de la partida:

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 | Y 「副詞節」

Así アシ adv. このように

「副詞」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

domesticó ト・メスチ 3 単点(domesticar)v.t 飼い馴らした

「動詞」

## XXI

al zorro. アル・ゾロ n.m	キツネを	「目的語」
Y イ conj.	そして	
cuando クワント conj.	～する時	「副詞節」
se acercó セ・アセルロ 3 単点(acercarse)v.pr	近づいてきた	「動詞句」
la hora ラ・オラ n.f	時が	「主語」
de la partida: デ・ラ・パルチダ adj.	出発の	「形容詞句」

「ああ！」と、キツネが言った。「泣き出しそうだよ」

---¡Ah!... --- <u>dijo el zorro</u> ---. <u>Voy a llorar</u> .	《「間投」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》
---¡Ah!... アア int. ああ	「間投」
---dijo テ`イホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが	「主語」
Voy a llorar. ボイ・ア・ジョラル 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)	
v.i 泣きだしそうだ	「動詞句」

「君自身のせいだよ」と、王子様は言った。「僕は君を不幸にしようなんて思っていなかった。そうじゃなくて、君が僕に飼い馴らして欲しいと言ったんだよ」

---Tuya es la culpa ---dijo el principito---. No deseaba hacerte mal, pero quisiste que te domesticara...	《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「補語」, pero 「動詞」「目的語」》
---Tuya トゥヤ adj. 君の	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
la culpa ラ・クルパ n.f 過ちは	「主語」
---dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
No deseaba hacerte ノ・デセアバ・アセルテ 1 単線・願望・否定(desear+不定詞+te)	
v.t (hacer+O+C) O を C にしようと思わなかった	「動詞句」
mal, マル adj. 不幸な	「補語」
pero ペロ conj. しかし、そうではなくて	
quisiste キステ 2 単点(querer)v.t 望んだ	「動詞」
que ケ conj. ~ということを	「目的語」
te テ pron 君を	「目的語」
domesticara... ドメシカラ 接・1 単過(domesticar)v.t 飼い馴らす	「動詞」

「その通りだよ」と、キツネが言った。

---Sí ---dijo el zorro.	《「応答」》, 「動詞」「主語」
-------------------------	------------------



## XXI

---Sí シ adv. その通り 「応答」  
 ---dijo ティ 体 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」

「それなのに、君は泣きだしそうだとするの？」と、王子様は言った。

---¡Pero vas a llorar! ---dijo el principito. 《Pero 「動詞句」》, 「動詞」「主語」  
 ---¡Pero ヘロ conj. しかし  
 vas a llorar! バス・ア・ジョラル 2 単現・近接未来(ir a+不定詞)  
 v.i 泣きだしそうだ 「動詞句」  
 ---dijo ティ 体 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「その通りだよ」と、キツネが言った。

---Sí ---dijo el zorro. 《「応答」》, 「動詞」「主語」  
 ---Sí シ adv. その通り 「応答」  
 ---dijo ティ 体 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」

「それじゃあ、君は何も得をしなかったね」

---Entonces, no ganas nada. 《「副詞」「動詞句」「目的語」》  
 ---Entonces, エントンス adv. それでは 「副詞」  
 no ganas ノ・ガナス 2 単現・否定(ganar)v.t (利益) 得をしていない 「動詞句」  
 nada. ナダ pron 何も (～ない) 「目的語」

「得したよ！」と、キツネが言った。「小麦の色のおかげで」

---Gano ---dijo el zorro ---, por el color del trigo.  
 《「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」》  
 ---Gano ガノ 1 単現(ganar)v.t 得をしている 「動詞」  
 ---dijo ティ 体 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el zorro---, エル・ゾロ n.m キツネが 「主語」  
 por ホル prep ～で、～のゆえに、～のおかげで 「副詞句」  
 el color del trigo. エル・コロール・デル・トリゴ n.m 小麦の色 「目的語」

それから、付け加えた：

Luego, agregó: 「副詞」「動詞」  
 Luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」

## XXI

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

「もう一度行って、バラたちをよく見てごらん。君のバラがこの世で唯一のものだということ  
 が分かると思うよ。それから、さよならを言いに戻ってきてよ。そうしたら君に秘密  
 を1つプレゼントするよ」

--Ve y mira nuevamente las rosas. Comprenderás que la tuya es única en el mundo.  
Volverás para decirme adiós y te regalaré un secreto.

《「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」 |

「動詞」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

---Ve ベ 命・2 単現(ir)v.i 行きなさい

「動詞」

y イ conj. そして

mira ミラ 命・2 単現(mirar)v.t よく見なさい

「動詞」

nuevamente ヌエバメント adv. もう一度

「副詞」

las rosas. ラス・ロサス pl.n.f バラたちを

「目的語」

Comprenderás コンプレンデラス 2 単未(comprender)v.t 分かるだろう

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

la tuya ラ・トゥヤ pron.f 君のバラが

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

única ウニカ adj. 唯一の

「補語」

en el mundo. エ・ネル・ムント adv. この世で

「副詞句」

Volverás ホルベラス 2 単未・命令(velver)v.i 戻ってきなさい

「動詞」

para +不定詞 パラ adv. ～するために

「副詞句」

decirme デシル・メ 不定詞(decir+me)v.t 僕に言う

「動詞句」

adiós アディオス n.m さよならの挨拶を

「目的語」

y イ conj. そうしたら

te テ pron 君に

「間接目的語」

regalaré レガレ 1 単未・意思(regalar)v.t 贈るよ

「動詞」

un secreto. ウン・セクレト n.m 秘密を

「直接目的語」

王子様は、もう一度バラたちに会いに行った。

El principito se fue a ver nuevamente las rosas. 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

se fue a ver セ・フェ・ア・ベール 3 単点(irse a+不定詞)v.t 会いに行った

「動詞句」

nuevamente ヌエバメント adv. もう一度

「副詞」

las rosas. ラス・ロサス pl.n.f バラたちに

「目的語」

## XXI

「君たちは、僕のバラに少しも似ていないね；君たちはまだ何物でもないんだ」と、彼らに言った。「誰も君たちを飼い馴らさなかったし、君たちだって誰も飼いならさなかった」

---No sois en absoluto parecidas a mi rosa; no sois nada aún ---les dijo---. Nadie os ha domesticado y no habéis domesticado a nadie.

《「動詞句」「補語」；「動詞句」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」,  
《「主語」「目的語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」》

---No sois ノ・ソイス 2 複現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」  
en absoluto parecidas エン・アブソルト・パレシダス adv. 全く似ている 「補語」  
a mi rosa; ア・ミ・ロサ adv. 僕のバラに 「副詞句」  
no sois ノ・ソイス 2 複現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」  
nada ナダ pron 何 (~ない) 「補語」  
aún アウン adv. まだ 「副詞」  
---les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」  
dijo---. デ・ヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
Nadie ナデ・エ pron 誰も 「主語」  
os オス pron 君たちを 「目的語」  
ha domesticado ア・ドメシカド 3 単現・完了形(domesticar)  
v.t (否定文で) 飼い馴らしていない 「動詞句」  
y イ conj. そして  
no habéis domesticado ノ・アベイス・ドメシカド 2 複現・完了形・否定(domesticar)  
v.t 飼い馴らしていない 「動詞句」  
a nadie. ア・ナデ・エ pron 誰も 「目的語」

「君たちは、僕のキツネみたいなものだ。彼は他の 10 万匹とよく似た 1 匹のキツネに過ぎなかった。でも僕は彼を友達にしたから、今ではこの世で唯一の存在になったんだ」

Sois como mi zorro. No era más que un zorro semejante a cien mil otros. Pero yo lo hice mi amigo y ahora es único en el mundo.

《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」 |

Pero 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 y 「副詞」「動詞」「補語」》

Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ~である 「動詞」  
como mi zorro. コモ・ミ・ゾロ adv. 僕のキツネみたいな 「補語」  
No era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞句」  
más que un zorro マス・ケ・ウン・ゾロ adj. 1 匹のキツネ以上の 「補語」  
no más que un zorro で「1 匹のキツネに過ぎない」  
semejante セメハンテ adj. ~に似た 「形容詞句」  
a cien mil otros. ア・シエン・ミル・オトロス adv. 10 万匹に 「副詞句」

## XXI

Pero ペロ conj. しかし

yo ヨ pron 僕は

「主語」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

hice イセ 1 単点(hacer)v.t (SVOC) O を C にした

「動詞」

mi amigo ミ・アミゴ n.m 友達に

「補語」

y イ conj. そして

ahora アハラ adv. 今は

「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

único en el mundo. ウニコ・エ・ネル・ムント n.m この世で唯一の物

「補語」

それでバラたちはとても悪い気分になった。

Y las rosas se sintieron molestas.

Y 「主語」「動詞句」「補語」

Y イ conj. そして

las rosas ラス・ロサス pl.n.f バラたちは

「主語」

se sintieron セ・シンチエロン 3 複点(sentirse)v.pr ~だと感じた

「動詞句」

molestas. モレスタス adj.f.pl 気分を害した

「補語」

「君たちは美しいよ、だけど中身がない」と、言って続けた。「誰も君たちのために死なないだろうな。きっと普通の通りがかりの人は、僕のバラは君たちに似ていると思うだろう」

---Sois bellas, pero estáis vacías ---continuó---. No se puede morir por vosotras. Sin duda que un transeúnte común creará que mi rosa se os parece.

《「動詞」「補語」 pero 「動詞」「補語」》, 「動詞」, 《「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」》

---Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

bellas, ベシヤス adj.f.pl 美しい

「補語」

pero ペロ conj. しかし

estáis エスタイス 2 複現(estar)v.i ~である

「動詞」

vacías バシヤス adj.f.pl 内容がない、空しい

「補語」

---continuó---. コンチヌオ 3 単点 (continuar)v.i 続けた

「動詞」

No se puede morir ノ・セ・プデ・モリール 3 単現・可能性・否定(poder+不定詞 morirse)

v.pr 人は死なないだろう

「動詞句」

por vosotras. ポール・ボソトラス adv. 君たちのためには

「副詞句」

Sin duda シン・トゥダ adv. 間違いなく、たぶん

「副詞句」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

un transeúnte ウン・トランセウンテ n.m 通りがかりの人は

「主語」

común コモン adj. 普通の

「形容詞」

creará クレアラ 3 単末(creer)v.t(que+直説法) ~だと思うだろう

「動詞」

## XXI

que ケ conj. ～ということを 「目的語」  
 mi rosa ミ・ロサ n.f 僕のバラは 「主語」  
 se ...parece. セ...パレセ 3 単現(parecerse)v.pr 似ている 「動詞句」  
 os オス pron 君たちに 「間接目的語」

「だけど、あの花だけは、君たち全員よりももっと大切なんだ。だって、僕が水をかけてあげたのは、あのバラの花なんだから」

Pero ella sola es más importante que todas vosotras, puesto que es ella la rosa que he regado. 《Pero 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」》

Pero ペロ conj. だけど  
 ella sola エジャ・ソラ pron 彼女だけは、あの花だけは 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 más importante マス・インポルタンテ adj. もっと大切な 「補語」  
 que todas vosotras, ケ・トダス・ボソトラス adv. 君たち全員よりも 「副詞句」  
 puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」  
 la rosa ラ・ロサ n.f そのバラの花 「補語」  
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」  
 he regado. エ・レガト 1 単現・完了形(regar)  
 v.t 水をかけてやった 「動詞句」

「僕がガラスの覆いをかけてあげたのはあのバラの花なんだから。僕がついたてで風から守ってあげたのはあのバラの花なんだから」

Puesto que es ella la rosa que puse bajo un globo. Puesto que es ella la rosa que abrigué con el biombo. 《「副詞節」 | 「副詞節」》

Puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」  
 la rosa ラ・ロサ n.f そのバラの花 「補語」  
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」  
 puse プセ 1 単点(poner)v.t 置いた 「動詞」  
 bajo un globo. バホ・ウン・グロボ adv. ガラスの覆いの下に 「副詞句」  
 Puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」

## XXI

la rosa ラ・ロサ n.f そのバラの花 「補語」  
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」  
 abrigué アブリゲ 1 単点(abrigar)v.t 保護した 「動詞」  
 con el biombo. コン・エル・ビヨボ adv. ついたてで 「副詞句」

(蝶になる 2, 3 匹を残して) ぼくが毛虫を取り除いてあげたのはあの花なんだから。

Puesto que es ella la rosa cuyas orugas maté (salvo las dos o tres que se hicieron mariposas). 「副詞節」

Puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」  
 la rosa ラ・ロサ n.f そのバラの花 「補語」  
 cuyas orugas クアス・オルガス adj. その毛虫を～した 「形容詞節」  
 maté マテ 1 単点(matar)v.t (虫を) 殺した、取り除いた 「動詞」  
 (salvo サルボ prep ～を除いて 「副詞句」  
 las dos o tres ラスト・ス・オ・オ・トレス pl.n.f 2, 3 匹 「目的語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 se hicieron セ・イシエロン 3 複点(hacerse)  
     v.pr ～になる 「動詞句」  
 mariposas). マリボ・サス pl.n.f 蝶 「補語」

僕が、あの花が不平を言ったり、自慢したり、時には黙り込んでしまった時にも話を聞いてあげたのはあのバラの花なんだから。だって、あれは僕のバラの花なんだから。

Puesto que es ella la rosa a la que escuché quejarse, o alabarse, o aun, algunas veces, callarse. Porque ella es mi rosa. 「副詞節」 | Porque 「主語」「動詞」「補語」

Puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」  
 la rosa ラ・ロサ n.f そのバラの花 「補語」  
 a la que ア・ラ・ケ pron (目的語) その花を～する 「形容詞節」  
 escuché エスケチェ 1 単点(escuchar)v.t 聞いた 「動詞」  
     escuchar (感覚動詞) +O+不定詞 「O が～するのを聞く」 不定詞は「補語」である  
 quejarse, ケハルセ 不定詞 v.pr 不平を言う 「補語」  
 o オ conj. または  
 alabarse, アラバルセ 不定詞 v.pr 自慢する 「補語」  
 o オ conj. または

## XXI

aun, algunas veces, アウン・アルグナス・ベセス

adv. 時には～さえも

「副詞句」

callarse. カジャルセ 不定詞 v.pr 黙り込む

「補語」

Porque ポルケ conj. なぜなら

ella エジャ pron あの花は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

mi rosa. ミ・ロサ n.f 僕のバラ

「補語」

そしてキツネの所に戻った。

Y volvió hacia el zorro.

Y 「動詞」 「副詞句」

Y イ conj. そして

volvió ボルビオ 3 単点(volver)v.i 戻った

「動詞」

hacia el zorro. アシア・エル・ゾロ adv. キツネの所に

「副詞句」

「さようなら」と、王子様は言った。

---Adiós ---dijo.

《「挨拶」》, 「動詞」

---Adiós アディオス adv. さようなら

「挨拶」

---dijo. ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

「さようなら」と、キツネが言った。「ほらこれが僕の秘密だよ。とても単純なことさ。心で見なければ、良く見えないんだよ。物事の本質というのは、目には見えないんだ。」

---Adiós ---dijo el zorro---. He aquí mi secreto. Es muy simple: no se ve bien sino con el corazón. Lo esencial es invisible a los ojos.

《「挨拶」》, 「動詞」 「主語」, 《「動詞」 「副詞」 「目的語」 |

「動詞」 「補語」: 「動詞句」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞」 「補語」》

---Adiós アディオス adv. さようなら

「挨拶」

---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネが

「主語」

He エ 1 単現(haber)v.t ～がある

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

mi secreto. ミ・セクレト n.m 僕の秘密

「目的語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

muy simple: ムイ・シンプレ adj. 単純な

「補語」

no se ve ノ・セ・ベ 3 単現・否定(verse)v.pr 見えない

「動詞句」

bien ビエン adv. よく

「副詞」

sino シノ prep ～でなければ

「副詞句」

## XXI

con el corazon. コン・エル・コラソン	adv. 心によって	「副詞句」
Lo esencial ロ・エセンシアル	n.m 物事の本質は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
invisible インビシブル	adj. 見えない	「補語」
a los ojos. ア・ロス・オス	adv. 目には	「副詞句」

「物事の本質は目には見えない」と、王子様は覚えておくために繰り返して言った。

---Lo esencial es invisible a los ojos ---repitió el principito, a fin de acordarse.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

---Lo esencial ロ・エセンシアル	n.m 物事の本質は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
invisible インビシブル	adj. 見えない	「補語」
a los ojos ア・ロス・オス	adv. 目には	「副詞句」
---repitió レピチオ 3 単点(repetir)v.t	繰り返した	「動詞」
el principito, エル・プリンシピト	n.m 王子様は	「主語」
a fin de +不定詞 ア・フィン・デ	adv. ～するために	「副詞句」
acordarse. アコルダールセ	不定詞 v.pr 覚えている	「動詞句」

「君がバラのために無駄にした時間が、君のバラをそんなにも大切なものにしたんだよ」

---El tiempo que perdiste por tu rosa hace que tu rosa sea tan importante.

《「主語」「動詞」「補語」》

---El tiempo エル・ティエンポ	n.m 時間が	「主語」
que ケ pron (目的語) ～する		「形容詞節」
perdiste ペルディステ 2 単点(perder)v.t	(時間を) 無駄にした	「動詞」
por tu rosa ホル・トゥ・ローサ	adv. 君のバラのために	「副詞句」
hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t(que+接続法)～にしている、した		「動詞」
que ケ conj. ～ということに		「補語」
tu rosa トゥ・ローサ	n.f 君のバラが	「主語」
sea セア 接・3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
tan importante. タン・インポルタンテ	adj. そんなにも大切な	「補語」

「僕がバラのために無駄にした時間が...」と、王子様は覚えておくために言った。

---El tiempo que perdí por mi rosa... ---dijo el principito, a fin de acordarse.

《「主語」...》, 「動詞」「主語」「副詞句」

---El tiempo エル・ティエンポ	n.m 時間が	「主語」
que ケ pron (目的語) ～する		「形容詞節」



## XXI

perdí ペルディ 1 単点(perder)v.t 無駄にした	「動詞」
por mi rosa... ポル・ミ・ローサ adv. バラのために	「副詞句」
---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
a fin de +不定詞 ア・フィン・デ adv. ～するために	「副詞句」
acordarse. アコルダールセ 不定詞 v.pr 覚えている	「動詞句」

「人間たちはこの真理を忘れてしまったんだよ。」と、キツネは言った。「だけど君はそれを忘れてはいけないよ。君は、自分が飼い馴らしたものに永久に責任があるんだ。君は、君のバラの花に責任があるんだよ」

---Los hombres han olvidado esta verdad ---dijo el zorro---. Pero tú no debes olvidarla. Eres responsable para siempre de lo que has domesticado. Eres responsable de tu rosa...

《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《Pero「主語」「動詞句」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

---Los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人間たちは	「主語」
han olvidado アン・オルビダド 3 複現・完了形(olvidar)v.t 忘れてしまった	「動詞句」
esta verdad エスタ・ベルタド n.f この真理を	「目的語」
---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el zorro---. エル・ゾロ n.m キツネは	「主語」
Pero ペロ conj. しかし	
tú トゥ pron 君は	「主語」
no debes olvidarla. ノ・デベス・オルビダール 2 単現・禁止・否定(deber+不定詞)	
v.t それを忘れてはいけない	「動詞句」
Eres エレス 2 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
responsable レスポンスABLE adj.(de に) 責任がある	「補語」
para siempre パラ・シエンプレ adv. 永久に、永遠に	「副詞句」
de lo デ・ロ adv. それに	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
has domesticado. アス・ドメスカド 2 単現・完了形(domesticar)	
v.t 飼い馴らした	「動詞句」
Eres エレス 2 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
responsable レスポンスABLE adj.(de に) 責任がある	「補語」
de tu rosa... デ・トゥ・ローサ adv. 君のバラに	「副詞句」

「僕は、自分のバラの花に責任がある」と、王子様は覚えておくために繰り返した。

---Soy responsable de mi rosa... ---repetió el principito, a fin de acordarse.

## XXII

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

---Soy	ソイ	1 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
responsable	レスポンスャブレ	adj.(de に)	責任がある	「補語」
de mi rosa...	デ・ミ・ローサ	adv.	僕のバラの花に	「副詞句」
---repetió	レピチオ	3 単点(repetir)v.t	繰り返した	「動詞」
el principito,	エル・プリンスピト	n.m	王子様は	「主語」
a fin de +不定詞	ア・フィン・デ	adv.	〜するために	「副詞句」
acordarse.	アコルダールセ	不定詞 v.pr	覚えている	「動詞句」

## XXII

「こんにちは」と、王子様が言った。

--- <u>Buenos días</u> --- <u>dijo el principito</u> .	《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは	「挨拶」
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」

「こんにちは」と、転轍手が言った。

---Buenos días ---dijo el guardagujas.	《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
---Buenos días ブエノス・デ・アス adv. こんにちは	「挨拶」
---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el guardagujas. エル・グワルダグハス n.m 転轍手（てんてつしゅ）が	「主語」
転轍手（てんてつしゅ）、転轍機（てんてつき）	

転轍手（てんてつしゅ）、転轍機（てんてつき）

鉄道の複数の線路が連結する個所で、どの線路を接続するかを切り替える装置を「転轍機」または「ポイント」と呼びます。つまり、列車の通り道を切り替える装置で列車運行上、重要な役目をもっています。かつては転轍手と呼ばれる係員が手で転轍機を操作していましたが、現在では電力を使う電気方式や圧縮空気を使う電空方式に変わり、人力に頼る機械でこの式はほとんど見られなくなりました。

「ここで何をしているの？」と、王子様は言った。

---¿Qué <u>haces aquí</u> ? --- <u>dijo el principito</u> .	《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」	
---¿Qué	ケ pron 何を	「目的語」
haces	アセス 2 単現(hacer)v.t している	「動詞」
aquí?	アキ adv. ここで	「副詞」
---dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito.	エル・プリンスピト n.m 王子様は	「主語」

転轍手（てんてつしゅ）、転轍機（てんてつき）

## XXII

「旅行者たちを 1000 人ずつまとめて分類しているのさ」と、転轍手が言った。「彼らを運ぶ列車を、右側や左側に送っているんだ」

---Clasifico a los viajeros por paquetes de mil ---dijo el guardagujas---. Despacho los trenes que los llevan, tanto hacia la derecha como hacia la izquierda.

《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」「副詞句」》

---Clasifico クラシフィコ 1 単現(clasificar)v.t 分類している 「動詞」  
 a los viajeros ア・ロス・ビエアヘロス pl.n.m 旅行者たちを 「目的語」  
 por paquetes de mil ポル・パケテス・デ・ミル adv. 1000 人ずつまとめて 「副詞句」  
 ---dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el guardagujas---. エル・グェルダグハス n.m 転轍手（てんてつしゅ）が 「主語」  
 Despacho デスパチョ 1 単現(despachar)v.t 処理している、発送している 「動詞」  
 los trenes ロス・トレネス pl.n.m 列車を 「目的語」  
 que ケ pron（主語）～する 「形容詞節」  
 los ロス pron 彼らを 「目的語」  
 llevan, ジェバン 3 複現(llevar)v.t 運ぶ 「動詞」  
 tanto hacia la derecha タント・アシア・ラ・デレチャ adv. 右の方へ沢山 「副詞句」  
 como hacia la izquierda. コモ・ハシア・ラ・イスキエルタ  
 adv. 左にも同じくらい 「副詞句」

すると明かりのついた特急列車が雷鳴のように轟音をあげて、転轍機の運転席を揺らした。

Y un rápido iluminado, rugiendo como el trueno, hizo temblar la cabina de las agujas.

Y 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」

Y イ conj. すると

un rápido ウン・ラピト n.m(tren rápido) 特急列車が 「主語」  
 tren expreso トレン・エクスプレソ n.m 急行列車  
 iluminado, イルミナト adj. 明かりのついた 「形容詞」  
 rugiendo ルビエント 現在分詞(rugir)v.i 唸り声を上げながら 「副詞句」  
 como el trueno, コモ・エル・トルエノ adv. 雷鳴のように 「副詞句」  
 hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t (+O+不定詞) O に～をさせた 「動詞」  
 temblar テンブラール 不定詞 v.i 震える 「補語」  
 la cabina ラ・カビナ n.f 運転席を 「目的語」  
 de las agujas. デ・ラス・アグハス adj. 転轍機の 「形容詞句」  
 agujas アグハス pl.n.f 転轍機

## XXII

「彼らはとても急いでいるんだね」と、王子様は言った。「何を探しているの？」

---Llevan mucha prisa ---dijo el principito---. ¿Qué buscan?

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞」》

---Llevan ジェバン 3 複現(llevar)v.t 持っている、(ある状態に) ある 「動詞」  
 mucha prisa ムチャ・プリサ n.f すごい緊急性 「目的語」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 ¿Qué ケ pron 何を 「目的語」  
 buscan? ブスカン 3 複現(buscar)v.t 探している 「動詞」

「機関士でさえ、それを知らないんだよ」と、転轍手が言った。

---Hasta el hombre de la locomotora lo ignora ---dijo el guardagujas.

《「副詞」「主語」「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

---Hasta アスタ adv. ～さえ 「副詞」  
 el hombre エル・オンブレ n.m 男が 「主語」  
 de la locomotora デ・ラ・ロモトラ adj. 機関車の 「形容詞句」  
 lo ロ pron それを 「目的語」  
 ignora イグラ 3 単現(ignorar)v.t 知らない 「動詞」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el guardagujas---. エル・グェワルダグハス n.m 転轍手(てんてつしゅ)が 「主語」

すると明かりのついた 2 番目の特急列車が、轟音を上げて反対方向へ通過して行った。

Y un segundo rápido iluminado rugió, en sentido inverso. Y 「主語」「動詞」「副詞句」

Y イ conj. そして

un segundo rápido iluminado ウン・セグント・ラピト・イルミナト  
 n.m 明かりのついた 2 番目の特急列車が 「主語」  
 rugió, ルリオ 3 単点(rugir)v.i 轟音を上げた 「動詞」  
 en sentido inverso. エン・セント・インベルシ adv. 反対方向へ 「副詞句」  
 en エン prep ～に sentido セント n.m 方向、向き inverso インベルシ adj. 反対の

「もう、帰って来たの？」と、王子様は尋ねた。

---¿Vuelven ya? ---preguntó el principito.

《「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」

---¿Vuelven ブェルベン 3 複現(volver)v.i 戻って来る 「動詞」  
 ya? ヤー adv. もう 「副詞」  
 ---preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

## XXII

「あれは同じ乗客じゃないんだ」と、転轍手が言った。「入れ替えなんだよ」

---No son los mismos ---dijo el guardagujas---. Es un cambio.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

---No son ノ・ソ 3 複現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」  
 los mismos ロス・ミemos pl.n.m 同じ乗客 「補語」  
 ---dijo ティエ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el guardagujas---. エル・グ<sup>ァ</sup>わルダ<sup>グ</sup>ハス n.m 転轍手が 「主語」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 un cambio. ウン・カンビオ n.m 交替、入れ替え 「補語」

「今住んでいる所が気に入らなかったのかな？」

---¿No estaban contentos donde estaban?

《「動詞句」「補語」》

---¿No estaban ノ・エスタバン 3 複線・否定(estar)v.i ~でなかった 「動詞句」  
 contentos コンテントス adj.pl. 満足した 「補語」  
 donde estaban? トンデ・エスタバン adv. 今いる所に 「副詞句」

「誰も、今住んでいる所には決して満足しないよ」と、転轍手が言った。それから明かりのついた 3 番目の特急列車の轟音が響き渡った。

---Nadie está nunca contento donde eatá---dijo el guardagujas. Y rugió el trueno de un tercer rápido iluminado. 《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」 | Y 「動詞」「主語」

---Nadie ナディエ pron 誰も~ない 「主語」  
 está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」  
 nunca contento ヌンカ・コンテント adj. 決して満足しない 「補語」  
 donde eatá トンデ・エスタ adv. 住んでいる場所に 「副詞句」  
 ---dijo ティエ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el guardagujas. エル・グ<sup>ァ</sup>アルダ<sup>グ</sup>ハス n.m 転轍手が 「主語」  
 Y イ conj. そして  
 rugió ルヒオ 3 単点(rugir)v.i 大声をあげた 「動詞」  
 el trueno エル・トゥルエノ n.m 轟音が 「主語」  
 de un tercer rápido iluminado. テ<sup>°</sup>・ウン・テルセル・ラヒ<sup>°</sup>・ト<sup>°</sup>・イルミナト<sup>°</sup>  
 adj. 明かりのついた 3 番目の特急列車の 「形容詞句」

「最初の旅客を追いかけているの？」と、王子様が尋ねた。

---¿Persiguen a los primeros viajeros? ---preguntó el principito.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

## XXII

---¿Persiguen ペルシゲン 3 複現(perseguir)v.t 追いかけている 「動詞」  
 a los primeros viajeros? ア・ロス・プリメロス・ビエアヘロス pl.n.m 最初の旅客を 「目的語」  
 ---preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「まったく何も追いかけていないよ」と、転轍手が言った。「みんな中で眠っているか、あくびをしている。子供たちだけは、窓ガラスに鼻を押し付けて外を見ている」

---No persiguen absolutamente nada ---dijo el guardagujas---. Ahí dentro duermen o bostezan. Sólo los niños aplastan sus narices contra los vidrios.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞句」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

---No persiguen ノ・ペルシゲン 3 複現・否定(perseguir)v.t 追いかけていない 「動詞句」  
 absolutamente nada アブソルタメンテ・ナダ pron・否定 全く何も～ない 「目的語」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el guardagujas---. エル・グアルダグハス n.m 転轍手は 「主語」  
 Ahí アイ adv. そこで、その時 「副詞」  
 dentro デントロ adv. 中で 「副詞」  
 duermen トゥエルメン 3 複現(dormir)v.i 眠っている 「動詞」  
 o オ conj. または  
 bostezan. ボステサン 3 複現(bostezar)v.i あくびをしている 「動詞」  
 Sólo los niños ソロ・ロス・ニーニョス pl.n.m 子供たちだけは 「主語」  
 aplastan アプラスタン 3 複現(aplastar)v.t 押しつぶしている 「動詞」  
 sus narices スス・ナリセス pl.n.f 鼻を 「目的語」  
 contra los vidrios. コントラ・ロス・ビドリオ adv. 窓ガラスに当てて 「副詞句」

「子供たちだけが自分たちが探しているものを知っているんだね。」と、王子様は言った。  
 「子供たちはぼろきれ人形のために時間を使うから、その人形はとても大切なものになっていくんだ。だから、もしその人形を取り上げられたら、泣いてしまうんだ」

---Sólo los niños saben lo que buscan ---dijo el principito---. Pierden tiempo por una muñeca de trapo y la muñeca se transforma en algo muy importante, y si se les quita la muñeca, lloran...

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「主語」「動詞句」「補語」 y 「副詞節」, 「動詞」》

---Sólo los niños ソロ・ロス・ニーニョス pl.n.m 子供たちだけが 「主語」  
 saben サベン 3 複現(saber)v.t 知っている 「動詞」  
 lo que buscan ロ・ケ・ブサン pron 自分たちが探しているものを 「目的語」

## XXIII

---dijo ティイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito---. エル・プリンスィト n.m 王子様は	「主語」
Pierden ピエルテン 3 複現(perder)v.t (時間を) 浪費する	「動詞」
tiempo ティエンポ n.m 時間を	「目的語」
por una muñeca de trapo ポル・ウナ・ムニェカ・デ・トラポ adv. ぼろきれ人形のために	「副詞句」
y イ conj. そして	
la muñeca ラ・ムニェカ n.f その人形は	「主語」
se transforma セ・トランスフォルマ 3 単現(transformarse)v.pr 〜に変わる	「動詞句」
en algo muy importante, エン・アルゴ・マイ・インポルタンテ adv. とても大切なものに	「補語」
y イ conj. そして	
si シ conj. もし〜ならば	「副詞節」
se les quita セ・レス・キタ 3 単現・再帰受動(quitarse+les)v.pr 取り上げられる	「動詞句」
les は彼らのを意味する間接目的語	
la muñeca, ラ・ムニェカ n.f 人形が	「主語」
lloran... ショラン 3 複現(llorar)v.i 泣く	「動詞」

「子供たちは、幸運だよ」と、転轍手は言った。

--- <u>Tienen suerte</u> --- <u>dijo el guardagujas.</u>	《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」
---Tienen ティエネン 3 複現(tener)v.t 〜がある	「動詞」
suerte スエルテ n.f 幸運	「目的語」
---dijo ティイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el guardagujas. エル・グアルダグハス n.m 転轍手は	「主語」

## XXIII

「こんにちは」と、王子様が言った。

--- <u>Buenos días</u> --- <u>dijo el principito.</u>	《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
---Buenos días ブエノス・ディアス adv. こんにちは	「挨拶」
---dijo ティイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el principito. エル・プリンスィト n.m 王子様は	「主語」

「こんにちは」と、商人が言った。

--- <u>Buenos días</u> --- <u>dijo el mercader.</u>	《「挨拶」》, 「動詞」「主語」
---Buenos días ブエノス・ディアス adv. こんにちは	「挨拶」
---dijo ティイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el mercader. エル・メルカデーール n.m 商人が	「主語」

## XXIII

それは、喉の渇きを和らげる特別の丸薬を売る商人だった。1 週間に付き 1 錠を吞めば、もう水を飲む必要性を感じなくなるというのだ。

Era un mercader de píldoras especiales que aplacan la sed. Se toma una por semana y ya no se siente necesidad de beber.

「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「副詞」「動詞句」「目的語」  
 Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」  
 un mercader ウン・メルカデーール n.m 商人 「補語」  
 de píldoras especiales テ・ピルトラス・エスペシアレス adj. 特別の丸薬を売る 「形容詞句」  
 que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」  
 aplacan アプラカン 3 複現(aplacar)v.t 和らげる 「動詞」  
 la sed. ラ・セッド n.f 喉の渇きを 「目的語」  
 Se セ pron 人が 「主語」  
 toma トマ 3 単現(tomar)v.t 飲む 「動詞」  
 una ウナー n.f 1 錠 「目的語」  
 por semana ホル・セマナ adv. 1 週間に付き 「副詞句」  
 y イ conj. そうすると  
 ya ヤー adv. もう 「副詞」  
 no se siente ノ・セ・シエンテ 3 単現・否定(sentirse)v.pr 感じない 「動詞句」  
 necesidad de beber. ネセシダッド・デ・ベベール n.f 水を飲む必要性を 「目的語」

「なぜ、そんな薬を売っているの？」と、王子様は訊いた。

---¿Por qué vendes eso? ---dijo el principito.

《「副詞句」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」  
 ---¿Por qué ホル・ケ adv. なぜ 「副詞句」  
 vendes ベンデス 2 単現(vender)v.t 売っている 「動詞」  
 eso? エソ pron それを 「目的語」  
 ---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

「それは、すごい時間の節約だよ」と、商人は言った。「専門家があれこれ計算したんだ。1 週間に 53 分の節約になるんだ。」

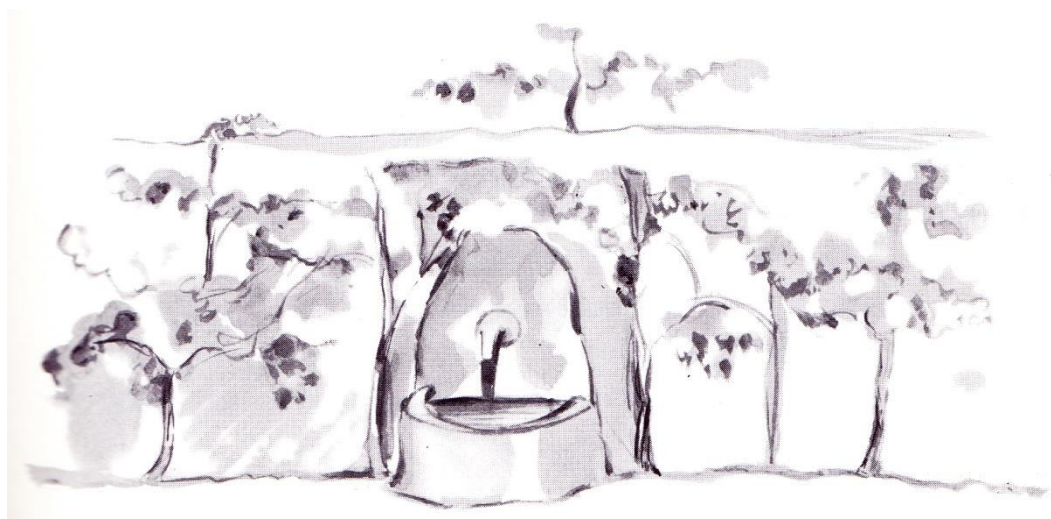
---Es una gran economía de tiempo. ---dijo el mercader---. Los expertos han hecho cálculos. Se ahorran cincuenta y tres minutos por semana.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,  
 《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」「副詞句」》



## XXIII

---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
una gran economía ウナ・グラン・エコノミア n.f. すごい節約	「補語」
de tiempo デ・ティエンポ adj. 時間の	「形容詞句」
---dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el mercader エル・メルカデーロ n.m. 商人が	「主語」
Los expertos ロス・エクスパートス pl.n.m. 専門家が	「主語」
han hecho アン・エチョ 3 複現・完了形(hacer)v.t (行為を) した	「動詞句」
cálculos. カルクロス pl.n.m. 計算を	「目的語」
Se ahorran セ・アオラン 3 複現・再帰受動(ahorrarse)v.pr 節約される	「動詞句」
cincuenta y tres minutos シンクエンタ・イ・トレス・ミヌトス pl.n.m. 53 分が	「主語」
por semana. ポル・セマナ adv. 1 週間につき	「副詞句」



「それで、その 53 分で何をするの？」

---¿Y qué se hace con esos cincuenta y tres minutos?

《Y 「目的語」 「主語」 「動詞」 「副詞句」》

---¿Y イ conj. それで	
qué ケ pron 何を	「目的語」
se セ pron 人は	「主語」
hace アセ 3 単現(hacer)v.t (行為を) する	「動詞」
con esos cincuenta y tres minutos? コン・エロス・シンクエンタ・イ・トレス・ミヌトス	
adv. その 53 分で	「副詞句」

「やりたいことをやるのさ」

---Se hace lo que se quiere...

《「主語」 「動詞」 「目的語」》

---Se セ pron 人は	「主語」
-----------------	------

## XXIV

hace アセ 3 単現(hacer)v.t する 「動詞」  
 lo que se quiere... ロ・ケ・セ・キエレ pron やりたいことを 「目的語」

「僕なら…」と、王子さまは心の中で思った。「自由に使える 53 分があったら、泉のほうへゆっくりと歩いていくだろうな」

《Yo ---se dijo el principito---, si tuviera cincuenta y tres minutos para gastar, caminaría tranquilamente hacia una fuente...》

《「主語」, 「動詞句」「主語」, 《「副詞節」, 「動詞」「副詞句」》

Yo ジュ pron 僕は 「主語」  
 ---se dijo セ・ディホ 3 単半(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」  
 el principito---, エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 tuviera トゥビエラ 接・1 単過・仮定法(tener)v.t 持っていたとしたら 「動詞」  
 cincuenta y tres minutos シンクエンタ・イトレス・ミトス pl.n.m 53 分を 「目的語」  
 para gastar, パラ・ガスター adj. 使うことが出来る、自由に使える 「形容詞句」  
 caminaría カミナリア 1 単過未・仮定法帰結(caminar)v.i 歩いて行くだろう 「動詞」  
 tranquilamente トランキラメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」  
 hacia una fuente...》 アシア・ウナ・フエンテ adv. 泉の方へ 「副詞句」

## XXIV

砂漠での飛行機の故障から 1 週間目になっていた。僕は、水の貯えの最後の一滴を飲みながら、商人の話を聞いていた。

Estábamos en el octavo día de mi avería en el desierto y había escuchado la historia del mercader bebiendo la última gota de mi provisión de agua.

「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Estábamos エスタバモス 1 複線(estar)v.i ～にいた 「動詞」  
 en el octavo día エン・エル・オクタボ・ディア adv. 1 週間目に 「副詞句」  
 el octavo día 「8 番目の日、1 週間目」 今日から数え始めて 8 日目まで 1 週間になる  
 de mi avería テ・ミ・アベリア adv. 故障から 「副詞句」  
 avería 「機械などの故障、破損」  
 en el desierto エン・エル・デシエルト adv. 砂漠での 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 había escuchado アビア・エスクチャト 1 単線・完了形(escuchar)v.t 聞いていた 「動詞句」  
 la historia ラ・イストリア n.f 話を 「目的語」  
 del mercader テル・メルカデル adj. 商人の 「形容詞句」

## XXIV

bebiendo	ベビェント	現在分詞(beber)v.t	飲みながら	「副詞句」
la última gota	ラ・ウルチマ・ゴタ	n.f	最後の一滴を	「目的語」
de mi provisión	デ・ミ・プロビシオン	adj.	たくわえの	「形容詞句」
de agua.	デ・アグア	adj.	水の	「形容詞句」

「ああ！」と、僕は王子様に言った。「君の思い出話はとても素敵だよ。でも、まだ飛行機の修理が終わっていないし、飲み水がもうないんだ。だから泉に向かってゆっくり歩いて行けたらどんなに幸せだろうって、僕も思っているんだ」

---¡Ah! ---dije al principito---. Tus recuerdos son muy bonitos, pero todavía no he reparado mi avión, no tengo nada para beber y yo también sería feliz si pudiera caminar tranquilamente hacia una fuente.

《「間投」》, 「動詞」	「間接目的語」, 《「主語」	「動詞」	「補語」, pero	
「副詞」	「動詞句」	「目的語」, 「動詞句」	「目的語」 y 「主語」	「動詞」
「補語」	「副詞節」》			
---¡Ah!	アー int.	ああ		「間投」
---dije	ディヘ	1 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
al principito---	アル・プリンシピト	adv.	王子様に	「間接目的語」
Tus recuerdos	トゥス・レクェルトス	pl.n.m	君の思い出は	「主語」
son	ソン	3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
muy bonitos,	ムイ・ボニトス	adj.pl	とてもすてきな	「補語」
pero	ペロ conj.		しかし	
todavía	トダヴィア	adv.	まだ～ない	「副詞」
no he reparado	ノ・エ・レパラト	1 単現・完了形・否定(reparar)		
v.t			修理が終わっていない	「動詞句」
mi avión,	ミ・アビオン	n.m	僕の飛行機を	「目的語」
no tengo	ノ・テngo	1 単現・否定(tener)v.t	ない	「動詞句」
nada para beber	ナダ・パラ・ベベル	pron	飲み物が何も～ない	「目的語」
y	イ conj.		そして	
yo también	ジョ・タンビエン	pron	僕も	「主語」
sería	セリア	1 単過未(ser)v.i	～だろうに	「動詞」
feliz	フェリス	adj.	幸せな	「補語」
si	シ conj.		もし～ならば	「副詞節」
pudiera caminar	プディエラ・カミナル	接・1 単過・仮定法(poder+不定詞)		
v.i			歩くことができたとしたら	「動詞句」
tranquilamente	トランキルメンテ	adv.	ゆっくりと	「副詞」
hacia una fuente.	アシア・ウナ・フエンテ	adv.	泉のほうへ	「副詞句」

## XXIV

「ぼくの友達のキツネが…」と、僕に言った。

---Mi amigo el zorro... ---me dijo.

《「主語」》, 「間接目的語」 「動詞」

---Mi amigo ミ・アミゴ n.m 僕の友達

「主語」

el zorro... エル・ゾロ n.m 狐が

「主語」

---me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo. デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

「ねえ坊や、もう、キツネの話どころじゃないよ！」

---Mi pequeño hombrecito, ¡ya no se trata del zorro!

《「呼びかけ」, 「副詞」 「動詞句」 「間接目的語」》

---Mi pequeño hombrecito, ミ・ペケニョ・オンブレイト n.m ねえ坊や

「呼びかけ」

pequeño ペケニョ adj. 小さい hombrecito ← hombre + cito 男の子

¡ya ヤー adv. もう

「副詞」

no se trata ノ・セ・トラタ 3 単現・否定(taratarse)v.pr(de) ーの問題ではない

「動詞句」

del zorro! デル・ゾロ adv. 狐についての

「間接目的語」

「どうして？」

---¿Por qué?

「質問」

---¿Por qué? ポル・ケ adv. どうして？

「質問」

「喉が渴いたら、死んでしまうからだよ」

---Porque nos vamos a morir de sed...

《Porque 「動詞句」 「副詞句」》

---Porque ポル・ケ conj. なぜなら

nos vamos a morir ノス・バ・モス・ア・モリール 1 複現・近接未来(ir a+不定詞 morirse)

v.pr 死んでしまう

「動詞句」

de sed... デ・セッド adv. 喉の渇きのために

「副詞句」

「彼は僕が言ったことの意味が理解できずに、返事をした」

No comprendió mi razonamiento y respondió:

《「動詞句」 「目的語」 y 「動詞」》

No comprendió ノ・コンブレンディヨ 3 単点・否定(comprender)v.t 理解できなかった

「動詞句」

mi razonamiento ミ・ナサニメント n.m 僕の言っている理屈が

「目的語」

y イ conj. そして

respondió: レスポンディヨ 3 単点(responder)v.i 返事をした

「動詞」

## XXIV

「僕たちがじきに死んでいくとすればなおさら、友達を得た事は良いことだと思うよ。キツネという友達を得たことで、僕は満足しているよ」

---Es bueno haber tenido un amigo, aun si vamos a morir. Yo estoy muy contento de haber tenido un amigo zorro...

《「補語」「動詞」「主語」, 「副詞節」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

bueno ブエノ adj. よい 「補語」

haber tenido アベル・テニド 不定詞・完了形(tener)v.t 持った事は 「主語」

un amigo, ウン・アミゴ n.m 友達を 「目的語」

aun si アウン・シ conj. もし~するならばなおさら 「副詞節」

vamos a morir. バモス・ア・モリール 1 複現・近接未来(ir a+不定詞 morir)

v.i じきに死んでいく 「動詞句」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

muy contento ムイ・コンテント adj. 満足した 「補語」

de +不定詞 デ adv. ~することによって 「副詞句」

haber tenido アベル・テニド 不定詞・完了形(tener)v.t 持った 「動詞句」

un amigo zorro... ウン・アミゴ・ゾロ n.m キツネという友達を 「目的語」

「彼は危険を推し量ることが出来ないんだ」と、僕は心の中で思った。「彼には、空腹も喉の渇きもないんだ。少しの日光があれば、彼にとっては十分なんだ」

《No mide el peligro ---me dije---. Jamás tiene hambre ni sed. Un poco de sol le basta...》

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」, 《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」》

《No mide ノ・ミデ 3 単現・否定(medir)v.t 推し量れない 「動詞句」

el peligro エル・ペリグロ n.m 危険を 「目的語」

---me dije---. メ・ディヘ 1 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

Jamás tiene ハマス・ティエネ 3 単現・否定(tener+jamás)v.t 決してない 「動詞句」

hambre ni sed. ハンブレ・ニ・セツト pl.n.f 空腹も渇きも~ない 「目的語」

Un poco de sol ウン・ポコ・デ・ソル n.m 少しの日光が 「主語」

le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

basta...》バスタ 3 単現(bastar)v.i 十分である 「動詞」

しかし彼は僕をじっと見つめてから、僕が考えていることに対して答えました。

Pero me miró y respondió a mi pensamiento:

Pero 「目的語」「動詞」 y 「動詞」「間接目的語」

## XXIV

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 眺めた

「動詞」

y イ conj. そして

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.i (a に) 答えた

「動詞」

a mi pensamiento: ア・ミ・ペンサメント adv. 僕が考えていることに対して

「間接目的語」

「僕ものどが渴いた... 井戸を探そう...」

---Tengo sed también... Busquemos un pozo...

《「動詞」「目的語」「副詞」 | 「動詞」「目的語」》

---Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある

「動詞」

sed セト n.f のどの渴き

「目的語」

también... タンビエン adv. ～もまた

「副詞」

Busquemos ブスケモス 接・1 複現・勧誘(buscar)v.t 探そう

「動詞」

un pozo... ウン・ポソ n.m 井戸を

「目的語」

僕はうんざりの身振りをした：広大な砂漠の中であてもなく井戸を探すなんてことは、ばかげている。それでも僕たちは歩き始めた。

Tuve un gesto de cansancio: es absurdo buscar un pozo, al azar, en la inmensidad del desierto. Sin embargo, nos pusimos en marcha.

「動詞」「目的語」：「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Tuve トゥエ 1 単点(tener)v.t (+動詞概念の名詞) をした

「動詞」

un gesto ウン・ヘスト n.m 身振りを

「目的語」

de cansancio: テ・カンサンシオ adj. うんざりの

「形容詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

absurdo アブシュルト adj. ばかげた

「補語」

buscar ブスカル 不定詞 v.t 探すことは

「主語」

un pozo, ウン・ポソ n.m 井戸を

「目的語」

al azar, アル・アサル adv. 行き当たりばつたり、あてもなく

「副詞句」

en la inmensidad del desierto. エン・ラ・インメンシダ・テル・デ・シエルト

adv. 広大な砂漠の中で

「副詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず

「副詞句」

nos pusimos ノス・プシモス 1 複現(ponerse)v.pr ～はじめた

「動詞句」

en marcha. エン・マルチャ adv. 進行中の

「副詞句」

## XXIV

何時間も無言で歩いていると、日が暮れて、星が輝き始めた。

Quando hubimos caminado horas en silencio, cayó la noche y las estrellas comenzaron a brillar.

「副詞節」, 「動詞」 「主語」 y 「主語」 「動詞句」

Quando クワント conj. ～すると

「副詞節」

hubimos caminado ウビモス・カミト 1 複点・完了形・直前過去完了(caminar)

v.i 歩いてきた

「動詞句」

horas オラス pl.n.f 何時間も

「副詞句」

en silencio, エン・シレンシオ adv. 無言で

「副詞句」

cayó カヨ 3 単点(caer)v.i 傾いた、暮れた

「動詞」

la noche ラ・ノチェ n.f 夜が

「主語」

y イ conj. そして

las estrellas ラス・エストレージャス pl.n.f 星が

「主語」

comenzaron a brillar. コメンサロン・ア・ブリスジャール 3 複点・開始(comenzar a+不定詞)

v.i 輝き始めた

「動詞句」

直前過去完了 :

過去のある時点から見て、その直前に完了した出来事を表す。現代スペイン語では、点過去または過去完了で代用されるのが普通である。

喉の渇きのせいで少し熱が出て、僕はまるで夢の中の出来事のように星たちを見ていた。

王子様の言葉が僕の記憶の中で踊っていた。

Las veía como en sueños, con un poco de fiebre, a causa de mi sed. Las palabras del principito danzaban en mi memoria:

「目的語」 「動詞」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Las ラス pron.pl 星たちを

「目的語」

veía ベイア 1 単線(ver)v.t 見ていた

「動詞」

como en sueños, コモ・エン・スエニョス adv. 夢の中のことのよう

「副詞句」

con un poco de fiebre, コン・ウン・ポ・コ・デ・フィエブレ adv. 少し熱を出して

「副詞句」

a causa de mi sed. ア・カサ・デ・ミ・セツ adv. 喉の渇きのせいで

「副詞句」

Las palabras del principito ラス・パ・ラ・ブラス・デル・プリンシピト

pl.n.f 王子様の言葉が

「主語」

danzaban ダンサバン 3 複線(danzar)v.i 踊っていた

「動詞」

en mi memoria: エン・ミ・メモリア adv. 僕の記憶の中で

「副詞句」

「君も、喉が渇いているの？」と、彼に尋ねた。

---¿También tú tienes sed? ---le pregunté.

《「主語」 「動詞」 「目的語」》, 「間接目的語」 「動詞」

---¿También tú タンビエン・トゥ pron 君も

「主語」

直前過去完了 :



## XXIV

tienes テイエス 2 単現(tener)v.t ある	「動詞」
sed? セッド n.f 喉の渇き	「目的語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
pregunté. プレグンテ 1 単点(preguntar)v.i 尋ねた	「動詞」

しかし彼は僕の質問に答えなかった。僕にむかって簡単に言った。

Pero no respondió a mi pregunta. Me dijo simplemente:

Pero 「動詞句」「間接目的語」 | 「目的語」「動詞」「副詞」

Pero ペロ conj. しかし	
no respondió ノ・レスポ・ンディオ 3 単点・否定(responder)v.i 答えなかった	「動詞句」
a mi pregunta. ア・ミ・プレグンタ adv. 僕の質問に	「間接目的語」
Me メ pron 僕に	「目的語」
dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
simplemente: シンプレメンテ adv. 簡単に	「副詞」

「水は心にとっても良いものかもしれない」

---El agua puede también ser buena para el corazón...	《「主語」「動詞句」「補語」》
---El agua エル・アグア n.m 水は	「主語」
puede también ser プエデ・タンビエン・セール 3 単現・可能性(poder+不定詞+ también)	
v.i ~でもあるかもしれない	「動詞句」
buena ブエナ adj. よい	「補語」
para el corazón... パラ・エル・コラソン adv. 心にとって	「副詞句」

僕は彼の返事が理解できなかったが、黙り込んだ。彼に質問してはならないということをよく知っていたからだ。

No comprendí su respuesta, pero me callé... Sabía bien que no había que interrogarlo.

「動詞句」「目的語」 pero 「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

No comprendí ノ・コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)v.t 理解できなかった	「動詞句」
su respuesta, ス・レスポ・エスタ n.f 彼の返事を	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
me callé... メ・カジェ 1 単点(callarse)v.pr 黙り込んだ	「動詞句」
Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 知っていた	「動詞」
bien ビエン adv. よく	「副詞」
que ケ conj. ~ということ	「目的語」
no había que interrogarlo. ノ・アビア・ケ・インテガルロ 1 単線・必要・否定(haber que+不定詞+lo)	
v.t 彼に質問してはならない	「動詞句」



## XXIV

interrogar インテカール v.t 質問する lo ꝑ pron 彼に

彼は疲れていた。彼は腰かけた。僕も彼の近くに腰かけた。そしてしばらく沈黙した後で、彼は付け加えて言った。

Estaba fatigado. Se sentó. Me senté cerca de él. Y, después de un silencio, dijo aún:

「動詞」「補語」 | 「動詞句」 | 「動詞句」「副詞句」 | Y 「副詞句」「動詞」「副詞」  
 Estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」  
 fatigado. ファチガド 過去分詞(fatigar)adj. 疲れた 「補語」  
 Se sentó. セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った、腰かけた 「動詞句」  
 Me senté メ・センテ 1 単点(sentarse)v.pr 座った、腰かけた 「動詞句」  
 cerca de él. セルカ・デ・エル adv. 彼の近くに 「副詞句」  
 Y, イ conj. そして  
 después de un silencio, デ・スプ・エス・デ・ウン・シレンシオ adv. しばらく沈黙した後で 「副詞句」  
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 aún: アウン adv. さらに 「副詞」

「星たちは美しい、一輪の见えない花のおかげで。」

Las estrellas son bellas, por una flor que no se ve...

《「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」》

Las estrellas ラス・エストレージャス pl.n.f 星たちは 「主語」  
 son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 bellas, ベージャス adj.f.pl 美しい 「補語」  
 por una flor ポル・ウナ・フロール adv. (原因) 一輪の花のおかげで 「副詞句」  
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」  
 no se ve... ノ・セ・ベ 3 単現・再帰受動・否定(verse)v.pr 見えない 「動詞句」

僕は、「もちろん」と答えた。それから話すのを止めて、月の下の砂のしわを眺めた。

Respondí 《por supuesto》 y, sin hablar, miré los pliegues de la arena bajo la luna.

「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Respondí レスポンティ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」  
 《por supuesto》 ポル・スプ・エスト adv. もちろん 「目的語」  
 y, イ conj. そして  
 sin hablar, シン・アブラール adv. 話すのを止めて 「副詞句」  
 miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 見た、眺めた 「動詞」  
 los pliegues ロス・プリエゲス pl.n.m ひだを、しわを 「目的語」  
 de la arena デ・ラ・アレナ adj. 砂の 「形容詞句」

## XXIV

bajo la luna. バホ・ラ・ルナ adv. 月の下の

「副詞句」

「砂漠は美しい」と、彼は付け加えた。

---El desierto es bello ---agregó.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」

---El desierto エル・デシエルト n.m 砂漠は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

bello ベー・ジョ adj. 美しい

「補語」

---agregó. アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 言い足した

「動詞」

それは本当だ。僕はずっと砂漠が好きだった。砂丘の上に座る。何も見えない。何も聞こえない。

Es verdad. Siempre he amado el desierto. Puede uno sentarse sobre un médano de arena. No se ve nada. No se oye nada.

「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」

「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「主語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

verdad. ヴェルダド n.f 真実、事実

「補語」

Siempre シエンプレ adv. いつも、ずっと

「副詞」

he amado エ・アマト 1 単現・完了形(amar)v.t 愛していた、好きだった

「動詞句」

el desierto. エル・デシエルト n.m 砂漠を

「目的語」

Puede uno sentarse プエデ・ウノ・センタルセ 3 単現・可能性(poderse+不定詞)

v.pr 僕は座る (かもしれない)

「動詞句」

uno は「暗に自分を指す」再帰代名詞 se の代用 (sentarse の se と重複を避けるため)

sobre un médano de arena. ソブレ・ウン・メダノ・デ・アレナ adv. 砂丘の上に

「副詞句」

No se ve ノ・セ・ベ 3 単現・否定(verse)v.pr 見えない

「動詞句」

nada. ナダ pron 何も (〜ない)

「主語」

No se oye ノ・セ・オイ 3 単現・否定(oírse)v.pr 聞こえない

「動詞句」

nada. ナダ pron 何も (〜ない)

「主語」

それにもかかわらず、何かが静寂の中で輝いている。

Y sin embargo, algo resplandece en el silencio... Y 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Y イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず

「副詞句」

algo アルゴ pron 何かが

「主語」

resplandece レスプランデセ 3 単現(resplandecer)v.i 輝く、きらめく

「動詞」

en el silencio... エン・エル・シレンシオ adv. 静寂の中で

「副詞句」

## XXIV

「砂漠を美しくしているものは」と、王子様が言った。「それがどこかに井戸を隠しているということだよ」

---Lo que embellece al desierto ---dijo el principito--- es que esconde un pozo en cualquier parte...      《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

---Lo ▯ pron そのものは      「主語」

que ケ pron (主語) ～する      「形容詞節」

embellece エンベジエ 3 単現(embellecer)v.t 美しくする      「動詞」

al desierto アル・デシエルト n.m 砂漠を      「目的語」

---dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った      「動詞」

el principito--- エル・プリンシピト n.m 王子様は      「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である      「動詞」

que ケ conj. ～ということ      「補語」

esconde エスコンデ 3 単現(esconder)v.t 隠している      「動詞」

主語は desierto 砂漠

un pozo ウン・ポソ n.m 井戸を      「目的語」

en cualquier parte... エン・クワルキエ・パルテ adv. どこかに      「副詞句」

砂の神秘的な輝きのことがいきなり分かって、僕は驚いた。

Me sorprendí al comprender de pronto el misterioso resplandor de la arena.

「動詞句」「副詞句」

Me sorprendí メ・ソルプレンティ 1 単点(sorprenderse)v.pr 驚いた      「動詞句」

al comprender アル・コンプレンデール adv. (原因) ～がわかって      「副詞句」

al+不定詞 「～する時、～した時」のように、同時性を表すこともある

de pronto デ・プロント adv. 突然、いきなり      「副詞句」

el misterioso resplandor エル・ミステリオソ・レスプランドル n.m 神秘的な輝き      「目的語」

de la arena. デ・ラ・アレナ adj. 砂の      「形容詞句」

少年だった時、僕は古い家に住んでいた。伝説によると、そこには宝物が隠されていると言われていた。

Cuando era muchachito vivía yo en una antigua casa y la leyenda contaba que allí había un tesoro escondido.      「副詞節」, 「動詞」「主語」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「目的語」

Cuando クワント conj. ～する時      「副詞節」

era エラ 1 単線(ser)v.i ～だった      「動詞」

muchachito ムチャチト n.m(muchacho + -ito) 少年      「補語」

vivía ビビア 1 単線(vivir)v.i 住んでいた      「動詞」

## XXIV

yo ジョ pron 僕は	「主語」
en una antigua casa エン・ウナ・アンチガ <sup>ァ</sup> わ・カーサ adv. 古い家に	「副詞句」
y イ conj. そして	
la leyenda ラ・レジェンダ <sup>ァ</sup> n.f 伝説は	「主語」
contaba コンタバ <sup>ァ</sup> 3 単線(contar)v.t 語っていた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
allí アジ <sup>ィ</sup> adv. そこに	「副詞」
había アビ <sup>ィ</sup> ア 3 単線(haber)v.t あった	「動詞」
un tesoro escondido. ウン・テソロ・エスコンディ <sup>ィ</sup> ト n.m 隠れた宝が	「目的語」

たぶん誰もそれを見つけられなかったし、おそらくそれを探しもしなかっただろう。

Sin duda, nadie supo descubrirlo y quizá nadie lo buscó.

	「副詞句」, 「主語」「動詞句」 y 「副詞」「主語」「目的語」「動詞」
Sin duda, シン・ドゥダ <sup>ァ</sup> adv. たぶん、間違いなく	「副詞句」
nadie ナデ <sup>ィ</sup> エ pron 誰も～ない	「主語」
supo descubrirlo スポ <sup>ォ</sup> ・テスクブリル <sup>・ロ</sup> 3 単点・可能(saber+不定詞+lo)	
v.t それを発見できた	「動詞句」
y イ conj. そして	
quizá キザ <sup>ァ</sup> adv.( quizás) おそらく	「副詞」
nadie ナデ <sup>ィ</sup> エ pron 誰も～ない	「主語」
lo ロ pron それを	「目的語」
buscó. ブスコ <sup>ォ</sup> 3 単点(buscar)v.t 探した	「動詞」

しかしその宝物が家全体に魔法をかけていた。僕の家は、その中心部の奥に宝物を大事に保管していた。

Pero encantaba toda la casa. Mi casa guardaba un secreto en el fondo de su corazón...

	Pero 「動詞」「目的語」   「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Pero ペ <sup>ロ</sup> conj. しかし	
encantaba エンカンタバ <sup>ァ</sup> 3 単線(encantar)v.t (主語は宝物) ～に魔法をかけていた	「動詞」
toda la casa. トダ <sup>ァ</sup> ・ラ・カーサ n.f 家全体に	「目的語」
Mi casa ミ <sup>ィ</sup> ・カーサ n.f 僕の家は	「主語」
guardaba グ <sup>ァ</sup> ワルダバ <sup>ァ</sup> 3 単線(guardar)v.t 守っていた、保管していた	「動詞」
un secreto ウン・セクレト n.m 1つの秘密を	「目的語」
en el fondo エン・エル・フォント <sup>ォ</sup> adv. 奥に	「副詞句」
de su corazón... デ <sup>ィ</sup> ・ス・コラソン adj. 家の中心部の	「形容詞句」



## XXIV

el principito	エル・プリンシポ	n.m	王子様は	「主語」
se durmiera,	セ・ドゥルミエラ	接・3 単過・話し手の認識(dormirse)		
v.pr	眠っていた			「動詞句」
lo	ロ	pron	彼を	「目的語」
tomé	トメ	1 単点(tomar)v.t	つかんだ、抱えた	「動詞」
en mis brazos	エン・ミス・ブラソス	adv.	両腕の中に	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
volví a ponerme	ホルビ・ア・ポネルメ	1 単点・再度(volver a+不定詞)		
v.pr	再び～に従事した			「動詞句」
en camino.	エン・カミノ	adv.	道のりに、道程に	「副詞句」

僕は感動していた。僕は壊れやすい宝物を運んでいるように思われた。同時に、これよりも壊れやすいものは地球上にはないと思われた。

Estaba emocionado. Me parecía cargar un frágil tesoro. Me parecía también que no había nada más frágil sobre la Tierra.

「動詞」「補語」	「間接目的語」「動詞」「主語」	「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」
Estaba エスタバ <sup>1</sup>	1 単線(estar)v.i	～だった 「動詞」
emocionado. エモシオナド <sup>1</sup>	adj. 感動した、感激した	「補語」
Me メ pron	僕に	「間接目的語」
parecía パレシア <sup>3</sup>	3 単線(parecer)v.i	～のように思われた 「動詞」
cargar カルガール	不定詞 v.t	～に荷を積むこと 「主語」
un frágil tesoro. ウン・フラヒル・テソロ	n.m	壊れやすい宝物を 「直接目的語」
Me メ pron	僕には	「間接目的語」
parecía パレシア <sup>3</sup>	3 単線(parecer)v.i	～のように思われた 「動詞」
también タンビエン	adv.	～もまた 「副詞」
que ケ conj.	～ということ	「主語」
no había ノ・ハビア <sup>3</sup>	3 単線・否定(haber)v.t	ない 「動詞句」
nada ナダ <sup>1</sup>	pron	何も～ない 「目的語」
más frágil マス・フラヒル	adj.	それより壊れやすいものは 「形容詞句」
sobre la Tierra. ソブレ・ラ・ティエラ	adv.	地球上に 「副詞句」

月明かりの下で、僕は彼の青白い顔や、彼の閉じた目や、風に吹かれて揺れる髪の毛を眺めて、心の中で思った：

A la luz de la luna, miré su frente pálida, sus ojos cerrados, sus mechones de cabellos que temblaban al viento, y me dije:

A la luz de la luna, ア・ラルース・デ・ラルナ adv. 月の明かりを受けて 「副詞句」, 「動詞」「目的語」 y 「動詞句」

## XXIV

miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 眺めた、見つめた	「動詞」
su frente pálida, ス・フレンテ・パリダ n.f 彼の青白い顔を	「目的語」
sus ojos cerrados, ス・ホル・セラトス pl.n.m 彼の閉じた目を	「目的語」
sus mechones de cabellos ス・メチョネス・デ・カベジョス pl.n.m 彼の頭髮の房を	「目的語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
temblaban テンブラバン 3 複線(temblar)v.i 揺れていた	「動詞」
al viento, アル・ビエント adv. 風に吹かれて	「副詞句」
y イ conj. そして	
me dije: メ・ディハ 1 単点(decirse)v.pr 心の中で言った	「動詞句」

「ここに見えているものはうわべに過ぎない。最も大切なものは目に見えないんだ」

《Lo que veo aquí es sólo una corteza. Lo más importante es invisible...》

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Lo ロ pron ものは	「主語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
veo ベオ 1 単現(ver)v.t 見える、見る	「動詞」
aquí アキ adv. ここに	「副詞」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
sólo una corteza. ソロ・ウナ・コルテサ n.f うわべにすぎない	「補語」
Lo ロ pron 物は	「主語」
más importante マス・インポルタンテ adj. 最も大切な	「形容詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
invisible...》 インビシブル adj. 目に見えない	「補語」

王子様の唇がわずかにほほ笑んだように見えたので、僕はさらに心の中で思った：

Como sus labios entreabiertos esbozaran una media sonrisa, me dije aún:

「副詞節」, 「動詞句」「副詞」

Como コモ conj. ～なので	「副詞節」
sus labios ス・ラビオス pl.n.m 彼の唇が	「主語」
entreabiertos エントレアビエルトス adj.pl 半開きの	「形容詞」
esbozaran エソボザラン 接・3 複過・話者の推量(esbozar)	
v.t (動作を) やりかけた (ように見えた)	「動詞」
una media sonrisa, ウナ・メディア・ソリサ n.f わずかなほほ笑みを	「目的語」
me dije メ・ディハ 1 単点(decirse)v.pr 心の中で思った	「動詞句」
aún: アウン adv. さらに	「副詞」

## XXIV

「眠っているこの王子様のことでそれほど僕を感動させるものは、一輪の花に対する彼の誠実さなんだ。それは眠っている時でさえもランプの炎のように彼の中できらめくバラの花の姿なんだ」

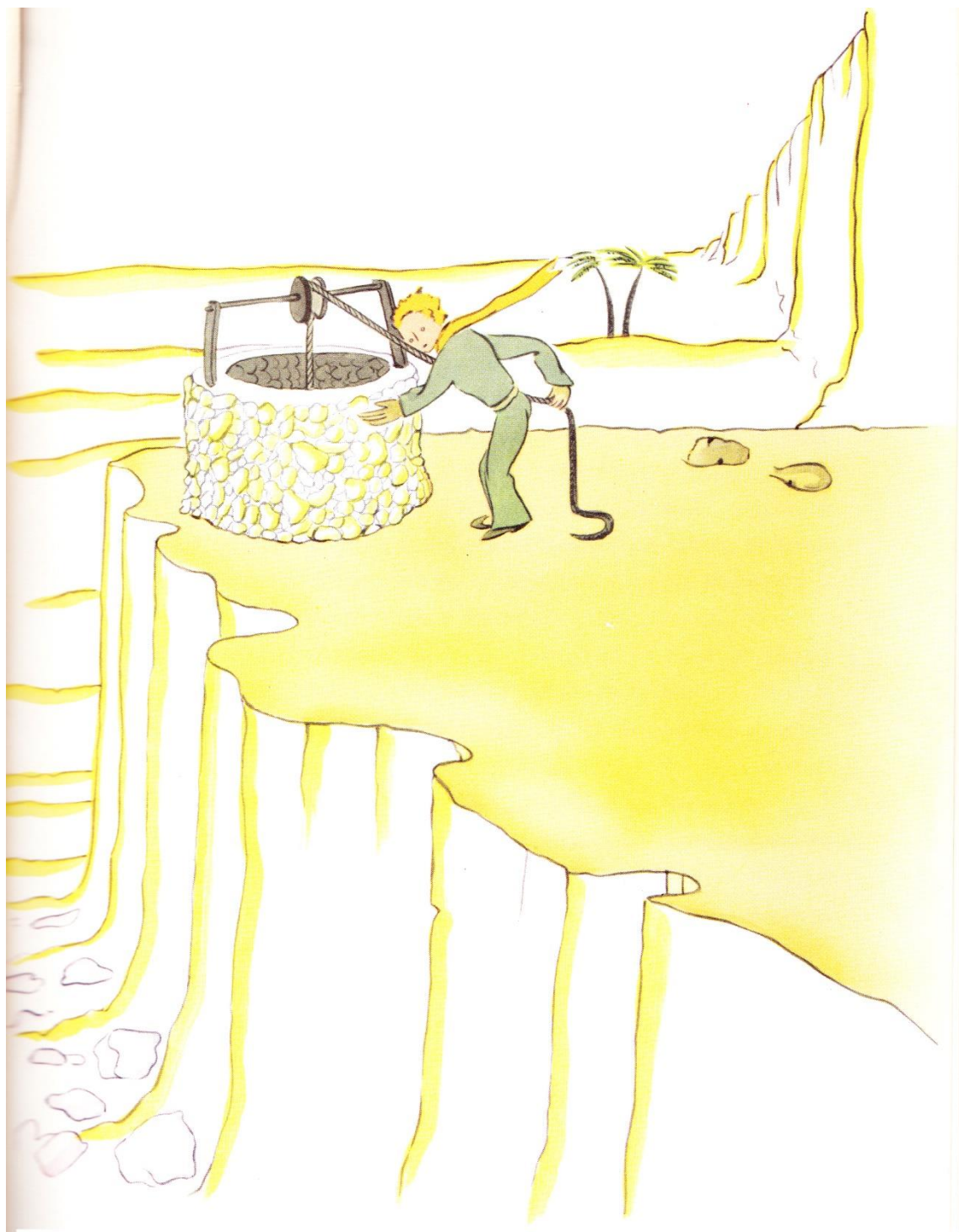
《Lo que me emociona tanto en este principito dormido es su fidelidad por una flor, es la imagen de una rosa que resplandece en él como la llama de una lámpara, aun cuando duermo...》

《「主語」「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」》

《Lo ㇿ pron ものは 「主語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 me メ pron 僕を 「目的語」  
 emociona エモシナ 3 単現(emocionar)v.t 感動させる 「動詞」  
 tanto タント adv. そんなに 「副詞」  
 en este principito dormido エン・エステ・プリンシピト・ドルミト  
 adv. 眠っているこの王子様のことで 「副詞句」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 su fidelidad ス・フィデリダド n.f 彼の誠実さ 「補語」  
 por una flor, ホル・ウナ・フロール adv. 一輪の花に対する 「副詞句」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 la imagen ラ・イマヘン n.f イメージ、映像、姿 「補語」  
 de una rosa デ・ウナ・ローサ adj. バラの花の 「形容詞句」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 resplandece レスプラndeセ 3 単現(resplandecer)  
 v.i きらめく、輝く 「動詞」  
 en él エン・エル adv. 彼の中で 「副詞句」  
 como コモ conj. ～のように 「副詞句」  
 la llama ラ・ジャマ n.f 炎 「目的語」  
 de una lámpara, デ・ウナ・ランパ  
 adj. ランプの 「形容詞句」  
 aun cuando アウン・クワント  
 conj. ～するときでさえも 「副詞節」  
 duermo...》 トゥエルメ 3 単現(dormir)  
 v.i 眠っている 「動詞」



## XXIV



そして僕は彼が最も壊れやすいと思った。ランプを保護しなければならない。風のひと吹きでも、ランプの火は消えてしまうかもしれないのだから...

Y lo sentí más frágil todavía. Es necesario proteger a las lámparas; un golpe de viento puede apagarlas...

Y「目的語」「動詞」「補語」「副詞」 | 「動詞」「補語」「主語」;「主語」「動詞句」

## XXV

Y イ conj. そして

lo ロ pron 彼を

「目的語」

sentí センティ 1 単点(sentir)v.t 思った

「動詞」

más frágil マス・フラヒル adj. 最も壊れやすい

「補語」

todavía. トダビヤ adv. しかし

「副詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

necesario ネセリオ adj. 必要な

「補語」

proteger プロテジェール 不定詞 n. 〜を保護することは

「主語」

a las lámparas; ア・ラス・ランパ・ラス pl.n.f ランプを

「目的語」

un golpe ウン・ゴルペ n.m 一撃は

「主語」

de viento デ・ビエント adj. 風の

「形容詞句」

puede apagarlas... プエデ・アパ・ガールラス 3 単現・可能性(poder+不定詞)

v.t ランプの火を消すかもしれない

「動詞句」

このように歩き進んで、僕は夜明けごろに井戸を見つけた。

Caminando así, descubrí el pozo al nacer el día.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Caminando así, カミナント・アシ 現在分詞(caminar+ así)adv. このように歩いて

「副詞句」

descubrí デスクブリ 1 単点(descubrir)v.t 見つけた

「動詞」

el pozo エル・ポゾ n.m 井戸を

「目的語」

al nacer el día. アル・ナセール・エル・デ・イア adv. 夜明けごろに

「副詞句」

al+不定詞 〜する時に nacer ナセール v.i 生まれる el día エル・デ・イア n.m 一日が (主語)

## XXV

「人々は」と、王子さまは言った。「特急列車に閉じこもっているけれども、自分たちが何を探しているのか分からないんだ。それで動き回ったり、堂々巡りをするんだ」

---Los hombres ---dijo el principito--- se encierran en los -《rápidos》- pero no saben lo que buscan. Entonces se agitan y dan vueltas.

《「主語」》, 「動詞」 「主語」,

《「動詞句」 「副詞句」 pero 「動詞句」 「目的語」 | 「副詞」 「動詞句」 y 「動詞」 「目的語」》

---Los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 人々は

「主語」

---dijo デ・イオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito--- エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

se encierran セ・エンシエラン 3 複現(encerrarse)v.pr 閉じこもっている

「動詞句」

en los 《rápidos》 エン・ロス・ラピトス adv. 特急列車に

「副詞句」

## XXV

pero ペロ conj. しかし

no saben ノ・サベン 3 複現・否定(saber)v.t 分からない

「動詞句」

lo que buscan. ロ・ケ・ブスカン pron 自分たちが探しているものを

「目的語」

Entonces エントンス adv. それで

「副詞」

se agitan セ・アタン 3 複現(agitarse)v.pr 動き回る、揺れる

「動詞句」

y イ conj. そして

dan ダン 3 複現(dar)v.t (行為を) する

「動詞」

vueltas. pl.n.f 堂々巡りを

「目的語」

そして付け加えた。

Y agregó:

Y 「動詞」

Y イ conj. そして

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

「それには及ばないんだよね」

---No vale la pena...

《「動詞句」「主語」》

---No vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.i 役に立たない、有効でない

「動詞句」

la pena... ラ・ペナ n.f 苦労は、労力は

「主語」

→ それには及ばない、そんなことをする必要は無い

僕たちがたどり着いた井戸は、サハラ砂漠にある井戸に似ていなかった。

El pozo al cual habíamos llegado no se parecía a los pozos del Sahara.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

El pozo エル・ポソ n.m 井戸は

「主語」

al cual アル・クワル adv.(副詞句) そこに～する

「形容詞節」

habíamos llegado アビエモス・ジエガト 1 複線・完了形(llegar)

v.i たどり着いた

「動詞句」

no se parecía ノ・セ・パレシア 3 単線・否定(parecerse)v.pr 似ていなかった

「動詞句」

a los pozos ア・ロス・ポソス adv. 井戸に

「間接目的語」

del Sahara. デル・サハラ adj. サハラ砂漠にある

「形容詞句」

サハラ砂漠の井戸というのは、砂地に掘られたただの穴なのだ。

Los pozos del Sahara son simples agujeros cavados en la arena. 「主語」「動詞」「補語」

Los pozos del Sahara ロス・ポソス・デル・サハラ pl.n.m サハラ砂漠の井戸は

「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ～である

「動詞」

simples agujeros シンプレス・アゲヘロス pl.n.m 単なる穴

「補語」

## XXV

simple シンプレ adj. 単純な、ただの agujero アグエロ n.m 穴、割れ目  
 cavados カバトス 過去分詞(cavar)adj.pl 掘られた 「形容詞」  
 en la arena. エン・ラ・アレナ adv. 砂地に 「副詞句」

この井戸は、村の井戸に似ている。しかしこの辺りにはどんな村もなかったので、僕は夢  
 を見ていると思った。

Éste se parecía a un pozo de aldea. Pero ahí no había ninguna aldea y yo creía soñar.  
 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | Pero 「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」  
 Éste エステ pron この井戸は 「主語」  
 se parecía セ・パレシア 3 単線(parecerse)v.pr(a に) 似ている 「動詞句」  
 a un pozo ア・ウン・ポゾ adv. 井戸に 「間接目的語」  
 de aldea. デ・アルデア adj. 村にある 「形容詞句」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 ahí アイ adv. ここには 「副詞」  
 no había ノ・アビア 3 単線・否定(haber)v.t なかった 「動詞句」  
 ninguna aldea ニンガナ・アルデア n.f どんな村も 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 creía soñar. クレイ・サル 1 単線・判断(creer+不定詞)v.i 夢を見ていると思った 「動詞句」  
 soñar ソニャール v.i 夢を見る

「これは奇妙だ！」と、僕は王子様に言った。「全てが準備されている：滑車も手桶もロー  
 プもすべて揃っている」

---Es extraño ---dije al principito---. Todo está listo: la roldana, el balde y la cuerda...  
 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「間接目的語」, 《「主語」「動詞」「補語」: 「主語」》  
 ---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 extraño エストラニョ adj. 奇妙な 「補語」  
 ---dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 al principito---. アル・プリンシピト adv. 王子様に 「間接目的語」  
 Todo トト pron すべてのことが 「主語」  
 está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」  
 listo: リスト adj. 用意ができた、準備が整った 「補語」  
 la roldana, ラ・ロルダナ n.f 滑車 「主語」  
 el balde エル・バルデ n.m 手桶 「主語」  
 y イ conj. そして  
 la cuerda... ラ・クエルダ n.f ロープ 「主語」

## XXV

王子様は笑い、ロープに触れて、滑車を動かした。すると、風が長い間眠っていた時に古い風見鶏がうめき声をあげるように、滑車はギシギシと音を立てた。

Rió, tocó la cuerda e hizo mover la roldana. Y la roldana gimió como gime una vieja veleta cuando el viento ha dormido mucho.

「動詞」, 「動詞」「目的語」 e 「動詞句」「目的語」 | Y 「主語」「動詞」「副詞節」  
 Río, リオ 3 単点(reír)v.i 笑った 「動詞」  
 tocó トコ 3 単点(tocar)v.t 触れた 「動詞」  
 la cuerda ラ・クエルダ n.f ロープを 「目的語」  
 e エ conj. そして  
 hizo mover ヒゾ・モベール 3 単点・使役(hacer+不定詞+O)v.t ～を動かした 「動詞句」  
 la roldana. ラ・ロルダナ n.f 滑車 「目的語」  
 Y イ conj. すると  
 la roldana ラ・ロルダナ n.f 滑車は 「主語」  
 gimió ヒミオ 3 単点(gemir)v.i うめき声をあげた 「動詞」  
 como コモ conj. ～のように 「副詞節」  
 gime ヒメ 3 単現(gemir)v.i うめく 「動詞」  
 una vieja veleta ウナ・ビエハ・ベleta n.f 古い風見鶏が 「主語」  
 cuando クワント conj. ～する時に 「副詞節」  
 el viento エル・ヴァIENTO n.m 風が 「主語」  
 ha dormido ア・ドルミト 3 単現・完了形(dormir)v.i 眠っていた 「動詞句」  
 mucho. ムチョ adv. 長い間 「副詞」

風見鶏（かざみどり）:

鶏型の風向計（風見）。ヨーロッパの教会堂や住宅の屋根の上に取り付けられている。

「聞こえるだろう？」と、王子様が言った。「僕たちが井戸を目覚めさせたから、井戸が歌っているんだよ」

---¿Oyes? ---dijo el principito---. Hemos despertado al pozo y el pozo canta...

《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞」》  
 ---¿Oyes? オイエス 2 単現・確認(oír)v.t 聞こえるだろう? 「呼びかけ」  
 ---dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 Hemos despertado エモス・デスパルタト 1 複現・完了形(despertar)v.t 目覚めさせた 「動詞句」  
 al pozo アル・ポゾ n.m 井戸を 「目的語」  
 y イ conj. それで  
 el pozo エル・ポゾ n.m 井戸が 「主語」

風見鶏（かざみどり）:

## XXV

canta... カタ 3 単現(cantar)v.i 歌っている

「動詞」

「僕に任せて！」と、僕は王子様に言った。「君には重すぎるよ」

---Déjame a mí ---le dije---. Es demasiado pesado para ti.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「動詞」「補語」》

---Déjame デハ・メ 命・2 単現(dejar+me)v.t 僕に任せて！

「動詞句」

a mí ア・ミ adv. 僕に

「間接目的語」

---le レ pron 王子様に

「間接目的語」

dije---. デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

demasiado pesado デマシアド・ヘサド adj. 重すぎる

「補語」

para ti. パラ・ティ adv. 君には

「副詞句」

僕は手桶をゆっくりと井戸の縁石まで引き上げて、それをしっかりと置いた。僕の耳の中  
では滑車が歌い続けており、まだ揺れている水の上には太陽が揺れているのが見えた。Icé lentamente el balde hasta el brocal. Lo asenté bien. En mis oídos seguía cantando  
la roldana, y en el agua, que temblaba aún, vi temblar el sol.

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」「副詞」

「副詞句」「動詞句」「主語」 y 「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」

Icé イ 1 単点(izar)v.t 引き上げた

「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

el balde エル・バルデ n.m 手桶を

「目的語」

hasta el brocal. アスタ・エル・ブロカル adv. 井戸の縁石まで

「副詞句」

Lo ロ pron それを

「目的語」

asenté アセンテ 1 単点(asentar)v.t 設置した

「動詞」

bien. ビエン adv.しっかりと

「副詞」

En mis oídos エン・ミス・オイドス adv. 僕の耳には

「副詞句」

seguía cantando ッセギア・カント 3 単線・継続(seguir+過去分詞)

v.i 歌い続けていた

「動詞句」

la roldana, ラ・ロルダナ n.f 滑車が

「主語」

y イ conj. そして

en el agua, エン・エル・アクア adv. 水の中では

「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

temblaba テンブラバ 3 単線(temblar)v.i 揺れていた

「動詞」

aún, アウン adv. まだ

「副詞」

vi ヴィ 1 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

## XXV

temblar テンブラール 不定詞 v.i 揺れる

「補語」

el sol. エル・ソル n.m 太陽が

「目的語」

「本当にこの水が欲しかったんだ」と、王子様が言った。「僕に飲ませてよ！」

---Tengo sed de esta agua ---dijo el principito---. Dame de beber...

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

---Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ~がある

「動詞」

sed セト n.f 渇き、(de に)願望を

「目的語」

de esta agua デ・エスタ・アグア adv. この水に

「副詞句」

tener sed de.... 「~を切望している、~に飢えている」

---dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el principito---. エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

Dame de beber... ダ・メ・デ・ベ・ベール 命・依頼・2 単現・使役(dar de+不定詞 beber+me)

v.t 僕に飲ませて

「動詞句」

それで僕は、彼が探し求めていたものが分かった。

Y comprendí lo que había buscado.

Y 「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった、理解した

「動詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

había buscado. ハビ・ア・ブ・サト 3 単線・完了形(buscar)

v.t 探し求めていた

「動詞句」

僕は手桶を彼の唇まで持ち上げた。彼は目を閉じて飲んだ。全てのことが祭りのように美しかった。

Levanté el balde hasta sus labios. Bebió con los ojos cerrados. Todo era bello como una fiesta.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Levanté レバンテ 1 単点(levantar)v.t 持ち上げた

「動詞」

el balde エル・バルデ n.m 手桶を

「目的語」

hasta sus labios. アスタ・ス・ラビ・オス adv. 彼の唇まで

「副詞句」

Bebió ベビ・オ 3 単点(beber)v.t 飲んだ

「動詞」

con los ojos cerrados. コン・ロス・オス・セラト・ス adv. 目を閉じて

「副詞句」

Todo トト pron すべてのことが

「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~である

「動詞」

bello ベジョ adj. 美しい

「補語」



## XXV

como una fiesta. コモ・ウナ・フィエスタ adv. 祭りのように

「副詞句」

その水はただの食料ではなかった。星の下の行進と滑車の歌と僕の腕の努力によって、それは生まれたのだから。

El agua no era un alimento. Había nacido de la marcha bajo las estrellas, del canto de la roldana, del esfuerzo de mis brazos. 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」

El agua エル・アクア n.m その水は 「主語」

no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i 〜でなかった 「動詞」

un alimento. ウン・アリメント n.m 食べ物 「補語」

Había nacido アビエ・ナシト 3 単線・完了形(nacer)v.i 生まれた 「動詞句」

de la marcha デ・ラ・マルチャ adv. 行進から 「副詞句」

bajo las estrellas, バホ・ラス・エストレージャス adv. 星の下の 「副詞句」

del canto デル・カント adv. 歌から 「副詞句」

de la roldana, デ・ラ・ロルダナ adj. 滑車の 「形容詞句」

del esfuerzo デル・エスフuerzo adv. 努力から 「副詞句」

de mis brazos. デ・ミス・ブラソス adj. 僕の腕の 「形容詞句」

その水はプレゼントのように心を豊かにするものだった。僕が小さかった頃、クリスマスツリーの光や、夜中のミサの音楽や笑顔の優しさなどが、僕が受け取ったプレゼントの輝きのすべてを形作っていたのだ。

Era buena para el corazón, como un regalo. Cuando yo era pequeño, la luz del árbol de Navidad, la música de la misa de medianoche, la dulzura de las sonrisas, formaban todo el resplandor del regalo de Navidad que recibía.

「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

buena ブエナ adj.f 良い 「補語」

para el corazón, パラ・エル・コラソン adv. 心のために 「副詞句」

como un regalo. コモ・ウン・レガロ adv. 贈り物のように 「副詞句」

Cuando クワント conj. 〜の時に 「副詞節」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

pequño, ペケニョ adj. 小さい 「補語」

la luz ラ・ルス n.f 光は、光が 「主語」

del árbol de Navidad, デル・アルボル・デ・ナビダ adj. クリスマスツリーの 「形容詞句」

la música ラ・ムシカ n.f 音楽は 「主語」

de la misa de medianoche, デ・ラ・ミサ・デ・メディアンチェ adj. 夜中のミサの 「形容詞句」



## XXV

la dulzura	ラ・ドゥルスラ n.f	優しさは	「主語」
de las sonrisas,	デ・ラス・ソリス	笑顔の、微笑みの	「形容詞句」
formaban	フォルマバン 3 複線(formar)v.t	形作っていた	「動詞」
todo el resplandor	トド・エル・レスプラントール n.m	輝きのすべてを	「目的語」
del regalo de Navidad	デル・レガロ・デ・ナビダ		
adj.	クリスマス・プレゼントの		「形容詞句」
que	ケ pron (目的語) ～する		「形容詞節」
recibía.	レシビア 1 単線(recibir)v.t	受け取った	「動詞」

「君のところでは」と、王子様が言った。「人々は1つの庭で5000本のバラを栽培しているけど... 自分たちが探しているものが見つからないだね」

---En tu tierra ---dijo el principito--- los hombres cultivan cinco mil rosas en un mismo jardín... Y no encuentran lo que buscan...

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | Y 「動詞句」「目的語」》

---En tu tierra	エン・トゥ・ティエラ adv.	君のところでは	「副詞句」
tierra	ティエラ n.f	地球、大地、土地	
---dijo	ディホ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el principito---	エル・プリンシピト n.m	王子様は	「主語」
los hombres	ロス・オンブレス pl.n.m	人々は	「主語」
cultivan	カルバン 3 複現(cultivar)v.t	栽培している、耕す	「動詞」
cinco mil rosas	シコ・ミル・ロサス pl.n.f	5000本のバラを	「目的語」
en un mismo jardín...	エン・ウン・ミスト・ハルティン adv.	1つの庭で	「副詞句」
Y	イ conj.	そして	
no encuentran	ノ・エンクエンタラン 3 複現・否定(encontrar)v.t	見つからない	「動詞句」
lo que buscan...	ロ・ケ・ブスカン pron	自分たちが探しているものが	「目的語」

「見つからないんだね」と、僕は答えた。

--- <u>No lo encuentran...</u> --- <u>respondí.</u>	《「応答」》, 「動詞」
---No lo encuentran... ノ・ロ・エンクエンタラン 3 複現・否定(encontrar+lo)	
v.t 見つからないんだね	「応答」
---respondí. レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」

## XXV

「それでも、彼らが探しているものは、たった 1 本のバラの中やほんの少しの水の中に、見つかるかもしれないね」

---Y, sin embargo, lo que buscan podría encontrarse en una sola rosa o en un poco de  
agua...  
《Y「副詞句」,「主語」「動詞句」「副詞句」》

---Y,  $\downarrow$  conj. そして

sin embargo, シン・エンバ<sup>ル</sup>ゴ<sup>コ</sup> adv. とはいえ、それにもかかわらず、それでも 「副詞句」

lo que buscan ロ・ケ・ブスカン pron 彼らが探しているものは 「主語」

podría encontrarse ホトリア・エンコントラセ 3 単過未・可能性(poder+不定詞・再帰受動)

v.pr 見つかるかもしれない 「動詞句」

en una sola rosa エン・ウナ・ソラ・ロサ adv. たった 1 本のバラの中に 「副詞句」

o 才 conj. または

en un poco de agua... エン・ウン・ホコ・テ・アク わ adv. ほんの少しの水の中に 「副詞句」

「その通りだとも」と、僕は答えた。

---Seguramente ---respondí. 《「副詞」》，「動詞」

---Seguramente セグ`ラメンテ adv. 確かに、その通りだ 「副詞」

---respondí. レスポンデ`ィ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

すると王子さまは付け足した。

Y el principito agregó: Y 「動詞」「主語」

Y  $\vdash$  conj. そして

el principito エル・プ°リンシピ°ト n.m 王子様は 「主語」

agregó: アグ`レコ` 3 単点(agregar)v.t 付け足した 「動詞」

「でも目というものは、物がよく見えていないんだ。心で探さなければいけないんだよ」

--Pero los ojos están ciegos. Es necesario buscar con el corazón.

《Pero 「主語」 「動詞」 「補語」 | 「動詞」 「補語」 「主語」 》

---Pero  $\wedge^{\circ} \Box$  conj. でも

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目というのは 「主語」

están エスタン 3 複現(estar)v.i ～である 「動詞」

ciegos. シェゴス adj. 目の見えない 「補語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」

buscar ブ`スカル 不定詞 v.t 探すことが 「主語」

con el corazón. コン・エル・コラツン adv. 心で 「副詞句」

## XXV

僕は水を飲んだ。とてもほっとしていた。砂は、夜明けには、蜜の色だった。僕はその蜜の色によっても幸せを感じていた。

Yo había bebido. Respiraba bien. La arena, al nacer el día, estaba de color de miel. Me sentía feliz también con ese color de miel.

「主語」「動詞句」 | 「動詞」「副詞」

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」「副詞句」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 había bebido. アビエ・ベビト 3 単線・完了形(beber)v.t 飲んだ 「動詞句」  
 Respiraba レスピラハ 1 単線(respirar)v.i ほっとしていた 「動詞」  
 bien. ビエン adv. とても 「副詞」  
 La arena, ラ・アレナ n.f 砂は 「主語」  
 al +不定詞 アル adv. ～する時には 「副詞句」  
 nacer ナセル 不定詞 v.i 生まれる 「動詞」  
 el día, エル・デア n.m 1 日が 「主語」  
 → 夜明けには  
 estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」  
 de color de miel. デ・コロール・デ・ミエル adj. 蜜の色の 「補語」  
 Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じていた 「動詞句」  
 feliz フェリス adj. 幸せな 「補語」  
 también con ese color de miel. タンビエン・コン・エセ・コロール・デ・ミエル  
 adv. その蜜の色によっても 「副詞句」

悲しむ必要などあるだろうか？

¿Por qué habría de apenarme? 「副詞句」「動詞句」

¿Por qué ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」

habría de apenarme? アブラ・デ・アペナルメ 1 単過未・必要・推量(haber de+不定詞)

v.pr 悲しむ必要があるだろう 「動詞句」

「約束を守らなきゃいけないよ」と、王子さまはそっと僕に言った。彼はまた僕のそばに腰かけていた。

---Es necesario que cumplas tu promesa ---me dijo suavemente el principito, que de nuevo se había sentado cerca de mí.

《「動詞」「補語」「主語」》,

「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

---Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」

## XXV

que ケ conj. ～ということは	「主語」
cumplas クンプラス 接・2 単現(cumplir)v.t 果たす	「動詞」
tu promesa トゥ・プロメサ n.f 君の約束を	「目的語」
---me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
suavemente スゥベメンテ adv. そっと	「副詞」
el principito, エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
de nuevo デ・ヌエボ adv. 再び、また	「副詞句」
se había sentado セ・アビア・センタド 3 単線・完了形(sentarse)	
v.pr 腰かけていた	「動詞句」
cerca de mí. セルカ・デ・ミ adv. 僕の近くに	「副詞句」

## 「何の約束だっけ？」

---¿Qué promesa?	「応答」
---¿Qué promesa? ケ・プロメサ n.f 何の約束？	「応答」

## 「分かっているだろう... 僕の羊用の口輪だよ。僕はあの花に責任があるんだ！」

--- <u>Tú lo sabes...</u> , <u>un bozal para mi cordero...</u> , <u>¡soy responsable de esa flor!</u>	
《「主語」「目的語」「動詞」「目的語」...「補語」「動詞」》	
---Tú トゥ pron 君は	「主語」
lo ロ pron それを	「目的語」
sabes..., サベス 2 単現・確認(saber)v.t 分かっている	「動詞」
un bozal ウン・ボサル n.m 口輪	「目的語」
para mi cordero..., パラ・ミコルデロ adv. 僕の羊用の	「副詞句」
¡soy ソイ 1 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
responsable レスポンスャブレ adj.(de に) 責任がある	「補語」
de esa flor! デ・エサ・フロール adv. あの花に	「副詞句」

僕はポケットからデッサンの下描きを何枚か取り出した。王子さまはそれらを見て、笑いながら言った：

Saqué del bolsillo mis bosquejos de dibujo. El principito los vio y dijo riendo:

「動詞」「副詞句」「目的語」   「主語」「目的語」「動詞」 y 「動詞」「副詞」	
Saqué サカ 1 単点(sacar)v.t 取り出した	「動詞」
del bolsillo デル・ボルスジョ adv. ポケットから	「副詞句」
mis bosquejos ミス・ボスキョス pl.n.m 素案、下描きを	「目的語」

## XXV

de dibujo. デ・ディブホ	adj. デッサンの	「形容詞句」
El principito エル・プリンシピト	n.m 王子様は	「主語」
los ロス	pron それらを	「目的語」
vio ビオ	3 単点(ver)v.t 見た	「動詞」
y イ	conj. そして	
dijo ディホ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
riendo: リェント	現在分詞(reír)v.i 笑いながら	「副詞」

「君のバオバブはちょっとキャベツみたいだね...」

--- <u>Tus baobabs se parecen un poco a los repollos...</u>	《「主語」「動詞句」「補語」》
---Tus baobabs トゥス・バオバブス pl.n.m 君のバオバブは	「主語」
se parecen セ・パレン 3 複現(parecerse)v.pr (a に) ~に似ている、~に見える	「動詞句」
un poco ウン・ポコ adv. 少し	「副詞句」
a los repollos... ア・ロス・レポジョ adv. キャベツに	「補語」

「ああ、なんということだ！」

---¡Oh!	「感嘆」
---¡Oh! オ int. ああ、なんということだ	「感嘆」

僕はバオバブの絵については自慢していたというのに！

¡ <u>Yo que estaba tan orgulloso de los baobabs!</u>	「主語」「動詞句」「補語」
¡Yo ジョ pron 僕は	「主語」
que estaba ケ・エスタハ 1 単線(estar)v.i ~であったのに	「動詞句」
主語と動詞の間に que を挿入すると、逆説の表現になる	
tan orgulloso タン・オルグジョソ adj.(de を) とても自慢する	「補語」
de los baobabs! デ・ロス・バオバブス adv. バオバブの絵については	「副詞句」

「君のキツネについては... 耳が... 角みたいだ... 長すぎるんだよ！」

--- <u>Tu zorro..., las orejas... parecen cuernos... ¡y son demasiado largas!</u>	《「副詞句」 ... 「主語」「動詞」「補語」 ...y 「動詞」「補語」》
---Tu zorro..., トゥ・ゾロ n.m 君のキツネについては	「副詞句」
las orejas... ラス・オレハス pl.n.f 耳が	「主語」
parecen パレシ 3 複現(parecer)v.i 〜に見える	「動詞」
cuernos... ケルノス pl.n.m 角	「補語」
¡y イ conj. そして	
son ソン 3 複現(ser)v.i 〜である	「動詞」

## XXV

demaciado largas! デマシアド・ラルガス adj.f.pl 長すぎる  
orejas と性・数一致

「補語」

そう言って、彼はまた笑った。

Y rió aún.

Y 「動詞」 「副詞」

Y イ conj. そして

rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った

「動詞」

aún. アウン adv. また

「副詞」

「君は公正じゃあないよ、坊や；僕は中の見えないボアと中の見えるボアしか描けなかったんだから」

---Eres injusto, hombrecito; yo no sabía dibujar más que las boas cerradas y las boas abiertas. 《「動詞」「補語」「呼びかけ」；「主語」「動詞句」「目的語」》

---Eres エレス 2 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

injusto, インフスト adj. 不公正な

「補語」

hombrecito; オンブレシト n.m 坊や

「呼びかけ」

hombrecito ← hombre +-cito (示小接尾辞)

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no sabía dibujar ノ・サビア・ディブ・ハル 1 単線・可能・否定(saber+不定詞)

v.t 描けなかった

「動詞句」

más que マス・ケ adv. ～しか

「副詞句」

las boas cerradas y las boas abiertas. ラス・ボアス・セラダス・イ・ラス・ボアス・アビエルタス

pl.n.f 中の見えないボアと中の見えるボア

「目的語」

「ああ、それでいいよ！」と、王子様は言った。「子供たちは分かるから」

---¡Oh, está bien! ---dijo---. Los niños saben.

《「感嘆」「動詞」「補語」》, 「動詞」, 《「主語」「動詞」》

---¡Oh, オ int. おお

「感嘆」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である

「動詞」

bien! ビヤン adj. よい

「補語」

---dijo---. ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

Los niños ロス・ニニョス pl.n.m 子供たちは

「主語」

saben. サベン 3 複現(saber)v.t 分かっている、わかる

「動詞」

それで僕は口輪を描いた。そしてそれを彼に渡すとき、胸が締め付けられる思いがした。

Dibujé, pues, un bozal. Y sentí el corazón oprimido cuando se lo di.

## XXV

	「副詞」「動詞」「目的語」   Y 「動詞」「目的語」「補語」「副詞節」
Dibujé, ディブヘ 1 単点(dibujar)v.t 描いた	「動詞」
pues, フエス adv. それで	「副詞」
un bozal. ウン・ボサル n.m (犬などの) 口輪を	「目的語」
Y イ conj. そして	
sentí センティ 1 単点(sentir)v.t 感じた	「動詞」
el corazón エル・コラソン n.m 心臓が	「目的語」
oprimido オプリミト 過去分詞(oprimir)adj. 締め付けられた	「補語」
cuando クワント conj. ～する時	「副詞節」
se セ pron 彼に	「間接目的語」
lo ロ pron それを	「直接目的語」
di. ディ 1 単点(dar)v.t 渡した	「動詞」

「僕の知らない計画があるんだろう？」

--- <u>Tienes proyectos que ignoro...</u>	《「動詞」「目的語」》
---Tienes テイエネス 2 単現(tener)v.t 持っている、ある	「動詞」
proyectos プロジェクトス pl.n.m 計画を	「目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
ignoro... イグノロ 1 単現(ignorar)v.t 知らない	「動詞」

しかし彼は質問に答えずに、僕に言った：

Pero <u>no me respondió</u> , y <u>me dijo</u> : Pero 「動詞句」「間接目的語」 y 「間接目的語」「動詞」	
Pero ペロ conj. しかし	
no ...respondió, ノ...レスポントイオ 3 単点・否定(desponder)v.t 答えなかった	「動詞句」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」

「あのね、僕の地上への墜落は... 明日は、その記念日なんだ」

--- <u>Sabes, mi caída sobre la Tierra... mañana será el aniversario...</u>	《「呼びかけ」「主語」 ... 「副詞」「動詞」「補語」》
---Sabes, サベス adv. あのね	「呼びかけ」
mi caída ミ・カイダ n.f 僕の墜落は	「主語」
sobre la Tierra... ソブレ・ラ・ティエラ adv. 地上への	「副詞句」
mañana マニャナ adv. 明日は	「副詞」

## XXV

será セラ 3 単末(ser)v.i ~になる 「動詞」  
 el aniversario... エル・アニベールサリオ n.m 記念日 「補語」

それから少し黙ったあとで、さらに言った：

Luego, después de un silencio, dijo aún: 「副詞句」「動詞」「副詞」  
 Luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」  
 después de un silencio, デスプエス・デ・ウン・シレンシオ adv. すこし黙ったあとで 「副詞句」  
 dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 aún: アウン adv. さらに 「副詞」

「僕は、ここからすぐ近くに落ちたんだ」

---Caí muy cerca de aquí. 《「動詞」「副詞句」》  
 ---Caí カイ 1 単点(caer)v.i 落ちた 「動詞」  
 muy cerca de aquí. マイ・セカ・デ・アキ adv. ここからすぐ近くに 「副詞句」

そう言って、彼は顔を赤らめた。

Y se sonrojó. Y 「動詞句」  
 Y イ conj. そして  
 se sonrojó. セ・ソロホ 3 単点(sonrojarse)v.pr 顔を赤らめた 「動詞句」

そして再び、なぜかわからないが、奇妙な悲しみを感じた。けれども僕に 1 つの問いかけが浮かんた。

Y de nuevo, sin comprender por qué, sentí un extraño pesar. Sin embargo, se me ocurrió preguntar:

Y 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「主語」  
 Y イ conj. そして  
 de nuevo, デ・ヌエボ adv. 再び 「副詞句」  
 sin +不定詞 シン adv. ~しないで 「副詞句」  
 comprender コンプレンデール 不定詞 v.t 分かる 「動詞」  
 por qué, ポル・ケ adv. なぜか 「副詞句」  
 sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」  
 un extraño pesar. ウン・エクストラニョ・ペサル n.m 奇妙な悲しみを 「目的語」  
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. けれども 「副詞句」  
 se ...ocurrió セ...オクリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr 浮かんた 「動詞句」  
 me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 preguntar: プレグンター 不定詞 n. 問いかけが、質問が 「主語」



## XXV

「僕は1週間前、あの朝に、人の住むすべての地域から1000マイルも離れたところにあんな風に一人でいる君と知り合いになったけれど、君は偶然に散歩をしていたわけじゃなかったんだね」

---Entonces, no te paseabas por casualidad la mañana que te conocí, hace ocho días, así, solo, a mil millas de todas las regiones habitadas.

《「副詞」「動詞句」「副詞句」「形容詞節」》

---Entonces, エントンセス adv. その時 「副詞」  
 no te paseabas ノ・テ・パセアバス 2 単線・否定(pasearse)v.pr 散歩していなかった 「動詞句」  
 por casualidad ポル・カスリダト adv. 偶然に 「副詞句」  
 la mañana ラ・マニャナ n.f あの朝 「副詞句」  
 que ケ (副詞) ～する 「形容詞節」  
 te テ pron 君と 「目的語」  
 conocí, コシ 1 単点(conocer)v.t 知り合いになった 「動詞」  
 hace ocho días, アセ・オチョ・ディアス adv. 1 週間前に 「副詞句」  
 así, solo, アシ・ソロ adv. あんな風に一人で 「副詞句」  
 a mil millas ア・ミル・ミラス adv. 1000 マイルのところに 「副詞句」  
 de todas las regiones habitadas. テ・トダス・ラス・レヒオネス・アヒタダス  
 adj. 人の住むすべての地域から 「副詞句」

「君は、墜落地点に向かって戻っていたんだね？」

¿Volvías hacia el punto de tu caída? 《「動詞」「副詞句」》  
 ¿Volvías ボルビェアス 2 単線(volver)v.i 戻っていた 「動詞」  
 hacia el punto アシア・エル・プント adv. その地点の方へ 「副詞句」  
 de tu caída? テ・トウ・カイダ adj. 君の墜落の 「形容詞句」

王子様はまた顔を赤らめた。それで僕はためらいながら付け加えた。

El principito enrojeció otra vez. Y agregué, vacilando:

「主語」「動詞」「副詞句」 | Y 「動詞」「副詞」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 enrojeció エンロヘシオ 3 単点(enrojecer)v.i 顔を赤らめた 「動詞」  
 otra vez. オトラ・ベス adv. また 「副詞句」  
 Y イ conj. そして、それで  
 agregué, アグレゲ 1 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」  
 vacilando: バシラント 現在分詞(vacilar)v.i ためらいながら 「副詞」

## XXV

「たぶん、記念日のためだね？」

---¿Tal vez, por el aniversario...?

《「副詞句」》

---¿Tal vez, タル・ベス adv. たぶん

「副詞句」

por el aniversario...? ホ・ル・エル・アニェ・ルサリオ adv. 記念日のため

「副詞句」

王子様はもう一度顔を赤らめた。彼は決して質問に答えないけど、顔を赤らめるときは、「イエス」の意味だよね？

El principito enrojeció de nuevo. Jamás respondía a las preguntas, pero cuando uno se enrojece significa 《sí》, ¿no es cierto?

「主語」「動詞」「副詞句」

「副詞」「動詞」「間接目的語」 pero 「副詞節」「動詞」「目的語」「問いかけ」

El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

enrojeció エンロヘシオ 3 単点(enrojecer)v.i 顔を赤らめた

「動詞」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. もう一度

「副詞句」

Jamás ハマス adv. 決して～ない

「副詞」

respondía レスポンディア 3 単点(responder)v.i(a に) 答えた

「動詞」

a las preguntas, ア・ラス・プレガンタス pl.n.f 質問に

「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

cuando クワンド conj. ～する時は

「副詞節」

uno ウノ pron 人が

「主語」

se enrojece セ・エンロヘセ 3 単現(enrojecerse)v.pr 赤くなる

「動詞句」

significa シグニフィカ 3 単現(significar)v.t 意味する

「動詞」

《sí》, シ adv. イエス、はいということ

「目的語」

¿no es cierto? ノ・エス・シエルト adv. そうじゃないかい？

「問いかけ」

「ああ」と、僕は王子様に言った。「心配だよ」

---¡Ah! ---le dije---. Temo...

《「感嘆」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「動詞」》

---¡Ah! アー int. ああ

「感嘆」

---le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije---. ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

Temo... テモ 1 単現(temer)v.i 心配している

「動詞」

しかし彼は答えた：

Pero me respondió:

Pero 「間接目的語」「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕に

「間接目的語」

## XXV

respondió: レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

「さあ君は、仕事をしなくちゃいけないね。飛行機のところへ戻らなければいけない。僕はここで君を待っているよ。君は、明日の夕方頃に戻っておいで」

---Debes trabajar ahora. Debes volver a tu máquina. Te espero aquí. Vuelve mañana por la tarde...

《「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」「間接目的語」

「目的語」「動詞」「副詞」 | 「動詞」「副詞句」》

---Debes trabajar デベス・トラバハール 2 単現・義務(deber+不定詞)

v.i 仕事をしなければいけない

「動詞句」

ahora. アウ adv. さて、今度は

「副詞」

Debes volver デベス・ボルベール 2 単現・義務(deber+不定詞)

v.i 戻らなければいけない

「動詞句」

a tu máquina. ア・トゥ・マキナ adv. 君の飛行機のところへ

「間接目的語」

Te テ pron 君を

「目的語」

espero エスペロ 1 単現(esperar)v.t 待っている

「動詞」

aquí. アキ adv. ここで

「副詞」

Vuelve ヴェルベ 命・2 単現(volver)v.i 戻っておいで

「動詞」

mañana por la tarde... マニャナ・ポル・ラ・タルデ adv. 明日の夕方頃に

「副詞句」

しかし僕はあまり気持ちが落ち着かなかった。キツネのことを思い出していた。人は飼いならされると、ちょっと泣きそうになる。

Pero yo no estaba muy tranquilo. Me acordaba del zorro. Si uno se deja domesticar, corre el riesgo de llorar un poco...

Pero 「主語」「動詞句」「補語」

「動詞句」「間接目的語」 | 「副詞節」「動詞」「主語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no estaba ノ・エスタバ 1 単線・否定(estar)v.i 〜でなかった

「動詞句」

muy tranquilo. マイ・トランキロ adj. (否定文で) あまり気持ちが落ち着か〜ない

「補語」

Me acordaba メ・アコルダバ 1 単線(acordarse)v.pr(de を) 思い出していた

「動詞句」

del zorro. デル・ゾロ adv. キツネのことを

「間接目的語」

Si シ conj. もし〜ならば

「副詞節」

uno ウノ pron 人は

「主語」

se deja domesticar, セ・デジヤ・ドメスチカル 3 単現・使役(dejarse+不定詞・他動詞)

v.pr 飼いならされる

「動詞句」

domesticar ドメスチカル v.t 飼いならす、家畜化する、服従させる

## XXVI

corre コッレ 3 単現(correr)v.i 走る	「動詞」
el riesgo エル・リエスコ n.m 危険が	「主語」
de llorar テ・ジョーラル adj. 涙を流すという	「形容詞句」
un poco... ウン・ポコ adv. ちょっとだけ	「副詞句」

## XXVI

井戸のそばに、古い石壁の残骸があった。

Al lado del pozo había una ruina de un viejo muro de piedra.

	「副詞句」「動詞」「目的語」
Al lado アル・ラド adv. そばに、そばで	「副詞句」
del pozo デル・ポソ adj. 井戸の	「形容詞句」
había アビ・ア 3 単線(haber)v.t あった	「動詞」
una ruina ウナ・ルイナ n.f 廃墟、瓦礫が	「目的語」
de un viejo muro テ・ウン・ビエホ・ムロ adj. 古い壁の	「形容詞句」
de piedra. テ・ピエドラ adj. 石の	「形容詞句」

翌日の夕方に、仕事から戻ると、遠くから、壁の上に足を垂らして座っている王子様が見えた。そして、何か話しているのが聞こえた。

Cuando volví de mi trabajo, por la tarde del día siguiente, vi de lejos al principito sentado allí arriba, con las piernas colgando. Y oí que hablaba:

	「副詞節」, 「動詞」「副詞句」「目的語」	「Y」「動詞」「目的語」
Cuando クワント conj. ～すると、～する時		「副詞節」
volví ホルビ 1 単点(volver)v.i(de から) 戻った		「動詞」
de mi trabajo, テ・ミ・トラバホ adv. 仕事から		「副詞句」
por la tarde ホル・ラ・タルデ adv. 夕方に		「副詞句」
del día siguiente, デル・デア・シギエンテ adj. 翌日の		「形容詞句」
vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた		「動詞」
de lejos テ・ホス adv. 遠くから		「副詞句」
al principito アル・プリンシピト n.m 王子様を		「目的語」
sentado セント 過去分詞(sentar)adj. 座った		「形容詞」
allí arriba, アジ・アリハ adv. その壁の上に		「副詞句」
con las piernas colgando. コン・ラス・ビエルナス・コルガント adv. 足を垂らして		「副詞句」
Y イ conj. そして		
oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた		「動詞」

## XXVI

que hablaba: ケ・アブラハ pron 彼が何か話しているのが

「目的語」

「君は覚えていないんだね？」と、彼は言った。「全くここじゃあないよ！」

---¿No te acuerdas? ---decía---. ¡No es exactamente aquí!

《「動詞句」》, 「動詞」, 《「動詞句」 「副詞句」》

---¿No te acuerdas? ノ・テ・アクエルダス 2 単現・否定(acordarse)v.pr 覚えていない 「動詞句」

---decía---. デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

¡No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

exactamente エクサクメンテ adv. 厳密に、ぴったり、(否定文で) まったく~ない 「副詞」

aquí! アキ adv. ここ 「副詞」

恐らく別の声が彼に答えたのだろう、だから彼も返事をした：

Otra voz le respondió sin duda, puesto que contestó:

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」, puesto que 「動詞」

Otra voz オトラ・ボス n.f 別の声が 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.i 、答えた、返事をした 「動詞」

sin duda, シン・ドゥダ adv. たぶん、おそらく 「副詞句」

puesto que プエスト・ケ conj. ~だから、~である以上

contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.i 返事した 「動詞」

「そう、そう。日にちは合っているけど、場所はここじゃあない」

---¡Sí! ¡Sí! Es el día, el lugar no es aquí...

《「応答」「動詞」「主語」, 「主語」「動詞句」「補語」》

---¡Sí! ¡Sí! シ・シ adv. そう、そう 「応答」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

el día, エル・ディア n.m 日にちは 「主語」

el lugar エル・ルガル n.m 場所は 「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

aquí... アキ adv. ここ 「補語」

僕は壁の方へ歩みを進めた。ずっと誰も見えないし、声も聞こえなかった。それなのに、王子様はまた何かに対して言い返した。

Continué mi camino hacia el muro. Seguía sin ver ni oír a nadie. Sin embargo, el principito replicó de nuevo:

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

## XXVI

Continué コンチヌエ 1 単点(continuar)v.t 続けた	「動詞」
mi camino ミ・カミノ n.m 道を、歩みを	「目的語」
hacia el muro. アシア・エル・ムロ adv. 壁のほうへ	「副詞句」
Seguía セギア 3 単線(seguir)v.i ~の状態が続いた、ずっと~だった	「動詞」
sin ver シン・ベール adv. 見えずに	「補語」
ni oír ニ・オイール 不定詞・連続 v.t 聞こえもせずに	「動詞句」
a nadie. ア・ナディエ pron 誰も	「目的語」
Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも	「副詞句」
el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は	「主語」
replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した	「動詞」
de nuevo: デ・ヌエボ adv. また	「副詞」

「... その通り。砂の中のどこから僕の足跡が始まっているかが分かるだろう。君はそこで僕を待っているだけでいいよ。僕は今夜そこへ行くから」

---... Seguro. Verás dónde comienza mi rastro en la arena. No tienes más que esperarme allí. Estaré allí esta noche.

《「応答」 | 「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「副詞句」》

---... Seguro. セグロ adj. 疑いのない、その通り	「応答」
Verás ベラス 2 単末(ver)v.t 分かるだろう	「動詞」
dónde トンデ adv. どこで~するかということ	「目的語」
comienza コメンサ 3 単現(comenzar)v.i 始まる	「動詞」
mi rastro ミ・ラストロ n.m 僕の足跡が、痕跡	「主語」
en la arena. エン・ラ・アレナ adv. 砂の中で	「副詞句」
No tienes más que +不定詞 ノ・ティエネス・マス・ケ 2 単現・必要・否定(tener+不定詞, no...más que)	
v. ~しさえすればよい	「動詞句」
esperarme エスパール・メ 不定詞(esperar+me)v.t 僕を待つ	「動詞句」
allí. アジ adv. そこで	「副詞」
Estaré エスタレ 1 単末・予定・意志(estar)v.i ~にいるだろう、行くつもりだ	「動詞」
allí アジ adv. そこに	「副詞」
esta noche. エスタ・ノチェ adv. 今晚	「副詞句」

僕は石の壁から 20 メートルの所に来ていたけれども、何も見えないままだった。

Yo estaba a veinte metros del muro y seguía sin ver nada.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「補語」

Yo ジョ pron 僕は	「主語」
estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~にいた	「動詞」

## XXVI

a veinte metros ア・ベインテ・メトロス adv. 20 メートルの所に 「副詞句」  
 del muro デル・ムロ adv. 壁から 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 seguía セギア 1 単線(seguir)v.i ~の状態のままでいた 「動詞」  
 sin ver nada. シン・ベール・ナダ adv. 何も見えない状態 「補語」

王子さまは、少し黙った後で、さらに言った：

El pirncipito dijo aún, despues de un silencio: 「主語」「動詞」「副詞句」  
 El pirncipito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」  
 aún, アウン adv. さらに 「副詞」  
 despues de un silencio: デスプ°エス・デ°ウン・シレンシオ adv. 少し黙った後で 「副詞句」

「よい毒を持っているんだって？僕を長い間苦しめないって本当かい？」

---¿Tienes buen veneno? ¿Estás segura de no hacerme sufrir mucho tiempo?  
 《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」》  
 ---¿Tienes テイエネス 2 単現(tener)v.t 持っている 「動詞」  
 buen veneno? ブエン・ベネノ n.m よい毒を 「目的語」  
 ¿Estás エスタス 2 単現(estar)v.i ~である 「動詞」  
 segura セグラ adj.f(de+不定詞 ~することを) 確信した 「補語」  
 de no hacerme sufrir トゥ・ノ・アセル・メ・スフリール 不定詞・使役・否定(hacer+不定詞+me)  
 n. 僕を苦しめないということ 「副詞句」  
 mucho tiempo? ムチョ・ティエンポ° adv. 長い時間 「副詞句」

僕は胸が締め付けられて立ち止まったが、何も分からないままでいた。

Me detuve, con el corazón oprimido, pero seguía sin comprender.  
 「動詞句」「副詞句」 pero 「動詞」「補語」  
 Me detuve, メ・デトウヘ° 1 単点(detenerse)v.pr 立ち止まった 「動詞句」  
 con el corazón コン・エル・コラソン adv. 心臓で 「副詞句」  
 oprimido, オプリミト° 過去分詞・受動(oprimir)adj. 締め付けられた 「形容詞」  
 pero ヘロ conj. しかし  
 seguía セギア 1 単線(seguir)v.i ~の状態のままでいた 「動詞」  
 sin comprender. シン・コンブ°レンテール adv. 分からない状態 「補語」

「さあ、もう行って！」と、言った。「僕はまた降りたいんだよ」

---Ahora, vete... ---dijo---. ¡Quiero volver a descender!

## XXVI

《「間投」「動詞句」》, 「動詞」, 《「動詞句」》

---Ahora, アオラ adv. さあ 「間投」

vete... ベーテ 命・2 単現(irse)v.pr 行きなさい、立ち去れ 「動詞句」

---dijo---. ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

¡Quiero volver a descender! キエロ・ホルベル・ア・デセンデル 1 単現・願望・再度  
(querer+不定詞 volver a+不定詞)v.i 再び降りたい 「動詞句」

その時、僕自身は視線を石壁の足元のほうへ下げて、飛び上がった。

Entonces bajé yo mismo los ojos hacia el pie del muro y ¡di un brinco!

「副詞」「動詞」「主語」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Entonces エントンス adv. その時 「副詞」

bajé バヘ 1 単点(bajar)v.t 下げた 「動詞」

yo mismo ヨ・ミスト pron 僕自身は 「主語」

los ojos ロス・オス pl.n.m 視線を 「目的語」

hacia el pie del muro アシア・エル・ッピエ・デル・ムロ adv. 石壁の足元のほうへ 「副詞句」

y イ conj. そして

¡di ディ 1 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」

un brinco! ウン・ブリンコ n.m 跳躍を 「目的語」

そこにいたのだ、30 秒で人を処刑するあの黄色い蛇が 1 匹、王子様に向かって真っすぐに頭を持ち上げて。

Estaba allí, erguida hacia el principito, una de esas serpientes amarillas que os ejecutan en treinta segundos.

「動詞」「副詞」, 「主語」

Estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜にいた 「動詞」

allí, アジ adv. そこに 「副詞」

erguida エルギダ 過去分詞(erguir)adj.f (頭を) 真っすぐに立てた 「形容詞」

hacia el principito, アシア・エル・プリンシト adv. 王子様に向かって 「副詞句」

una de esas serpientes ウナ・デ・エサス・セルピエンテス pron その蛇が 1 匹 「主語」

amarillas アマリジャス adj.f.pl 黄色い 「形容詞」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

os オス pron.pl 人々を 「目的語」

ejecutan エヘクタン 3 複現(ejecutar)v.t 処刑する、死刑を執行する 「動詞」

en treinta segundos. エン・トレインタ・セグントス adv. 30 秒で 「副詞句」



## XXVI

僕は、ポケットからリボルバーを取り出しながら駆け出した。しかし僕がたてた音を聞いて、その蛇は、止めた噴水の水が蛇口に吸い込まれるように、そっと静かに砂の中に滑り込んで行き、あまり急がずに金属的な軽い音を立てながら石の隙間をすり抜けていった。

Comencé a correr, mientras buscaba el revólver en mi bolsillo, pero, al oír el ruido que hice, la serpiente se dejó deslizar suavemente por la arena, como un chorro de agua que muere, y, sin apresurarse demasiado, se escurrió entre las piedras con un ligero sonido metálico.

「動詞句」「副詞節」 pero 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Comencé a correr, コメンセ・ア・コレール 1 単点・開始(comencer a+不定詞)v.i 駆け出した「動詞句」

mientras ミエンTRAS conj. ～しながら、～している間 「副詞節」

buscaba ブスカバ 1 単線(buscar)v.t 取り出した、探した 「動詞」

el revólver エル・レボルベール n.m (拳銃) リボルバーを 「目的語」

en mi bolsillo, エン・ミ・ボルシジョ adv. ポケットの中を 「副詞句」

pero, ペロ conj. しかし

al oír アル・オイル adv. ～を聞いて 「副詞句」

el ruido エル・ルイト n.m 音を 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

hice, イェ 1 単点(hacer)v.t 作った、(音を) たてた 「動詞」

la serpiente ラ・セルピエンテ n.f その蛇は 「主語」

se dejó deslizar セ・デホ・デスリサル セ・デホ・デスリサル 3 単点(dejarse+不定詞・自動詞)

v.pr 滑り込んでいった 「動詞句」

suavemente スワベメンテ adv. そっと、静かに 「副詞」

por la arena, ポル・ラ・アレナ adv. 砂の中に 「副詞句」

como un chorro de agua コモ・ウン・チョロ・デ・アグア adv. 噴水のように 「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

muere, ムエレ 3 単現(morir)v.i 消える、止まる 「動詞」

噴水を止める時に、水が噴き出し口に吸い込まれるように

y,

sin +不定詞 シン adv. ～せずに、～しないで 「副詞句」

apresurarse アプレスラルセ 不定詞 v.pr 急ぐ 「動詞句」

demaciado, デマシアド adv. (否定文で) あまり 「副詞」

se escurrió セ・エスクリオ 3 単点(escurrirse)v.pr(entre の間を) すり抜けた 「動詞句」

entre las piedras エントレ・ラス・ッピエトラス adv. 石の隙間を 「副詞句」

con un ligero sonido コン・ウン・リヘロ・ソニト adv. 軽い音を立てて 「副詞句」

metálico. メタリコ adj. 金属的な 「形容詞」

## XXVI

僕が石の壁に到着すると、まさにその時、雪のように青ざめた王子様が壁から落ちてくるのを両腕で受け止めることが出来た。

Llegué al muro justo a tiempo para recibir en brazos a mi hombrecito pálido como la nieve.  
 Llegué ジェゲ 1 単点(llegar)v.i(a に) 着いた 「動詞」  
 al muro アル・ムロ adv. 石の壁に 「間接目的語」  
 justo a tiempo フスト・ア・ティエンポ adv. ちょうどその時に 「副詞句」  
 para +不定詞 パラ adv. ～するために 「副詞句」  
 recibir レシビール 不定詞 v.t 受け取る 「動詞」  
 en brazos エン・ブラソス adv. 両腕で 「副詞句」  
 a mi hombrecito, ア・ミ・オンブレイト n.m 王子様を 「目的語」  
 pálido パルト adj. 青ざめた 「形容詞」  
 como la nieve. コモ・ラ・ニエベ adv. 雪のように 「副詞句」

「これはどういうことかい？今度は、蛇と話をするなんて」

---¿Qué historia es ésta? ¿Ahora hablas con las serpientes?

《「補語」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞」「間接目的語」》

---¿Qué historia ケ・イストリア n.f どんな話 「補語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 ésta? エスタ pron これは 「主語」  
 ¿Ahora アオラ adv. 今度は 「副詞」  
 hablas アブラス 2 単現(hablar)v.i 話す 「動詞」  
 con las serpientes? コン・ラス・セルピエンテス adv. 蛇と 「間接目的語」

彼がいつも首に巻いているマフラーを緩めた。彼のこめかみをぬらして、水を飲ませた。しかしそれ以上は彼に何も聞かなかった。

Aflojé su eterna bufanda de oro. Le mojé las sienes y le hice beber. Y no me atreví a preguntarle nada.

「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「目的語」「動詞句」

Y 「動詞句」「目的語」

Aflojé アフロヘ 1 単点(aflojar)v.t 緩めた 「動詞」  
 su eterna bufanda ス・エテル・ブファンダ n.f いつも首に巻いているマフラーを 「目的語」  
 eterna エテルナ adj.f(eterno) いつもの、永遠の bufanda ブファンダ n.f マフラー  
 de oro. デ・オロ adj. 金色の 「形容詞句」  
 Le レ pron 彼の 「間接目的語」  
 mojé モヘ 1 単点(mojar)v.t ぬらした、湿らした 「動詞」

## XXVI

las sienes	ラス・シエネス pl.n.f	こめかみを	「直接目的語」
y	イ conj.	そして	
le	レ pron	彼に	「目的語」
hice beber.	イェ・ベ・ベール 1 単点・使役(hacer+不定詞)v.t	飲ませた	「動詞句」
Y	イ conj.	そして	
no me atreví a preguntarle	ノ・メ・アトレヴィ・イ・ア・プレグンタル・レ 1 単点・否定・意図		
(atreverse a+不定詞+le)v.t	あえて彼に聞かなかった		「動詞句」
nada.	ナダ pron	何も～ない	「目的語」

彼は重々しく僕を見つめて、両腕で僕の首に抱きついた。僕は彼の心臓が、カービン銃で撃たれて死んでいく小鳥のように激しく脈打つのを感じた。それから僕に言った：

Me miró gravemente y rodeó mi cuello con sus brazos. Sentía latir su corazón como el de un pájaro que muere, herido por una carabina. Y me dijo:

			「目的語」「動詞」「副詞」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
			「動詞」「補語」「目的語」「副詞句」   Y 「間接目的語」「動詞」
Me	メ pron	僕を	「目的語」
miró	ミロ 3 単点(mirar)v.t	見た	「動詞」
gravemente	グラバメント adv.	重々しく	「副詞」
y	イ conj.	そして	
rodeó	ロデオ 3 単点(rodear)v.t	取り巻いた、(首に)抱きついた	「動詞」
mi cuello	ミ・クェジョ n.m	僕の首に	「目的語」
con sus brazos.	コン・ス・ブラソス adv.	両腕で	「副詞句」
Sentía	センチア 1 単線・知覚動詞(sentir)v.t(SVO+C:不定詞) O	が～するのを感じた	「動詞」
latir	ラチル 不定詞 v.i	脈打つ	「補語」
su corazón	ス・コラソン n.m	彼の心臓が	「目的語」
como el de un pájaro	コモ・エル・デ・ウン・パハロ adv.	小鳥の心臓のように	「副詞句」
que muere,	ケ・ムエレ adj.	死んでいく	「形容詞節」
herido	エリト 過去分詞(herir)adj.	傷つけられて	「副詞句」
por una carabina.	ポル・ウナ・カラビナ adv.	カービン銃によって	「副詞句」
Y	イ conj.	そして	
me	メ pron	僕に	「間接目的語」
dijo:	デヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」

## XXVI

「君が機械の欠陥を見つけて、僕はうれしいよ。これで君の家に戻れるね…」

---Estoy contento de que hayas encontrado lo que faltaba a tu máquina. Vas a poder volver a tu casa...      《「動詞」「補語」「副詞節」 | 「動詞句」「間接目的語」》

---Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である      「動詞」

contento コンテント adj.(de que+接続法) ~して満足な、うれしい      「補語」

de que デ・ケ conj. ~したことで      「副詞節」

has encontrado アヤス・エンコントラド 接・2 単現・完了形・話者の想念(encontrar)

v.t 見つけた(だろう)      「動詞句」

lo ロ pron それを      「目的語」

que ケ pron (主語) ~する      「形容詞節」

faltaba ファルタバ 3 単線(faltar)v.i 欠陥がある      「動詞」

a tu máquina. ア・トゥ・マキナ adv. 君の機械に      「間接目的語」

Vas a poder volver バス・ア・ポデール・ボルベール 2 単現・近接未来・可能(ir a+不定詞)

v.i 戻ることが出来る      「動詞句」

a tu casa... ア・トゥ・カーサ adv. 君の家へ      「間接目的語」

「どうしてそれを知っているの？」

---¿Cómo lo sabes?      《「副詞」「目的語」「動詞」》

---¿Cómo コモ adv. どうして      「副詞」

lo ロ pron それを      「目的語」

sabes? サベス 2 単現(saber)v.t 知っている      「動詞」

僕は丁度、飛行機の修理を奇跡的に成功したことを知らせにやってきたところだったのだ。

Precisamente venía a anunciarle que, contra toda esperanza, había tenido éxito en mi trabajo.      「副詞」「動詞句」「目的語」

Precisamente プレシサメンテ adv. ちょうど、まさしく      「副詞」

venía a anunciarle ベニア・ア・アヌンシアル・レ 1 単線・目的(venir a+不定詞+le)

v.i 彼に知らせるためにやってきた      「動詞句」

que, ケ conj. ~ということ      「目的語」

contra toda esperanza, コントラ・トダ・エスペランサ adv. 奇跡的に      「副詞句」

había tenido アビ・ア・テニド 1 単線・完了形(tener)v.t (動作名詞を) した      「動詞句」

éxito エクシト n.m 成功      「目的語」

en mi trabajo. エン・ミ・トラバホ adv. 僕の仕事を      「副詞句」

## XXVI

王子様は僕の質問に何も答えなかったが、付け加えて言った。

No respondió nada a mi pregunta, pero agregó:

「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 pero 「動詞」

No respondió ノ・レスポ・ンデ・イオ 3 単点・否定(responder)v.t 答えなかった 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「直接目的語」

a mi pregunta, ア・ミ・プレグンタ adv. 僕の質問に 「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えて言った 「動詞」

「僕も、今日、僕の所へ戻るところなんだ」

---Yo también, hoy vuelvo a mi casa... 《「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」》

---Yo también, ジョ・タンビエン pron 僕も 「主語」

hoy オイ adv. 今日 「副詞」

vuelvo ブエルボ 1 単現・近接未来(volver)v.i 戻るところだ 「動詞」

a mi casa... ア・ミ・カサ adv. 僕のところへ 「間接目的語」

そして、寂しそうに続けて言った：

Luego, melancólico: 「副詞句」

Luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」

melancólico: メランコリーコ adj. adv. 寂しそうに 「副詞」

「君のところよりずっと遠いんだよ... 君が戻るよりずっと困難なんだよ」

---Es mucho más lejos... Es mucho más difícil... 《「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

---Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

mucho más lejos... ムーチョ・マス・レホス adj. (比較) 君のところよりずっと遠い 「補語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

mucho más difícil... ムーチョ・マス・ディフィシル adj. (比較) 君が戻るよりずっと困難な 「補語」

僕は、何かとんでもないことが起ころうとしていると気が付いた。

Sentí que estaba ocurriendo algo extraordinario. 「動詞」「目的語」

Sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 気づいた、分かった 「動詞」

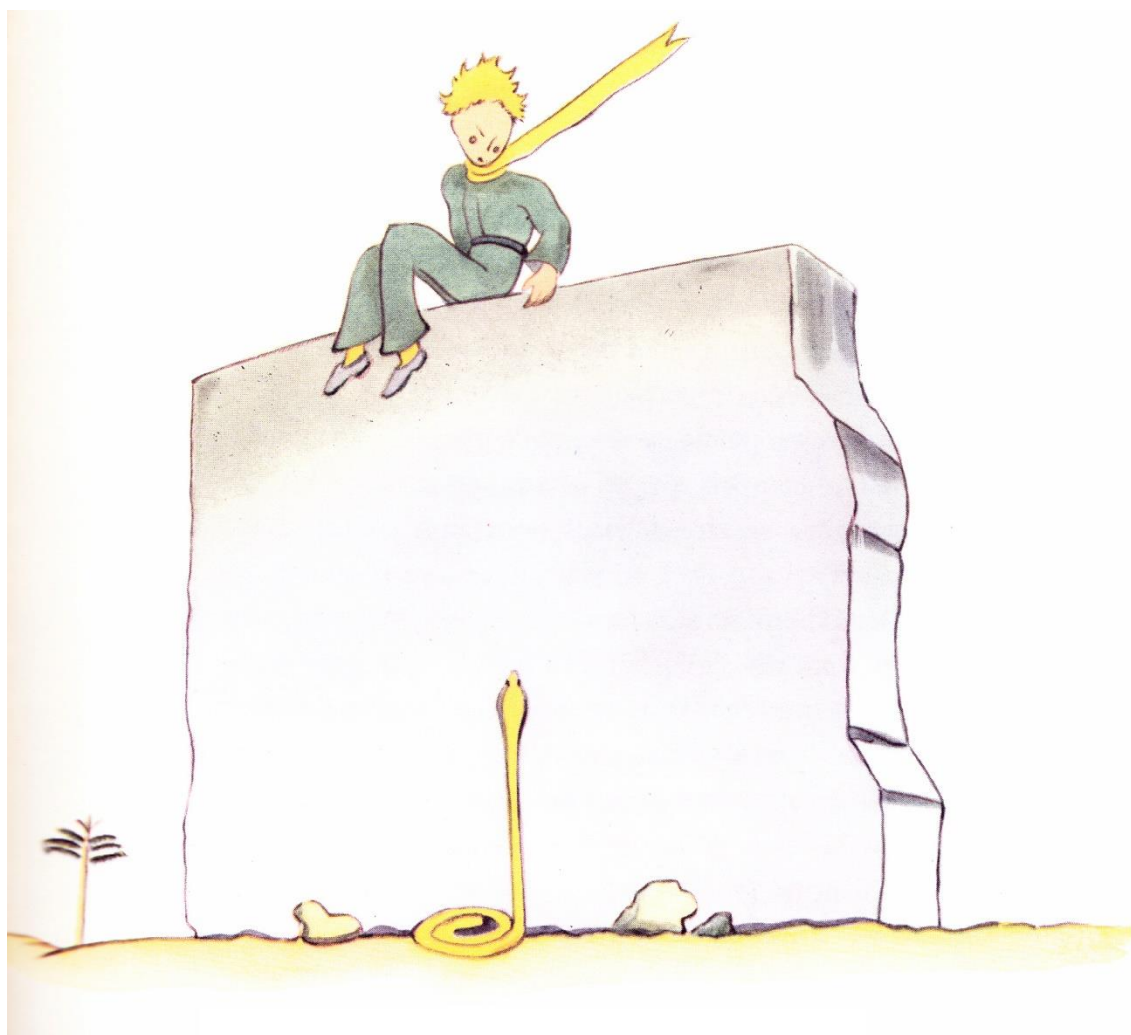
que ケ conj. ～ということが 「目的語」

estaba ocurriendo エスタバ・オクリエント 3 単線・進行形・時制の一致(ocurrir)

v.i 起ころうとしている 「動詞句」

algo extraordinario. アルゴ・エクストラオルデ・イナリオ n.m 何かとんでもないことが 「主語」

## XXVI



僕は、幼子を抱くように両腕でしっかりと王子様を抱き締めた。それなのに、引き留める  
すべもなく、彼が真っ逆さまに深淵に滑り落ちていくように思われた。

Lo estreché en mis brazos como a un niño, y sin embargo, me pareció que se escurría verticalmente hacia un abismo sin que pudiera hacer nada por retenerlo...

「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」

Lo ▯ pron 彼を

「目的語」

estreché エストレチェ 1 単点(estrechar)v.t 抱き締めた

「動詞」

en mis brazos エン・ミス・ブラソス adv. 両腕に

「副詞句」

como a un niño, コモ・ア・ウン・ニョ adv. 子供を抱くように

「副詞句」

y イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず

「副詞句」

me メ pron 僕には

「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~に思われた

「動詞」

que ケ conj. ~ということが

「主語」

## XXVI

se escurría	セ・エスクリア	3 単線・時制の一致(escurrirse)v.pr	滑り落ちる	「動詞句」
verticalmente	ベルチカルメンテ	adv.	垂直に、真っ逆さまに	「副詞」
hacia un abismo	アシア・ウン・アビスモ	adv.	深淵に	「副詞句」
sin que	シン・ケ	conj.	～することなしに	「副詞節」
podiera hacer	プデ・イェラ・アセール	接・1 単過・可能(poder+不定詞)		
v.t	出来ない (だろう)			「動詞句」
nada	ナダ	pron	何も～ない	「目的語」
por retenerlo...	ホル・レネール・ロ	adv.	彼を引き留めるために	「副詞句」

彼の真剣な視線は、ずっと遠くのほうに注がれていた。

<u>Tenía la mirada seria, perdida muy lejos.</u>		「動詞」「目的語」
Tenía	テニア 3 単線(tener)v.t (状態) をしていた	「動詞」
la mirada	ラ・ミラダ` n.f 視線、まなざし	「目的語」
seria,	セリア adj.f 真剣な、まじめな	「形容詞」
perdida	ペルデ`イダ` 過去分詞・受動(perder)v.t 落とされた	「形容詞句」
muy lejos.	ムイ・レホス adv. ずっと遠くのほうへ	「副詞句」

「君のおとなしい羊、持っているよ。それに羊用の箱と口輪も持つてる」

--- <u>Tengo tu cordero. Y tengo la caja para el cordero. Y tengo el bozal...</u>				
《「動詞」「目的語」   Y「動詞」「目的語」   Y「動詞」「目的語」》				
---Tengo	テngo	1 単現(tener)	v.t 持っている	「動詞」
tu cordero.	トゥ・コルデロ	n.m	君のおとなしい羊を	「目的語」
Y	イ	conj.	そして	
tengo	テngo	1 単現(tener)	v.t 持っている	「動詞」
la caja	ラ・カ	n.f	箱を	「目的語」
para el cordero.	パ・ラ・エル・コルデロ	adj.	羊用の	「形容詞句」
Y	イ	conj.	そして	
tengo	テngo	1 単現(tener)	v.t 持っている	「動詞」
el bozal...	エル・ボサル	n.m	口輪を	「目的語」

彼は、憂鬱そうに微笑んだ。

<u>Sonrió con melancolía.</u>		「動詞」「副詞句」
Sonrió	ソnリオ 3 単点(sonreír)v.i	微笑んだ 「動詞」
con melancolía.	コン・メランコリア adv.	憂鬱そうに 「副詞句」

## XXVI

僕は長い間待った。少しづつ、彼が再び暖まってくるのを感じた。

Esperé largo rato. Sentía que volvía a entrar en calor poco a poco.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Esperé エスペレ 1 単点(esperar)v.i 待った

「動詞」

largo rato. ラルゴ・ラト adv.(long while) 長い間

「副詞句」

Sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

volvía a+不定詞 ボルビア・ア 3 単線・再度(volver a+不定詞)v. 再び～した 「動詞句」

entrar en calor エントラル・エン・カール 不定詞 v.i 暖まる

「動詞句」

poco a poco. ポコ・ア・ポコ adv. 少しづつ

「副詞句」

「怖かったんだね、坊や」

---Has tenido miedo, hombrecito.

《「動詞句」「目的語」, 「呼びかけ」》

---Has tenido アス・テニト 2 単現・完了形(tener)v.t あった

「動詞句」

miedo, ミエト n.m 恐怖、おそれ

「目的語」

hombrecito. オンブレシト n.m 坊や

「呼びかけ」

間違いなく、怖かったはずだ。でも彼はそっと笑った。

Había tenido miedo, sin duda. Pero rió suavemente.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | Pero 「動詞」「副詞」

Había tenido アビア・テニト 3 単線・完了形(tener)v.t あった

「動詞句」

miedo, ミエト n.m 恐怖、おそれ

「目的語」

sin duda. シン・ドゥダ adv. 間違いなく

「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った

「動詞」

suavemente. スバメンテ adv. そっと

「副詞」

「今夜は、もっとずっと怖いだろうな」

---Tendré mucho más miedo esta noche...

《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

---Tendré テントレ 1 単未(tener)v.t あるだろう

「動詞」

mucho más miedo ムチョ・マス・ミエト n.m もっと恐怖

「目的語」

esta noche... エスタ・ノチェ adv. 今夜は

「副詞句」

僕は、取り返しをつかないという感覚のために、再び寒気を感じた。

De nuevo me sentí helado por la sensación de lo irreparable.

「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞句」



## XXVI

De nuevo デ・ヌエボ	adv. 再び、もう一度	「副詞句」
me sentí メ・セチ	1 単点(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた	「動詞句」
helado ヘラド	adj. 凍った	「補語」
por la sensación ホル・ラ・センサシオン	adv. 感覚のために	「副詞句」
de lo irreparable. デ・ロ・イレパラブレ		
adj. (同格) 取り返しのつかないという		「形容詞句」

そして王子様のあの笑い声を二度と聞けないのだという結論には耐えられないだろうと分かった。あの笑い声は、僕にとっては、砂漠の中の泉のようなものだったのだから。

Y comprendí que no soportaría la idea de no oír nunca más su risa. Era para mí como una fuente en el desierto. Y 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「間接目的語」「補語」

Y イ conj. そして

comprendí コンプレンティ	1 単点(comprender)v.t 分かった	「動詞」
que ケ conj.	〜ということが	「目的語」

no soportaría ノ・ソポルタリア 1 単過未・否定(soportar)

v.t 〜に耐えられないだろう 「動詞句」

la idea ラ・イデア n.f 考えに 「目的語」

de +不定詞 デ adj. (同格) 〜するという 「形容詞句」

no oír ノ・イル 不定詞・否定 v.t 聞こえない 「動詞句」

nunca más su risa. ヌンカ・マス・ス・リサ

n.f 彼の笑い声を二度と〜ない 「目的語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては 「間接目的語」

como una fuente コモ・ウナ・フエンテ adv. 泉のような 「補語」

en el desierto. エ・ネル・デシエルト adv. 砂漠の中の 「副詞句」

「坊や... 僕は君の笑い声をもう一度が聞きたいよ」

---Hombrecito..., quiero oírte reír otra vez...

《「呼びかけ」... 「動詞句」「補語」「副詞句」》

---Hombrecito..., ホンブレチト n.m 坊や 「呼びかけ」

quiero oírte キエロ・イルテ 1 単現・願望(querer+不定詞 oír+te)

v.t 君の声を聞きたい 「動詞句」

reír レイル 不定詞 v.i 笑う 「補語」

otra vez... オトラ・ベス adv. もう一度 「副詞句」

## XXVI

しかし彼は僕に言った：

Pero me dijo:

Pero 「間接目的語」「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

「今夜で1年になるんだ。僕の星は、1年前に僕が落ちた場所の真上にくるだろう」

---Esta noche, hará un año. Mi estrella se encontrará exactamente sobre el lugar donde caí el año pasado...      《「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》

---Esta noche, エスタ・ノチェ adv. 今夜で

「副詞句」

hará アラ 3 単未(hacer)v.t (+数詞、計算して) ~になる

「動詞」

un año. ウン・アニョ n.m 1 年

「目的語」

Mi estrella ミ・エストレジャ n.f 僕の星は

「主語」

se encontrará セ・エンコントラ 3 単未(encontrarse)v.pr (ある場所に) あるだろう

「動詞句」

exactamente エクサクタメンテ adv. 正確に

「副詞」

sobre el lugar ソブレ・エル・ルガル adv. その場所の上に

「副詞句」

donde トンデ adv. (副詞) ~する

「副詞節」

caí カイ 1 単点(caer)v.i 落ちた

「動詞」

el año pasado... エル・アニョ・パサド adv. 1 年前に

「副詞句」

「坊や、蛇とか待ち合わせ場所とか星の話は、悪い夢じゃないのかい？」

---Hombrecito, ¿verdad que es un mal sueño esa historia de la serpiente, de la cita y de la estrella?...      《「呼びかけ」, 「副詞句」「動詞」「補語」「主語」》

Hombrecito, オンブレシト n.m 坊や

「呼びかけ」

¿verdad que ベルダデ・ケ adv. (念押し) ~ではないのかい？

「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

un mal sueño ウン・マル・スエニョ n.m 悪い夢

「補語」

esa historia エサ・イストリア n.f その話は

「主語」

de la serpiente, デ・ラ・セルピエンテ adj. 蛇の

「形容詞句」

de la cita デ・ラ・シタ adj. 待ち合わせ場所の

「形容詞句」

y イ conj. そして

de la estrella?... デ・ラ・エストレジャ adj. 星の

「形容詞句」

悪いことに、彼は僕の質問には答えずに、言った。

Peor no contestó a mi pregunta, y dijo:

「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「動詞」

Peor ペオル adv. さらに悪く

「副詞」

## XXVI

no contestó ノ・コンテスト 3 単点・否定(contestar)v.t 答えなかった 「動詞句」  
 a mi pregunta, ア・ミ・プレグンタ n.f 僕の質問に 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「大切なもの、それは目には見えないんだよ」

---Lo que es importante, eso no se ve. 《「主語」「動詞句」》  
 ---Lo ロ pron それは 「主語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 importante, インポルタンテ adj. 重大な、大切な 「補語」  
 eso エソ pron それは 「主語」  
 no se ve. ノ・セ・ベ 3 単現・再帰受動・否定(verse)v.pr 見えない 「動詞句」

「その通りだね」

---Ciertamente... 《「応答」》  
 ---Ciertamente... シェルタメンテ adv. その通りだ 「応答」

「あの花についてと同じようだね。星にある花が好きなら、夜に空を眺めることが楽しくなる。すべての星が花盛りになるから」

---Es como con la flor. Si amas a una flor que se encuentra en una estrella, es agradable mirar el cielo por la noche. Todas las estrellas están florecidas.  
 《「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」》  
 ---Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 como コモ adv. ～のような 「補語」  
 con la flor. コン・ラ・フロール adv. あの花について 「副詞句」  
 Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」  
 amas アマス 2 単現(amar)v.t 愛する 「動詞」  
 a una flor ア・ウナ・フロール n.f 一輪の花を 「目的語」  
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」  
 se encuentra セ・エンクエンタ 3 単現(encontrarse)  
 v.pr (ある場所に) ある 「動詞句」  
 en una estrella, エン・ウナ・エストレジャ adv. ある星に 「副詞句」  
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」  
 agradable アグラダブレ adj. 楽しい 「補語」  
 mirar ミラル 不定詞 v.t ～を見ることは 「主語」

## XXVI

el cielo エル・シエロ n.m	空を	「目的語」
por la noche. ポル・ラ・ノチェ adv.	夜に	「副詞句」
Todas las estrellas トダス・ラス・エストレージャス pl.n.f	すべての星が	「主語」
están エスタン 3 複現(estar)v.i	～になっている	「動詞」
florecidas. フロシダス 過去分詞(florecer)adj.pl.f	満開の	「補語」

「その通りだね」

---Ciertamente. 《「応答」》

---Ciertamente. シェルタメンテ adv. その通りだ 「応答」

「あの水についてと同じようだね。君が僕に飲ませてくれたあの水は音楽のようだった。

覚えているだろう？ほっとする飲み物だったね」

---Es como con el agua. La que me has dado a beber era como una música, por la roldana y por la cuerda... ¿Te acuerdas?... Era dulce.

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | 「動詞句」 | 「動詞」「補語」》

---Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

como コモ adv. ～のような 「補語」

con el agua. コン・エル・アグア adv. あの水について 「副詞句」

La ラ pron その水は 「主語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

has dado アス・ダト 2 単現・完了形・使役(dar a+不定詞)

v.t ～させた 「動詞句」

a beber ア・ベベール 不定詞 v.t 飲む 「動詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

como una música, コモ・ウナ・ムシカ adv. 音楽のような 「補語」

por la roldana ポル・ラ・ロルダナ adv. 滑車のおかげで 「副詞句」

y イ conj. そして

por la cuerda... ポル・ラ・クエルダ adv. ロープのおかげで 「副詞句」

¿Te acuerdas?... テ・アクエルダス 2 単現(acordarse)v.pr (同意を求める) 覚えているね 「動詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

dulce. ドゥアルセ adj. 甘い、心地よい 「補語」

「その通りだね」

---Ciertamente. 《「応答」》

---Ciertamente. シェルタメンテ adv. その通りだ 「応答」

## XXVI

「夜には、星を眺めてね。僕のところはとても小さいから、僕の星がどこにあるかを君に示すことができないんだ」

---Por la noche mirarás las estrellas. No te puedo mostrar dónde se encuentra la mía, porque mi casa es muy pequeña.

《「副詞句」「動詞」「目的語」

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「副詞節」》

---Por la noche ホル・ラ・ノチェ adv. 夜には 「副詞句」  
 mirarás ミラス 2 単未・勧誘(mirar)v.t 眺めてね 「動詞」  
 las estrellas. ラス・エストレージャス pl.n.f 星を 「目的語」  
 No ...puedo mostrar ノ...プエト・モストラル 1 単現・可能・否定(poder+不定詞)  
 v.t 示すことができない 「動詞句」  
 te テ pron 君に 「間接目的語」  
 dónde トンデ adv. どこに〜するかということ 「直接目的語」  
 se encuentra セ・エンクエントラ 3 単現(encontrarse)  
 v.pr (ある場所に) ある 「動詞句」  
 la mía, ラ・ミア n.f 僕の星が 「主語」  
 porque ポル conj. 〜なので 「副詞節」  
 mi casa ミ・カサ n.f 僕のところは 「主語」  
 es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」  
 muy pequeña. マイ・ペケンヤ adj.f とても小さい 「補語」

だけどそのほうがいいだろう。僕の星は君にとって多くの星の中の 1 つになるだろう。そうしたら、君はすべての星を見ることが好きになるだろう。すべての星が君の友達になるだろう。その後で、君にプレゼントをするよ。

Será mejor así. Mi estrella será para ti una de las estrellas. Entonces te agraderá mirar todas las estrellas... Todas serán tus amigos. Y luego te voy a hacer un regalo...

《「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」

「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Y 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Será セラ 3 単未・推量(ser)v.i 〜だろう 「動詞」  
 mejor メホル adj. より良い 「補語」  
 así. アシ adv. そのようなことは 「主語」  
 Mi estrella ミ・エストレージャ n.f 僕の星は 「主語」  
 será セラ 3 単未・推量(ser)v.i 〜になるだろう 「動詞」  
 para ti パラ・ティ adv. 君にとっては 「副詞句」

## XXVI

una de las estrellas. ウナ・デ・ラス・エストレージャス n.f	多くの星の中の1つ	「補語」
Entonces エントンス adv.	その時、そうしたら	「副詞」
te テ pron	君にとって	「間接目的語」
agradará アグラダラ 3 単未・推量(agradar)v.i	好きになるだろう	「動詞」
mirar ミラル 不定詞 v.t	眺めることが	「主語」
todas las estrellas... トダス・ラス・エストレージャス pl.n.f	すべての星を	「目的語」
Todas トダス pron.pl	すべての星が	「主語」
serán セラン 3 複未(ser)v.i	～になるだろう	「動詞」
tus amigos. トゥス・アミゴス pl.n.m	君の友達に	「補語」
Y イ conj.	そして	
luego ルエゴ adv.	その後で	「副詞」
te テ pron	君に	「間接目的語」
voy a hacer ボイ・ア・アセル 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.t	～をするつもりだ	「動詞句」
un regalo... ウン・レガロ n.m	プレゼントを	「直接目的語」

彼はまた笑った。

Volvió a reír.

「動詞句」

Volvió a reír. ボルビョ・ア・レイール 3 単点・再度(volver a+不定詞)v.i

「動詞句」

「ああ、坊や、坊や！僕は、君の笑い声を聞くのが好きなんだ！」

---¡Ah!... hombrecito... hombrecito... ¡Me gusta oír tu risa!

《「感嘆」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」》

---¡Ah!, hombrecito..., hombrecito... アー・オンブレイト・オンブレイト

int. ああ、坊や、坊や

「感嘆」

¡Me メ pron 僕にとって | 「間接目的語」 || gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i | 気に入る | 「動詞」 |
| oír オイル 不定詞 v.t | ～を聞くことは | 「主語」 |
| tu risa! トゥ・リサ n.f | 君の笑い声を | 「目的語」 |

「まさしく、それが僕のプレゼントになると思うよ。あの水と同じようになるよ」

---Precisamente, será mi regalo... Será como con el agua...

《「副詞」, 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」》

---Precisamente, プレシサメンテ adv. まさしく | 「副詞」 || será セラ 3 単未・推測(ser)v.i | ～になると思う | 「動詞」 |
| mi regalo... ミ・レガロ n.m | 僕のプレゼント | 「補語」 |
| それ「主語」 | は、「僕の笑い声」を表す |  |

## XXVI

Será スラ 3 単未・推測(ser)v.i 〜になると思う 「動詞」  
 como con el agua... コモ・コン・エル・アグア adv. あの水の場合と同じように 「補語」

「どういう意味なの？」

---¿Qué quieres decir? 《「目的語」「動詞句」》

---¿Qué ケ pron 何を「目的語」

quieres decir? キエレス・デシール 2 単現・願望(querer+不定詞)v.t 言いたい「動詞句」

「何を言いたいの？」→「どういう意味？」

「人々はそれぞれ異なる星を持っているんだよ。旅行者にとって、星は道案内になるんだ」

---Las gentes tienen estrellas que no son las mismas. Para unos, los que viajan, las estrellas son guías. 《「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

---Las gentes ラス・ヘンテス pl.n.f 人々は 「主語」

tienen ティエネン 3 複現(tener)v.t 持っている 「動詞」

estrellas エストレジャス pl.n.f 星を 「目的語」

que ケ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」

no son ノ・ソン 3 複現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」

las mismas. ラス・ミスマス adj.f.pl 同じ 「補語」

Para unos, パラ・ウノス adv. ある人たちにとって 「副詞句」

los ロス pron.pl (同格) その人々 「形容詞」

que ケ pron.pl (目的語) 〜する 「形容詞節」

viajan, ビアハン 3 複現(viajar)v.i 旅行する 「動詞」

las estrellas ラス・エストレジャス pl.n.f 星たちは 「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i 〜である 「動詞」

guías. ギアス pl.n.f 道案内 「補語」

「他の人々にとっては小さな光に過ぎない。別の学者にとっては難題だし、知り合いの事業家にとっては富だった。」

Para otros, no son más que lucecitas. Para otros, que son sabios, son problemas. Para mi hombre de negocios, eran oro.

《「副詞句」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」》

Para otros, パラ・オトロス adv. 他の人々にとっては 「副詞句」

no son ノ・ソン 3 複現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」

más que lucecitas. マス・ケ・ルセシタス adv. 小さな光以上の 「補語」

no ser más que 〜 「〜に過ぎない」 lucecitas ← luces(luz) + -citas (示小接尾辞)

Para otros, パラ・オトロス adv. 他の人々にとっては 「副詞句」

## XXVI

que son sabios, ケ・ソン・サビオス	adj. 学者の	「形容詞節」
son ソン 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
problemas. プロブレマス	pl.n.m 問題、難問	「補語」
Para mi hombre de negocios, パラ・ミ・オンブレ・デ・ネゴシオス		
adv. 僕の知ってる事業家にとっては		「副詞句」
eran エラン 3 複線(ser)v.i	～だった	「動詞」
oro. オロ	n.m 富、金、黄金	「補語」

「だけど、どの星も話さない。君は誰も持ったことがない星を持つことになるんだよ」

Pero todas esas estrellas no hablan. Tú tendrás estrellas como nadie las ha tenido.

《Pero 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Pero ペロ conj.	だけど	
todas esas estrellas トダス・エス・エストレジャス	pl.n.f それらの星たちは皆	「主語」
no hablan. ノ・アブラン 3 複現・否定(hablar)v.i	話さない	「動詞句」
Tú トゥ pron	君は	「主語」
tendrás テンドラス 2 単末(tener)v.t	持つことになる	「動詞」
estrellas エストレジャス	pl.n.f 星たちを	「目的語」
como コモ conj.	～するような	「形容詞節」
nadie ナディエ pron	誰も～ない	「主語」
las ラス pron.f.pl	星を	「目的語」
ha tenido. ア・テニド 3 単現・完了形(tener)v.t	持った	「動詞句」

「どういう意味なの？」

---¿Qué <u>quieres decir</u> ?	《「目的語」「動詞句」》
---¿Qué ケ pron 何を	「目的語」
quieres decir? キエレス・デシル 2 単現・願望(querer+不定詞)v.t 言いたい	「動詞句」

「夜に君が空をみると、僕はそれらの星の 1 つに住むことになって、そこで笑うだろうから、君にとってはまるであらゆる星が笑っているみたいになるだろう」

---Cuando mires al cielo, por la noche, come yo habitaré en una de ellas, como yo reiré en una de ellas, será para ti como si rieran todas las estrellas.

《「副詞節」, 「副詞節」「副詞節」, 「動詞」「間接目的語」「補語」》

---Cuando クワンド conj.	～するとき	「副詞節」
mires ミレス 接・2 単現 (話者の推測) (mirar)v.i	見る	「動詞」
al cielo, アル・シエロ adv.	空の方を	「間接目的語」
por la noche, ポル・ラ・ノチェ adv.	夜に	「副詞句」



## XXVI

come コモ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
yo ジョ pron 僕は	「主語」
habitaré アビタル 1 単末(habitar)v.i 住むことになる	「動詞」
en una de ellas, エン・ウナ・デ・エジャス adv. それらの星の 1 つに	「副詞句」
come コモ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
yo ジョ pron 僕は	「主語」
reiré レイレ 1 単末(reir)v.i 笑うだろう	「動詞」
en una de ellas, エン・ウナ・デ・エジャス adv. それらの星の 1 つで	「副詞句」
será セラ 3 単末(ser)v.i ～になるだろう	「動詞」
para ti パラ・ティ adv. 君にとっては	「間接目的語」
como コモ conj. ～のような	「補語」
si rieran シ・シエラン 接・3 複過(reírse)v.pr 笑っている	「動詞句」
todas las estrellas. トダス・ラス・エストレジャス pl.n.f あらゆる星が	「主語」

「君は笑うことができる星を持つことになるんだ」

i <u>Tú tendrás estrellas que saben reír!</u>	《「主語」「動詞」「目的語」》
i Tú トゥ pron 君は	「主語」
tendrás テントラス 2 単末(tener)v.t 持つことになる	「動詞」
estrellas エストレジャス pl.n.f 星を	「目的語」
que ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
saben reír! サベン・レイール 3 複現・可能(saber+不定詞)	
v.i 笑うことができる	「動詞句」

そう言ってまた笑った。

Y <u>volvió a reír.</u>	Y 「動詞句」
Y イ conj. そして	
volvió a reír. ボルビョ・ア・レイール 3 単点・再度(volver a+不定詞)v. 再び～する	
v.i また笑った	「動詞句」

「そして君の気持ちが落ち着いたら (どんな時も安らぎはあるよ)、君は僕と知り合ったことを嬉しくなるだろう。君はいつまでも僕の友達だよ」

---Y cuando te hayas consolado (siempre se encuentra consuelo) estarás contento de haberme conocido. Serás siempre mi amigo.

《Y 「副詞節」 (「副詞」「動詞句」「主語」) 「動詞」「副詞」「補語」》

---Y イ conj. そして	
cuando クワント conj. ～するとき	「副詞節」

## XXVI

te hayas consolado テ・アヤス・コンソラト 接・2 単現・完了形再帰受動(consolarse)

v.pr 慰められた、気持ちが落ち着いた

「動詞句」

(siempre シエンプレ adv. いつだって

「副詞」

se encuentra セ・エンクエンタ 3 単現(encintrarse)v.pr ある

「動詞句」

consuelo) コンスエロ n.m 安らぎ、慰めは

「主語」)

estarás エスタラス 2 単末(estar)v.i になるだろう

「動詞」

contento コンテント adj. 嬉しい

「補語」

de +不定詞・完了形 テ adv. (原因) したこと

「副詞句」

haberme conocido. アベル・メ・コノシト 不定詞・完了形(conocer)

v.t 僕と知り合った

「動詞句」

Serás セラス 2 単末(ser)v.i である

「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつでも

「副詞」

mi amigo. ミ・アミゴ n.m 僕の友達

「補語」

「君は僕と一緒に笑いたくなるよ。そうしたら、時々こんな風に気晴らしに窓をあけてね。すると、君の友達は君が空を見ながら笑うのを見てびっくりするだろう」

Tendrás deseos de reír conmigo. Y abrirás a veces tu ventana, así... por placer... Y tus amigos se asombrarán al verte reír mirando el cielo.

《「動詞句」「副詞句」 | Y 「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」

Y 「主語」「動詞句」「副詞句」》

Tendrás deseos de +不定詞 テントラス・デ・セアス・テ 2 単末・意志(tener deseos de+不定詞)

v.t したくなるだろう

「動詞句」

reír レイル 不定詞 v.i 笑う

「動詞句」

conmigo. コンミゴ adv. 僕と一緒に

「副詞句」

Y イ conj. そして、そうしたら

abrirás アブリラス 2 単末・要望(abrir)v.t 開けてちょうだい

「動詞」

a veces ア・ベセス adv. 時々

「副詞句」

tu ventana, トゥ・ベンタナ n.f 窓を

「目的語」

así..., アシ adv. こんな風に

「副詞」

por placer... ホル・プラセル adv. (目的) 気晴らしに

「副詞句」

Y イ conj. そして、すると

tus amigos トゥス・アミゴス pl.n.m 君の友達は

「主語」

se asombrarán セ・アソンプララン 3 複末(asombrarse)v.pr びっくりするだろう

「動詞句」

al verte アル・ベル・テ adv. (原因) 君を見て

「副詞句」

reír レイル 不定詞 v.i 笑う

「補語」

mirando ミランド 現在分詞(mirar)v.i 見ながら

「副詞句」

## XXVI

el cielo. エル・シエロ n.m 空を

「目的語」

「その時に君は、“そうなんだ、星を見るといつも僕は笑いがこみ上げるんだ” というだろうね。すると彼らは君の気が変になったと思うだろう。僕は君にとってもひどい仕打ちをしたことになってしまうだろうね。」

Entonces les dirás: «Sí, las estrellas siempre me hacen reír», y ellos te creerán loco. Te habré hecho una muy mala jugada...

《「副詞」「間接目的語」「動詞」：「応答」,「主語」「副詞」「目的語」「動詞」「補語」, y「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Entonces エントンス adv. その時には 「副詞」

les レ pron.pl 彼らに 「間接目的語」

dirás: ディラス 2 単末(decir)v.i 言うだろう 「動詞」

《Sí, シ adv. (肯定) そうだ 「応答」

las estrellas ラス・エストレージャス pl.n.f 星たちは 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

me メ pron 僕を 「目的語」

hacen アセン 3 複現・使役(hacer+不定詞)v.t ~させる 「動詞」

reír》レイール 不定詞 v.i 笑う 「補語」

無生物主語の las estrellas 星たちを me 僕が reír 笑う原因として、能動態に翻訳する, y イ conj. すると

ellos エジョス pron 彼らは 「主語」

te テ pron 君を 「目的語」

creerán クレエラン 3 複末(creer)v.t 思うだろう 「動詞」

loco. ロコ adj. 気が変になった 「補語」

Te テ pron 君に 「間接目的語」

habré hecho アブレ・ヘチョ 1 単末・完了形・推測(hacer)v.t ~したことになるだろう 「動詞句」

una muy mala jugada... ウナ・ムー・マラ・ファダ n.f とてもひどい仕打ちを 「直接目的語」

jugada ファダ n.f プレー、一手、汚い手段、悪だくみ

そう言ってまた笑った。

Y volvió a reír: Y 「動詞句」

Y イ conj. そして

volvió a reír: ボルビョ・ア・レイール 3 単点・再度(volver a+不定詞)v. 再び~する

v.i また笑った 「動詞句」

## XXVI

「そうすると、まるで僕は君に、星の代わりに笑うことのできる沢山の鈴をあげたようなことになるね」

---Será como si te hubiera dado en lugar de estrellas un montón de cascabelitos que saben reír... 《「動詞」「補語」》

---Será セラ 3 単未・話者の推測(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」

como si コモ・シ conj. まるで~するような 「補語」

te テ pron 君に 「間接目的語」

hubiera dado ヲビエラ・ダト 接・1 単過・完了形・仮定法(dar)

v.t あげた 「動詞句」

en lugar de estrellas エン・ルガール・デ・エストレージャス adv. 星の代わりに 「副詞句」

un montón de ウン・モンソン・デ adj. 沢山の 「形容詞句」

cascabelitos カスカベルイトス n.m(cascabel + -itos) 小さな鈴を 「直接目的語」

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

saben reír... サベン・レイール 3 複現・可能(saber+不定詞)

v.i 笑うことができる 「動詞句」

そう言ってまた笑った。それから彼は真剣な顔つきになった：

Y volvió a reír. Después se puso serio: Y 「動詞句」 | 「副詞」「動詞句」「補語」

Y イ conj. そして

volvió a reír. ボルビョ・ア・レイール 3 単点・再度(volver a+不定詞)v. 再び~する

v.i また笑った 「動詞句」

Después デスプエス adv. その後で 「副詞」

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr(+補語) ~になった 「動詞句」

serio: セリオ adj. 真剣な、まじめな 「補語」

「今晚は... ねえ... 来ないでね...」

---Esta noche..., ¿sabes?..., no llega. 《「副詞句」, 「呼びかけ」, 「動詞句」》

---Esta noche..., エスタ・ノチェ adv. 今晚は 「副詞句」

¿sabes?..., サベス 2 単現・呼びかけ(saber)adv. ねえ、わかるだろう? 「呼びかけ」

no llega. ノ・ジエガ 命・2 単現・否定(llegar)v.i 来ないで 「動詞句」

「僕は君から離れないよ」

---No me separaré de ti. 《「動詞句」「副詞句」》

---No me separaré ノ・メ・セパレ 1 単未(separarse)v.pr(de から) 離れない 「動詞句」

de ti. デ・ティ adv. 君から 「副詞句」

## XXVI

「僕は苦しんでいるように見えるだろうね。ちょっと死んでしまうみたいに見えるだろう。  
こんな風にね。見に来ないでね、それには及ばないよ」

---Parecerá que sufro... Parecerá un poco que me muero. Es así. No vengas a verlo, no vale la pena...  
 《「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「補語」 | 「動詞」「補語」  
 「動詞句」, 「動詞句」「目的語」》

---Parecerá パレセラ 3 単末(parecer)

v.i ~のように見えるだろう、~のようになるだろう 「動詞句」  
 que ケ conj. ~ということ 「主語」  
 sufro... 1 単現(sufrir)v.i 苦しんでいる 「動詞」

Parecerá パレセラ 3 単末(parecer)

v.i ~のように見えるだろう、~のようになるだろう 「動詞句」  
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「補語」  
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」  
 me muero. メ・ムエロ 1 単現(morirse)v.pr 死んでしまう 「動詞句」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 así. アシ adv. こんな風 「補語」

No vengas a verlo, ノ・ベンガス・ア・ベル・ロ 接・2 単現・否定命令(venir a+不定詞+lo)

v.i それを見に来ないでね 「動詞句」  
 no vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.t ~に値しない 「動詞句」  
 la pena... ラ・ペナ n.f 労力 「目的語」  
 「それは労力に値しない」→「それには及ばない」

「僕は君から離れないよ」

---No me separaré de ti. 《「動詞句」「副詞句」》

---No me separaré ノ・メ・セパ・ラレ 1 単末(separarse)v.pr(de から) 離れない 「動詞句」  
 de ti. テ・ティ adv. 君から 「副詞句」

それでも彼は心配だった。

Pero estaba inquieto. Pero 「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし  
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」  
 inquieto. インキエト adj. 不安な、心配な 「補語」

## XXVI

「蛇のことがあるから... 君にこう言うんだよ。蛇が君を咬んではいけないから。蛇というのは困りものなんだよ。気晴らしに咬みつくかも知れないんだ」

---Te digo esto... también por la serpiente. No debe morderte... Las serpientes son malas. Pueden morder por placer...

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「副詞句」 | 「動詞句」  
「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」》

---Te テ pron 君に 「間接目的語」  
digo ディゴ 1 単現(decir)v.t 言う 「動詞」  
esto... エスト pron このように 「直接目的語」  
también por la serpiente. タンビエン・ホル・ラ・セルピエンテ adv. 蛇のせいでも 「副詞句」  
No debe morderte... ノ・デベ・モルテール・テ 3 単現・否定・必然(deber+不定詞+te)  
v.t 蛇が君を咬んではいけない 「動詞句」  
Las serpientes ラス・セルピエンテス pl.n.f 蛇というのは 「主語」  
son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」  
malas. マラス adj.f.pl 都合の悪い、困りものの 「補語」  
Pueden morder プエテン・モルテール 3 複現・可能性(poder+不定詞)  
v.t 咬みつくかもしれない 「動詞句」  
por placer... ホル・プラセル adv. 気晴らしに 「副詞句」

「僕は君から離れないよ」

---No me separaré de ti. 《「動詞句」「副詞句」》

---No me separaré ノ・メ・セパレ 1 単末(separarse)v.pr(de から) 離れない 「動詞句」  
de ti. デ・ティ adv. 君から 「副詞句」

しかし何かは彼を安心させた。

Pero algo lo tranquilizó: Pero 「主語」「目的語」「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

algo アルゴ pron 何かは「主語」

lo ロ pron 彼を「目的語」

tranquilizó: トランキリ 3 単点(tranquilizar)v.t 安心させた「動詞」

「蛇が2度目に咬むときには毒がないというのは、確かなんだ」

---Es cierto que no tienen veneno en la segunda mordedura...

「動詞」「補語」「主語」

---Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

cierto シエルト adj. 確実な、確かな

「補語」

## XXVI

que ケ conj. ～ということは	「主語」
no tienen ノ・ティエネン 3 複現・否定(tener)v.t ない	「動詞句」
veneno ベネノ n.m 毒	「目的語」
en la segunda mordedura... エン・ラ・セグンダ・モルデトゥラ	
adv. 2 度目に咬むときには	「副詞句」

その夜、僕は彼が出かけるところを見なかったが、彼はこっそり抜け出していたのだ。

Esa noche no lo vi ponerse en camino. Se evadió sin ruido.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」

Esa noche エサ・ノチェ adv. その夜	「副詞句」
no ...vi ノ...ビ 1 単点・否定(ver)v.t 見なかった	「動詞句」
lo ロ pron 彼が	「目的語」
ponerse en camino. ポネルセ・オン・カミノ 不定詞句 v.i 出発する、出かける	「補語」
Se evadió セ・エバディオ 3 単点(evadirse)v.pr 抜け出していた	「動詞句」
sin ruido. シン・ルイト adv. 音もなく、こっそりと	「副詞句」

追いつくことができたとき、彼は決心した様子で、早足に歩いていた。そして、僕に一言だけ言った：

Cuando logré alcanzarlo, caminaba decidido, con paso rápido. Y me dijo solamente:

「副詞節」, 「動詞」「補語」「副詞句」 | Y 「間接目的語」「動詞」「副詞」

Cuando クワント conj. ～した時	「副詞節」
logré alcanzarlo, ログレ・アルカサル・ロ 1 単点・達成(lograr+不定詞+lo)	
v.t 彼に追いつくことができた	「動詞句」
caminaba カミバ 3 単線(caminar)v.i 歩いていた	「動詞」
decidido, デシディト adj. 決心した様子で	「補語」
con paso rápido. コン・パソ・ラピト adv. 早急に	「副詞句」
Y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
solamente: ソラメンテ adv. 一言だけ	「副詞」

「ああ！君もそこに来ていたんだ...」

---¡Ah! Estás ahí...

《「感嘆」 | 「動詞」「副詞」》

---¡Ah! アー int. ああ！

「感嘆」

Estás エスタス 2 単現(estar)v.i ～にいた

「動詞」

ahí... アイ adv. そこに

「副詞」

## XXVI

彼は僕の手を掴んだが、苦しみ続けて、言った：

Me tomó de la mano. Pero siguió atormentándose:

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | Pero 「動詞句」

Me メ pron 僕の

「間接目的語」

tomó トモ 3 単点(tomar)v.t つかんだ

「動詞」

de la mano. デ・ラ・マーノ n.f 手を

「直接目的語」

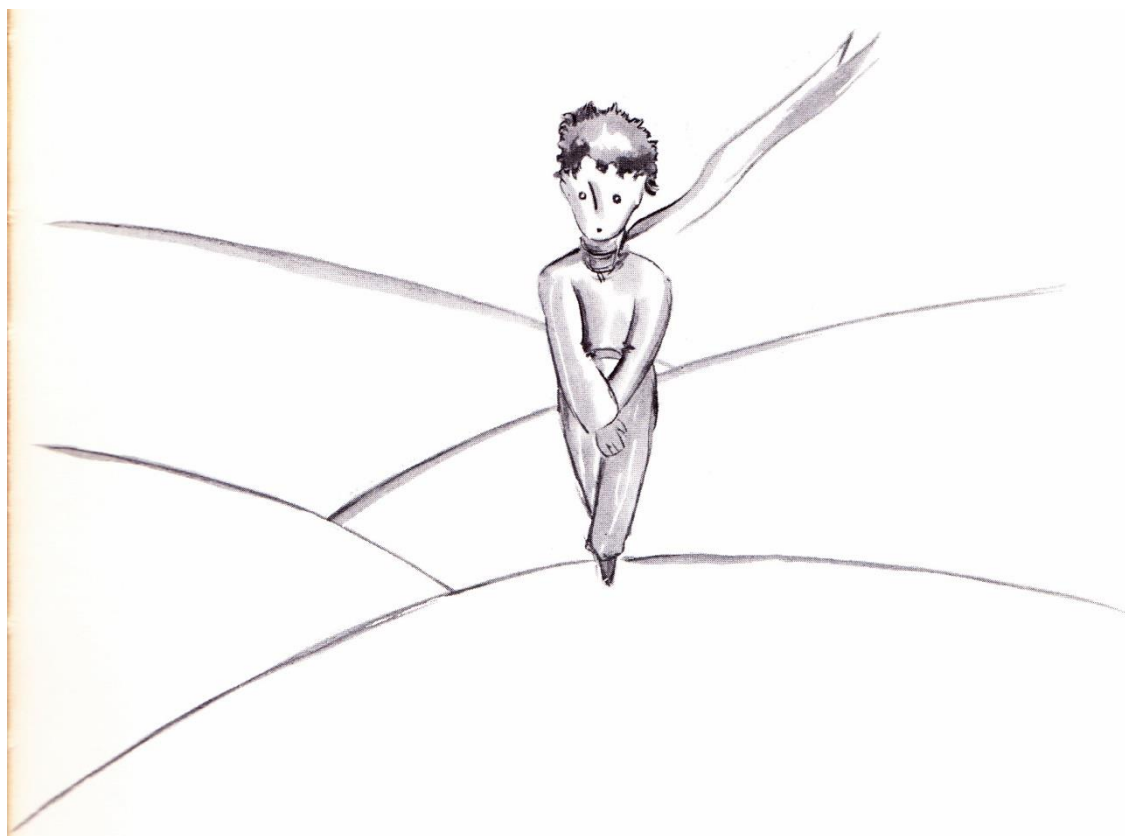
Pero ペロ conj. しかし

siguió atormentándose: シギオ・アトルメントドセ 3 単点・継続(seguir+現在分詞)

v.t 苦しみ続けた

「動詞句」

atormentarse アトルメントアルセ v.pr 苦しむ、悩む



「君は失敗したね。苦しむことになるよ。僕は死んでしまったように見えるかもしれないけれど、それは本当じゃあないんだよ」

---Has hecho mal. Vas a sufrir. Parecerá que me he muerto y no será verdad...

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」 | 「動詞」「主語」 y 「動詞句」「補語」》

---Has hecho アス・エチョ 2 単現・完了形(hacer)v.t (物事を) した

「動詞句」

mal. マル n.m 失敗、悪いこと、間違い

「目的語」

Vas a sufrir. バス・ア・スフール 2 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i 苦しむことになる

「動詞句」



## XXVI

Parecerá パレラ 3 単未(parecer)v.i ~のように見えるだろう 「動詞」  
 que ク conj. ~ということ 「主語」  
 me he muerto メ・エ・ムルト 1 単現・完了形(morirse)v.pr 死んでしまった 「動詞句」  
 y イ conj. けど  
 no será ノ・セラ 3 単未・否定(ser)v.i ~でないだろう 「動詞句」  
 verdad... ベルダド n.f 真実 「補語」

僕は黙っていた。

Yo callaba. 「主語」「動詞」  
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 callaba. カジャハ 1 単線(callar)v.i 黙った 「動詞」

「分かるだろう？遠すぎるんだよ。僕の体をそこに運ぶことが出来ないんだ。重すぎるんだよ。」

---Comprendes. Es demasiado lejos. No puedo llevar mi cuerpo allí. Es demasiado pesado.

《「呼びかけ」 | 「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」「副詞」 | 「動詞」「補語」》

---Comprendes. コンプレンデス 2 単現(comprender)v.t 分かるだろう 「呼びかけ」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i (距離が) ~である 「動詞」  
 demasiado lejos. デマシアト・レホス adj. 遠すぎる 「補語」  
 No puedo llevar ノ・プエド・シエハール 1 単現・可能・否定(poder+不定詞)  
 v.t 運ぶことができない 「動詞句」  
 mi cuerpo ミ・クエルポ n.m 僕の体を 「目的語」  
 allí. アジ adv. そこへ 「副詞」  
 Es エス 3 単現(ser)v.i (重さが) ~である 「動詞」  
 demasiado pesado. デマシアト・ペサド adj. 重すぎる 「補語」

僕は黙っていた。

Yo callaba. 「主語」「動詞」  
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 callaba. カジャハ 1 単線(callar)v.i 黙った 「動詞」

「だけど、僕の体は見捨てられた古い皮みたいになるだろう。古びた皮なんて、悲しくもなんともないよ！」

---Pero será como una vieja corteza abandonada. No son tristes las viejas cortezas.

《Pero「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

## XXVI

---Pero <sup>ペロ</sup> conj. しかし

será <sup>セラ</sup> 3 単末・推量(ser)v.i (状態) ～になるだろう

「動詞」

como <sup>コモ</sup> conj. ～のように

「補語」

una vieja corteza <sup>ウナ・ビエハ・コルテサ</sup> n.f 古びた皮

「目的語」

abandonada. <sup>アバンドナダ</sup> adj.f 見捨てられた

「形容詞」

No son <sup>ノソン</sup> 3 複現・否定(ser)v.i ～でない

「動詞」

tristes <sup>トリステス</sup> adj.pl 悲しい

「補語」

las viejas cortezas. <sup>ラス・ビエハス・コルテサス</sup> pl.n.f 古びた皮は

「主語」

僕は黙っていた。

Yo callaba.

「主語」「動詞」

Yo <sup>ジョ</sup> pron 僕は

「主語」

callaba. <sup>カジャハ</sup> 1 単線(callar)v.i 黙った

「動詞」

彼は少し気力をなくした。しかし絞り出すようにしてさらに言った：

Se descorazonó un poco. Pero hizo aún un esfuerzo.

「動詞句」「副詞句」 | Pero 「動詞」「副詞」「目的語」

Se descorazonó <sup>セ・テスコラソ</sup> 3 単点(descorazonarse)

v.pr がっかりした、気力をなくした

「動詞句」

un poco. <sup>ウン・ポコ</sup> adv. 少し

「副詞句」

Pero <sup>ペロ</sup> conj. しかし

hizo <sup>ヒソ</sup> 3 単点(hacer)v.t (行為を) した

「動詞」

aún <sup>アウン</sup> adv. さらに

「副詞」

un esfuerzo: <sup>ウン・エスフエルソ</sup> n.m 努力を

「目的語」

「分かるだろう？ 楽しいだろうな。僕も星を眺める。するとあらゆる星が、錆びた滑車のついた井戸のようになるだろう」

---¿Sabes?, será agradable. Yo también miraré las estrellas. Todas las estrellas serán pozos con una roldana enmohecida.

《「呼びかけ」, 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

---¿Sabes?, <sup>サベス</sup> 2 単現(saber)v.t 分かるだろう？

「呼びかけ」

será <sup>セラ</sup> 3 単末・推量(ser)v.i ～だろう

「動詞」

agradable. <sup>アグラダブレ</sup> adj. 楽しい

「補語」

Yo también <sup>ジョ・タンビエン</sup> pron 僕も

「主語」

miraré <sup>ミラレ</sup> 1 単末・推量(mirar)v.t 眺めるだろう

「動詞」

las estrellas. <sup>ラス・エストレジャス</sup> pl.n.f 星を

「目的語」

## XXVI

Todas las estrellas トダス・ラス・エストレジャス pl.n.f 星たちがみな 「主語」  
 serán セラン 3 複末・推量(ser)v.i 〜になるだろう 「動詞」  
 pozos ポス pl.n.m 井戸に 「補語」  
 con コン prep 〜のついた、〜のある 「形容詞句」  
 una roldana ウナ・ロルダナ n.f 滑車 「目的語」  
 enmohecida. エンモヘシダ 過去分詞.f(enmohecer)  
 adj.f 錆びついた 「形容詞」

「星たちがみな、僕に飲み水をくれるだろう...」

Todas las estrellas me darán de beber... 《「主語」「間接目的語」「動詞句」》  
 Todas las estrellas トダス・ラス・エストレジャス pl.n.f 星たちがみな 「主語」  
 me メ pron 僕に 「間接目的語」  
 darán de beber... ダラン・デ・ヘベール 3 複末(dar de beber a+人)  
 v.t 飲み物を与えるだろう 「動詞句」  
 dar de beber a+人 「人に飲み物を与える」 de beber は「直接目的語」(飲み物)

僕は黙っていた。

Yo callaba. 「主語」「動詞」  
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 callaba. カジャバ 1 単線(callar)v.i 黙った 「動詞」

「すごく面白いだろうな！君は 5 億の鈴を持つことになり、僕は 5 億の泉を持つことになるんだ...」

--- ¡Será tan divertido!... Tendrás quinientos millones de cascabeles y tendrás quinientos millones de fuentes...  
 《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」》  
 ---¡Será セラ 3 単末・推量(ser)v.i 〜だろう 「動詞」  
 tan divertido!... タン・テイバルティト adj. すごく面白い、愉快的な 「補語」  
 Tendrás テントラス 2 単末(tener)v.t 持つことになる 「動詞」  
 quinientos millones de キエントス・シヨネス・デ adj. 5 億の 「形容詞句」  
 cascabeles カスカベレス pl.n.m 鈴を 「目的語」  
 y イ conj. そして  
 tendrás テントラス 2 単末(tener)v.t 持つことになる 「動詞」  
 → 「tendré テントレ 1 単末(tener)v.t 持つことになる」の間違い  
 quinientos millones de キエントス・シヨネス・デ adj. 5 億の 「形容詞句」  
 fuentes... フェンテス pl.n.f 泉を 「目的語」

## XXVI

フランス語原版では、

きみが五億の鈴を持つことになり、ぼくが五億の泉を持つことになるなんて..

Tu auras cinq cents millions de grelots, j'aurai cinq cents millions de fontaines ...

であるから、「泉を持つ」のは、やはり僕である (tendrás ではない)

しかし彼も黙り込んだ、だって泣いていたから。

Pero también calló, porque lloraba...      Pero 「副詞」「動詞」, 「副詞節」  
 Pero ペロ conj. しかし  
 también タンビエン adv. ～も      「副詞」  
 calló, カジョ 3 単点(callar)v.i 黙った      「動詞」  
 porque ポルカ conj. ～なので      「副詞節」  
 lloraba... ジョラバ 3 単線(llorar)v.i 泣いていた      「動詞」

「あそこだ！僕 1 人だけで行かせてね」

---Es allá. Déjame dar un paso. solo.      《「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」》  
 ---Es エス 3 単現(ser)v.i ～である      「動詞」  
 allá. アジャ adv. あそこ      「副詞」  
 Déjame デハメ 命・2 単現・使役(dejar+me+不定詞)v.t 僕に～させて      「動詞句」  
 dar ダール 不定詞 v.t (動作を) する      「補語」  
 un paso, ウンパソ n.m 1 歩      「目的語」  
 solo. ソロ adv. 一人で、助力なしで      「副詞」

そして座り込んでしまった。なぜなら怯えていたから。

Y se sentó porque tenía miedo.      Y 「動詞句」「副詞節」  
 Y イ conj. そして  
 se sentó セセント 3 単点(sentarse)v.pr 腰を落とした、座り込んだ      「動詞句」  
 porque ポルカ conj. ～なので      「副詞節」  
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t あった      「動詞」  
 miedo. ミエト n.m おびえ、恐怖      「目的語」

そしてさらに言った：

Y dijo aún:      Y 「動詞」「副詞」  
 Y イ conj. そして  
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った      「動詞」  
 aún: アウン adv. さらに      「副詞」

フランス語原版では、

## XXVI

「分かるだろう？僕のあの花。僕はあの花に責任があるんだ。それにあれはとても弱いんだ！そしてとても無邪気なんだ！世間から身を守るのに、取るに足らない 4 本のとげしか持っていないんだ」

---¿Sabes?..., mi flor..., soy responsable. ¡Y es tan débil! ¡Y es tan ingenua! Tiene cuatro espinas insignificantes para protegerse contra el mundo...

《「呼びかけ」「目的語」, 「動詞」「補語」

Y 「動詞」「補語」 | Y 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」》

---¿Sabes?..., サベス 2 単現(saber)v.t 分かるだろう 「呼びかけ」  
 mi flor..., ミ・フロール n.f 僕のあの花 「目的語」  
 soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 responsable. レスポンサブレ adj. 責任がある 「補語」  
 ¡Y イ conj. そして  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 tan débil! タン・デビール adj. とても弱い 「補語」  
 ¡Y イ conj. そして  
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
 tan ingenua! タン・インヘヌア adj. とても無邪気な 「補語」  
 Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t 持っている 「動詞」  
 cuatro espinas クワトロ・エスピナス pl.n.f 4 本のとげを 「目的語」  
 insignificantes インシグニフィカンテス adj.pl 取るに足らない 「形容詞句」  
 para +不定詞 パラ adv. ~するために 「副詞句」  
 protegerse プロテヘル・セ 不定詞 v.pr 自分の身を守る 「動詞句」  
 contra el mundo... コントラ・エル・ムント° adv. 世の中から、世間から 「副詞句」

僕も座った、なぜならもう立っていられなくなったから。

Me senté porque ya no podía tenerme de pie.

「動詞句」「副詞節」

Me senté メ・センテ 1 単点(sentarse)v.pr 座った

「動詞句」

porque ボルク conj. なぜなら~

「副詞節」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

no podía tenerme ノ・ポデア・テネル・メ 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)

v.pr 立っていることができなかった

「動詞句」

de pie. デ・ピエ adv. 足で立って

「副詞句」

王子さまは言った：

El principito dijo:

「主語」「動詞」

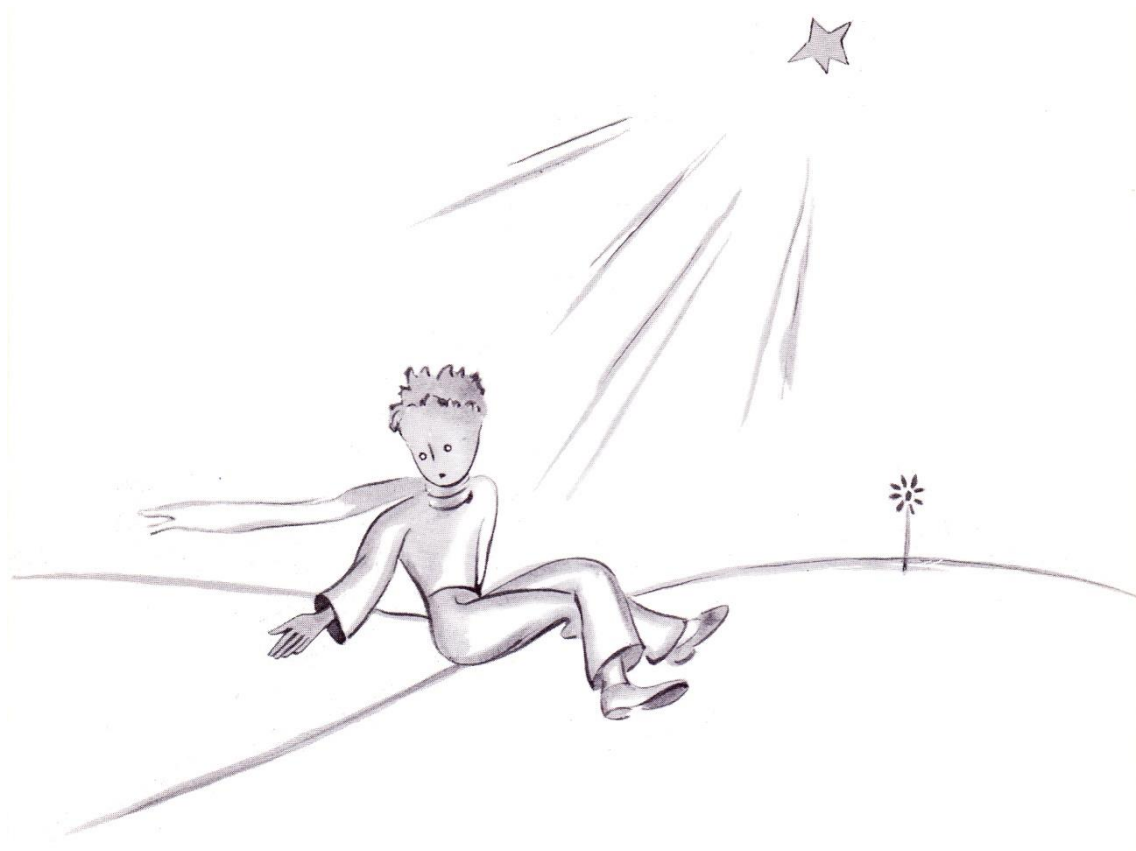
El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は

「主語」

## XXVI

dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」



「さあ... これですべて話したよ...」

---Bien... Eso es todo...

《「感嘆」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

---Bien... ビエン adv. さあ

「感嘆」

Eso エソ pron. これが

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i. ~である

「動詞」

todo... トト adj. すべて

「補語」

彼はまだためらっていた。それから立ち上がって、1 歩を踏み出した。僕は動けなかった。

Vaciló aún un momento; luego se levantó. Dio un paso. Yo no podía moverme.

「動詞」 「副詞句」; 「副詞」 「動詞句」 | 「動詞」 「目的語」 | 「主語」 「動詞句」

Vaciló バシロ 3 単点(vacilar)v.i. ためらった

「動詞」

aún アウン adv. さらに

「副詞句」

un momento; ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

se levantó. セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr. 立ち上がった

「動詞句」

Dio ディョ 3 単点(dar)v.t (動作を) した

「動詞」

un paso. ウン・パソ n.m 1 歩

「目的語」

## XXVI

Yo ジョ pron 僕は 「主語」  
 no podía moverme. ノ・ポデア・モベル・メ 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)  
 v.pr 動くことができなかった 「動詞句」

彼のくるぶしのあたりには、黄色い閃光の他には何もなかった。彼はちょっとの間、動か  
 なくなった。

No hubo nada más que un relámpago amarillo cerca de su tobillo. Quedó inmóvil un  
instante. 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「副詞句」  
 No hubo ノ・hubo 3 単点・否定(haber)v.t (存在) なかった 「動詞句」  
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」  
 más que マス・ケ adv.(no... más que) ～を除いて 「副詞句」  
 un relámpago amarillo ウン・レランパゴ・アマリジョ n.m 黄色い閃光 「目的語」  
 cerca de su tobillo. セルカ・デ・ストビジョ adv. 彼のくるぶしあたりで 「副詞句」  
 Quedó ケド 3 単点(quedar)v.i ～になった 「動詞」  
 inmóvil インモビル adj. 動かない 「補語」  
 un instante. ウン・インスタンテ adv. 一瞬、ちょっとの間 「副詞句」

彼は叫び声をあげたりしなかった。木が倒れるように、静かに倒れた。砂の上だったので、  
 音さえたてなかった。

No gritó. Cayó suavemente, como cae un árbol. En la arena, ni siquiera hizo ruido.  
 「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「副詞節」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」  
 No gritó. ノ・グリト 3 単点・否定(gritar)v.i 叫び声をあげたりしなかった 「動詞句」  
 Cayó カヨ 3 単点(caer)v.i 倒れた 「動詞」  
 suavemente, スヴァメンテ adv. 静かに、そっと 「副詞」  
 como コモ conj. ～するように 「副詞節」  
 cae カエ 3 単現(caer)v.i 倒れる 「動詞」  
 un árbol. ウン・アルボル n.m 木が 「主語」  
 En la arena, エン・ラ・アレナ adv. (理由) 砂の上なので 「副詞句」  
 ni siquiera ニ・シキエラ adv. ～さえもない 「副詞句」  
 hizo イ 3 単点(hacer)v.t (音を) 立てなかった 「動詞」  
 ruido. ルイド n.m 物音を 「目的語」

## XXVII

## XXVII

そして今ではもう 6 年が過ぎ去ったが、この話を 1 度も話して聞かせたことはない。

Y ahora, por cierto, han pasado ya seis años... Nunca había contado esta historia.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」 「主語」 | 「副詞」 「動詞句」 「目的語」

Y ahora, イ・アハラ adv. そして今では 「副詞句」

por cierto, ポル・シエルト adv. 確かに 「副詞句」

han pasado アン・パ・サド 3 複現・完了形(pasar)v.i (時が) 過ぎた 「動詞句」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

seis años... セイス・アノス pl.n.m 6 年が 「主語」

Nunca ヌンカ adv. 1 度も～ない 「副詞」

había contado アビ・ア・コンタド 1 単線・完了形(contar)v.t 話して聞かせた 「動詞句」

esta historia. エスタ・イストリア n.f この話を 「目的語」

僕を見つけた仲間たちは、僕が生きているのをもう一度見て喜んだ。

Los camaradas que me encontraron se alegraron de volver a verme vivo.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Los camaradas ロス・カマラダス pl.n 仲間たちは 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

me メ pron 僕を 「目的語」

encontraron エンコントラロン 3 複点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」

se alegraron セ・アレグラロン 3 複点(allegarse)v.pr 喜んだ 「動詞句」

de +不定詞 デ 不定詞 (原因) ～して 「副詞句」

volver a +不定詞 ボルヴェール・ア 不定詞

v. 再び～する 「動詞句」

verme ベール・メ 不定詞(ver+me)v.t 僕を見る 「動詞句」

vivo. ビーボ adj. 生きている 「補語」

僕は悲しかったが、彼らに言った：「疲れのせいさ」

Estaba triste, pero les decía: 《Es la fatiga...》

「動詞」 「補語」 「間接目的語」: 《「動詞」 「補語」》

Estaba エスタハ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

triste, トリステ adj. 悲しい 「補語」

pero ペロ conj. しかし

les レス pron 彼らに 「間接目的語」

decía: デシア 1 単線(decir)v.t 言った 「動詞」



## XXVII

《Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」  
la fatiga...》ラ・ファティガ n.f 疲労、疲れ 「補語」

今では少しは悲しみが和らいだ。つまり... すっかり和らいだ訳ではない。

Ahora me he consolado un poco. Es decir..., no del todo.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」, 「副詞句」

Ahora アオラ adv. 今では 「副詞」  
me he consolado メ・エ・コンソラド 1 単現・完了形(consolarse)v.pr 和らいだ 「動詞句」  
un poco. ウン・ポコ adv. 少しは 「副詞句」  
Es decir..., エス・デシール adv. つまり、言うならば 「副詞句」  
no del todo. ノ・デル・トド adv. すっかり和らいだ訳ではない 「副詞句」

でも、王子様が本当に自分の星に戻ったことは知っている、夜が明けた時に、彼の体が見  
つからなかったのだから。

Pero sé que verdaderamente volvió a su planeta, pues, al nacer el día, no encontré su  
cuerpo. Pero 「動詞」「目的語」, 「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし  
sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」  
que ケ conj. ~ということを 「目的語」  
verdaderamente ベルタダメント adv. 本当に 「副詞」  
volvió ボルビオ 3 単点(volver)v.i 帰った 「動詞」  
a su planeta, ア・ス・プラネタ adv. 自分の星に 「間接目的語」  
pues, フ・エス conj. (理由) ~なので 「副詞節」  
al nacer el día, アル・ナセル・エル・ディア adv. 夜明けに 「副詞句」  
no encontré ノ・エンコントレ 1 単点・否定(encontrar)v.t 見つからなかった 「動詞句」  
su cuerpo. ス・クエルポ n.m 彼の体が 「目的語」

そしてあれは、それほど重い体ではなかったのだ。だから夜になると、僕は星たちの声を  
聴くのが好きだ。星たちは5億の鈴のようにささやいている。

Y no era un cuerpo tan pesado... Y por la noche me gusta oír las estrellas. Son como  
quinientos millones de cascabeles...

Y 「動詞句」「補語」 | Y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「動詞」「補語」

Y イ conj. そして  
no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞句」  
un cuerpo ウン・クエルポ n.m 体 「補語」  
tan pesado... タン・ペサド adj. (否定文で) それほど重い 「形容詞句」

## XXVII

Y イ conj. そして

por la noche ポル・ラ・ノチェ adv. 夜に

「副詞句」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る

「動詞」

oír オイル 不定詞 n. ～を聞くことは

「主語」

las estrellas. ラス・エストレージャス pl.n.f 星たちの声を

「目的語」

Son ソン 3 複現(ser)v.i (星たちは) ～である

「動詞」

como コモ conj. ～のような

「補語」

quinientos millones de cascabeles... キエントス・シヨネス・デ・カスカベレス

pl.n.m 5 億個の鈴

「目的語」

しかしここで何か大変なことが起こった。僕が王子様のために描いたあの口輪に、皮のベルトを追加するのを忘れてしまったのだ。

Pero he aquí que pasa algo extraordinario. Me olvidé de agregar la correa de cuero al bozal que dibujé para el principito.

Pero 「動詞」「副詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

he ヘ 1 単現(haber)v.t 持っている

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

pasa パサ 3 単現(pasar)v.i 起きている

「動詞」

algo extraordinario. アルゴ・エクストラオルデイナリオ pron 何か大変なことが

「主語」

Me olvidé メ・オルビデ 1 単点(olvidarse)v.pr(+de+不定詞) ～するのを忘れた

「動詞句」

de agregar デ・アグレガル 不定詞 v.t 追加する

「動詞句」

la correa ラ・コレア n.f ベルトを

「目的語」

de cuero デ・クエロ adj. 皮の

「形容詞句」

al bozal アル・ボサル adv. あの口輪に

「副詞句」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

dibujé デイブヘ 1 単点(dibujar)v.t 描いた

「動詞」

para el principito. パラ・エル・プリンシピト adv. 王子様のために

「副詞句」

だから王子様は、絶対にあの口輪を取り付けられなかっただろう。そこで僕は自問する：「王子様の惑星では、何が起こったのだろうか？たぶん、子羊が花を食べてしまっただろう」

No habrá podido colocárselo nunca. Y me pregunto: «¿Qué habrá pasado en el planeta? Quizá el cordero se comió la flor...»

「動詞句」「副詞」 | Y 「動詞句」:

《「主語」「動詞句」「副詞」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》

## XXVII

No habrá podido colocárselo ノ・アブラ・ホ・デイト・コカル・セ・ロ 3 単未・完了形・可能・推測・否定  
 (colocarse+lo)v.pr かれは口輪を取り付けられなかっただろう 「動詞句」  
 nunca. ヌンカ adv. 決して 「副詞」  
 Y イ conj. そして  
 me pregunto: メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 自問する 「動詞句」  
 ¿Qué ケ pron 何が 「主語」  
 habrá pasado アブラ・パ・サド 3 単未・完了形・推量(pasar)v/i 起こった 「動詞句」  
 en el planeta? エ・ネル・プラネタ adv. 王子様の惑星では 「副詞」  
 Quizá キサ adv. たぶん 「副詞」  
 el cordero エル・コルデロ n.m あの子羊は 「主語」  
 se comió セ・コミア 3 単点(comer)v.t 食べてしまった 「動詞句」  
 la flor...》ラ・フローラ n.f あの花を 「目的語」

未来完了：

1. 現在完了の推量を表す
2. 未来のある時点までに完了していると推測される行為や状態を表す

そして時には、こう思う：「いや、そんなことはない！王子様は毎晩あの花をガラスの覆いの下にしまって、しっかり子羊を警戒している」と。

A veces me digo: «¡Claro que no! El principito encierra todas las noches la flor bajo un globo de vidrio y vigila bien a su cordero...»

「副詞句」「動詞句」：

《「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞」「目的語」》

A veces ア・ベセス adv. 時には、時々 「副詞句」  
 me digo: メ・デイゴ 1 単現(decirse)v.pr 自分で思う、自分に言う 「動詞句」  
 «¡Claro que no! クラロ・ケ・ノ adv. (否定) もちろん違う！ 「呼びかけ」  
 Claro que sí! クラロ・ケ・シ adv. (肯定) もちろんそうだ！  
 El principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」  
 encierra エンシエラ 3 単現(encerrar)v.t しまいこんでいる 「動詞」  
 todas las noches トダス・ラス・ノチェス adv. 毎晩 「副詞句」  
 la flor ラ・フローラ n.f あの花を 「目的語」  
 bajo un globo de vidrio バホ・ウン・グロボ・デ・ビトロリオ adv. ガラスの覆いの下に 「副詞句」  
 y イ conj. そして  
 vigila ビ・ヒラ 3 単現(vigilar)v.t 警戒している、用心している 「動詞」  
 bien ビ・エン adv. しっかり 「副詞」  
 a su cordero...》ア・ス・コルデロ n.m 子羊を 「目的語」

未来完了：

## XXVII

そうすると僕は自分が幸せだと感じる。そして星という星が優しく笑いかけてくる。

Entonces me siento feliz. Y todas las estrellas ríen dulcemente.

「副詞」「動詞句」「補語」 | Y 「主語」「動詞」「副詞」

Entonces エントンス adv. その時、そうすると 「副詞」

me siento メ・シエント 1 単現(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じる 「動詞句」

feliz. フェリス adj. 幸せな 「補語」

Y イ conj. そして

todas las estrellas トダス・ラス・エストレジャス pl.n.f 星という星が 「主語」

ríen リエン 3 複現(reír)v.i 笑う 「動詞」

dulcemente. ドゥルセメンテ adv. 穏やかに、優しく 「副詞」

そしてまた時には、こう思う：「人は時にはうっかりするものだ。そしてそれだけで、大変な事になる！ある晩、王子様はガラスの覆いをかけるのを忘れたかもしれないし、または、あの羊が夜中にそっと抜け出したかも知れない…」

A veces me digo: «De vez en cuando uno se distrae, ¡y es suficiente! Una noche el principito olvidó el globo de vidrio o el cordero salió silenciosamente durante la noche...»

「副詞句」「動詞句」：「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞」「補語」 |

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 o 「主語」「動詞」「副詞句」

A veces ア・ベセス adv. 時には、時々 「副詞句」

me digo: メ・ディゴ 1 単現(decirse)v.pr 自分で思う、自分に言う 「動詞句」

«De vez en cuando テ・ベス・エン・クワント adv. 時には、時々 「副詞句」

de vez en vez も同じ意味で使われる

uno ウノ pron 人というものは 「主語」

se distrae, セ・ディストレ 3 単現(distraerse)v.pr うっかりする、ぼんやりする 「動詞句」

¡y イ conj. そして

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

suficiente! スフィエンテ adj. 十分な 「補語」

「都合の悪いことが起きるためには、たった 1 回のうっかりで十分だ！」

Una noche ウナ・ノチェ n.f ある晩 「副詞句」

el principito エル・プリンシピト n.m 王子様は 「主語」

olvidó オルビド 3 単点(olvidar)v.t 忘れた 「動詞」

el globo de vidrio エル・グロボ・デ・ビトロ n.m ガラスの覆いを 「目的語」

o オ conj. それとも

el cordero エル・コルデロ n.m あの羊が 「主語」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i 抜け出した 「動詞」

silenciosamente シレンシオサメンテ adv. そっと、静かに 「副詞」

## XXVII

durante la noche...》ドゥランテ・ラ・ノチェ adv. 夜中に

「副詞句」

そう思うと、あの鈴たちが涙に変わってしまう。

¡Entonces, los cascabeles se convierten en lágrimas!...

「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

¡Entonces, エントンセス adv. そうすると

「副詞」

los cascabeles ロス・カスカベレス pl.n.m あの鈴が

「主語」

se convierten セ・コンビエルテン 3 複現(convertirse)v.pr 変わる、変わってしまう

「動詞句」

en lágrimas!... エン・ラガリマス adv. 涙に

「補語」

それは大きな神秘だ。王子様を愛する君たちにとって、僕にとってと同様に、この宇宙では何も同じであり続けることはできない。どこか分からない場所で、僕らが知らない羊がバラの花を食べてしまったかどうかによって変わってしまう...

Es un gran misterio. Para vosotros, que también amáis al principito, como para mí, nada en el universo sigue siendo igual si en alguna parte, no se sabe dónde, un cordero que no conocemos ha comido, sí o no, a una rosa...

「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞節」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

un gran misterio. ウン・グラン・ミステリオ n.m 大きな神秘

「補語」

Para vosotros, パラ・ボソトス adv. 君たちにとって

「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

también タンビエン adv. 〜も... する

「副詞」

amáis アマイス 2 複現(amar)v.t 愛する

「動詞」

al principito, アル・プリンシピト n.m 王子様を

「目的語」

como para mí, コモ・パラ・ミ adv. 僕にとってと同様に

「副詞句」

nada ナダ pron 何も〜ない

「主語」

en el universo エ・ネル・ウニベルソ adv. 宇宙で

「副詞句」

sigue siendo シゲ・シエント 3 単現・継続(seguir+現在分詞 ser)v.i 〜であり続ける

「動詞句」

seguir+現在分詞・過去分詞・形容詞 「〜し続ける、〜であり続ける」継続の強調

igual イグアル adj. 同じ

「補語」

si シ conj. もし〜ならば

「副詞節」

en alguna parte, エン・アルグナ・パルテ adv. どこかの場所で

「副詞句」

no se sabe dónde, ノ・セ・サベ・ドンデ adj. どこか分からない

「形容詞句」

un cordero ウン・コルデロ n.m 羊が

「主語」

que ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

no conocemos ノ・コノセモス 1 複現・否定(conocer)

## XXVII

v.t 僕らが知らない	「動詞句」
ha comido, ア・コミト <sup>3</sup> 3 単現・完了形(comer)v.t 食べた	「動詞句」
sí o no, シ・オ・ノ adv. そうかそうでないか	「副詞句」
a una rosa... ア・ウナ・ロサ n.f バラの花を	「目的語」
空をご覧ください。そして尋ねてごらん：羊はあの花を食べてしまったのかどうか。そうすると、どれほどすべてが変わるか分かると思うよ	
<u>Mirad al cielo. Preguntad: ¿el cordero, sí o no, se ha comido la flor? Y veréis cómo todo cambia...</u>	「動詞」「間接目的語」   「動詞」:
	「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」   Y 「動詞」「目的語」
Mirad ミラト <sup>2</sup> 命・2 複現(mirar)v.i(a の方を) ご覧ください	「動詞」
al cielo. アル・シエロ adv. 空のほうを	「間接目的語」
Preguntad: プレグンタト <sup>2</sup> 命・2 複現(preguntar)v.i 尋ねてごらん	「動詞」
¿el cordero, エル・コルテロ n.m 羊は	「主語」
sí o no, シ・オ・ノ adv. そうかそうでないか	「副詞句」
se ha comido セ・ア・コミト <sup>3</sup> 3 単現・完了形(comerse)v.pr 食べてしまった	「動詞句」
la flor? ラ・フロール n.f あの花を	「目的語」
Y イ conj. そして、そうすると	
veréis ベレイス 2 複未・推測(ver)v.t 分かるだろう	「動詞」
cómo コモ conj. どれほど、どんなに～するかということを	「目的語」
todo トト <sup>3</sup> pron 全てが	「主語」
cambia... カンビア 3 単現(cambiar)v.i 変わる	「動詞」

## XXVII

そして大人は誰も、そのことがそれほど大切なことだとは絶対に分からないだろうな。

¡Y ninguna persona grande comprenderá jamás que tenga tanta importancia!

Y 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

¡Y イ conj. そして

ninguna persona grande ニンガナ・ペルソナ・グランデ n.f 大人は誰も～ない 「主語」

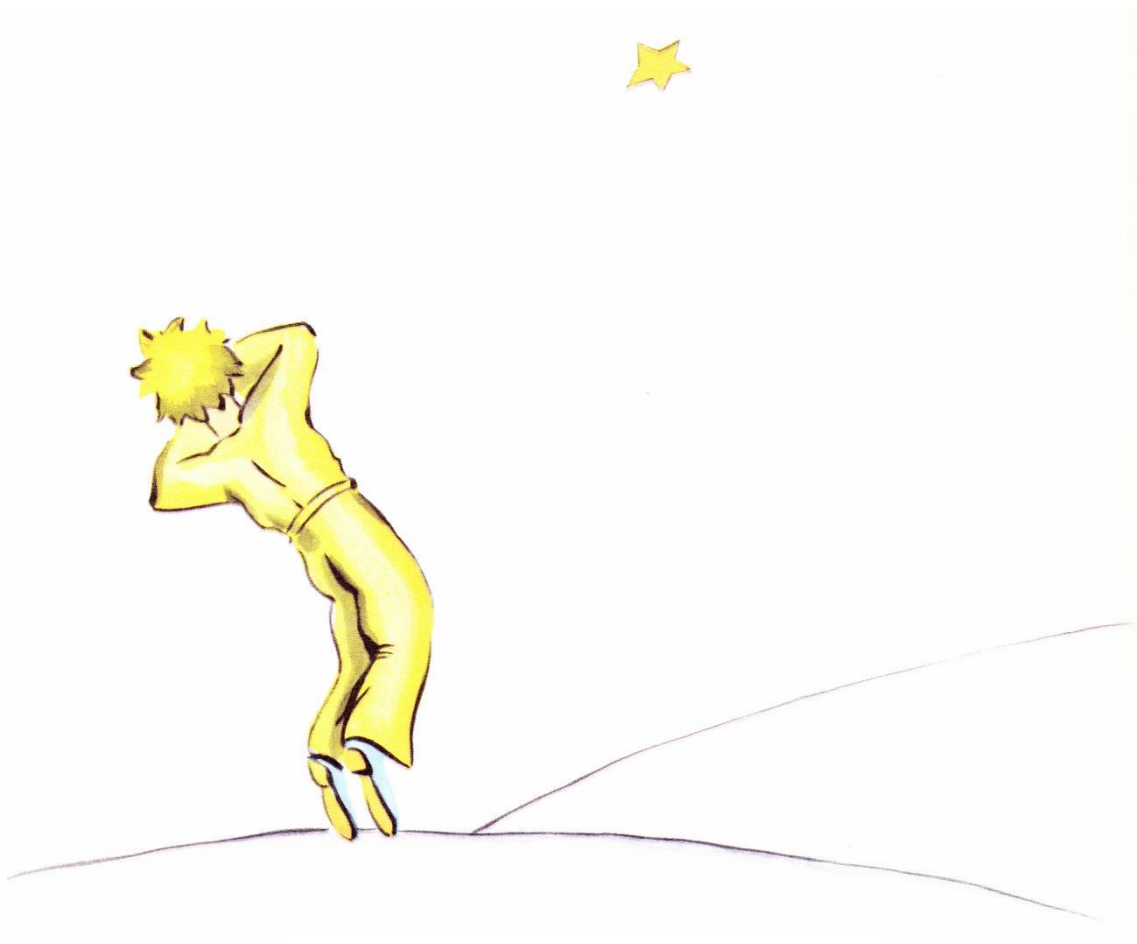
comprenderá コンプレンデラ 3 単未(comprender)v.t (否定文で) 分からないだろう 「動詞句」

jamás ハマス adv. 決して～ない 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tenga テンガ 接・3 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」

tanta importancia! タンタ・インポルタンシア n.f それほどの重要性 「目的語」



## XXVII



これは僕にとって、この世で一番美しく、そして一番悲しい景色です。

Éste es, para mí, el más bello y más triste paisaje del mundo.

「主語」「動詞」「副詞句」「補語」

Éste エステ pron これは

「主語」

es, エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

para mí, パラ・ミ adv. 僕にとって

「副詞句」

el más bello y más triste エル・マス・ベジョ・イ・マス・トリス

adj.m 最も美しくて悲しい

「形容詞句」

paisaje パイサヘ n.m 景色

「補語」

del mundo. デル・ムント adj. この世の

「形容詞句」

これは前のページと同じ景色です。しかしそれを君たちによく見てもらいたくてもう一度描きました。

Es el mismo paisaje de la página precedente, pero lo he dibujado una vez más para mostrároslo bien.

「動詞」「補語」 pero 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」



## XXVII

el mismo paisaje	エル・ミスモ・パ・イハ n.m	同じ景色	「補語」
de la página precedente,	デ・ラ・パ・ヒナ・プレデンテ	adj. 前のページの	「形容詞句」
pero	ペロ conj.	しかし	
lo	ロ pron	それを	「目的語」
he dibujado	エ・ディブ・ハド 1 単現・完了形(dibujar)v.t	描いた	「動詞句」
una vez más	ウナ・ベス・マス adv.	もう一度	「副詞句」
para +不定詞	パラ adv.	～するために	「副詞句」
mostrároslo	モストラ・ロス・ロ 不定詞(mostrar+os+lo)		
v.t	それを君たちに見せる		「動詞句」
bien.	ビエン adv.	よく	「副詞」

王子様が地上に現れ、その後姿を消したのは、ここです。

Aquí fue donde el principito apareció en la Tierra, y luego desapareció.

			「補語」「動詞」「主語」
Aquí	アキ adv.	ここ	「補語」
強調構文: Aquíを強調するために文頭に置き、「主語」と「動詞」を倒置している			
fue	フエ 3 単点(ser)v.i	～だった	「動詞」
donde	ドンデ adv.	～した場所は	「主語」
el principito	エル・プリンシピト n.m	王子様が	「主語」
apareció	アパ・レシオ 3 単点(aparecer)v.i	現れた	「動詞」
en la Tierra,	エン・ラ・ティエラ adv.	地上に	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
luego	ルエゴ adv.	それから、後になって	「副詞」
desapareció.	デサパ・レシオ 3 単点(desaparecer)v.i	姿を消した	「動詞」

君たちがもしいつかアフリカの砂漠を旅行するならば、ここだと確信できるように、この景色をしっかりと見てください。

Mirad atentamente este paisaje a fin de estar seguros de que habréis de reconocerlo, si viajáis un día por el África, en el desierto.

Mirad	ミラト 命・2 複現(mirar)v.t	見てください	「動詞」
atentamente	アテンタメンテ adv.	注意深く、しっかりと	「副詞」
este paisaje	エステ・パ・イハ n.m	この景色を	「目的語」
a fin de +不定詞	ア・フィン・デ adv.	～するために	「副詞句」
estar	エスター 不定詞 v.i	～である	「動詞」
seguros de	セグロ・デ adj.	～を確信した	「補語」
que	ケ conj.	～ということ	「目的語」

## XXVII

**habréis de reconocerlo**, アブレイス・デ・レコネル・ロ 2 複未来・推量(haber de+不定詞)

v.t それだと分かるだろう

「動詞句」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

viajáis ビアハイス 2 複現(viajar)v.i 旅行する

「動詞」

un día ウン・デア adv. いつか

「副詞句」

por el África, ホル・エル・アフリカ adv. アフリカを通して

「副詞句」

en el desierto. エ・ネル・デシエルト adv. 砂漠を

「副詞句」

**haber de+不定詞** :

1. 近接未来を表す

Pronto **ha de saberse** lo que ha ocurrido. 何が起こったのかすぐに知られるだろう。

2. 義務・必要を表す(tener que+不定詞 と同等)

Has de hacer algo si quieres salir de este apuro. この事態から抜け出したいのなら、お前は何か手を打つべきだ。

3. 感嘆文での反語表現

¡Qué bueno **ha de ser** aquel tío! あいつが善人だなんて！→善人ではない

そしてもしこの辺りを通りかかることがあれば、君たちをお願いしたい：急がないで！そして少し待つて欲しい、正確にこの星の下で。

Y si llegáis a pasar por allí, os suplico: no os apresuréis; esperad un momento, exactamente debajo de la estrella.

Y 「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」: 「動詞句」; 「動詞」 「副詞句」

Y イ conj. そして

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

**llegáis a pasar** ジェガイス・ア・パスル 2 複現・偶然・結果(llegar a+不定詞)

v.i 通りかかることになる

「動詞句」

por allí, ホル・アジ adv. この辺りを

「副詞句」

os オス pron 君たちに

「間接目的語」

**suplico**: スプリコ 1 単現(suplicar)v.t 是非お願いする

「動詞」

**no os apresuréis**; ノ・オス・アプレスレイス 接・2 複現・否定・話者の願望(apresurarse)

v.pr 急がないで

「動詞句」

**esperad** エスペラド 命・2 複現(esperar)v.i 待ってください

「動詞」

un momento, ウン・モメント adv. ちょっとの間

「副詞句」

**exactamente** エクサクタメンテ adv. 正確に

「副詞」

**debajo** デバホ adv. ～の下で

「副詞句」

**de la estrella**. デ・ラ・エストレジャ adj. この星の

「形容詞句」

**haber de+不定詞** :

## XXVII

その時、君たちのほうへ少年がやって来て、その少年が笑っていたり、金髪だったり、君の質問に答えなかったりしたら、君たちはもう彼が誰であるかが分かるよね？

Si entonces un niño llega hacia vosotros, si ríe, si tiene cabellos de oro, si no responde cuando se le interroga, adivinaréis quién es. 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

entonces エントネス adv. その時 「副詞」

un niño ウン・ニーニョ n.m 少年が 「主語」

llega ジェガ 3 単現(llegar)v.i 着く、やって来る 「動詞」

hacia vosotros, アシア・ボソトス adv. 君たちのほうへ 「副詞句」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

ríe, リエ 3 単現(reír)v.i 笑っている 「動詞」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t (肉体的特徴) をしている、である 「動詞」

cabellos de oro, カベジヨス・デ・オロ pl.n.m 金髪 「目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no responde ノ・レスポ・ンテ 3 単現・否定(responder)v.i 返事をしない 「動詞句」

cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

se セ pron 君が 「主語」

le レ pron 彼に 「目的語」

interroga, インテロガ 3 単現(interrogar)v.t 質問する 「動詞」

adivinaréis アデ・ビナレイス 2 複未(adivinar)v.t 見抜くだろう、わかるだろう 「動詞」

quién es. キエン・エス pron 彼が誰であるかということを 「目的語」

その時は、優しくしてあげてください！僕をこんなにも悲しいままにしておかないでください。すぐに僕に手紙ください。そして教えてください、王子様が戻ってきたと。

¡Sed amables entonces! No me dejéis tan triste. Escribidme enseguida, decidme que el principito ha vuelto... 「動詞」 「補語」 「副詞」 | 「動詞句」 「目的語」 「補語」 「動詞句」 「動詞句」 「副詞」, 「動詞句」 「目的語」

¡Sed セット 命・2 複現(ser)v.i ～にしてください 「動詞」

amables アマブレス adj.pl 親切的な 「補語」

entonces! エントネス adv. その時は 「副詞」

No ...dejéis ノ...デヘイス 命・2 複現・否定(dejar)

v.t ～のままにしておかないでください 「動詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

tan triste. タン・トリステ adj. こんなにも悲しい 「補語」

Escribidme エスクリビ・メ 命・2 複現(escribir+me)v.t 僕に手紙を書いてください 「動詞句」

終わり

enseguida, エンセギダ adv. すぐに

「副詞」

decidme デシト・メ 命・2 複現(decir+me)v.t 教えてください

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

el principito エル・プリンシト n.m 王子様は

「主語」

ha vuelto... ア・ブエルト 3 単現・完了形(volver)v.i 戻ってきた

「動詞句」

終わり